ナーチュー・き古墓群

- 那覇新都心土地区画整理事業に伴う緊急発掘調査報告VII-

2000年3月 那覇市教育委員会







巻首図版1 上:遺跡遠景(南東から)

中: " (東から)

下: " (西から)



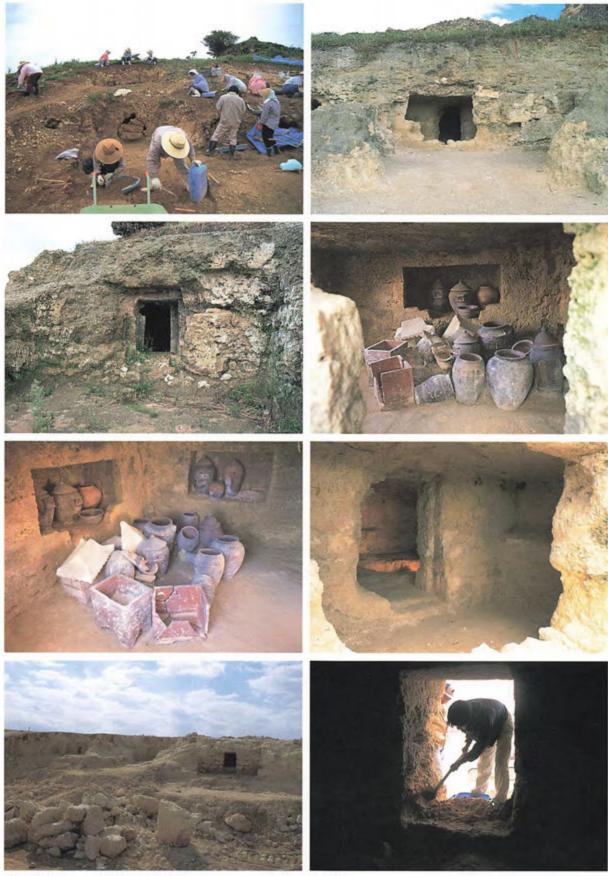




巻首図版2 上:遺跡遠景(南東から)

中: " (南から)

下:北地区遺跡遠景(南東から)



巻首図版3 1段左:作業風景 1段右:39号墓 2段左: 24号墓 3段左: 24号墓室内 4段左: 北地区8号墓 2段右:24号墓室内 3段右:39号墓(前室) 4段右:北地区8号墓室内から墓口を撮る



専用藏骨器:陶製円筒形蔵骨器 (1·2)、陶製無頸甕形蔵骨器 (3·4) 巻首図版 4

陶製家形蔵骨器 (10~12)

転用蔵骨器: 喜名焼広口壺 (5)、喜名焼火炉 (6)、土器壺 (7)、タイ産褐釉陶器壺 (8) 副 葬 品:中国産青磁香炉 (9)

この報告書は、地域振興整備公団(総裁 工藤敦夫)の「那覇新都心土地区画整理事業」に伴って実施された、ナーチュー毛古墓群の緊急発掘調査の成果を収録したものです。

発掘調査は、二ヵ年度にまたがって行われています。第一次調査は、1993年4月から1994年3月、 第二次調査は1994年11月から12月の期間で実施されました。

遺跡は先の大戦時における防空壕の構築や1950年代の米軍施設建設などによって、かなり変容していましたが13,600㎡の範囲に、 $1\sim49$ 号墓(第1次調査)と北地区 $1\sim11$ 号墓(第2次調査)の合計 60 基の古墓を確認することができました。

古墓の造りは、ほとんどが琉球石灰岩を掘り込んだ掘込墓(方言でフインチャー)です。外観は、亀 甲墓などの大規模なものから庭を共有した小規模なものまで多彩な様相を呈しています。

出土した遺物は、骨を納めるための専用・転用蔵骨器(方言でジーシ)の他に、中国産・タイ産・本土産などの輸入陶磁器や沖縄産の瓶、酒注、猪口、墓誌・銭貨・簪・煙管・銅鏡・刀子・指輪・ガラス玉 (ビーズ)・貝製品等、多種多様の副葬品が得られています。その中でジーシ(蔵骨器)は、被葬者の名前や亡くなった年月日、洗骨(二次葬)の年月日、さらにはその方の身分などが墨書(銘書:ミガチ)されることがあり注目される資料です。それらを整理することによって、蔵骨器の新旧関係や墓に納められた人々の家族関係などを検討する手掛かりになります。

以上のように、本遺跡の発掘調査で得られたすべての情報は、近世沖縄における葬墓制を解明する上で貴重な歴史資料と言えます。

末尾になりましたが、本書が多くの方々に活用されることを希望するとともに、文化財愛護思想の高揚、さらには諸開発計画における調整・協議の円滑な推進に寄与することを期待いたします。また、発掘調査にご協力頂いた関係各位に深く感謝申し上げます。

2000年3月

那覇市教育委員会 教育長 **渡久地 政吉**

例 言

- 1. 本報告書は、那覇市教育委員会が地域振興整備公団(総裁 工藤敦夫)の委託を受けて、1993年 (平成5年度) および1994年(平成6年度)に実施した「ナーチュー毛古墓群緊急発掘調査」の 成果を収録したものである。
- 2. 第V章第1節のジーシ(蔵骨器)のミガチ(銘書)、家譜資料、位牌資料などでは、島尻克美氏(那覇市歴史資料室)、金城善氏(糸満市役所)、屋部憲次郎氏(沖縄文化研究家)の協力を得た。記して感謝申し上げる。
- 3. 第V章第7節の墓誌の文字判読には、島尻克美氏(那覇市歴史資料室)よりご教授いただいた。記して感謝申し上げる。
- 4. 第 Ⅵ 章ナーチュー毛古墓群出土の人骨については、琉球大学医学部の石田肇氏・土肥直美氏・譜久 嶺忠彦氏から玉稿を賜った。記して感謝申し上げる。
- 5. 附篇の銘苅古墓群南地区・B地区4号墓出土人骨の放射性炭素年代測定では、高宮広土氏(札幌大学助教授)に、カナダ・トロント大学への依頼など、お手を煩わせた。記して感謝申し上げる。
- 6. 第2図の那覇市全図は、国土地理院発行の地図を複製した。
- 7. 第3~5 図は、地域振興整備公団 那覇都市開発事務所が作成した那覇新都心開発整備事業現況図 を一部修正して掲載した。
- 8. 古墓の写真測量図 (第7~20 図、第22 図、第24~27 図) は、1994 (平成6) 年2月に (株) 陸 地測量に委託して作成したものである。
- 9. 本報告書の編集は金武があたった。執筆は下記に示すとおりである。

金武 正紀 (那覇市教育委員会文化財課長) 第 V 章 第 1 節 · 第 4 · 5 節 第 N 章

玉城 安明 (z任主事) 第V章 第2節

仲宗根 啓 (″ 主事)第 【~Ⅳ章 第 Ⅴ章 第 7 節~第 11 節 附篇

當間 麻子(" ")第V章 第6節

當銘 由嗣 (") 第V章 第2·3節

城間千栄子("調査指導員)第V章 第17節~第20節

玉城 京子 (別 副調査指導員) 第 V 章 第 13 節 ~ 第 16 節

山里 千春 (") 第 V 章 第 12 節

譜久嶺忠彦・土肥 直美・石田 肇(琉球大学医学部)第 W 章

10. 資料整理は下記のメンバーで行った。

洗浄・注記・接合:国吉美奈子 勝連紋子 上原章子 砂川貴子 東恩納孝子 富島靖子 喜屋武朋子 新原理奈 内間渚佐 津波古清美 山下真利子 大城亜姫代 真栄田紋子 宜保和美 譜久原百代 花城美智子 富島カヨ子 上間節子 森美賀

分類・集計: 城間千栄子 島袋利恵子 栗山初美 大城弘子 山城直子 玉城京子 山里千春 鈴木もえ子 野村知子 比嘉君子 阿部直子 具志みどり 知念美智子 高良チカ子 砂川貴子 神谷直美 友利江美子 山下真利子 大城亜姫代 上間節子 森美賀

実測:城間千栄子 宮良文子 島袋利恵子 山城直子 玉城京子 鈴木もえ子 曽木菊枝 比嘉君子 阿部直子 宮城みさ子 金城礼子 具志みどり 早川ルリ子 大城真由美 砂川貴子 上原章子 福里ひろみ 知念美智子 冨里順子 大城久美子 大城末子 徳嶺明子 高良チカ子 津波古清美 伊計めぐみ 請盛智秋

トレース:宮良文子 島袋利恵子 鈴木もえ子 曽木菊枝 早川ルリ子 伊計めぐみ

復元:島袋利恵子 高良チカ子 砂川貴子 国吉美奈子 富島靖子 新原理奈 山下真利子 大城亜姫代

表・図:城間千栄子 栗山初美 大城弘子 島袋利恵子 玉城京子 山里千春 野村知子 具志みどり 砂川貴子

拓本: 島袋利恵子 山里千春 砂川貴子 上原章子 早川ルリ子 大城真由美 比嘉君子 宮良文子 栗山初美

写真撮影・現像・焼付・図版:金武正紀 當間麻子 栗山初美 城間千栄子 島袋利恵子 玉城京子 冨山維佐子 山里千春 座安知子 比嘉君子 阿部直子 鈴木もえ子 曽木菊枝 知念美智子 国吉美奈子 具志みどり 早川ルリ子 高良チカ子 伊計めぐみ

- 11. 遺物実測図と写真の番号は一致するように配置している。
- 12. 出土した資料は、那覇市教育委員会文化財課で保管している。

報告書抄録

	なーちゅーも	トラアぼど											
当 名	ナーチューギ		con and a sile a	- 614 TO 1877 A							_		
副 書 名	那覇新都心士	上地区画整5	埋事業に 	伴う緊急	発掘	調査報	·告 VII						
巻 次													
シリーズ名 	那覇市文化則												
シリーズ番号 	第 44 集	等44 集											
編 著 者 名	1	金武正紀 玉城安明 仲宗根啓 當間麻子 當銘由嗣 城間千栄子 玉城京子 山里千春 石田肇 土肥直美 譜久嶺忠彦											
編集機関	那覇市教育委	委員会文化 原	材課				-						
所 在 地	₹900-8553	沖縄 都	道府県	那覇市	通川 2	2 – 8 -	- 8	TEL	098-8	53-57	76		
発行年月日	西暦 2000	年 3月1	5 			-	-	_					
	ふりがな		· ド			4							
所収遺跡名	所 在 地	市町村	遺跡番号	一 北 緯			東 経。//		調査期間		面積 ㎡	調査原因	
ナーで エーチンユー 上で 基群	#			26° 13′ ~ 26° 13′ ~ 26° 13′ ~ 26° 13′	44" 50"	127° 4	27° 41′ 36″ ~ 27° 41′ 42″ 27° 41′ 38″ ~ 27° 41′ 40″		~ 1994 03 (第一次調査)		00m²	地域振興 整備公土 地区 地理事業	
所収遺跡名	種別 自	主な時代	主	な遺	構		主な	遺	物	特	記	事 項	
ナーチュー毛 古墓群	古墓近世	亡次大戦	掘亀甲墓			沖輪本墓円銭ガ煙金貝人・ガ	ながら	20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 2					
	第二	二次大戦	防空場	*		- 1			ガラス製品 プラスチック製 _I	ガラス製品 プラスチック製品			

目 次

矛	
例言	
報告書抄録	
第 章 調査に至る経緯	_
第Ⅱ章 遺跡の位置と環境	
第Ⅲ章 調査経過と調査組織	-
第1節 調査経過	_
第 2 節 調査組織	
第№章	
第Ⅴ章 遺 物	
第1節 蔵骨器	
1. 蔵骨器の分類	
(1) 専用蔵骨器	
(2) 転用蔵骨器	
2. ジーシ(蔵骨器)のミガチ(銘書)と家譜資料	
第 2 節 沖縄産陶器 ······	-
1. 壺屋焼施釉陶器	
2. 壺屋焼無釉陶器	
3. 喜名焼・その他の陶器	
第 3 節 陶質土器	
第4節 中国産陶磁器	
第 5 節 タイ産陶磁器	
第 6 節 本土産陶磁器	
第7節 墓誌	
第8節 石製品	
第9節 石器	
第 10 節 香炉	
第 11 節 円盤状製品	
第 12 節 銭貨	
第 13 節 煙管	
第 14 節 簪	
第 15 節 金属製品	
第 16 節 プラスチック製品	
第 17 節 ガラス製品	
第 18 節 ガラス製小玉	
第 19 節 貝製品・骨製品	
第 20 節 骨・貝	
第 VI 章 那覇市ナーチュー毛古墓群出土の人骨······	
第Ⅵ章 総 括	· 205
附篇	
銘苅古墓群南地区・B地区・第4号墓出土人骨の放射性炭素年代測定結果	209

	挿図目次		第 35 図	陶製家形蔵骨器:素焼 63
			第 36 図	<i>"</i> : <i>"</i> ······· 64
第1図	那覇市の位置	3	第37図	<i>"</i> : <i>"</i> ······· 65
第 2 図	ナーチュー毛古墓群及び		第 38 図	陶製家形蔵骨器:素焼(彩色) 66
	那覇市内の主な古墓群	4	第39図	陶製家形蔵骨器:施釉 67
第3図	ナーチュー毛古墓群	8	第40図	陶製無頸甕形蔵骨器:中型 68
第4図	ナーチュー毛古墓群と防空壕	9	第41図	" : 中型 … 69
第 5 図	ナーチュー毛古墓群 北地区	11	第42図	" : 中型 70
第6図	遺構観察の凡例模式図	12	第43図	" : 中型 … 71
第7図	1 号墓実測図	14	第 44 図	" :大型·小型… 72
第8図	2 号墓実測図	15	第45図	<i>"</i> ······ 73
第 9 図	3 号墓実測図	16	第46図	陶製円筒形蔵骨器
第10図	4号墓実測図	17		陶製有頸甕形蔵骨器:中型・大型 … 74
第11図	5 A、5 B号墓実測図 ···············	18	第 47 図	陶製有頸甕形蔵骨器:小型·中型
第12図	6 B、6 D号墓実測図 ·······	19		陶製軒付製形蔵骨器:大型 75
第13図	7号墓実測図	20	第 48 図	転用蔵骨器 76
第14図	8 号墓実測図	21	第49図	<i>"</i> ······ 77
第15図	9 号墓実測図	22	第 50 図	<i>"</i> ······ 78
第16図	11 号墓実測図	23	第51図	沖縄産壺屋焼施釉陶器:瓶108
第17図	14 号墓実測図	24	第 52 図	<i>"</i> : <i>"</i> ······109
第18図	15 号墓実測図	25	第 53 図	<i>"</i> : <i>"</i> ·······110
第19図	16 号墓実測図	26	第 54 図	" : " ·······111
第20図	19 号墓実測図	27	第 55 図	沖縄産壺屋焼施釉陶器:酒注、
第21図	20 号墓実測図	28		猪口112
第22図	21 号墓実測図	29	第 56 図	沖縄産壺屋焼無釉陶器:徳利115
第23図	23 号墓実測図	30	第 57 図	<i>"</i> : <i>"</i> ······116
第24図	24 号墓実測図	31	第 58 図	沖縄産壺屋焼無釉陶器:小皿、急須
第 25 図	29 号墓実測図	32		火入117
第 26 図	32 号墓実測図	33	第 59 図	沖縄産喜名焼・その他の陶器:瓶 …120
第27図	37 号墓実測図	34	第60図	沖縄産喜名焼・その他の陶器:火入
第 28 図	39 号墓実測図	35		鉢、火炉 …121
第29図	北地区 1・2号墓実測図	36	第61図	沖縄産喜名焼・その他の陶器:
第30図	北地区 6・7 号墓実測図	37		急須122
第31図	北地区 8号墓実測図	38	第62図	陶質土器:鍋、羽釜、水鉢、火鉢126
第32図	石製家形蔵骨器	60	第63図	陶質土器:炉、急須、
第33図	石製家形蔵骨器	61		ミニチュア製品(擂鉢)、火入127
第34図	石製家形蔵骨器	62	第64図	中国産陶磁器:青磁(香炉)132

第65図	中国産陶磁器:青磁(瓶、袋物、	第 90 図	ガラス製小玉178
	馬上杯)	第91図	貝製品、骨製品179
	青白磁 (杯)	第92図	関東現代人を基準とした頭蓋骨
	白磁(香炉、杯)…133		計測値の偏差グラフ (男性)190
第66図	中国産陶磁器:青花(碗、馬上杯	第93図	関東現代人を基準とした頭蓋骨
	袋物、水滴、角皿) …134		計測値の偏差グラフ(女性)190
第67図	中国産陶磁器:青花(杯)	第 94 図	関東現代人を基準とした顔面平坦度
	朱泥(急須)		計測値の偏差グラフ(男性)190
	瑠璃釉(袋物)	第95図	関東現代人を基準とした顔面平坦度
	タイ産陶磁器:鉄絵(瓶)135		計測値の偏差グラフ(女性)190
第68図	本土産陶磁器:瓶139	第 96 図	頭蓋形態小変異出現頻度の比較 …191
第69図	本土産陶磁器:小碗、不明、皿、	第97図	畿内現代人を基準とした上腕骨
	片口、碗、皿、		計測値の偏差グラフ(男性)195
	小杯140	第98図	畿内現代人を基準とした上腕骨
第70図	墓誌、石製品、石斧、砥石、香炉…143		計測値の偏差グラフ(女性)195
第71図	使用部位と重量・	第99図	畿内現代人を基準とした大腿骨
	大きさの関係分布144		計測値の偏差グラフ(男性)196
第72図	円盤状製品146	第100図	畿内現代人を基準とした大腿骨
第73図	無文銭 類の孔径/外径の散布図…148		計測値の偏差グラフ(女性)196
第74図	銭貨153	第101図	畿内現代人を基準とした脛骨
第75図	<i>"</i> 154		計測値の偏差グラフ(男性)197
第76図	<i>"</i> 155	第102図	畿内現代人を基準とした脛骨
第77図	<i>"</i> 156		計測値の偏差グラフ(女性)197
第78図	<i>"</i> 157	第 103 図	推定身長の比較198
第79図	<i>"</i> 158	第104図	6 D号墓室安置蔵骨器№ 1
第80図	煙管:沖縄産施釉陶器製		出土人骨(熟年・男性)201
	煙管:沖縄産無釉陶器製162	第105図	18 号墓室出土人骨
第81図	煙管:金属製163		(成年・女性②)202
第82図	簪:花形・耳かき形・匙形166	第 106 図	19 号墓室蔵骨器№ 2(乳児)
第83図	簪:匙形・耳かき形167		上段:頭蓋骨の全体像
第84図	金属製品:鏡171		下段:Cribra Orbitalia203
第85図	": "·······172	第 107 図	上段:頭頂骨外面後頭縁
第86図	金属製品:刀子、釘、指輪		付近にみられる
	プラスチック製品:櫛173		Porotic Hyperostosis
第87図	ガラス製品:瓶175		中段:肋骨の骨軟骨炎
第88図	色の割合176		下段:骨萎縮性の肥厚が
第89図	直径と重量別出土状況176		見られる脛骨、腓骨204

	并士口\h		L. L. when the make that the the state of th
	挿表目次	第 25 表	本土産陶磁器観察一覧138
		第 26 表	円盤状製品計測一覧145
第1表	遺構の特徴的違い 13	第27表	円盤状製品集計一覧145
第2表	蔵骨器分類表	第 28 表	銭貨出土一覧149
第3表	蔵骨器集計一覧42	第29表	銭貨観察一覧150
第 4 表	北地区 蔵骨器集計一覧 46	第 30 表	銭貨観察一覧151
第 5 表	蔵骨器観察一覧 52	第31表	銭貨観察一覧152
第6表	ミガチ(銘書)のある蔵骨器	第32表	煙管出土一覧159
	観察一覧 79	第33表	煙管観察一覧160
第7表	北地区 ミガチ (銘書) のある	第 34 表	簪出土一覧164
	蔵骨器観察一覧102	第35表	簪観察一覧165
第8表	沖縄産壺屋焼施釉陶器	第 36 表	金属製品観察一覧168
	出土一覧105	第 37 表	金属製品出土一覧170
第 9 表	沖縄産壺屋焼施釉陶器	第 38 表	プラスチック製品出土一覧170
	観察一覧106	第39表	ガラス製品観察一覧174
第10表	沖縄産壺屋焼無釉陶器	第40表	ガラス製小玉計測177
	出土一覧113	第41表	骨出土一覧180
第11表	沖縄産壺屋焼無釉陶器 徳利	第42表	貝類出土一覧181
	観察一覧114	第43表	ナーチュー毛古墓群出土人骨
第12表	沖縄産壺屋焼無釉陶器 その他		の構成183
	観察一覧114	第44表	年齢区分183
第13表	沖縄産喜名焼・その他の陶器	第45表	頭蓋主要計測值189
	出土一覧119	第46表	顔面平坦度189
第14表	沖縄産喜名焼・その他の陶器	第47表	頭蓋形態小変異189
	観察一覧119	第 48 表	主要な頭蓋形態小変異の
第15表	陶質土器出土一覧125		出現頻度の比較191
第16表	陶質土器観察一覧125	第 49 表	上腕骨計測値(男性)192
第17表	青磁出土一覧129	第 50 表	上腕骨計測値(女性)192
第18表	青白磁、白磁出土一覧129	第51表	尺骨計測値(男性)193
第19表	青花出土一覧129	第52表	尺骨計測値(女性)193
第 20 表	朱泥、瑠璃釉、夕イ産鉄絵	第53表	橈骨計測値(男性)193
	出土一覧130	第 54 表	橈骨計測値(女性)193
第21表	青磁観察一覧130	第 55 表	大腿骨計測値(男性)194
第 22 表	青磁、青白磁、白磁観察一覧130	第 56 表	大腿骨計測値(女性)194
第 23 表	青花観察一覧131	第 57 表	脛骨計測値(男性)194
第 24 表	青花、朱泥、瑠璃釉、タイ産鉄絵	第 58 表	脛骨計測値(女性)194
	観察一覧131	第 59 表	推定身長 (Pearson の式より)198

	図版目次	PL.	34	沖縄産壺屋焼施釉陶器
		PL.	35	"
PL. 1	遺跡一帯の空中写真	PL.	36	n
PL. 2	遺跡一帯の空中写真	PL.	37	沖縄産壺屋焼無釉陶器
PL. 3	ナーチュー毛古墓群	PL.	38	n,
PL. 4	n	PL.	39	n
PL. 5	n	PL.	40	沖縄産喜名焼・その他の陶器
PL. 6	n	PL.	41	"
PL. 7	n	PL.	42	n
PL. 8	"	PL.	43	陶質土器
PL. 9	II .	PL.	44	, I
PL. 10	11	PL.	45	中国産陶磁器
PL. 11	"	PL.	46	H
PL. 12	ナーチュー毛古墓群(北地区)	PL.	47	"
PL. 13	石製家形蔵骨器	PL.	48	中国産陶磁器
PL. 14	<i>II</i>			タイ産陶磁器
PL. 15	"	PL.	49	本土産陶磁器
PL. 16	陶製家形蔵骨器	PL.	50	"
PL. 17	"	PL.	51	墓誌、石製品、石斧、砥石、香炉
PL. 18	<i>y</i>	PL.	52	円盤状製品
PL. 19	"	PL.	53	銭貨
PL. 20	<i>II</i>	PL.	54	n
PL. 21	陶製無頸甕形蔵骨器	PL.	55	"
PL. 22	H	PL.	56	"
PL. 23	II .	PL.	57	"
PL. 24	II .	PL.	58	"
PL. 25	II .	PL.	59	煙管
PL. 26	"	PL.	60	"
PL. 27	陶製円筒形蔵骨器	PL.	61	簪
	陶製有頸甕形蔵骨器	PL.	62	,,
PL. 28	陶製有頸甕形蔵骨器	PL.	63	金属製品
	陶製軒付甕形蔵骨器	PL.	64	"
PL. 29	転用蔵骨器	PL.	65	金属製品、プラスチック製品
PL. 30	n .	PL.	66	ガラス製品
PL. 31	<i>y</i>	PL.	67	ガラス製小玉
PL. 32	沖縄産壺屋焼施釉陶器	PL.	68	貝製品、骨製品
PL. 33	II			

ナーチュー毛古墓群発掘調査報告書

第 I 章 調査に至る経緯

ナーチュー毛古墓群の所在する一帯は、第二次大戦後の1953(昭和28)年に米軍によって接収された地域である。その面積は約214 ha(約60万坪)もの広大な土地で、主に米軍住宅施設として使用されていた。その後、1987(昭和62)年に全域が返還され、一般に「天久解放地」と称された。

同地区の返還後、「那覇新都心土地区画整理事業」に伴い、地域振興整備公団(以下、公団)により新しい街造りが進められることになる。これらの状況に伴って、那覇市教育委員会(以下、市教委)では、1985 (昭和60) 年に同地区の悉皆調査を、さらに翌年の1988 (昭和63) 年から1989 (平成元) 年にかけては、埋蔵文化財の分布調査および試掘調査を実施した。その結果、9 遺跡の存在が判明し、周知の文化財として登録された。本古墓群は、その時期に発見された遺跡の一つである。

その後、公団と市教委との間で確認された遺跡(埋蔵文化財)の取り扱いについて調整および協議が行われた。その結果、9 遺跡は記録保存を前提とした緊急発掘調査での対応が止むを得ないとする結論に至り、平成2年6月22日付けで発掘調査に関する協定が双方において取り交わされた。この協定に基づき、同地区における本格的な調査が公団の委託を受けた市教委によって平成2年7月から開始されることとなった。

さて、本遺跡の発掘調査は、1993 (平成5) 年4月から開始されている (第1次調査)。さらに、1994 (平成6) 年度の公団による区画整理作業中に新たな古墓の発見が連絡された。これらの古墓については、1994 (平成6) 年11月15日から公団と市教委で現地確認調査が行われ、区画整理作業の工程上、早急に発掘調査が必要であると判断された。その結果、公団は、現況測量作業・水準点測量作業・トラバース測量作業などの対応を、市教委は同地区内で実施していた他の遺跡の発掘調査を一部中断して、新発見の古墓についての調査を優先させる処置を講ずることとなった。発見された墓群は、ナーチュー毛古墓群 (第1次調査) と同一丘陵の北側に構築されたもので同古墓群北地区と称した。

作業は、1994 (平成6) 年11月29日から第2次発掘調査として開始された。

第Ⅱ章 遺跡の位置と環境

那覇市は、東経 127 度 38 分 18 秒~127 度 44 分 26 秒、北緯 26 度 10 分 20 秒~ 26 度 14 分 32 秒にあり、東西約 10.2 km、南北約 7.8 kmを測る。総面積は、約 38.08 kmである (第 1 図)。市の北側に浦添市、東側に西原町、南東側に南風原町、南に豊見城村と接する沖縄本島の西南部に位置し、西側は東中国海に面している。

地勢は、北に天久台地、東に首里・識名台地、南に小禄台地が海側の沖積平野部など市の中央部を取り囲むように占地する。これらの台地を源とする河川(北から安謝川、安里川、国場川など)が市内をほぼ西流して東中国海に注ぐ。その河口域には、那覇新港、泊港、那覇港などの港湾がある。これらの入り江は古くから港として機能しており、重要な交通の基点とも言える役割を担って発展してきた。

人口は、 302,737 人(平成 12 年 1 月末現在)を擁する県下第一の都市で、沖縄県の政治・経済の中心地である。また、2003(平成 15)年には都市モノレールが開通する予定で、より充実した街造りが進められている。

さて、本古墓群は、那覇市天久(小字は水溜原・後原)と安謝(小字は前東原・前原)にまたがる位置に所在する。新都心地区のほぼ中央(現在の県立那覇国際高等学校のやや北西)、標高約45.5 mを頂点とする琉球石灰岩丘陵(ナーチュー毛と称される)の斜面を利用した墓群である(第3図)。

この一帯は、第 I 章で述べたとおり天久解放地と称されていた地域で、市の北西部に位置する。かつて天久解放地には、安謝・天久・銘苅などの集落が所在していた。明治期頃は真和志村に属し(古くは浦添間切・西原間切・真和志間切などに属し、真和志村、真和志市を経て1957年に那覇市と合併する)、旧那覇近郊に隣接したサトウキビ・イモ・稲などの生産が盛んな100戸前後の農作地帯であった。また、獅子舞・闘牛・エイサーなどの行事も行われていたようである。同地区内には、古島方向から流れ込むメカルガーラ(銘苅川)と真嘉比方向からのオオワンガーラ(大湾川)がほぼ北に流れる。そして、湧泉のスグルクガー付近で合流してタータガーラ(多和田川)となって安謝川に注ぐ。グスク時代を中心とする遺跡の分布は、これらの河川に沿って立地しており、古来から川の果たした役割の重要性が窺える。

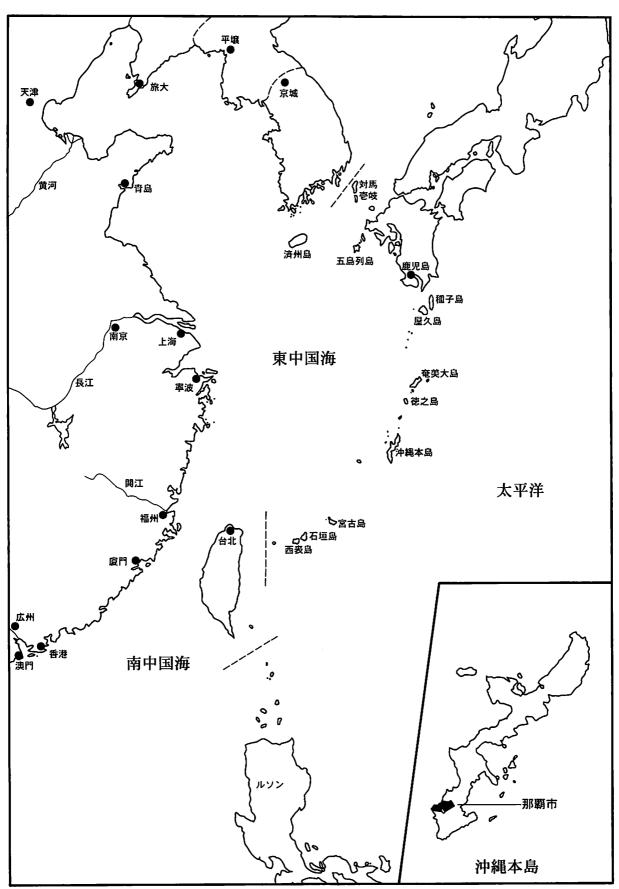
また、古墓群の立地は河川沿いの崖地(銘苅古墓群)や独立した丘陵の斜面・崖下(本古墓群・安謝西原古墓群)に発達した琉球石灰岩地帯に形成されていることが見て取れる。ちなみに、同地区に近接する「真嘉比・古島古墓群」や「安里神無良川古墓群」は、主に、島尻層群に属する第三紀微粒砂岩(方言でニービ)に形成された墓群である(第2図)。

これまで行われた発掘調査の成果によって、同地区に立地する墓群は、近世沖縄における士族階級の墓域であったと同時に、庶民にとっても格好な墓域として利用されたことが徐々に解明されつつある。

- 註1 『那覇市統計書』第38回 那覇市 1999年3月
 - 2 『那覇市広報 市民の友』 第590号 2000年3月
 - 3 『銘苅古墓群(I)』 那覇市教育委員会 1998年3月
 - 4 『銘苅古墓群(Ⅱ)』 那覇市教育委員会 1999年3月
 - 5 『安謝西原古墓群』 那覇市教育委員会 1993年3月
 - 6 『埋蔵文化財発掘調査ニュース№8 真嘉比・古島古墓群』 那覇市教育委員会 1999年3月
 - 7 『安里神無良川古墓群』 那覇市教育委員会 1995年

参考文献

『那覇市史』資料篇 第2巻中の7 那覇市 1979年 『真和志市誌』 真和志市 1956年 『沖縄大百科事典』 沖縄タイムス社 1983年 『思い出のわが町』 沖縄タイムス



第1図 那覇市の位置



第2図 ナーチュー毛古墓群及び那覇市内の主な古墓群

第Ⅲ章 調査経過と調査組織

第1節 調査経過

1. 第1次調査

ナーチュー毛と称された丘陵の南側に所在する第 $1\sim49$ 号墓までの調査を 1993 (平成 5) 年 4 月 20日から実施した。

まず、土砂の除去および遺構の確認を行なうため、バックホーを使用した作業が丘陵の頂部周辺から 行われた。

作業が進行するに従って、厚く堆積した造成土の下から埋もれた状態の古墓が新たに検出され始めた。このような状況から、遺構は、分布調査時において確認されていた基数 (20 基)以上に増加することが予測された。これは「銘苅古墓群南地区」の墓域においても同じ様相を呈しており、米軍接収時の造成がいかに大規模なものであったことを物語っている。また、不発弾の発見も相次ぎ、慎重な作業運びとなった。

6月以降、ある程度の遺構面が露出した時点で手掘りによる作業に切り替え、検出された順に番号を付した。そのため、遺構の配置については必ずしも規則的に並んでいない(第4図)。

調査が進行するに従い、調査区の北西に位置する第24号墓(第24図)および第37号墓(第27図)で興味深い成果が得られた。第24号墓は、保存状態が極めて良好で、墓室内から専用・転用蔵骨器が多数確認された(PL.9・10)。これらの蔵骨器について検出状況の写真撮影を行なった後、略図を作成しながら個体毎に番号を付して取り上げた。第37号墓では、墓口正面壁の左側に「ト」状、同右側に「¬」状、墓室奥タナ正面壁の左側に「+」状、右側に「P」状の陰刻が確認されている。

12月に入り、スカイマスターを利用して遺跡の全体撮影などを行った。

一方、掘り下げ作業と平行しながら、第 20・23・39 号墓の実測(第 21・23・28 図)と第 33 号墓室内 (PL. 10) および第 41 号墓室内の人骨出土状況詳細図に関しての作業を調査員・調査補助員・発掘調査作業員等で行った。他の遺構の実測図(保存状態の良好な古墓を選択して合計 28 基)および遺構配置図に関しては、写真測量・平板測量で対応することとし、1994(平成 6)年 2 月、業者に委託した。その後、現地補足調査などを行なって 1994(平成 6)年 3 月 15 日、現地作業を終了した。

2. 第2次調査(北地区)

墓域の北側に所在する第 $1\sim11$ 号墓 (第 5 図) までの調査を 1994 (平成 6 年) 年 11 月 29 日から実施した。

本墓域は、第 I 章でも述べたとおり、公団による区画整理作業中に発見されたものである。公団と市教委で、古墓の現地確認作業や遺跡範囲の確認作業を 11 月 15 日~ 24 日に行った後、発掘調査に至った

発見当初は、8 基の古墓が確認されていた本地区においても、調査が進行するに従い、新たに3 基検出され、合計 11 基の調査となった。

発掘調査は、墓室および墓庭の保存状態を確認し、手掘りによる作業から始めた。遺構は、屋根部や墓庭部が削平された状況にあったが多くの成果を得ることができた。特に注目された遺構は第8号墓である。蔵骨器が墓室のタナに安置された状態で4個体、シルヒラシドゥクルに1個体が確認された(PL. 12)。石灰岩製の蔵骨器には、「大清康熙・・・」などの墨書(銘書:ミガチ)が見られた。

調査区周辺はすでに造成作業が進行しており、発掘調査については、スピードアップが求められ、多数の人員の労力を要した。掘り下げ作業が終了し次第、遺構の詳細図作成(第 29 ~ 31 図)の作業を行った。

1994 (平成6) 年12月20日、スカイマスターを利用して遺跡の全体撮影などを行って現地作業を終了した。

第2節 調査組織

本遺跡の調査組織は次のとおりである。

調査責任者	那覇市教育委員会	教育長		嘉手納 是敏	(平成5年度~平成9年度)
"	"	"		渡久地 政吉	(平成 10・11 年度)
"	n	文 化 課	課長	高江洲 隆	(平成5年度~平成7年度)
調査責任者及	とび調査総括	文化財課	<i>"</i>	金武 正紀	(平成8年度~11年度)
調査総括		文 化 課	主幹	金武 正紀	(平成5年度~平成7年度)
調査事務		文化財課	主幹兼係長	古塚 達朗	(平成8~10年度)
"		文 化 課	係長	新城 和範	(平成5年度)
"		"	"	仲間 健幸	(平成6年度)
n,		"	n,	佐久川 馨	(平成7・8年度)
"		文化財課	n	真境名 充子	(平成11年度)
"		文 化 課	主任主事	手登根 朗	(平成5年度)
n		"	<i>II</i>	我那覇 生男	(平成6年度~9年度)
"		文化財課	"	親川 登	(平成9年度~11年度)
"		文 化 課	主事	赤嶺 優子	(平成5年度~平成7年度)
"		文化財課	"	照屋 幸美	(平成8年度~10年度)
"		文 化 課	臨時職員	譜久嶺なつ子	(平成5年度)
"		"	"	本永 裕美	(")
n		"	"	嘉手納 可枝	(平成6年度)
n,		"	"	嶺井 奈々	(平成7年度)
"		"	"	嘉数 綾子	(平成8年度)
"		文化財課	"	平良 優香	(平成9年度)
"		"	"	宮城 晶	(平成 10 年度)
"		"	"	仲間 利恵子	(平成 11 年度)

発掘調査担当	文化財課	主 査	島 弘
H	"	主任主事	内間 靖(現、那覇市立壺屋焼物博物館)
H	"	"	玉城 安明
II .	"	主 事	仲宗根 啓
II .	"	<i>II</i>	當問 麻子
#	"	n,	當銘 由嗣
<i>II</i>	文 化 課	調査補助員	宮里 末廣(平成5年度)
"	"	"	山城 直子(平成5・6年度)
"	"	"	渡久地 真(平成5・6年度)
"	"	"	大城 一成(平成5年度)
"	"	"	渡久地政嗣(平成6年度)
n	"	"	城間千栄子(平成 5・6 年度)
<i>n</i>	"	"	栗山 初美(平成6年度)
<i>II</i>	"	"	宮良 文子(平成6年度)

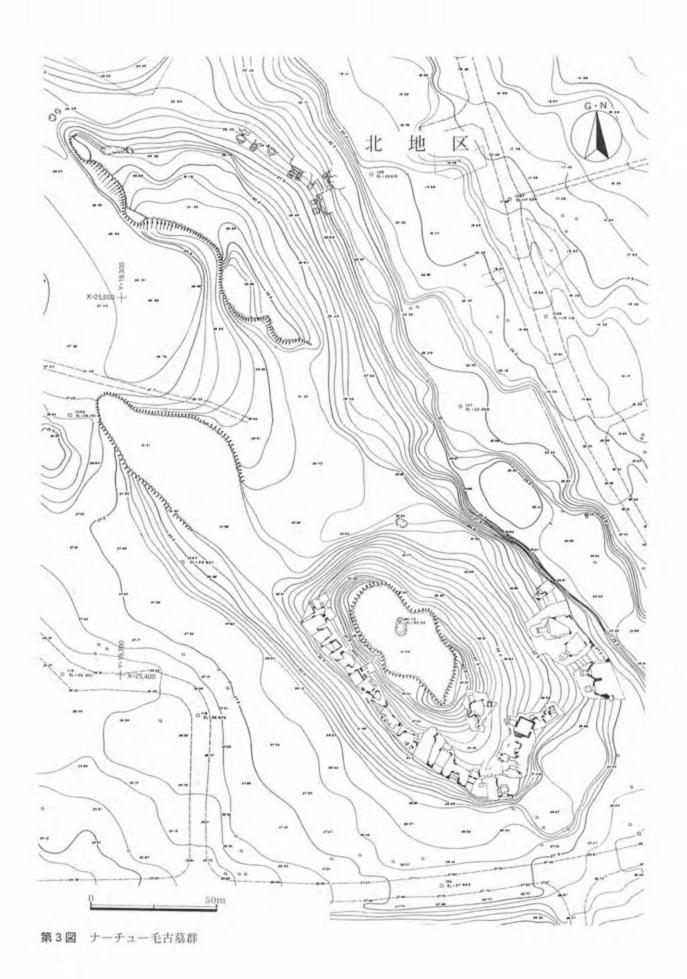
発掘調查作業員

第1次調査

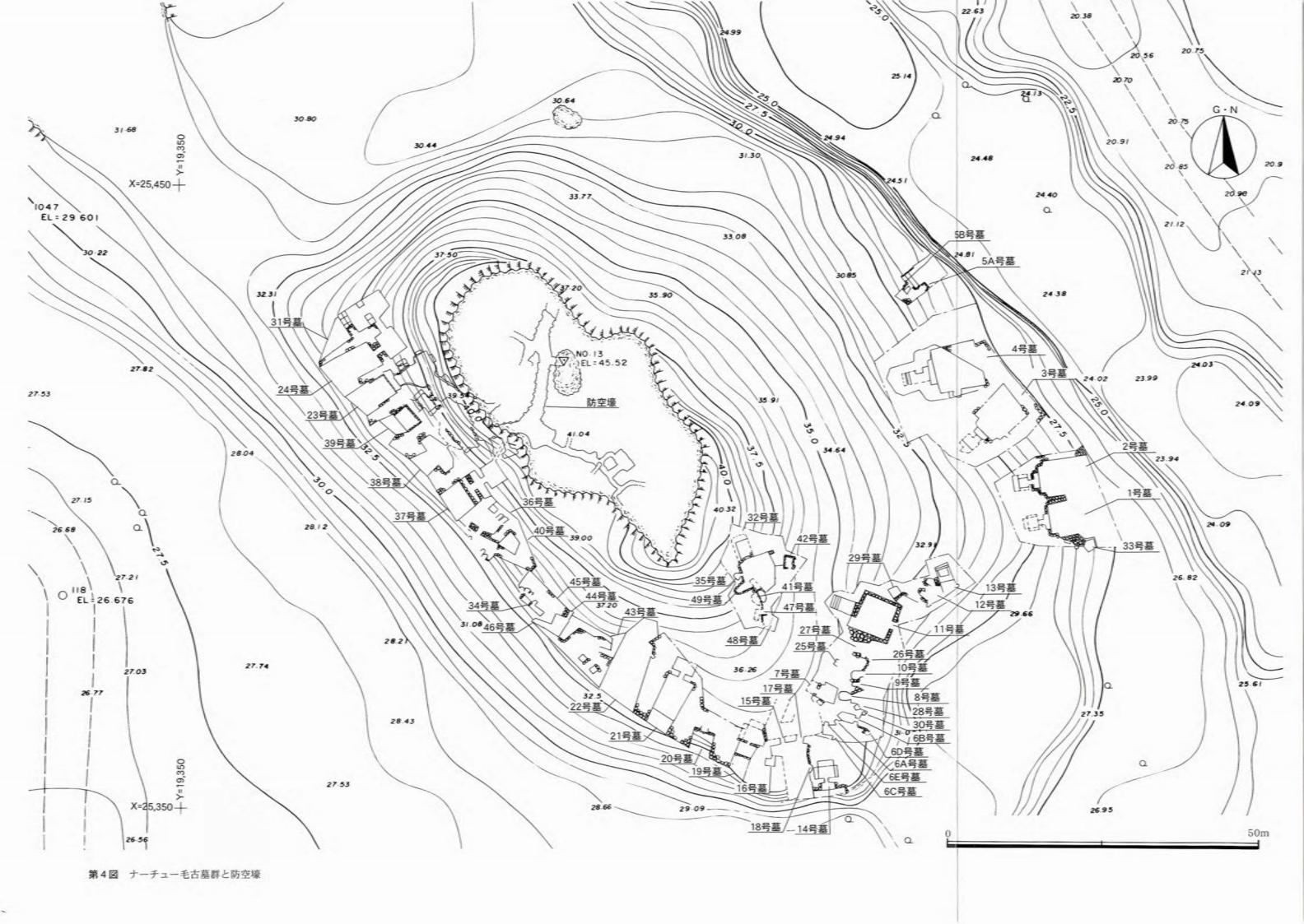
安里セツ子 安次嶺政寿 阿波根栄子 新垣キク 新垣キヨ 新垣チヨ 新垣ヒデ 新垣安太郎 石嶺米子 伊舎堂ハツ 稲福フミ子 伊禮ヒロ子 大城節子 大城敏子 大宜見より子 太田吉光 奥浜悦子 翁長スミ子 小那覇美恵子 嘉味田千枝子 喜舎場盛安 金城郁恵 金城スミ子 金城直子 金城春江 具志堅全勢 國吉康孝 古閑敬士 小橋川徳子 小浜信子 呉屋盛三 呉屋救 島袋キヨ子 島袋節子 謝敷時子 城間初子 城間ハル子 新里準子 洲鎌武雄 瑞慶覧長祐 平良ヤス子 棚原ノリ子 玉城信子 知花まさ子 津波古充政 津波古朝子 津波古トヨ 津波古美津江 津波古よし子 照喜名武子 桃原佐恵美 當銘由嗣 渡慶次和子仲里春子 中塚末子 並里富子 羽地恵雄 比嘉すが子 平安名哲子 真栄城千枝子 真栄城力 宮城悦子 宮城澄子 宮国恵子 宮平カメ子 諸見里豊子 吉富睦子 与那城好子 与那嶺勢津子 仲村トヨ子

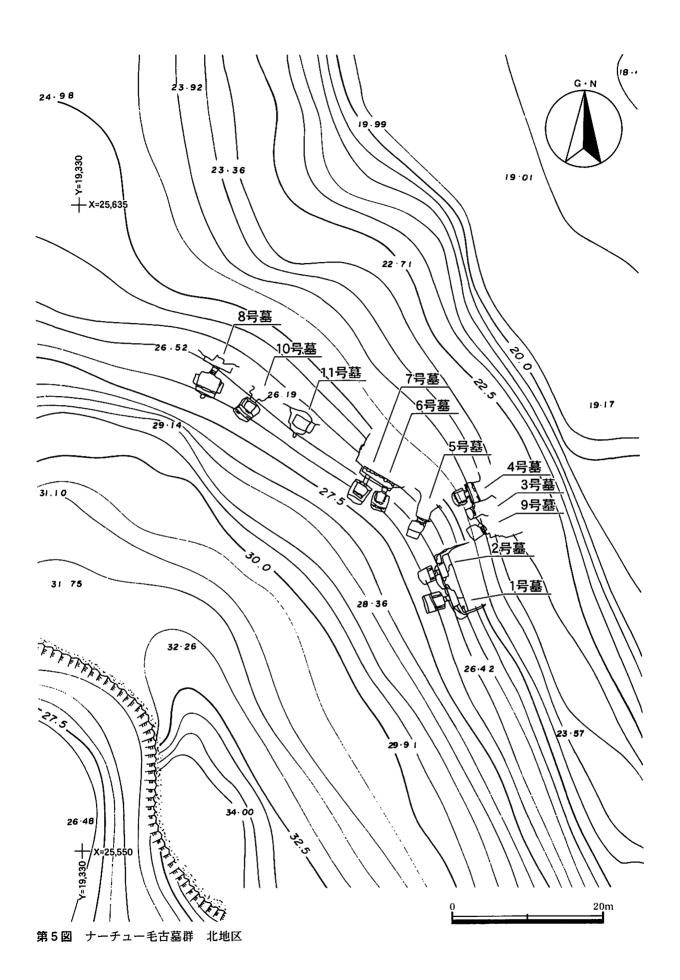
第2次調査

安里セツ子 安次嶺政寿 阿波根栄子 新垣キク 新垣キヨ 新垣清太郎 新垣チヨ 新垣ヒデ 新垣安太郎 新垣良子 新崎真利子 石嶺米子 伊舎堂ハツ 稲嶺盛一郎 伊禮ヒロ子 上原藤子上原康 大城節子 大城敏子 大宜味より子 太田吉光 大嶺愛子 奥浜悦子 翁長スミ子 勝連誠 兼次宏吉 嘉味田千枝子 亀谷長範 亀谷ハツ 喜舎場盛安 金城郁恵 具志堅全勢 小橋川徳子 小浜信子 呉屋盛三 呉屋救 佐久本靖治郎 島袋節子 謝敷時子 城間ハル子 新里準子 洲鎌武雄 瑞慶覧長祐 竹中利佳 棚原ノリ子 玉城史子 玉城裕章 知花まさ子 津波古充政 津波古朝子 津波古トヨ 津波古美津江 津波古よし子 照喜名武子 桃原佐恵美渡慶次和子 中塚末子 中原ミツ子 仲村トヨ子 並里富子 比嘉賀秀 平安名哲子真栄城千枝子 宮城悦子 宮城恵子 宮城新一 宮城澄子 宮国恵子 宮平カメ子 三輪美佐子諸見里豊子 山内利江子 与那城健一 与那城好子 与那嶺勢津子 金城スミ子



-8-





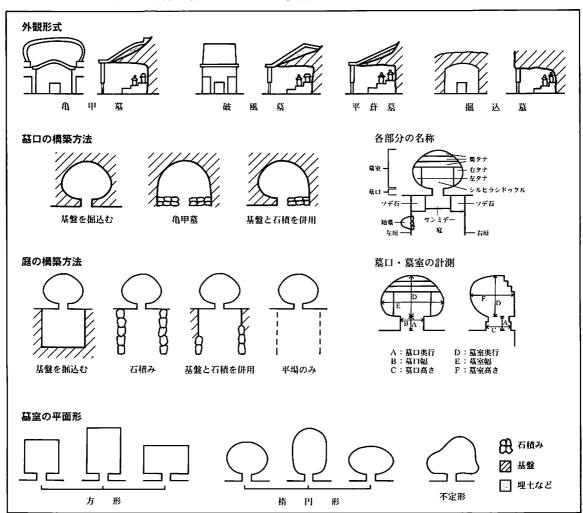
第Ⅳ章 遺 構

本古墓群では、合計 60 基(北地区 11 基を含む)の古墓が確認された。ここでは、遺構の観察を第7 ~31 図の下に表を設けて略記しており、その中で使用した語句などについて触れておきたい。

立地場所の基盤:琉球石灰岩に掘込まれるものとその風化土(赤土、方言でマージ)に構築されるものがみられた。本古墓群の立地上、青灰色粘土(方言でクチャ)や微粒砂岩(方言でニービ)を掘込むものは確認されていない。外観形式:掘込墓・亀甲墓に分けられる。なお、外観の判然としないもの(破風墓・平葺墓などの可能性があるものも見られる)は掘込墓とした。墓口の構築方法:基盤のみを掘込むタイプと石積みを使用するタイプ、その両方を併用するタイプがある。庭の構築方法:基盤のみを掘り込むタイプと石積みによって庭の区画を造るタイプ、その両方を併用するタイプ、平場のみを有するタイプがある。墓室の平面形:方形・楕円形・不定形に分けられる。

また、墓の各部名称は、発掘調査時において使用していた語句を用いた。ちなみに、墓庭の左右を区切る構造物を「垣」、墓口の前面にある壇を「サンミデー」、墓室内で棺を安置して一次葬を行っていた場所を「シルヒラシドゥクル」、墓室内に蔵骨器を安置する場所を「タナ」と呼称した。

以上の内容を第6図の凡例模式図に示したので参照していただきたい。



第6図 遺構観察の凡例模式図

次に、遺構の特徴について概観する。本遺跡における遺構のタイプは「類~Ⅳ類に分けられる(第1表)。「類は、亀甲墓。銘苅古墓群南地区 B地区第 19・31 号墓と類似する外観である。しかし、装飾の程度、屋根の状況、左右の垣の造りなどに違いが見られることでラフなイメージを受ける。 II 類は、主に墓室の「タナ」が出窓状になるタイプ。類似するタイプは、安謝西原古墓群などで見られるが、本市において検出されている主な造りとは趣を異にする。また、その中には、墓室を前後に二室設けるタイプも確認されている。外観は、破風墓あるいは平葺墓になるとも考えられたが、上部が削平されていたため判然としない。 II 類は、遺構全体に小規模で造りも簡素なものである。 IV 類は、緩やかな斜面に竪穴を掘込み、壁や屋根を石積みによって構築するタイプ。それらの分布を見ると、遺跡の北側(北地区第8・10・11 号墓)および南側丘陵の南西斜面に II 類(第19・21~24・31・37~39 号墓など)、同丘陵北東斜面に I 類(第1~4・11・32 号墓)、同丘陵南東斜面に、III 類(第6~10・25~28・30 号墓)が占地する。このような分布状況と出土遺物を組み合わせて検討することにより、遺構の構築された時期の変遷を窺い知る手掛かりになることが考えられる。ちなみに、第23・37・38・39 号墓、15・17・19 号墓は、墓室が改変され防空壕が構築されていた(第4図、PL.11)。

以上、本古墓群における遺構の特徴を簡記した。今後は、遺構の時間的な変遷なども視野に入れ、さらに多様な情報を加味して整理された分類を行うことが必要になると考える。

- 註1 『銘苅古墓群(I)』 那覇市教育委員会 1998年3月
 - 2 『安謝西原古墓群』 那覇市教育委員会 1993年3月
 - 3 『埋蔵文化財発掘調査ニュースNo.7 安謝西原古墓群』 那糊市教育委員会 1998年3月

参考文献

『那覇市歴史地図』 那覇市教育委員会 1987年

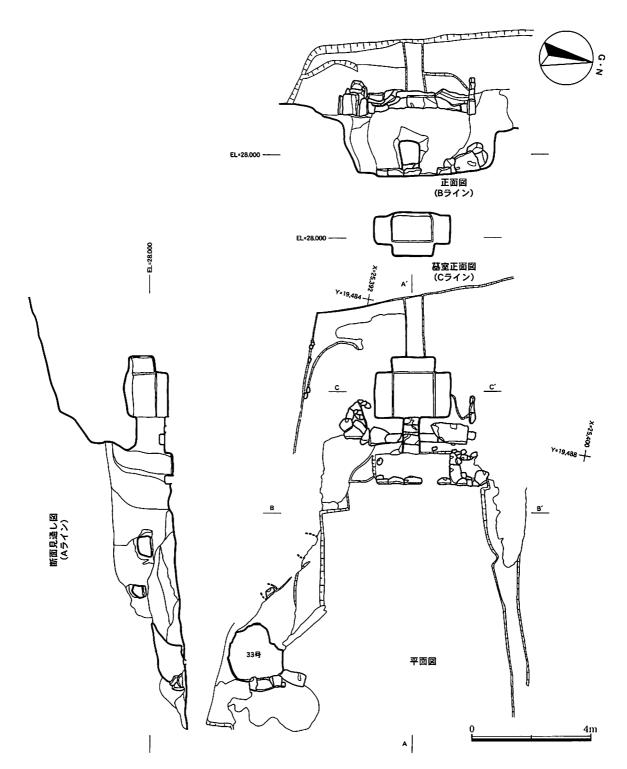
『那覇市史 資料篇 第2巻中の7 那覇市の民俗』 那覇市企画部市史編集室 1979年

名嘉真宜勝・恵原義盛 『沖縄・奄美の葬送・墓制』 明玄書房 1979年

高宮廣衛・名嘉真宜勝 「沖縄の墓地-主として亀甲墓について-」『墓地』 社会思想社 1975年 『シンポジウム南東の墓-沖縄の葬制・墓制』 (有) 沖縄出版 1989年

第1表 遺構の特徴的違い

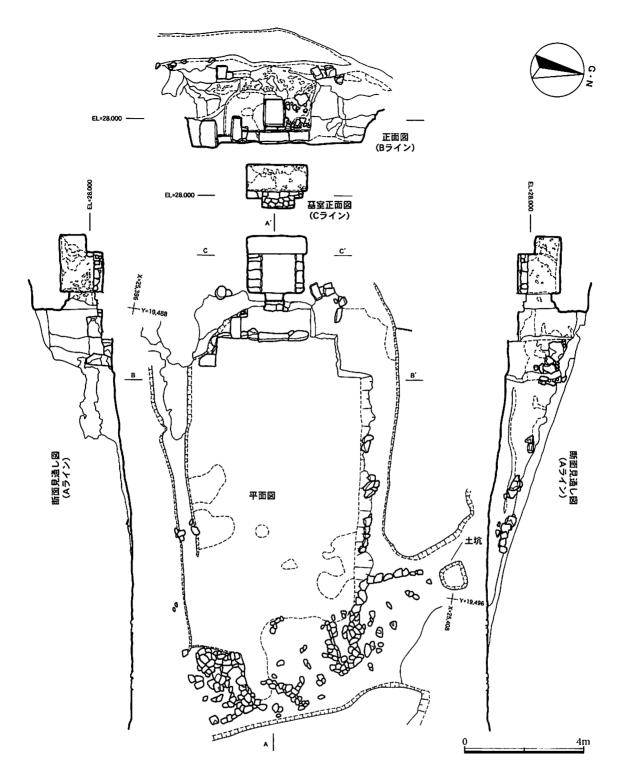
類	構造	外	観	墓庭	地形	遺構番号	
知	件担	屋根	正面(墓口)	基 庭	地沙		
【類	掘込み (横穴)	亀甲墓	石積み	基盤を掘込む+石積み	斜面	1~4, 11·32	
Ⅱ類	掘込み (横穴)	不 明 (破風墓・平葺墓 の可能性有)	基盤を掘込む	基盤を掘込む+石積み	斜面	19·21~24 31·37~39 北8·10·11	
Ⅲ類	掘込み (横穴)	装飾なし	石積み	基盤を掘込む 基盤を掘込む+石積み 平場のみ	斜面	30 $6 \sim 10, 25 \sim 28$	
Ⅳ類	掘込み (竪穴)	不明	石積み	石積み	斜面	5	



単位:cm

	外		墓口				墓室	タナ数	
立地場所	観	墓口構築	奥行	庭の構築	サンミテ・ー	墓室の	奥行	奥	特 徵
の基盤	形	の方法	幅	方法	の有無	平面形	幅	右	
	圱		高さ				高さ	左	
琉球	40	基盤を掘	120	基盤と石	有	方形	200	1	庭より骨小片検出。屋根部は切石を用いる。庭の左側
石灰岩	甲	り込む	55	積みを併			255	1	に33号墓。その墓室内から一次葬の人骨と蔵骨器4基
	墓		95	用する			144	1_	検出。

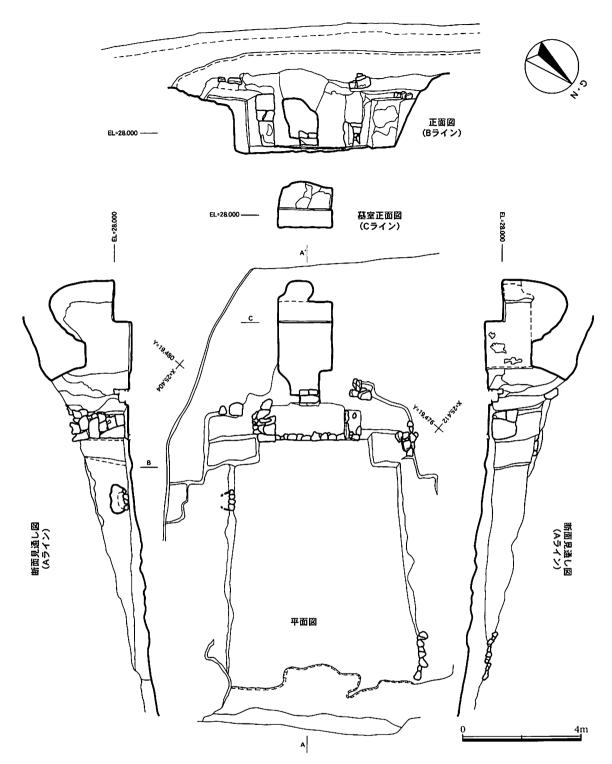
第7図 1号墓実測図



単位:cm

	外		墓口				墓室	タナ数	
立地場所	観	墓口構築	奥行	庭の構築	サンミデー	墓室の	奥行	奥	特 徵
の基盤	形	の方法	幅	方法	の有無	平面形	幅	右	
	式		高さ				髙さ	左	
琉球	亀	基盤を掘	60	基盤と石	有	方形	192	1	形態・規模などは1号墓と類似する。募室内から2~
石灰岩	甲	り込む	65	積みを併			200	1	3個体の蔵骨器検出。No2は原位置を保つ。墓庭外遺
	慕		95	用する			143_	1	構内より人骨小片検出。

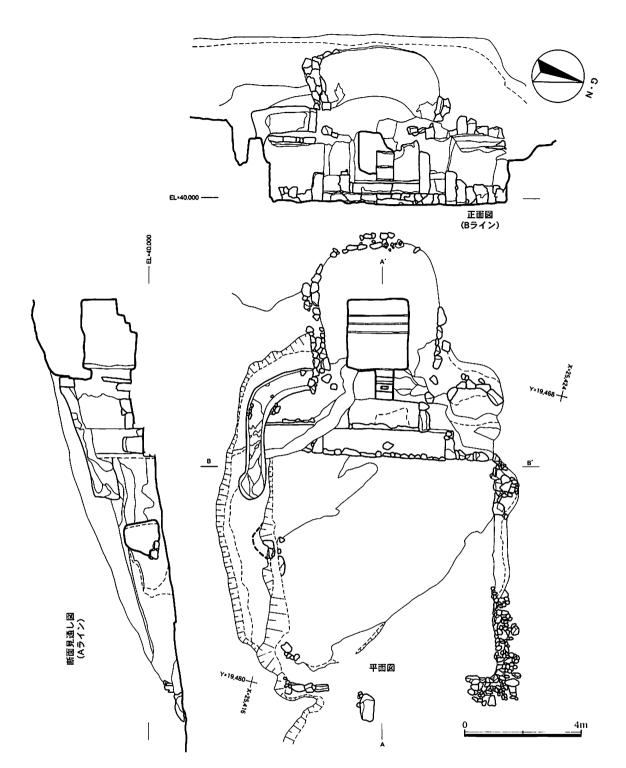
第8図 2号墓実測図



単位:cm

	外		墓口				墓室	タナ数	
立地場所	観	墓口構築	與行	庭の構築	サンミデー	墓室の	奥行	奥	特 徵
の基盤	形	の方法	幅	方法	の有無	平面形	幅	右	
	注		高さ				高さ	左	
琉球	10	基盤を掘	(110)	基盤と石	有	方形	300	l	墓室内より人骨検出。左右のタナは壊された可能性あ
石灰岩	甲	り込む	66	積みを併			180	_	り。庭左側に袖墓あり。
	荔		不明	用する			151		

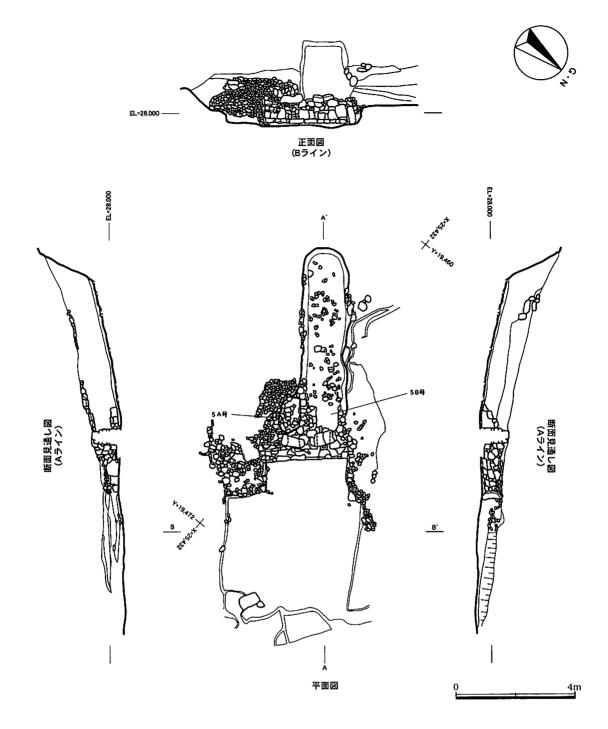
第9図 3号墓実測図



単位:cm

	外		墓口				墓室	タナ数	
立地場所	観	墓口構築	奥行	庭の構築	サンミデー	墓室の	奥行	奥	特 徵
の基盤	形	の方法	幅	方法	の有無	平面形	幅	右	
	式		高さ				高さ	左	
琉球	龟	基盤を掘	102	基盤と石	有	方形	238	3	「幕室内シルヒラシドゥクルから木組み遺構(木棺か)
石灰岩	甲	り込む	58	積みを併			210	-	検出。庭左側に袖墓あり。
	墓		134	用する			180	_	

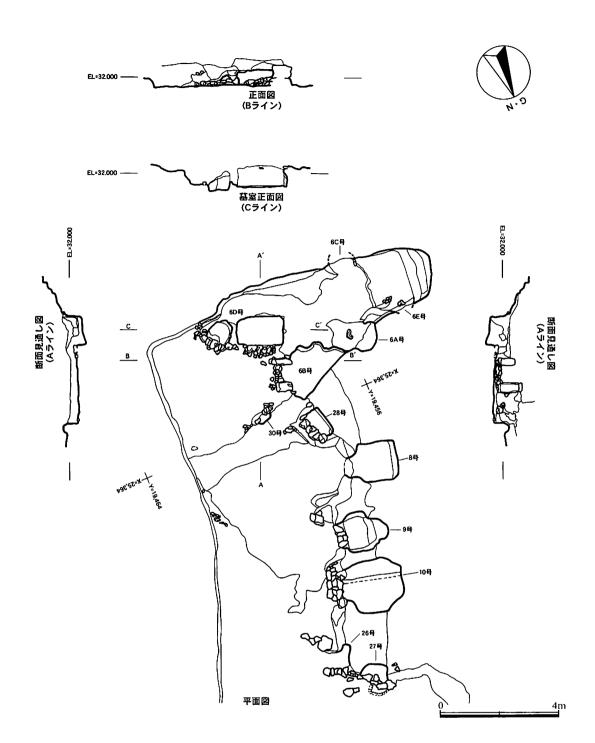
第10図 4号墓実測図



単位:cm

墓番号	立地場所 の基盤	外観形式	墓口構築 の方法	墓口 奥福 高さ	庭の構築 方法	サンミデー の有無	墓室の 平面形	墓室 奥行 幅 高さ	タナ数 奥 右 左	特 徵
5 A	琉球	不	石積み	不明	石積み	有	楕円形	(130)	-	赤土を掘り込んで構築し、壁面および床面は
号茲	石灰岩の			46		(共有)		70	_	琉球石灰岩礫を積み上げる。墓室内から蔵骨
	風化土	明		(52)				不明	_	器 5 基検出。No2内の人骨を鑑定。
5 B	n	n	"	72	"	有	楕円形	不明	_	造りは5A墓と同様。5A墓との境は切石積
号墓				46		(共有)	か	70	_	みで区切る。墓室内に蔵骨器3個体分検出。
				(56)				不明		No3内の人骨を鑑定

第11図 5A号墓・5B号墓実測図

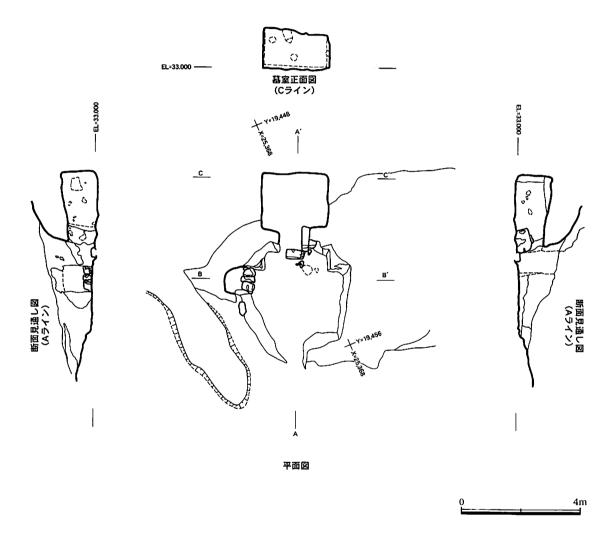


単位:cm

										-1-13: · ¢iii
		外		墓口				墓室	タナ数	
基番号	立地場所	観	嘉口構築	奥行	庭の構築	サンミデ・ー	墓室の	奥行	奥	特徵
	の基盤	形	の方法	幅	方法	の有無	平面形	幅	右	
		式		高さ				高さ	左	
6 B	琉球	掘	石積み	不明	基盤と石	無	不定形	_	_	墓室内より人骨片検出。
号墓	石灰岩	込		(88)	積みを併			-	_	
		墓		不明	用する					
6 D	"	"	n	(42)	平場のみ	"	p	96	_	墓室内より蔵骨器 5 基検出。No1・2内の人骨
号墓	İ			(78)		j		156	-	鑑定。Na 5 内には焼骨あり。
				不明				不明	_	

第12図 6B号墓・6D号墓実測図

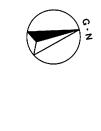




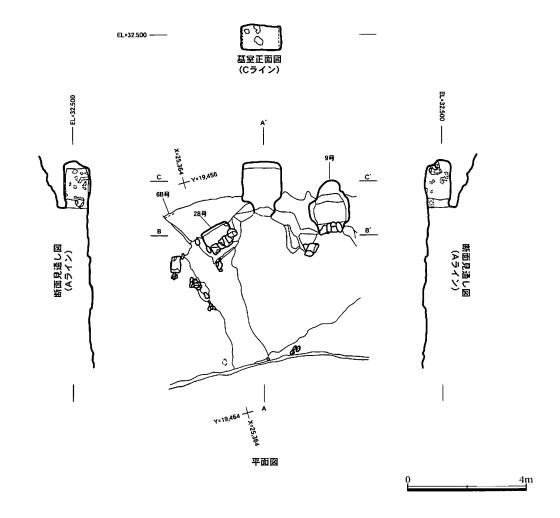
単位:cm

	外		墓口				幕室	タナ数	
立地場所	鼰	墓口構築	奥行	庭の構築	サンミテ・ー	幕室の	奥行	奥	特 徵
の基盤	形	の方法	幅	方法	の有無	平面形	幅	右	
	式		高さ				高さ	左	
琉球	掘	基盤と石	80	岩盤をは	無	方形	180	-	墓室内から人骨小片検出。庭から転用蔵骨器検出。中
石灰岩	込	積みを併	不明	つる			222	_	はサンゴ礫。庭左側に袖墓あり。その墓室内より焼骨
	墓	用	88				120		片検出。

第13図 7号墓実測図





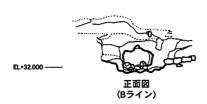


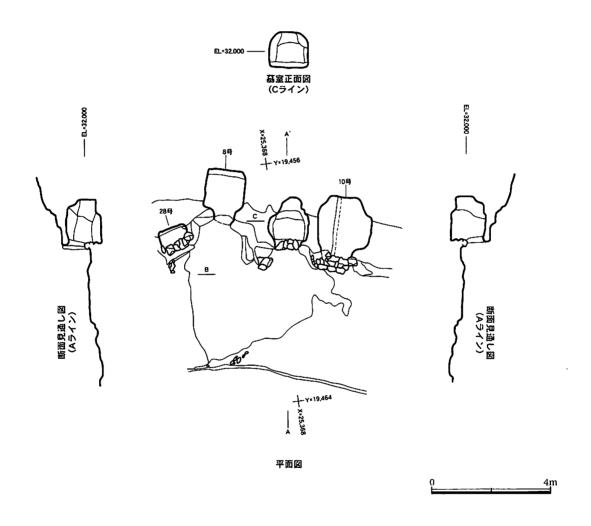
単位:cm

	外		墓口				墓室	タナ数	
立地場所	観	墓口構築	奥行	庭の構築	サンミデー	墓室の	奥行	奥	特徵
の基盤	形	の方法	幅	方法	の有無	平面形	幅	右	
	式		高さ				高さ	左	
琉球	掘	石積み	(30)	基盤をは	無	方形	136		庭より焼骨を含む人骨片検出。
石灰岩	込		60	つって平			132	_	
	墓		70	場を造る			88	_	

第14図 8号墓実測図



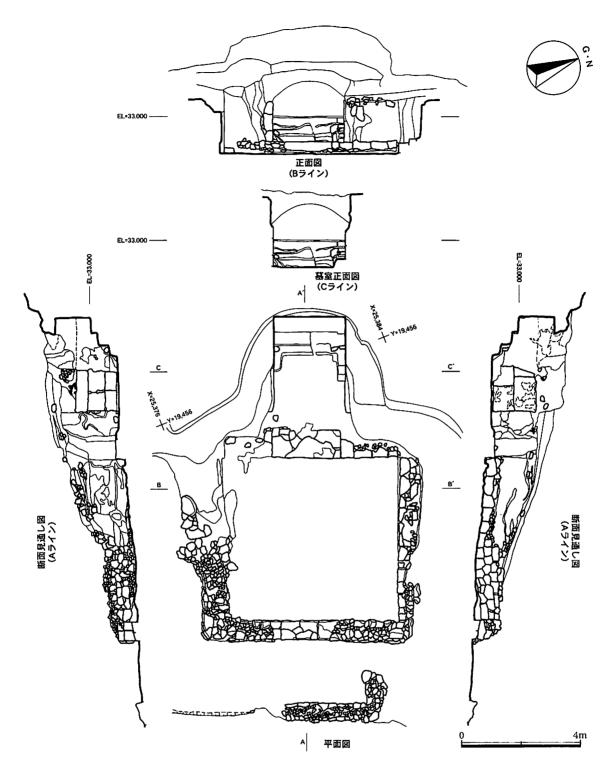




単位: cm

	外		墓口				茲室	タナ数	
立地場所	観	墓口構築	奥行	庭の構築	サンミデー	墓室の	奥行	奥	特
の基盤	形	の方法	幅	方法	の有無	平面形	幅	右	
	式		高さ		1		高さ	左	
琉球	捆	石積み	22	基盤をは	無	方形	95	_	「墓室奥側は二次的に掘り込まれたものと見られる。墓
石灰岩	込		62	つって空			120	_	室内から検出された蔵骨器の中および庭から人骨片検
	盘		66	間を造る			115		出。

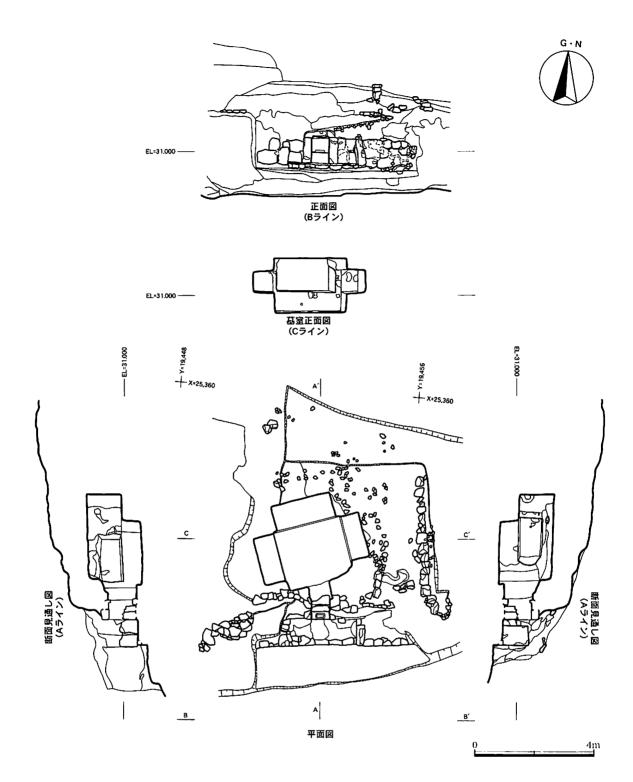
第15図 9号墓実測図



単位:cm

	外		墓口				墓室	タナ数	
立地場所	観	墓口構築	奥行	庭の構築	サンミデ・ー	墓室の	奥行	奥	特 徵
の基盤	形	の方法	幅	方法	の有無	平面形	幅	右	
	式		高さ				高さ	左	
琉球	甁	石積みと	不明	基盤と石	有	方形	不明	3	屋根部の破壊が著しいため外観の形態は判然としない
石灰岩	甲	見られる	"	積みを併			240	1	が亀甲墓かと見られる。墓室内で木組み遺構・人骨片
	墓		"	用する			(208)	1	検出。庭の外に参道を設ける。

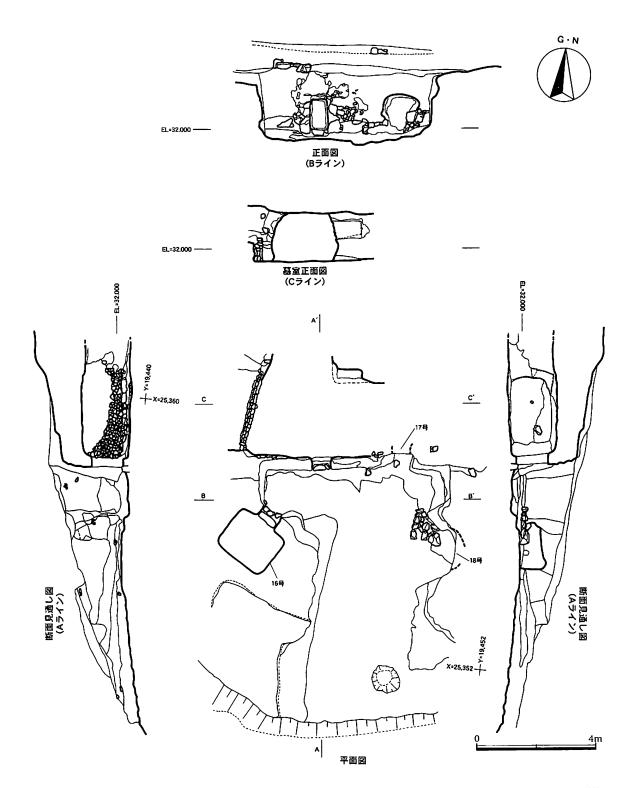
第16図 11号墓実測図



単位:cm

	外		墓口		-		墓室	タナ数	
立地場所	観	墓口構築	奥行	庭の構築	サンミデ ー	墓室の	奥行	奥	特 徵
の基盤	形	の方法	幅	方法	の有無	平面形	幅	右	
	大		髙さ				高さ	左	
琉球	破	基盤と石	117	基盤をは	有	方形	288	1	墓の中心ラインに対し、墓室は約15度左に傾く。
石灰岩	風	積みを併	60	つって平			362	1	タナは「出窓状」に掘り込まれる。庭左側に転用蔵骨
	墓	用	92	場を造る			180	1	器(小壺)が検出。

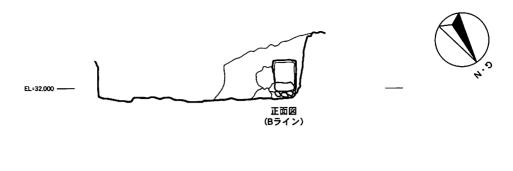
第17図 14 号墓実測図



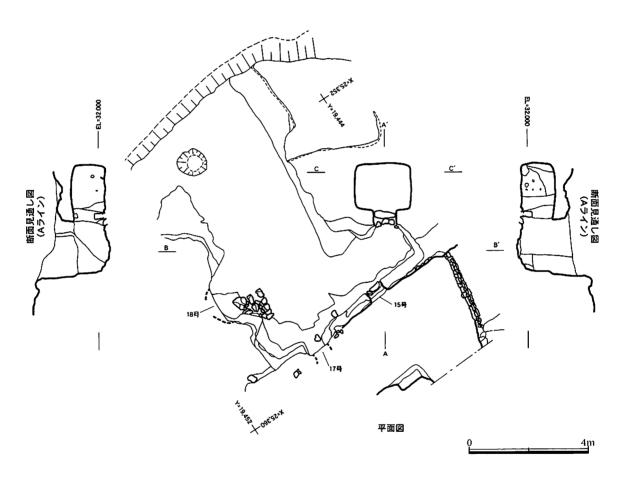
単位:cm

								_	——————————————————————————————————————
	外		墓口				墓室	タナ数	
立地場所	観	墓口構築	奥行	庭の構築	サンミテ'ー	嘉室の	奥行	奥	特 徴
の基盤	形	の方法	幅	方法	の有無	平面形	幅	右	
	注		髙さ				髙さ	左	
琉球	破	基盤と石	40	基盤をは	不明	方形	不明	1	墓室内は防空壕によってかなり改変を受け、17・19号
石灰岩	風	積みを併	62	つって平			"	(1)	墓を貫通して北側に延びる。タナは「出窓状」に掘り込
	幕	用	106	場を造る			"		まれる。庭より人骨片検出。

第18図 15 号墓実測図



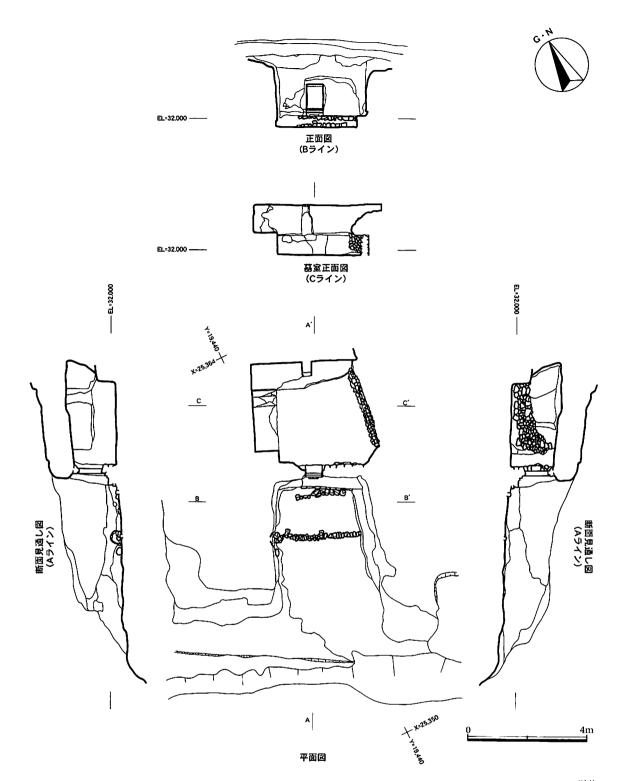




単位:cm

	外		墓口				墓室	タナ数	
立地場所	観	墓口構築	奥行	庭の構築	サンミテ・ー	幕室の	奥行	奥	特 徵
の基盤	形	の方法	幅	方法	の有無	平面形	幅	右	
	式		高さ			·	高さ	左	
琉球	掘	基盤を掘	45	基盤をは	不明	方形	155	-	墓室内より4個体分の転用蔵骨器検出。Na2周辺の
石灰岩	込	り込む	70	つって平			190	_	人骨を鑑定。
	幕		100	場を造る			115	_	

第19図 16 号墓実測図

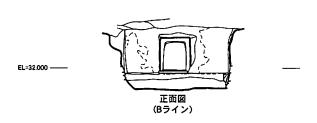


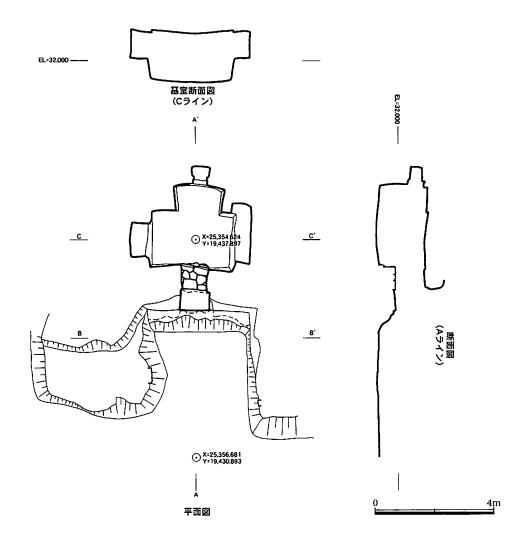
単位:cm

	外	i -	墓口				嘉室	タナ数	
立地場所	観	墓口構築	奥行	庭の構築	サンミテ'ー	藝室の	奥行	奥	特 徴
の基盤	形	の方法	幅	方法	の有無	平面形	幅	右	
	式		髙さ				高さ	左	
琉球	掘	基盤を掘	30	基盤をは	有	方形	340	1	墓室右タナは防空壕によって改変される。タナは「出窓状」
石灰岩	込	り込む	56	つって平			不明	1	に掘り込まれる。 墓室内から 7 基の蔵骨器、一次葬人骨、
	墓		82	場を造る			166	1	鉄釘など検出。Na3内の人骨を鑑定。

第20図 19 号墓実測図



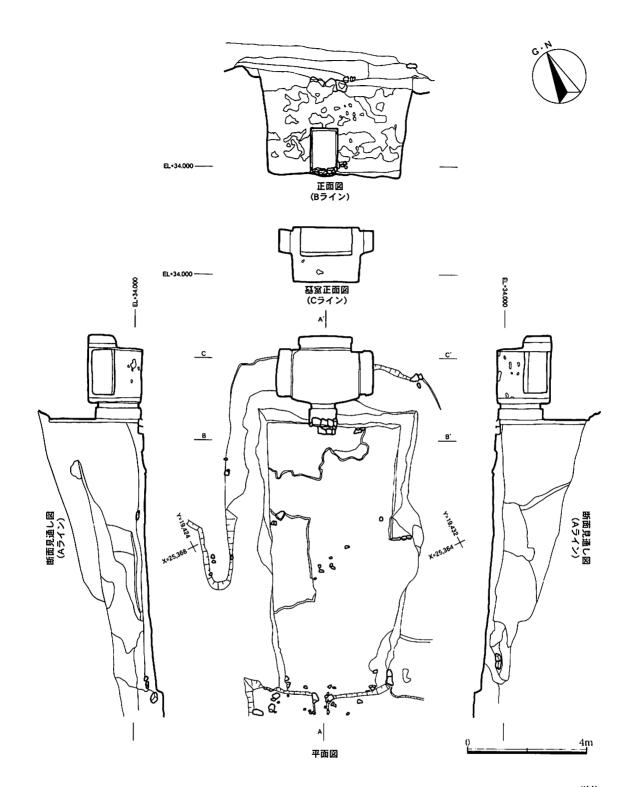




単位:cm

									<u> </u>
	外		墓口				墓室	タナ数	
立地場所	観	墓口構築	奥行	庭の構築	サンミテ'ー	墓室の	奥行	奥	特 徵
の基盤	形	の方法	幅	方法	の有無	平面形	幅	右	
	웇		高さ				高さ	左	
琉球	掘	基盤を掘	76	基盤をは	有	方形	277	1	正面は広範囲に漆喰で補修。奥タナには「出窓状」の
石灰岩	込	り込む	98	つって空			403	1	小さな掘り込みがみられる。墓庭から人骨片が出土。
	墓		98	間を造る			163	1	

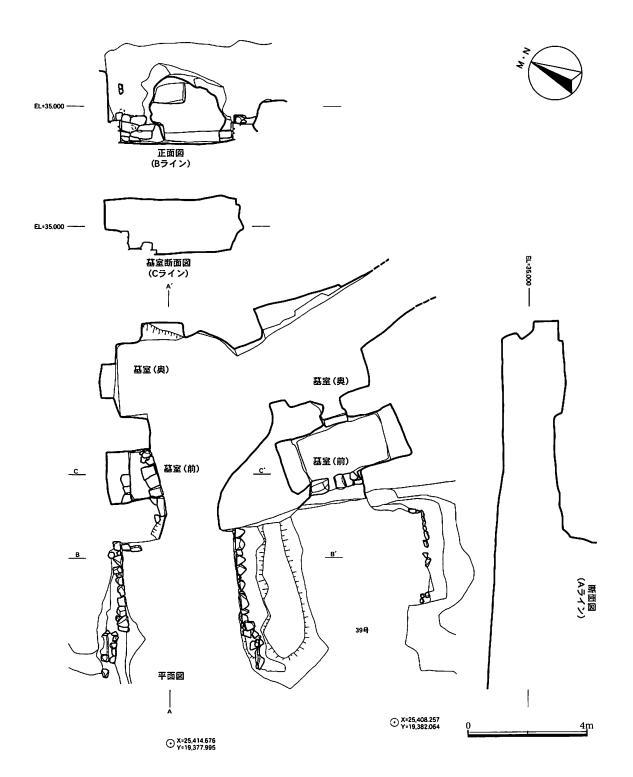
第21図 20 号墓実測図



単位:cm

	外		墓口				墓室	タナ数	
立地場所	観	墓口構築	奥行	庭の構築	サンミデ・ー	墓室の	奥行	奥	特徵
の基盤	形	の方法	幅	方法	の有無	平面形	幅	右	
	式	_	高さ				高さ	左	
琉球	掘	基盤を掘	52	基盤をは	不明	方形	228	1	タナは「出窓状」に掘り込まれる。庭左隅には小穴を
石灰岩	込	り込む	90	つって平			324	1	│ 掘り込み、転用蔵骨器を据え瓦を蓋として被せた状況 │
	墓		148	場を造る			180	1	が確認された。

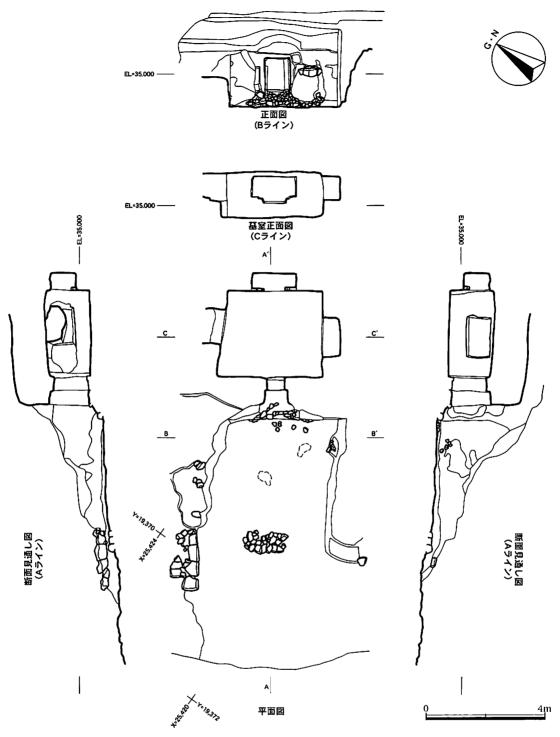
第22図 21 号墓実測図



単位:cm

	外		墓口	*			墓	室	タラ	ナ数	
立地場所	観	墓口構築	奥行	庭の構築	サンミテ' ー	墓室の	奥	行	Ŋ	赳	特 徵
の基盤	形	の方法	幅	方法	の有無	平面形	ф	福	7	5	
	疘		高さ				髙	さ	1	Ե	
琉球	掘	不明	不明	基盤と石	不明	方形	前	奥	前	奥	墓室は2重構造。奥墓は防空壕によって改変さ
石灰岩	込		不明	積みを併			_	(320)	_	1	れ39号墓奥室へと延びる。墓室内などから人骨
	墓		不明	用する			_	_	_	-	片検出。
							180	212	1	1	

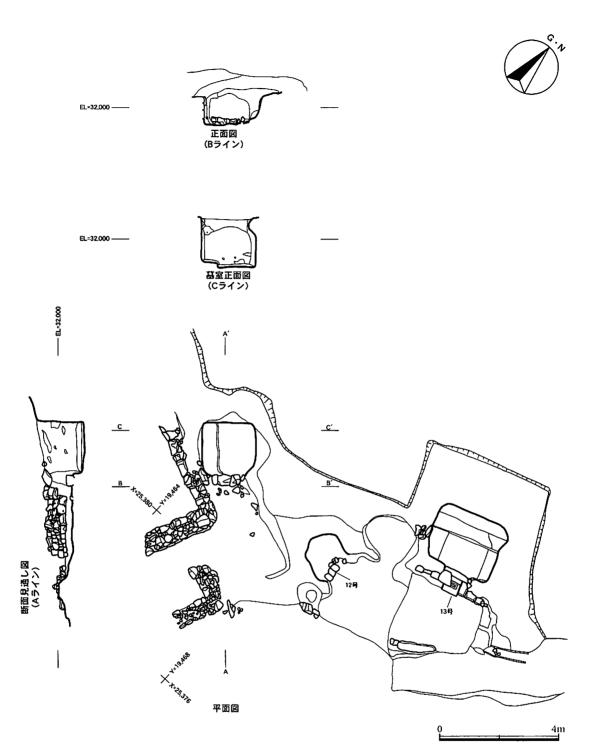
第23図 23号墓実測図



単位: cm

	外		墓口				墓室	タナ数	
立地場所	観	墓口構築	奥行	庭の構築	サンミデー	墓室の	奥行	奥	特 徵
の基盤	形	の方法	幅	方法	の有無	平面形	幅	右	
	ጟ		高さ				高さ	左	
琉球	掘	基盤を掘	98	基盤と石	有	方形	348	1	タナは「出窓状」に掘り込まれる。特に臭タナの造りは精緻で木の扉を有していた可能性がある痕跡あり。
石灰岩	込	り込む	85	積みを併			460	1	募室内から1~26基の賃貸器(転用も含む)が検出。Na 1~7は原位置を保っていると考えられる。
	慕		116	用する			152	1_	No.10・11・13・16・19・20内の人骨を確定。

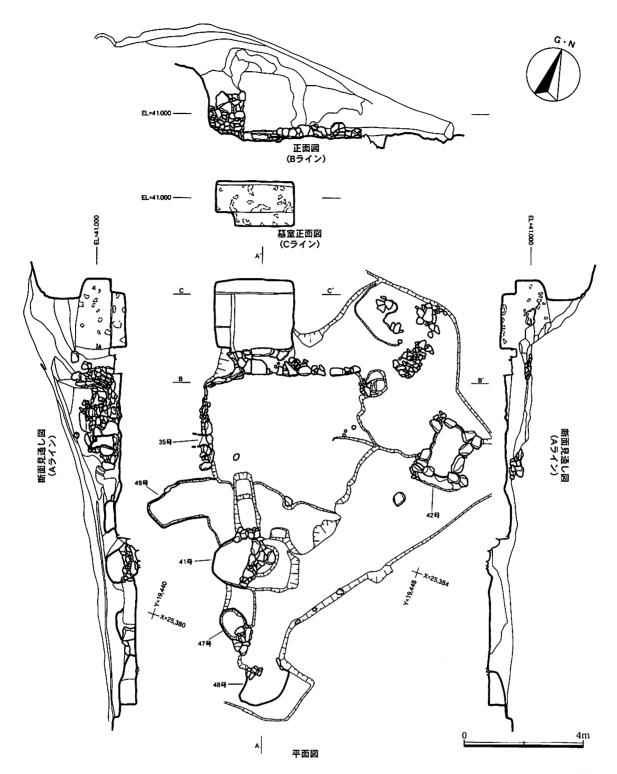
第24図 24 号墓実測図



単位:cm

	外		墓口				墓室	タナ数	
立地場所	鼰	墓口構築	奥行	庭の構築	サンミテ'ー	墓室の	奥行	奥	特
の基盤	形	の方法	幅	方法	の有無	平面形	幅	右	
	式		高さ				高さ	左	
琉球	掘	石積み	不明	平場のみ	無	方形	178	_	墓室内に蔵骨器8基安置(中に人骨片)。また、一次
石灰岩	込		"				178	_	葬と見られる人骨も検出(鑑定)。
	墓		"				不明	1	

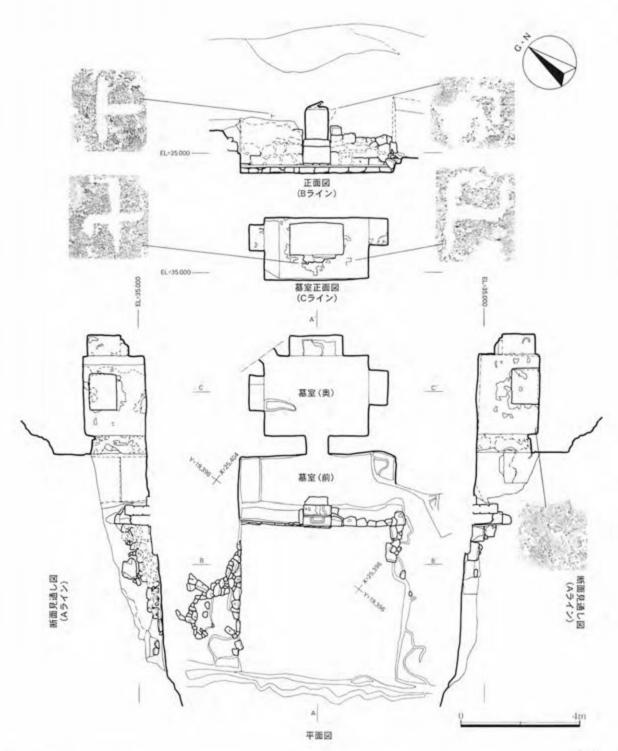
第25図 29 号墓実測図



単位:cm

	外		墓口				墓室	タナ数	
立地場所	観	墓口構築	奥行	庭の構築	サンミデー	墓室の	奥行	奥	特
の基盤	形	の方法	幅	方法	の有無	平面形	幅	右	
	웇		高さ				高さ	左	
琉球	掘	石積み	(88)	基盤をは	不明	方形	230	1	星根記および墓口は破壊が著しい。底から人骨片検出。35・41・42・47・48・49号墓は本墓と
石灰岩	込		(76)	つって平			264	1	同一の空間に構築されている。41号墓室内の政骨器および一次作人骨を鑑定。また、48号墓室政骨器内
	墓		不明	場を造る			(170)	1	の人骨も確定。

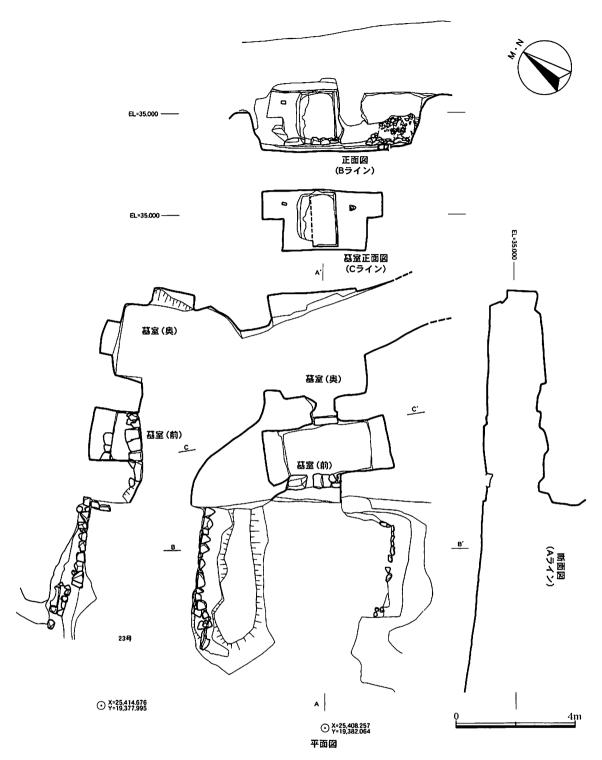
第26図 32 号墓実測図



単位: cm

	外	1	蔡					蔡	宿	9	一数	
立地場所の基盤	観彩式	墓口構築 の方法	奥有高	ii.	庭の構築 方法	が計っ	平面形	奥幸高		1	見行に	\$9 XX
琉球 石灰岩	掘込墓	基盤を掘り込む	前 74 94 不明	典 62 72 178	基盤と、 石積みを 併用する	有	方形	前 164 (530) 180	奥 (338) 466 212	前 1 1	現 1 1 1	取出は2番機遇。兼治は内空間で改変され、23・38号機へと経びる。今今は 「血密状」に進り込まれる。現在の正面を上に「ト」、規密集争すで使に「十」 ・「P」状の脂肪が開設された。

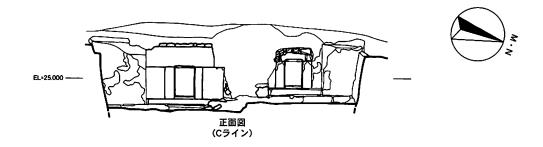
第27図 37号墓実測図

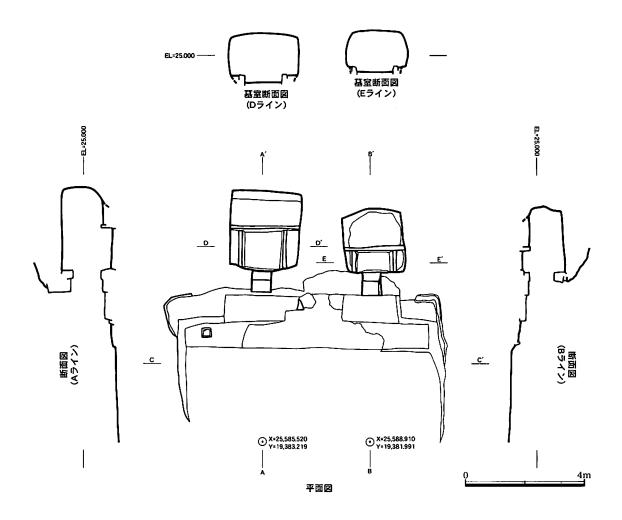


単位:cm

					_			_				, i
	外		墓口]				墓	室	タフ	ト数	
立地場所	観	墓口構築	奥行	i	庭の構築	サンミデ・ー	墓室の	奥	行	ľ	処	特 徵
の基盤	形	の方法	幅	I	方法	の有無	平面形	ļ ņ	哥	1	is l	
	式	l .	高さ	ž				高	さ	1 1	Ē.	
琉球	掘	不明	前	奥	基盤と石	不明	方形	前	奥	前	奥	墓室は2重構造。奥室は防空壕で改変さ
石灰岩	込		44	90	積みを併			_	(320)	_	1	れ38号墓へと続く。前室のシルヒラシド
	慕		140	83	用する			–	-	_	1	ゥクルから石製蔵骨器検出。その周辺か
		!	160	180				180	212	1		ら焼骨を含む人骨片検出。

第28図 39 号墓実測図

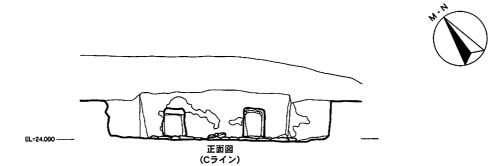


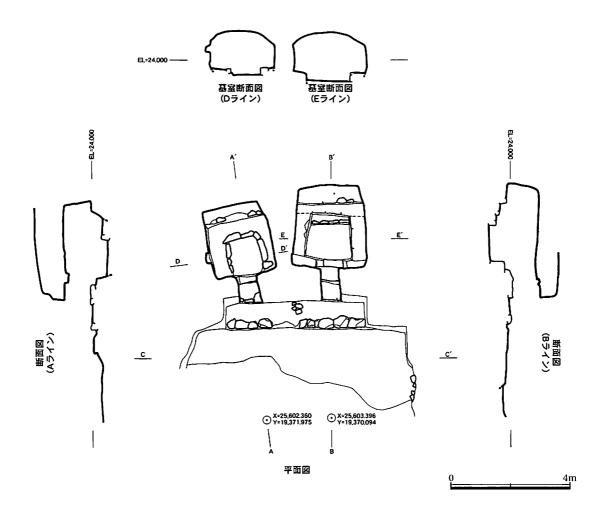


単位:cm

		外		墓口				墓室	タナ数	
藝番号	立地場所	観	墓口構築	奥行	庭の構築	サンミデ ー	墓室の	奥行	奥	特徵
	の基盤	形	の方法	幅	方法	の有無	平面形	幅	右	
		式		髙さ				髙さ	左	
北地区	琉球	掘	石積み	72	基盤と石	有	方形	268	1	墓室内は石灰岩の切石が敷かれた状態にあっ
1号墓	石灰岩	込		68	積みの併			230	1	た。墓庭から人骨片検出。
		墓		108	用。		i	164	1	
北地区	n	"	n,	75	"	"	"	212	1	墓室内にノミ痕が顕著に残る。
2号墓				59				206	1	
				94				142	1	

第29図 北地区 1号墓・2号墓実測図

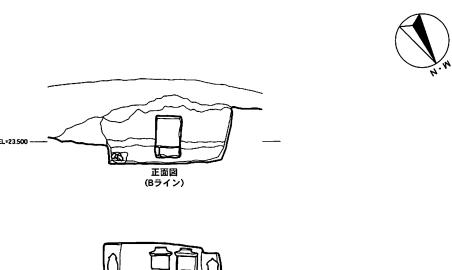


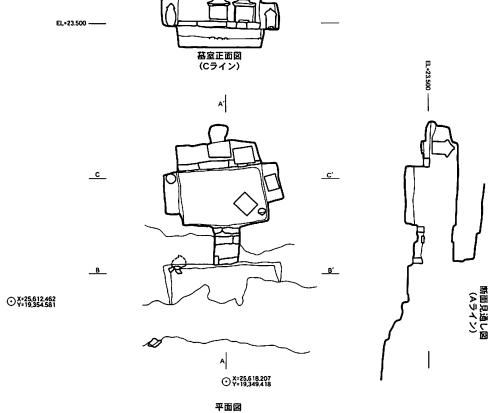


単位:cm

		外		墓口				墓室	タナ数	
墓番号	立地場所	観	墓口構築	奥行	庭の構築	サンミデー	墓室の	奥行	奥	特 徵
	の基盤	形	の方法	幅	方法	の有無	平面形	幅	右	
		圱		高さ				高さ	左	
北地区	琉球	掘	基盤を掘	90	基盤をは	有	方形	250	2	比較的保存状態は良好。墓室内から、ほぼ完
6号墓	石灰岩	込	り込む	70	つって平			210	1	形の蔵骨器が検出 (原位置は保っていない)。
		慕		87	場を造る			145	1	蔵骨器Na 1内の人骨を鑑定。
北地区	"	"	"	120	"	"	"	252	3	一番低い奥のタナは、作り足したものと見ら
7号墓				68				238	1	れる。No1内の人骨を鑑定。墓室内からはガ
				92				163	_1	ラス瓶等も検出。

第30図 北地区 6号墓・7号墓実測図





0 4m

単位:cm

							_		
	外		墓口				墓室	タナ数	
立地場所	鼰	墓口構築	奥行	庭の構築	サンミデー	墓室の	奥行	奥	特 徵
の基盤	形	の方法	幅	方法	の有無	平面形	幅	右	
	웇		高さ				高さ	左	
琉球	捆	基盤を掘	119	基盤をは	有	方形	280	1	石製蔵骨器Na1~Na3内の人骨を鑑定。台計5基の蔵骨器。奥棚・墓口は切石で造り直しが行われている。
石灰岩	込	り込む	78	つって平			385	1	シルヒラシト、ゥクルを30四前後埋め上して人頭大の硬が敷かれた状態にあった。 基室内部・正面は拡張
	慕		104	場を造る			178	1	の際のノミ疫が残る。 奥タナNa1の後方は臭行50㎝、幅44㎝、高さ70㎝の棚り込みが見られる。

第31図 北地区 8号墓実測図

第V章 遺物

第1節 蔵骨器

1. 蔵骨器の分類

(1) 専用蔵骨器

沖縄は中国との関係が深く、中国から洗骨の習俗が入ってくる。死者を木の棺に納めて墓口から墓室内に入ってすぐの平坦地(方言でシルヒラシドゥクル)に安置し、死後3年以上の奇数年に墓庭で洗骨をし、その骨を蔵骨器(方言でジーシ)に納めて、シルヒラシドゥクルの奥の壇や左右の壇の上に安置する。この二次葬のときに使用するのが蔵骨器である。蔵骨器には主に石製家形蔵骨器(方言でイシジーシ=石厨子)、陶製家形蔵骨器(方言でウドゥンジーシ=御殿厨子)、陶製歌形蔵骨器(方言でジーシガーミ=厨子甕)が使用されているが、古い時代には木製蔵骨器(方言でイタジーシ=板厨子)も使用されていた。蔵骨器の身や蓋には、納められた人の氏名、死亡年月日、洗骨年月日などが墨書で記されている。これを方言でミガチ(銘書)という。このミガチは蔵骨器分類に重要である。ミガチを参考にしながらつぎのように分類した。なお、家形蔵骨器に関しては、上部径、下部径とも長径のみを記載している。

第2表 蔵骨器分類表

1	呂称又は仮称	身	蓋
I	石製家形	方形で4脚付	入母屋
П	陶製家形	11	a. 切妻 b. 入母屋(御殿形) c. 寄棟(民家形)
	陶製無頸嚢形 (ボージャー)	1. 中型(高さ 50cm 前後) 2. 大型(高さ 60cm 前後) 3. 小型(高さ 40cm 前後)	a. 宝珠形つまみ b. 饅頭形つまみ c. つまみなし
ĪV	陶製円筒形	1. 円筒形で3脚付 2. 円筒形で髙台付	a. 円形屋根形で宝珠形つまみ b. ボージャータイプで宝珠形つまみ
V	陶製有頸甕形	 1. 文様なし (ボージャーに近い) 2. 貼付文 (") 3. 貼付文 4. 貼付文+線彫文 5. 線彫文 	a. 約5mm以上の「き」 b. 約5mm以下の「き」 c.「き」なし
VI	陶製軒付艱形	1. 降棟に獅子等の装飾があるもの 2. 降棟(くだりむね)に装飾のないもの	a. 降棟に獅子等の装飾があるもの b. 降棟に装飾のないもの

I 石製家形蔵骨器(第32図~第34図)

琉球石灰岩をくりぬいて造ったものがほとんどである。身は長方形で4脚が付く。蓋は入母 屋形がほとんどである。

Ⅱ 陶製家形蔵骨器

陶器の家形で、素焼と釉をかけたものがある。身は長方形で4脚が付く。

- 蓋は a. 切妻(破風形)
- (a)素焼(アカムン)(報告書「銘苅古墓群(I)」参照)
- b. 入母屋(御殿形) (a)素焼(アカムン)(第35·36 図)
 - (b)素焼(彩色)(第37·38図)
 - (c) 焼締(マンガン彩色)(報告書「銘苅古墓群(Ⅱ)」参照)
 - (d) 施釉 (第39図)
- c. 寄棟(民家形)
- (a) 施釉 (報告書「銘苅古墓群 (I)」参照)
- (b) 素焼(瓦質)(報告書「銘苅古墓群(I)」参照)

Ⅲ 陶製無頸甕形蔵骨器

方言で「ボージャージーシ」と言われているもので、第40図~第45図に示した。口縁部は 丸く肥厚し、頸部がほとんどない。これには喜名焼と壺屋焼がある。

- 身は 1. 中型 (高さが50cm 前後)
 - 2. 大型 (高さが60cm 前後)
 - 3. 小型(高さが40cm前後)

に大別される。中型を最初に入れたのは、壺屋焼より古い喜名焼には大型はほとんどなく、中型が主であることによる。文様は正面窓の両サイドに蓮花の線彫り文が喜名焼にはよく見られる。壺屋焼はかなり喜名焼の影響を受けたようで、壺屋の古いものは窓の庇や窓の両サイドに蓮花文など喜名焼を模倣したのが見られる。形から見ると喜名焼や壺屋焼の古いものは胴部で大きく膨らむが、壺屋焼はその後肩部が膨らむようになり、最も新しい時期になると胴部も肩部もあまり膨らまない寸胴形に近いものへと変化していく傾向にある。

正面には1~4個の孔を穿った窓があるが、その窓の上に付けられた庇によってつぎのように大別した。なお、①~③は庇と窓の左右の枠は別々に造ってから貼付している。

- ① 庇が約 2cm 以上出ているもの。これには
 - ①-1 庇が直線的なもの
 - ①-2 庇が破風状のもの
- ② 庇が約1cm台のもの。これには
 - ②-1 庇が直線的なもの
 - ②-2 庇が破風状のもの
- ③ 庇が約1cm以下しか出てないもの。これには
 - ③-1 庇が直線的なもの
 - ③-2 庇が破風状のもの

蓋は a. 宝珠形つまみの付くもの

- b. 饅頭形つまみの付くもの
- c. つまみの付かないもの

に大別される。宝珠形としたのはつまみの内側が空洞になっているもので、饅頭形は内側に空洞のないものとして大別した。喜名焼はほとんど宝珠形で、壺屋焼の古いものも宝珠形が多い。 また波状文などの文様も見られる。

IV 陶製円筒形蔵骨器

身は円筒形で3脚が付き、蓋は円形屋根形で宝珠形のつまみが付くもの(第46図1・2)と 身は円筒形で高台が付き、蓋はボージャータイプで宝珠形のつまみが付くもの(第46図3・4) がある。大きさは大型のみである。

V 陶製有頸甕形蔵骨器

頸部が立ち上がるタイプで、第 46 図 $5 \cdot 6$ 、第 47 図 $1 \sim 7$ に示した。素焼も見られるが、ほとんどはマンガン釉が施されている。

身は 1. 文様のないもの (ボージャーに近い)

- 2. 貼付文 (")
- 3. 貼付文 (蓮花など)
- 4. 貼付文+線彫文
- 5. 線彫文

に大別される。なお、大きさによって中型(高さ 50cm 前後)、大型(高さ 60cm 前後)、小型 I (高さ 40cm 前後)、小型 II (高さ 30cm 前後) に大別される。

蓋の大きな特徴は「き」(蓋の鍔の内側に突出したもの。鍔全体に廻っており、これは蓋が身からずれるのを防止するものである。)である。

- a. 約5mm以上の大きな「き」
- b. 約5mm以下の小さな「き」
- c. 「き」がないもの

に大別した。喜名焼や壺屋焼の古いものは幅も髙さも大きくしっかりしている。

VI 陶製軒付甕形蔵骨器

蓋にも身にも瓦屋根の軒が付くタイプで、第47図 $8\sim10$ に示した。身には蓮花、獅子などの貼付文が全面に見られる。ほとんどはマンガン釉が施されている。大きさは大型で、中・小型はほとんど見えない。

身は 1. 降棟に獅子等の貼付装飾のあるもの

2. 降棟に装飾のないもの

蓋は a. 降棟に獅子等の貼付装飾のあるもの

b. 降棟に装飾のないもの

第3表 蔵骨器集計一覧

					石	以家形							11 647	以家形						<u> </u>	陶製制	: 頸捷					/ 陶製		ß
		П		底	完	颖		族	π̈́	П	嗣	族	沱	頭	嗣	Ē Ķ	完	EI .	胴	拔	完	頭	Field Field	旗	完	D		脏	完
1号篇	構室 基庭					\sqsubseteq										1		1	1		2				2				F
1 13 58	一括		 			-	 	_			-		\vdash		_			┝		_	_			_			_		\vdash
a +7.4°	墓室												2				2												Г
2号墓	蔡庭 一括				_	-	\vdash	 					2			1		1		1	1	_			1	-	_		┢
	基室												宣		1		1	5	2	Ė		2	5						T
3号墓	墓庭一括							_		ļ			L.					ļ	<u> </u>				_				<u> </u>	_	↓_
	墓室				-								2				1	-	-							\vdash			H
4 号墓	墓庭															2								1					\sqsubseteq
号墓庭	一括	\vdash	-	_	_	-	<u> </u>	\vdash							_			_	_			_	_		_	_		-	╁
	幕室																				5			2	6				⇇
A号寫	棋庭 一括		₩			-	├						<u> </u>		_				<u> </u>	-	<u>.</u>							<u> </u>	╀
	福宝		\vdash			\vdash	┢		 				-				_		 		3	_	-	\vdash	2			-	H
5 B号募																													F
号稿一	手	-	\vdash		-	_	\vdash	1	-		 	—	-		-			3	4	3		<u> </u>		-	_	_	-	-	╀
	基室																	Ť											I
A号篇			-				<u> </u>		<u> </u>		<u> </u>										_							<u> </u>	╀
	一括 蔡室		士		_		\vdash					_	1				1												İ
B号墓	蔡庭																												F
	一括 幕室		\vdash	_			\vdash	\vdash	 	_	-	_						_	\vdash	\vdash					<u> </u>		-		H
C号幕	幕庭																												T
	一括 墓室		-			_	-	_	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>								1	<u> </u>			1				╀
D号墓			+				1	<u> </u>				_	_	_			_		-		1	 	-		H.	<u> </u>			t
	一抵																												Į
E号蘇	蔡宝		-		-		-	_	<u> </u>	 			_		_		_	<u> </u>	 		-						-		╀
13.724	一括					-																							İ
7 C M	基室		-								1		<u> </u>			1		1			1	-		1	Ļ		_		F
7号墓	墓庭 括		 		┢	-	 	-	-		1		1					-1	1		2	3		3	2	-			H
・25 号第	著 括									2						1													I
8号稿	幕室		<u> </u>	_		<u> </u>	<u> </u>	_			2	1	1	_			1		-	_		1		_				_	╀
	一括										Ē		Ė				Ė		2										İ
8・9号	墓庭	1	₩				_		_		_	_						1	<u> </u>										╄
9 号墓			\vdash		-	 	<u> </u>		\vdash		\vdash	_	-	-					T		_	1		1			_		t
	15																												I
・10 号第	経		├				<u> </u>	<u> </u>				-					_	\vdash	_	-				 -	-	<u> </u>	_		⊦
10 号幕																	-												t
1 06 07	-括		<u> </u>		<u> </u>	ļ	<u> </u>		ļ	<u></u>	<u>.</u>				<u> </u>				<u> </u>										L
) • 26 • 27	幕室		\vdash	_		\vdash	\vdash	_	\vdash		1	_						<u> </u>	1				-	 	<u> </u>		_		H
日号幕															1	1	1												ፗ
	一括 基室		 		-	-	├─	_	-	3	1	2	3	2	1	1	3	1	2			 	┝						╀
12号墓	墓庭										1																		L
2 • 13 5}	一括		-			_	<u> </u>		<u> </u>				_		_		_				<u> </u>	_		_			_		F
	23.3		\vdash				╁		-								_	-	\vdash		\vdash	-		-		<u> </u>	-	_	H
13号墓	幕庭																												F
	一括 幕室		\vdash		-	 	├—		\vdash	\vdash	\vdash		\vdash	-	\vdash	_	_	\vdash	2		\vdash	 	\vdash	2	<u> </u>	<u> </u>	\vdash		+
14号幕	幕庭											1																	İ
	一括 募室		-						_	1	<u> </u>		<u> </u>					1	1	_	3	1	_		3	-	<u> </u>		╀
15 号幕			\vdash	_	┢			 	_	H.	_		\vdash	_			_	H	\vdash	\vdash	-	 		_		┢			t
	一括																								1				Į
5・16号	線 環府	 - -	+-	_	-	-	\vdash		 	\vdash	1	-	\vdash		\vdash			-	\vdash	├	\vdash	\vdash	\vdash	1	<u> </u>	\vdash	-		H
5・17号											Ė							ı	_					Ė					t
5 ~ 18 F	号		\vdash			_	\vdash		<u> </u>								<u> </u>		ı		\vdash	<u> </u>	_	Ē	<u> </u>	<u> </u>			H
16 号幕	慈庭		╘			t										<u> </u>			H			E				E	L		t
	一括		L_														_											<u> </u>	F
17号募	幕室 幕座		\vdash	_	-		-		-	\vdash	-	<u> </u>	\vdash		-		 	6	7	2	\vdash	2	1	\vdash	1	 	<u> </u>		\vdash
	一括		t	\vdash	l	t		t	_			 	 	 	\vdash	l	_	Ϊ́	Ė	Ť	T	一	一	1	ΙĖ	\vdash	\vdash		t

						V	陶製在	剪製	形					VI	陶製和	F付褒	形						¢r;	用				台
:16	3				E3		1.22	in		ii 	٠.,	_		·}		496		it is	1.00	п	_	1 100		55		i i		it.
頭	胴	旌	完	LI	胼	脏	完	飒	54	此	完	П	¶ej —	岐	记	類	嗣	既	完	П	崩	K	完	頭	腳	旌	元	0
				2	3		2	1		2	1		1							4	8	2		9	6	2		50
	_	_					<u> </u>																 	1	2	1		4
				1																	5	1						8
				3	10	1	7	1	2	_	8	2				1	1		1	4	3	1	1	1	1	1	1	16 62
				1	10	_			_		- 0									-	3	1	Ļ	1		i		4
																		_			3			1				7
		_	-	ı	1	2	3	1		2	1				-	_			 	2	2		_	3		1	 	23
										1						1	1			2	2							7 2
_		_	-	_												_		<u> </u>	-		_ 2		_	-	-	<u> </u>		13
																												0
														<u> </u>				ļ	<u> </u>				<u> </u>	ऻ			_	0 5
			 		_	_	_							┢	_							-	-	\vdash	-	_	\vdash	0
																												0
				5 1	15	4	2	1	1	2	2	1			1	-		 	-	1	5			1	1_	_	-	54 1
				Ė																								0
					1		2				2								<u> </u>		1			<u> </u>	1	ļ	\vdash	10
					<u> </u>	1	É					_	<u> </u>						t		Ë	Ľ			Ė,			1
																							_					0
_		_	\vdash	<u> </u>		<u> </u>	-		 						-	<u> </u>		<u> </u>	\vdash	-	\vdash	_	 	-	-	-	\vdash	0
																												0
		_					3				3			<u> </u>		_							1		_	_	1	10 0
							\vdash							\vdash	_			_	\vdash				-					0
																												0
		_			-	\vdash												_	-				_	 		<u> </u>		0
													1															6
	_		<u> </u>	7	3	11	2	1	1	10	1		3	_	-	1			<u> </u>		5		4	2		<u> </u>		68
-						<u> </u>		1			_								\vdash					\vdash				4
				2	2	_	3	1	1		3												<u> </u>		_			19
-				2	8 I	┵	 	1			1				_				 			-	-1		1	_		19 5
																												2
			_	5	9	2		1	1	3	1			_	_1				1	1	3		1	1	1	1	1	6 32
					3	_		Ė	_	-,	_									<u> </u>	1				i i			1
				1	3	_		_		2	1				<u> </u>				<u> </u>		<u> </u>							6 16
			_	3	1	 		3		3	5			-	<u> </u>					_		 	_	-				0
				ī	4				1															L				6
-	-			1	4	-	-		-4	3	1							-	-		2		1	1	3			8 20
				8	22	3		5	3	9	ı									2	1		Ė	2	3			63
 	<u> </u>		<u> </u>	10	22 28 2	7	3	2	6	10	-4		1	 	1	<u> </u>	2	1	-		1	1	-	-	1	1	-	63 97 5
				3	14	1			1	1															Ė			21
				1	4	\sqsubseteq			1	ļ.,													ļ					6
\vdash	-			-	2	1	-	-	1	1				\vdash		<u> </u>	-		 		-	<u> </u>	-			-	-	0
																								<u> </u>				21 6 5 0 0 24 3 5 4 13 0 1 5 3 3 3 4 4 1 4
-			_	1	5	1	\vdash	2	2	2	2		_	 -				_	-		2	-		1	4	<u> </u>		24
					1																	1	2					5
				2						1									<u> </u>	1	<u> </u>	2	<u> </u>	<u> </u>		F	-	4
						<u> </u>									H				\vdash	 	<u> </u>	\vdash						0
												-												_				1
 		_	\vdash	\vdash			-	\vdash					<u> </u>	\vdash	-		\vdash	 	\vdash		3	_	\vdash	\vdash	1			5 3
										亘			1															3
<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	1	_		<u> </u>	\vdash	<u> </u>		ļ	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	ļ	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	3	1	<u> </u>	1	l-		3
															L						1							1
																												0 0 30 0
_	\vdash	\vdash	\vdash	1	2			 	 	1	1		 	 		 -		1		<u> </u>	2	-	 	 	1	\vdash	\vdash	30
				Ė					亡	Ė	Ė							Ė					Ė		亡			0

					16	製家形						_	0 (A) 1	Q*采形							MN.	無頸變					V内型		\$
			胸	岐	完	頸	RH .	族	完	П	₩	践	完	ÿĄ	嗣	i it	完		₩	ł K	完	頭	脚	族	完	13	刷	底	完
17・18号																		5		5		1			3				
18 号稿	墓室 墓庭 一括							_					2		2			12	1	5	6			5	6				
19 号幕	墓室					_				1			1				1	11	7	10	13		2	5	10				
	·括 幕室													_															
20 号幕	基庭 一括												1			1		5	3	2	2	1	1	2	Ī				
20・21 号:					<u> </u>	-		ļ	ļ	<u> </u>									ļ	<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>			<u> </u>	<u> </u>		ш
21 号墓	墓室 墓庭 一括					_							1			1	ı	5	10	6	ı	1	1						
22 号墓	墓室 墓庭																	1			ı			1	1				
	一括 墓室	_																_				1		1					
23 号墓	墓庭 一括 墓室				2			-	2		1		2				2		4	1			1	3	13				
24 号墓	整庭 ・括		_								1					1	2		1	1	11	2	1 1	2	1				
25 号稿	幕室 蔡庭																						_						
00 t1#	一括 墓室										1				_	-							2						
26 号墓	墓庭 一括																								_				
27 号墓	墓庭一括										1										-								
28 号墓	墓室 墓庭																												
29 号幕	一括 墓室 墓庭												2				2		2		4				4				
29 17 94	一括 墓室																												
30 号墓	墓庭 一括					-	_																						\equiv
31 号墓	墓室 墓庭 一括												1			1	1	7	5	5 4	6	_	-	2	19				
32 号墓	墓室												Ė					1	1 7	<u> </u>					Ť				
	一括 墓室												1				1												
33 号稿	幕庭 一括 墓室											_						_		1				<u></u>	2	_			
34 号墓	<u>蔡庭</u> 一括									F	-							5	2	5	3	ı			6				
35 号墓	墓室 墓庭																		2										
36 号幕	一括 募室 募庭		<u> </u>		2			-	2									1	1 3	1			1	3					
33.78	一括																	4	2										
37 号幕	基庭 一括															-		5	59 4	5 1			9	10	6				
38 号幕				1				1		1				1				1	1	1	4	1	1	7	7				1
39 号幕	一括 蔡室 蔡庭		1	1	1	_			1			1	2	1		2		11	205	4	12	2	-	4	19 1				Ħ
	一括 墓室											Ė	1				1	1	20		7		3		7				
40 号幕	括																		1	I				2				<u> </u>	
41 号蔡	- 蔡室 - 蔡庭 - 一括							-	1	<u> </u>	-								1	18				4	1			_	H
42 号墓	葉宝 葉庭																		Ė				E		E		E	E	
	一括											<u> </u>	1	1				1	ı		L_								\Box

			_			V	向製	有頸要	形					V	闽贺	F付獎	形						દ	用				台
頭	胴	遊	完	П	194	族	完	頭	胴	族	完	П	膈	9 底	完	भूत	嗣	底	完	П	NH i	旗	-	頭		ik.	完	at l
	ara .	-43		1	<i>''</i>			33(ars	1434		-	727-3	43,	π.	PH.	919	u _X	π.	1-1	ריווו	1	完	뀆	期	1	兀	19
-		-		1	<u> </u>	2	1		ļ		- 3 5		<u> </u>	_			_	<u> </u>		3	8	1	1	 	3			14 64
																					-	Ė	Ė		3			0
-	-			5	-	_	15	_		1	15	_	-	_	<u> </u>			_		3	5 5	5	3	1 2	1	2	1	117
																				3			- 3	Ľ	'			0
		_	_	1	5		1		_	2	1			ļ		_			_	2	9	2	1			1		42
					Ű		Ė													٠	1	_	_					3
_	_	-		_														_			1							0
				2	7	2		1	1	3				1					_	7	21	2	1	1	6		-	81
								_												1								2
					1					1	-			-		_				4	7	3		1		2		23
					1															1	8	3	ı					15
				1			-	1	2	\vdash		-	-	1				1		1	9	2	1	2	2			4 25
																								1				1
	_			2	1	2	5	1		4	- 4 1		-					_		10	10	4	7	7	10	2	1	70 58
																								Ė				2
\vdash				1	9	1	3	1	2	1 2	4				-	_		_									-	21
				2	3	1		3	1															1		1		16
\vdash											_				_			_					1	1				0 2
										1																		. 1
_					2					-										-								0
																												3
					1											_											_	0
\vdash	_							_	_								_				1							3
					1		2				1								1	1	1							21
\vdash		_		- 1	1					\vdash					-			-			5	_				_		7
					4	1	1				2																	8
									_									-										0
							2				- 1									2	2		4					57
<u> </u>			1	2	2	1	1				1	1		_							4	1	1	1			-	7 42
				3	21	2	2			1	1										1		2				1	35
				4	146 3	24	7	1	4	_ 8	10				2				1	1	4	2					-	223
				5		2	4		1		-1									1								19
				4	-4	1							1	-									\vdash				\dashv	13
																												0
<u> </u>	_			,	9	3	2	9			- 2								9			1					_	0
				1	4	3					1				1				2		_ ə			1		1		47 6
<u> </u>				2	17 39	3	1	1	2	1	4		-							1	2	1						31 53
				1	39	1					-,									2	6	5	5				2	28
F										\Box	-		1								3]		1			\Box	28 16 7
																					1							0
F				2	10			1	2		_ 1							1			6	2	3	1				124
								1													_ 1							12
					5					1	3									3	9	3	9			2	_1	64 0
				6	17	- 3	6			1	7	2	7		5		4		9	1	3	1	2		1		_	342
											=									1	2		2	2	1			13 25
						_1					_					_				1	3 4	5	7	1				38
					3															1	12	2		1	2	2		28
				1	13		1		1	2	1					_		<u> </u>			1 1 1	-		\vdash	1		_	56
																						1					\Box	1
				1	22		4		1	\vdash	2					_		<u> </u>		1	-						1	28 3 56 1 25 7
					- 10										\Box													01
ئے				1	10	ı			2		1			L				L					1					20

					1石型	以家形							[[S4] 2	以家形						Ш	陶製無	: 筑键	形			N	陶製	円筒形	į
			ť	ł			Ş	i			ŗ	ł			Z	i			ŗ	ł			ż	ŝ			ť,	t	
			BH	族	定	頑	嗣	底	完	1.1	胴	旺	完	頭	別	υĘ	沱		科	眩	完	飒	胴	廐	完	Ц	嗣	IK.	完
	墓室																	1	3			1							
43 号墓	墓庭																												
	一括																												
	藍宝																												
44 号墓	墓庭																												
	一括																												
	幕室																		1			L_							
45 号稿	墓庭																												ь—
	一括																												
	墓室																												<u> </u>
46 号篇	墓庭																		<u> </u>							\Box			<u> </u>
	一括																												<u> </u>
	慕室																	<u> </u>											<u> </u>
47 号墓	墓庭																		L										<u> </u>
	一括																	$oxed{oxed}$	1		<u> </u>	ļ							<u> </u>
	墓室																								L				
48 号幕	墓庭																												ь—
	一括																	L_	1			L		<u> </u>		\Box			<u> — </u>
	幕室																	<u> </u>	1					<u> </u>	<u> </u>				<u> — </u>
49 号幕	幕庭																	<u> </u>				<u> </u>		<u> </u>					Ь—
	一括		$oxed{\Box}$			oxdot												ļ	_		\vdash	$ldsymbol{ldsymbol{eta}}$		L_					Ь—
	袋 内											1		<u> </u>									L		L_				⊢
古墓群												1								1				L					.
台 1	it	0	L	2	5	0	0	2	5	- 8	13	7	31	5	5	15	21	107	385	91	103	22	30	69	132	0	0	0	டட

第4表 北地区 蔵骨器集計一覧

					1石製	以家形							11 [24]	以家形						III	陶製制	*到褒				P		円筒折	\$
	[ť					Ä			ţ				ż				ĩ				Ý				ť		\Box
	,	п	腡	眩	÷	頭	胸	底	完	- 11	胴	餱	完	भी	腡	底	完	Ц	胴	底	兌	ÿξί	膊	底	完		胴	账	完
	墓室						<u> </u>			\Box							<u> </u>					\Box							\vdash
1号墓	慈庭																<u> </u>												\vdash
	括																			Щ									\square
	慕宝																ļ												$\boldsymbol{\sqcup}$
2号幕	整庭					L											Ļ												\sqcup
	一括		\Box																			\Box							igspace
	募室						<u></u>																						$oldsymbol{\sqcup}$
3号稿	幕庭															1													\square
	一括																												
	墓室												2				1												\square
4号墓	墓庭													1															ш
	一括																												igsquare
	墓室																												ш
5号幕	墓庭											- 1																	
	一括																L								1				
	整室																				_								
6号墓	墓庭																												
	一括																												
	墓室																								1				
7号墓	墓庭																												
	括																												
	墓室				3				3																				
8号幕	蘇庭								\Box																				
	一括												1				T												
	幕室																												
9号幕	幕庭																												
	一括																												
	墓室																												
10 号墓	幕庭																												
	一括						İ																						\Box
	墓室										-																		\Box
11号墓	墓庭																		- 1					1					\Box
	括																												\Box
1t#										Т				1													- 1	1	
台書		0	0	0	3	0	0	0	3	1	0	0	3	2	0	1	2	0	1	0	1	0	0	1	2	0	_	1	0

						V	陶製	有頭甕	形					VI	四製作	下付褒	形						Ti,	用				슙
	ġ	Ť.			Ì	ł			ź	Si			i	ł			ž	á	_		ì	ł			ž	ä		
頸	刷	底	完	П	胴	廐	完	頭	嗣	底	完	П	厢	脏	光	蝜	胴	账	完	П	胂	阺	完	頭	胴	底	完	ät
				<u></u>	1					3								1		2	4	1		1	1	1	1	21
																												0
																												0
				<u></u>																3	4							7
															1						5							7
																												0
										1										4	4	3	4	1	1	1		20
																						1						1
																												0
																												0
			L	L																								0
					ــــــــا		$ldsymbol{ld}}}}}}}}}$																					0
									L																			0
																												0
					13	1				1												1						17
			<u> </u>		9	1	2	$ldsymbol{le}}}}}}}}$	<u> </u>		3																	15
L				L											<u> </u>													0
			<u> </u>		1			$oxed{oxed}$							<u> </u>						1							3
L					2			<u> </u>	2																			5
<u> </u>									L									L										0
$ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{eta}}}$								lacksquare													L_							0
$ldsymbol{le}}}}}}}}$																												1
			<u> </u>																		3			2	3	1		11
0	0	0	1	117	530	93	95	33	48	96	122	6	16	2	14	5	8	6	15	78	252	71	72	57	65	26	_11	2.899

						V	国製4	百頭褒	形					Ŋ	四刊	f付褒	形						K	用				合
	Ŕ				ť	ł			ż				ţ					á			ţ				ź			at
頭	胴	底	完	П	胴	廐	完	頭	嗣	胀	完		刷	底	完	頭	胴	底	完	П	胴	底	完	સા	崩	nt.	完	
																					_							5
			_											_	_			-	_		3			1	1			5
\vdash			2	5	\vdash		1	H		1	2	_		_	_		_	-	_	\vdash	۱÷		\vdash	\vdash		_		12
H		_		- 3				\vdash						_	-			 	_		\vdash	_	 			-		0
\vdash	_		 	-																						_		0
\vdash		_	 	1			$\overline{}$	\vdash_1	3	2	2	_						_			_		\vdash					10
			-	1	\vdash		Ė	Ė	_	Ť								_			1							3
					\vdash																							0
								1																				4
				1	4			1																				7
																												0
									<u> </u>														<u> </u>					0
<u> </u>			<u> </u>		<u> </u>			ļ	<u> </u>														<u> </u>		<u> </u>			0
<u> </u>			<u> </u>		<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>	.		_					<u> </u>		<u> </u>	_		<u> </u>					1
-	_	-	├—	⊢÷			1	⊢	-	1	1			_	_	_	_		<u> </u>		-			-	_			4 2
<u> </u>			-	1	<u> </u>		<u> </u>	┝	├			-	-			_	-		<u> </u>		H		_	-			_	- 2
\vdash	\vdash	_	-	1	1		1	├	\vdash	_	2				_		-	_	<u> </u>				-	 				$\frac{0}{7}$
\vdash	\vdash		 	<u> </u>	<u> </u>	_	<u> </u>	\vdash	-	_	-		-		H				\vdash	-			_	 	\vdash			0
		\vdash	 		<u> </u>	_		\vdash	\vdash	_				_					\vdash		\vdash		\vdash	 				0
		-		\vdash			1		\vdash	\vdash	2							T					$\overline{}$					9
																					1		ī					2
																												2
					2		2								1				1		1							7
						<u> </u>							<u></u>					L										0
_				1	-4		1				2				_			<u> </u>		<u> </u>	1							9
<u> </u>	\vdash	<u> </u>	—	<u> </u>	\vdash	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>			<u> </u>	<u> </u>			<u> </u>	<u> </u>		Ь—		<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>	├	<u> </u>	_	 	0
\vdash	ļ				<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	1		-	ļ	_			<u> </u>		 	-	-	<u> </u>		\vdash		_		_	0
\vdash	\vdash	 	├	 	-	├		├	├		\vdash	-			<u> </u>		-	├-	 	⊢			├	\vdash	\vdash	\vdash		0
			\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	 	 	\vdash	\vdash	\vdash	_		-		<u> </u>		├─	-		2			 				4
			-	\vdash	 	 		 	\vdash	_	\vdash	_	-	 				\vdash	 	 	ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	_	\vdash		\vdash			0
	-	1		_			\vdash	\vdash	\vdash		\vdash			\vdash					<u> </u>		2			ı				8
0	0	1	2	11	12	0	8	3	3	5	11	0	0	0	2	0	0	0	1	0	16	0	1	2	1	0	0	101

(2) 転用蔵骨器

専用蔵骨器ではない壺、甕、鉢などを蔵骨器として使用したものを転用蔵骨器とした。

これには 1. 沖縄産の土器壺

- 2. 中国産褐釉陶器壺
- 3. タイ産褐釉陶器壺
- 4. 薩摩焼壺
- 5. 喜名焼甕・壺・火炉
- 6. 産地不明の壺
- 7. 壺屋焼の甕・壺・鉢・擂鉢
- 8. 本土産蓋付鉢

などがある。壺は頭骨が入るように口縁部や胴部を打ち欠いて立てたり、横にしたりして使用している。 また、胴部に窓孔を意識して穿孔したのも見られる。

小壺は子供用に使用したのが多いが、中には枝珊瑚が入ったのもある。枝珊瑚の入っているのは、海で死亡して遺体があがらない人や戦争で亡くなって遺体が見つからない人は海から枝珊瑚を拾ってきて壺に入れて、納める沖縄の習俗からきているものである。なお、黒釉の耳付小壺(方言でアンダガーミ)は、転用蔵骨器もあるが、中には沖縄戦のときに墓に避難した住民が持ち込んだ可能性のものもある。

※ミガチ(銘書)の凡例

観察表の中のミガチ (銘書) の項目で次のような表記を用いた。

- □□ → 不鮮明な文字。
- ・・ → 文字があったと考えられるがその部分が欠損している。
- () → その部分の文字はないが、全体から見てそのように考えられる。

氏、家名、名乗頭の項目も同じ。

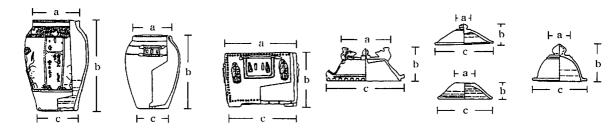
/ 文章の切れ目。

〈 〉 → ミガチ(銘書)に()書きされている。

[右] [左] [内面] [ふち] → ミガチ (銘書) の書かれている場所。

(ほんとうは…) → 年号に干支が合わない場合。

※凡例:法量については下記のとおりである。(a:上部径 b:器高 c:下部径)



2. ジーシ(蔵骨器)のミガチ(銘書)と家譜資料

(1) 39号墓(向氏)

(計) 比嘉朝進著『士族門中家譜』の中に玉川御殿の家譜がつぎのように掲載されている。

「玉川御殿(尚清王八男)の直系」

この家譜資料と一致するのが39号墓である。39号墓のジーシ(蔵骨器)は第6表連番の303から365までである。家譜資料とミガチ(銘書)が一致するものをゴシック文字で表示した。家譜資料では読谷山→仲里→玉川と系統が示されているが、ミガチで見ると讀谷山と仲里の間に直系ではない次男佐敷按司朝易と妻秋月妙桂が入っている。(第6表連番316、317と319)。上記の家譜資料で「十二世不詳」となっているのが、第6表連番344、346に出ている朝見と考えられる。

家譜資料にある十四世玉川王子朝達について『琉球王代記』に「六男尚慎 和名朝達 玉川王子と称す (元氏慈観の子) 童名思加那金、道光六年 (1826) 丙戌2月15日生る。同治元年 (1862) 壬戌一月二十日、37才で死、名寛と号す 天久墓に葬らる。」とあり、ミガチ (銘書)「玉川王子朝達咸豊十二壬戌 … (日) 卒…」(第6表連番305) と死去年が一致する (咸豊十二年は同治元年)。さらに「天久墓に葬らる」とあるのも39号墓のある本ナーチュー毛古墓群が天久にあることからそれも一致する。

那覇市企画部文化振興課発行の『氏集 首里・那覇』に掲載されている、家譜資料と39号墓のミガチ (銘書)が一致するものについて主なものを対比してみた。ミガチの連番とは蔵骨器観察一覧(第6表)の「連番」(一連番号)で、家譜の連番とは『氏集 首里・那覇』にある項目の一連番号を示す。

(a) ミガチ:「・・・・讀谷山(王子朝) 苗五代之嫡孫、(讀谷山王) 子朝宗・・・・」〈第6表連番303〉

家 譜:「元祖尚洪德**讀谷山王子朝苗五世**尚成**勲讀谷山王子朝宗**支流三男向良俊邊土名親方朝富」 〈氏集連番 578〉

(b) ミガチ:「・・・・ (六) 世向良謀 (讀谷) 山按司室・・・・」 〈第6表連番309〉

家 譜:「元祖尚洪德讀谷山王子朝苗**六世向良謀讀谷山按司**朝基支流次男龍翼大城親方朝章」 〈氏集連番 492〉

(c) ミガチ: 「····向良哲佐敷按司朝易····」〈第6表連番316、317〉

家 譜:「元祖向良哲佐敷按司朝易支流二子向維藩源河親雲上朝忠」〈氏集連番 499〉

(d) ミガチ: 「····十世仲里按司朝隆」 〈第6表連番334、349〉

ミガチ:「・・・・向緝光(六男渡久地)親雲上朝春・・・・」〈第6表連番354〉

家 譜:「元祖尚洪徳證谷山王子朝苗十世向世爵**仲里按司朝隆**支流六男**向緝光**渡久地親雲上朝春」 〈氏集連番 524〉

なお、玉川家の位牌を調査している糸満市役所の金城善氏の資料に一致するのがかなり見られたので 「故事(位牌)」の欄を設けてゴシック文字で示した。

例えば、第6表連番336のミガチ(銘書)「佐敷按司朝易室、**節心妙真、康熙四十年辛巳六月十一日** 卒」と位牌の「**節心妙真**(大姉)、**康熙四十年辛巳六月十一日卒**」とが一致するし、第6表連番317の ミガチ(銘書)「向氏佐敷按司朝易号梅翁、康熙四十八年己丑十二月初二日卒」と位牌の「梅翁(常皎居 士)、**康熙四十八年己丑十二月二日**」とが一致する。さらに第6表連番312のミガチ(銘書)「仲里按司朝隆室真嘉戸樽(号)梅屋妙薫康熙五十七年戊戌九月十三日洗骨・・・・」と位牌の「梅屋妙薫(大姉)康熙五十五年丙申十月十六日(卒)」とが一致する。卒後3年で洗骨したことも理解できる。

(2) 40 号墓(欽氏)

40 号墓は欽氏米須家の墓である。ミガチと家譜資料を対比させるとつぎのとおりである。

ミガチ:「**欽氏米須親雲上清安三男米須筑登之清賢**乾隆拾年乙丑八月弐九日洗骨」 〈第6表連番367〉

家 譜:「元祖**欽氏**古關倉親雲上清愛四世**米須親雲上清安**支流三男欽錫爵**米須筑登之清賢**」 〈氏集連番 760〉

(3) 34 号墓(蘓氏)

第6表連番272、273、278 は蘓氏上運天家の墓である。屋部憲次郎氏所有の「大宗奥島家蘓姓家譜 (証話) (正統)」にある家譜資料とミガチ(銘書) が一致するものを対比して示した。

ミガチ:「**上運天筑登之親雲上憲孝**乾隆廿八年癸未七月廿四日骨洗 御同人女子真嘉登上運天□□ 次男樽乾隆四拾二年(丁)酉正月二十七日洗骨同人女子靍」〈第6表連番 272〉

家 譜:「六世**憲孝(上運天筑登之親雲上**)童名思次郎。唐名蘓国禎。康熙四十七年戊子正月十四 日生。父憲智。母余氏思亀。長男憲理。長女真鍋。次女真嘉戸。次男憲陳····。乾隆二 十六年辛巳六月十五日死。享年五十四。号即空。」

ミガチ:「**蘓世禄上運天筑登之憲理**(乾)隆五十年乙巳三月十八日死去・・・・・五十七號真自」 〈第 6 表連番 273〉

家 譜:「七世**憲理(上運天筑登之)**童名樽金。唐名**蘓世禄**。雍正七年己酉八月二十二日生。父憲 孝。母翁氏思武太。長女真牛。長男憲衡····。**乾隆五十年乙巳三月十八日死。享年五十七。号真自。**」

この対比によって第6表連番272の蓋のミガチ(銘書)が家譜資料の六世憲孝で、第6表連番273の蓋のミガチが家譜資料の七世憲理である。特に七世憲理については死亡年月日や号までもミガチと家譜資料が一致している。

(4) 18 号墓(蘓氏)

18 号墓は蘓氏棚原家の墓である。ミガチ(銘書)と那覇市歴史資料室所有の「蘓姓家譜(小宗)」が一致するのをつぎに示した。

ミガチ:「乾隆五拾四年己酉八月廿二日**蘓氏憲充嫡子棚原□・**(洗)骨」〈第6表連番107と108〉 家 譜:「七世**憲充**童名真山戸唐名蘓遵軌行一乾隆二十四年己卯八月七日生。乾隆三十八年癸巳八 月七日結敧皆。同四十九年甲辰七月七日不禄享年二十六號真心・・・・長男憲英」

ミガチと家譜を対比して見ると乾隆五十四年に洗骨したのは憲充の嫡子憲英である。死後3年で洗骨したとすると乾隆五十二年死亡。父親憲充の髪結(方言でカタカシラと言い、沖縄では普通15歳に行う儀式)が乾隆三十八年であるので、憲充が15歳に結婚して憲英が生まれたとしても憲英は10歳過ぎに死亡したと考えられる。それを示す資料として、前述の家譜に「-長男憲充-長男憲英-嗣子憲法-」

の系図があり、憲英には少なくとも男の子供が生まれていないことが理解できる。

(5) 37 号墓(欽氏)

この墓はミガチ(銘書)から欽氏濱元家の墓と考えられる。ミガチ(銘書)第6表連番295の「欽氏 (注7) 六代濱元親雲上清盛乾隆・・・・」と『氏姓集』60ページの名乗頭「清」・氏「欽」・「浜本親雲上清盛」と が一致すると考えられる。

註

- 1. 比嘉朝進『士族門中家譜』(有)沖縄総合図書 1997
- 2. 『琉球王代記』 琉球史料研究会
- 3. 『氏集 首里·那覇』 那覇市企画部文化振興課 1989 第3版 (増補版)
- 4. 金城善(糸満市役所)氏の仲里御殿の位牌調査で得た資料
- 5. 屋部憲次郎(首里在住書家)氏所有の『大宗奥島家蘓姓家譜(正統)』
- 6. 那覇市経済文化部歴史資料室蔵
- 7. 『琉球 王代記・年代記・氏姓集・系図手本』 琉球史料研究会

第5表 蔵骨器観察一覧

罪	5表	IEL I	月'石石铁	祝祭一覧								法量 上	• Е	部径	中:	55 (F)	r · ra	\$往 (cm)
連番	挿図番号 図版番号	地区	基番号	出土地点	身 蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法量	対 No	文様	施釉	R D	Æ	家名	名乗頭	西 暦 死去年	西 暦 洗骨年	備考
1	第32図1 PL.13の 1	4t	8号墓	墓室安置藏竹器 No.2	蓋	石製家形 (イシジーシ)	1	37.0 28.8 72.8	2	なし	なし							
2	第32図2 PL-13の 2	北	8号幕	募室安置護介器 Xo.2	身	石製家形 (イシジーシ)	I	57.4 53.6 56.7	1	なし	なし	[正面左]大済康熙七年ロ丑二月ロ 八日/比原(=嘉)按ロロロ/竜名 貫みる/[正面右]大清康熙拾五年 丙辰八月三日/知念仁屋女房骨ロロロ/入力也		知念/ 比加 (=嘉)		(1654 ~ 1666)	1668 入力、 (1676)	人骨 [男 性2、 女性2、若 年1、小児 1、幼児1]
3	第33図1 PL.14の 1	11	8号墓	墓室安置幾骨器 No.1	蓋	石製家形 (イシジーシ)	I	34.0 27.8 73.2	4	なし	なし							
4	第33図2 PL.14の 2	#	8号墓	墓室安置養竹器 Xo.1	H	石製家形 (イシジーシ)	1	58.4 54.7	3	なし	なし	[正面左]/大清康熙四拾年辛巳八月廿六日廿口申候/知蔵(玄?)記ロ/童名思徳金/ [正面右]知念尔也/比加(=嘉)尔也/まつるる/台五人		知念/ 比加 (=嘉)		(1687 ~ 1699)	1701	線彫の上に 事態 事態 長 り は り を し り り り り り り り り り り り り り り り り り
5	第33図3 PL.14の 3	北	8号幕	墓室安置藏骨器 No.3	蓋	石製家形 (イシジーシ)	1	28.2 25.0 64.3	6	なし	なし							
6	第33図4 PL.14の 4	北	8号墓	基室安置藏骨器 No.3	ģ	石製家形 (イシジーシ)	Ī	48.0 46.4 47.4	5	なし	なし	[正面]大清联熙四年乙巳/八月廿 六日廿口口口/巳上/名真加戸		知念/ 比加 (=嘉)		(1651 ~ 1663)	1665	人骨 [女性1]
7	第34図1 PL-15の 1		24号墓	基室費骨器%9	益	石製家形 (イシジーシ)	I	25.0 23.0 53.8	8	なし	なし							
8	第34図2 PL.15の 2		24号墓	墓室藏骨器60.9	Ŗ	石製家形 (イシジーシ)	1	43.8 39.4 44.2	7	なし	なし	[正面右]广/ [正面左]右						人骨有
9	第34図3 PL-15の 3		39号墓	募室(前)フク土	Ġ.	石製家形 (イシジーシ)	I	49.6 43.2 50.8		なし	なし	[正前]康熙二十五年丙寅□月二十 一日死寿八十二/第(隻)玄寿大 禅定門/□(元祖)旗谷山(王子朝)苗 五代之嫡孫/(顔谷山王)子朝宗 「右朝面]康熙世五年丙子二月二十 五日去□□□□/ 瀬谷山王子朝宗 之件を(げらへ?)□□□	(phj)	讀谷山	Ø)	1686, 1696	(1688 ~ 1700), (1698 ~ 1710)	
10	第35図1 PL.16の 1		40号墓	墓室藏骨器/0.1	蓋	陶製家形 (ウドゥンジージ) (壺屋焼)	Пb	30.8 21.7 50.0	11									
11	第35図2 PL_16の 2		40号墓	墓室藏骨器版1	身	陶製家形 (ウミャンジージ) (壺屋焼)	0	46.0 35.5 43.5	10	仏像貼 付								
12	第35図3 PL.16の 3		24号墓	墓室藏骨器/6.21	蓋	陶製家形 (ウドゥンジーシ) (壺屋焼)	II b	22.6 21.8 48.8	13	線彫唐 草		[正面]潮平筑登之/先祖女弐人		湖平				
13	第35図4 PL.16の 4		24号墓	墓室蔵骨器No.21	Ą	陶製家形 (ウドランジーシ) (遺屋焼)	П	45.0 37.8 43.4	12	線彫の 仏像と 遊花								底孔なし
14	第36図1 PL-17の 1		2号幕	慕室安置藏骨器 No.2	查	陶製家形 (ウチャンシーシ) (壺屋焼)	Пb	50.7 42.2 53.8	15	贴付	なし	[内面]嘉慶八年亥八月十九日冼仆 /之小樽天久/咸豊元年亥六月二 十八日/同人妻洗骨/九世祖慶清 名父母	(欽)	祖慶	補	(1789 ~ 1801). (1837 ~ 1849)	1803, 1851	朱色のミ ガチ (銘 書)
15	第36図2 PL-17の 2		2号墓	基室安置裁骨器 No.2	Ŋ	陶製家形 (ウドゥンジーシ) (壺屋焼)	Π	54.8 41.7 45.2	14	線彫・ 貼付	なし							底孔46
	第37図1 PL.18の 1		29号墓	墓室安置藏竹器 No.3	蓋	陶製家形 (ウドランジージ) (壺屋焼)	Пb	60.0 44.5 58.0	17	貼付	なし							
17	第37図2 PL.18の 2		29号墓	墓室安門藏竹器 Xo.3	Ŋ	陶製家形 (ウドゥンジージ) (壺屋焼)	IJ	52.5 51.1 47.5		貼付	なし							
_		_		<u> </u>	1													

遊船	挿図辞号 図版番号	地区	墓番号	出土地点	身·蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法虽	対%	文様	施釉	銘 書	ĸ	家名	名乗頭	西 暦 死去年	1	備考
18	第38図1 PL.19の 1	北	8号盘	模室安置藏骨器 No.4	蓋	陶製家形 (ヴャンジーシ! (壺屋焼)	Пb	32.1 27.9 49.0	19	貼付· 彩色	なし							
19	第38図2 PL.19の 2	北	8号墓	墓室安置藏骨器 Xo.4	身	陶製家形 (ウドゥンジージ) (壺屋焼)	П	48.2 46.2 44.4	18	貼付・ 彩色	なし							底孔13
20	第39図1 PL_20の I		39号篇	驀室(前)フク土	蓋	陶製家形 (ウドコジージ) (壺屋焼)	Пb	- 35.7 -		貼付	緑釉など	[内面]尚趣王第六子十六(世)・・・ /・・・ロ玉川王子朝達/成豊十 二年壬戌・・・(日)卒・ロロ/同 治十一年壬ロ・・・洗骨/	Įή	жи	해	1862	1872	
21	第39図2 PL.20の 2		39号墓	韓室(前)フク土	蓋	陶製家形 (ウメゥンシーシ) (壺屋焼)	Пb	- 53.2		貼付	緑釉など	[ふち]玉川王子朝遠室湖平按司加 那志光緒八年(壬午)十月十七日洗 骨/(玉)川王子朝遠室湖平按(司)加 那志光緒八年壬午十月十七日洗件	(向)	玉川	朝	(1868 ~ 1880)	1882	
22	第39図3 PL.20の 3		6B号 墓	嘉室フク土	身	陶製家形 (75~)ジージ (壺屋焼)	0	46.6 43.4 40.2	37	貼付	緑釉など	[正面]光緒二十三年丁西五月二十 五日嫡子池原盛範死		池原	盛	1897	(1905 対 よ り)	底孔3
23	第40図1 PL_21の 1		24号幕	舊室安置藏骨器 Na.5	蓋	陶製無頭 襲 形(ボー ジナージーシ) (喜名焼)	Шa	9.5 15.6 35.0	24	線 彫・ 唐草	犯釉	[内面]競谷山筑登之親雲上	([ń])	読谷山				蓋段 [一 段]
24	第40図2 PL.21の 2		24号篇	原室安置幾骨器 Xu.5	身	陶製無頸 機形(ボー ジャージーシ) (喜名焼)	ші	26.6 56.3 21.8	23	線彫	泥釉	[右側面]・・(筑登之)親独上女子ロ ロロノ(筑登之)親独上女子ロノロ ロロロロロノロロ(室?)						窓庇 [3.6 cm] ①-1 人骨 [小 片約1体] 底孔なし
25	第40図3 PL.21の 3		24号墓	基室安置蔵骨器 No.1	煮	陶製無頸 甕 形ぱ - ジャージージ) (喜名焼)	Ша	7.8 14.8 29.6	26	線彫	泥釉							蓋段 [一 段]
26	第40図4 PL.21の 4		24号幕	基室安置获骨器 No.1	身	陶製無頭 菱 形(ボー ジャージーシ) (喜名焼)	1	25.0 47.6 20.2	25	線彫	泥釉							底孔なし
27	第40図5 PL_21の 5		24号塔	基室安置護骨器 No.2	蓋	陶製無頸 甕 形(ボー ジャージーシ) (喜名焼)	Шa	10.0 19.0 39.2	28	なし	泥釉							
28	第40図6 PL.21の 6		24号為	基室安置藏骨器 No.2	身	陶製無類 甕 形(ボー ジナージージ) (喜名焼)	Ш1	35.3 44.9 24.0	27	なし	泥粕	[左側面]口口母親						窓庇 [6.5 cm] ①-1
29	第41図1 PL_22の 1		39号幕	驀室(前)フク土	身	陶製無類 襲 形(ボー ジャージージ) (喜名焼)	шı	24.0 51.7 20.0		線彫	泥釉	[正面右側]顧谷(山按可)・口	(向)	(遊 谷 山)	(朝)			窓庇 [3.4 cm] 底孔なし
30	第41図2 PL22の 2		39号幕	幕室(前)フク土	身	陶製無頭 甕 形ポー ジャージーシ) (喜名焼)	III 1	23.4 48.4 20.0		線彫	泥釉							底孔8
31	第41 図3 PL.22の 3		39号篇	墓室(前)フク土	身	陶製無頭 甕 形(ボー ジャージーシ) (喜名焼)	Ш1	26.0 52.9 23.8		線彫	泥釉							底孔なし
32	第41図4 PL.22の 4		39号篇	幕室(前)フク土	身	陶製無頭 観 形ポー ジャージーシ) (喜名焼)	ΠI	23.6 49.2 22.6		線彫	泥釉	[正面右傾]康熙二十三年甲子正月初(二)/ [正面左傾]運驀道浄	([ជំ])	(讀谷 山)	(朝)	(1684)	(1686 ~ 1698)	窓底 [2.6 cm] ①-1
33	第42図1 PL.23の 1		39号幕	蘇室(前)フク土	身	陶製無頭 襞 形(ボー ジャージーシ) (喜名焼)	III 1	21.8 47.3 18.8		櫛猫	泥粕	[正面]佐教桉可朝易?)客/節心妙 戊/康熙四十年辛巳/六月十一日 卒	(向)	佐敷	朝	1701	(1703 ~ 1715)	窓庇 [2.0 cm] ①-2 底孔4

法量 上:上部径 中:器高 下:下部径(cm)

連番	挿図番号 図版番号	地区	幕番号	出土地点	身.葢	名称又は 仮称	形式 分類	法量	对 %	文様	施釉	路 书	Æ	家名	名乗頭		西 曆 洗骨年	備考
34	第42図2 PL.23の 2		24号幕	幕室藏骨器/6.12	-	陶製無頸 漿形(ボー ジャージーシ) (喜名焼)	Шa	8.7 15.7 31.9	35	線彫	泥粕	[内面]向氏摩文仁按司朝信/之列 む志られ骨也/康熙四十一年壬午 八月/十五日死去号涼月/康熙四 十三甲申/六月廿五日代清也	向	摩文仁	朝	1702	1704	蓋段 [一 段]
35	第42図3 PL.23の 3		24号墓	墓室藏骨器№12	身	陶製無頸 製 形(ボー ジャージーシ) (喜名焼)	ш	24.2 46.6 19.7	34	なし	泥釉	[内而扇部]凉月妙概				(1702 対 よ り)	(1704 対 よ り)	窓庇 [1.9 cm] ②-2 底孔5
36	第42図4 PL.23の 4		24号墓	墓室藏骨器%18	身	陶製無頭 製 形 (ボー ジャージージ) (番風焼)	ші	25.2 48.1 20.6		なし	なし	[消された銘書]ロ・・・・ロロヒー 月・・・/ロロ/ [右側面]乾(隆) 拾(三年戊)辰六月十四(日)洗骨也/ 口湖平親婁上妻	(車)	潮平	(AT)	(1734 ~ 1746)	(1748)	窓庇 [1.1 cm] ②-1 底孔5
37	第42図5 PL.23の 5		24号墓	森室藏骨器/0.15	身	陶製無頭 費 形ポー ジャージージ) (遺屋焼)		22.8 46.4 19.6		なし	なし	消された銘書 不鮮明・・・/ 正面 乾隆十三年戊辰/六月(十四 日ロロノ 正面左側 ロロ・・・ 一口/ロロロロ・・・/ロロ /ロロロロロは弦と・・・				(1748)	(1750 ~ 1762)	窓庇 [1.2 cm] ②-2 底孔1
38	第42図6 PL.23の 6		40号葉	蔡室藏骨器 No. 2'、No.3'	身	陶製無頭 襲 形(ボー ジャージーシ) (喜名焼)	1	22.5 47.7 22.0		なし	泥釉							No.2'は No 2、No.3'は No.3 付 近 から出土
39	第43図1 PL.24の l			36号墓室蔵骨器 Ma3′、36号墓室 フク土、40号墓 室蔵骨器M3′	蓋	陶製無頸 製 形(ボー ジャージーシ) (壺屋焼)	Шb	7.3 10.8 31.1	40	なし	なし	[内面]乾隆(二)拾六年巳/二月ロロ 死/同(三拾年)乙酉七月/九日洗 骨/ロロ・・/あロロられ				(1761)	1765	蓋段 [一 段] No.3'は No 3付近か ら出土
40	第43図2 PL.24の 2		40号墓	基室藏骨器%3°	身	陶製無頭 襲 形(ボー ジャージージ) (歯屋焼)	шı	24.5 47.8 20.2	39	なし	なし							No.3'は No 3付近か ら出土
41	第43図3 PL,24の 3		40号墓	墓室藏骨器%2′	身	陶製無頭 費 形(ボー ジャージージ) (壺屋焼)	1	25.6 50.1 19.8		線彫	なし							No.2'は No 2付 近 か ら出土
42	第43図4 PL.24の 4		40号篇	墓室藏骨器60.2	身	陶製無頸 製 形(ボー ジャージーシ) (喜名焼)	1	23.1 49.4 20.7		線彫								底孔5 No.2'は No 2付 近 か ら出土
43	第43図5 PL24の 5		19号篇	墓室	ij	陶製無頭 費 形ポー ジャージージ) (壺屋焼)	Ш1	25.6 47.7 20.8		なし	なし	[正而]・・・ロ・・ロロ・/・・・ 七月十九日/ロ・・・親雲上嫡子						窓庇 [1.2 cm] ②-1 底孔5
44	第44図1 PL25の I		40号墓	墓室藏骨器%3	蓋	陶製無頸 製 形ポー ジャージージ) (磁屋焼)		- 10.9 30.9	45	なし	なし	[内面]乾隆拾二年丁卯八月廿五日 洗骨/内間村鸱袋掟親蛋上裹思翻		纠 袋		(1733 ~ 1745)	1747	蓋段なし
45	第44図2 PL.25の 2		40号幕	募室藏骨器%3	身	陶製無頭 襲 形(ボー ジャージージ) (壺屋焼)	■2	28.8 55.3 21.6	44	なし	なし	[後面]乾隆拾二年丁卯八月廿五日 /洗骨内間村均袋掟親銀上表思磁		鸟袋		(1733 ~ 1745)	1747	窓庇 [1.0 cm] ③-1 底孔1
46	第44図3 PL.25の 3		40号墓	嘉室蔵骨器 ½ 2′、½3′、嘉室 フク土	蓋	陶製無頸 獲 形(ボー ジャージージ) (壺屋焼)		9.6 10.9 32.5	47	櫛描	なし	[内面]飲氏米須親黎上/清安三男 /米須筑登之清寶/大清乾降拾年 乙丑八月弐九日洗竹	欽	米須	消	(1731 ~ 1743)	1745	蓋段 [一 段] No.2'は No 2、No.3'は No.3 付近 から出土
47	第44図4 PL.25の 4		40号幕	寫完成骨器%2′	身	陶製無頭 製 形ポー ジャージージ) (壺屋焼)	Ш2	28.2 53.0 22.0	46	なし	なし	飲氏米須親數上/清安三男/米須 筑登之清寶/乾隆拾年乙丑八月式 九日洗骨		米須	Ä	(1731 ~ [743)	1745	窓印有 窓庇 [1.5 cm] ②-2 底孔5 No.2'は No. 2付近か ら出土

法量 上:上部径 中:器高 下:下部径 (cm)

变	挿図番号 図版番号	地区	墓番号	出土地点	身・蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法量	对 %	文様	施和	第 母	氏	家名	名乗頭	西 暦 死去年	西 暦 洗骨年	備考
48	第44図5 PL.25の 5		24号募	募室安置政告器 Xu6	蓋	陶製無頭 張 形(ボー ジャージーシ) (壺屋焼)	Шa	- 12.6 30.8	49	線彫	なし	[内面]統谷山掟親芸上(略字で書かれている)夫婦	(向)	読谷山				蓋段なし
49	第44図6 PL.25の 6		24号墓	墓室安置藏骨器 No.6	身	陶製無頭 衰 形ポー ジャージーシ) (壺屋焼)	Ⅱ 2	26,6 54.2 22.0	48	なし	なし	[正面]跷谷山掟親袰上夫婦	(向)	說谷山				窓底 [1.6 cm] ②-1 底孔5
50	第44図7 PL25の 7		24号旗	禁室安置截骨器 %0.7	蓋	陶製無頸 甕 形(ボー ジャージーシ) (壺屋焼)	Н	- 8.1 25.9	51	なし	なし	[内面]統谷山埞親雲上女子/大城 親雲上四代/儀保筑登之親雲上妻 /乾隆弐拾年乙亥七月廿七日洗骨		統谷山 /儀保		(1741 ~ 1753)	1755	蓋段なし
51	第44図8 PL.25の 8		24号墓	基室安置藏骨器 No.7	身	陶製無頭 襞 形(ボー ジャージーシ) (壺屋焼)	Ш3	20.2 30.7 17.1	50	なし	なし	[正面]大城親對上四代儀保筑登之 /親雲上妻/乾隆弐拾年乙亥七月 /廿七日洗件(說)谷山/旋親雲上 女子	?)	読谷山 /儀保		(1741 ~ 1753)	1755	窓底 [0.8 cm] ③-1 底孔5
52	第45図1 PL_26の I		39号幕	蘇室(前)フク土	蓋	陶製無頭 要 形(ボー ジャージーシ) (喜名焼)	Пa	7.6 18.8 33.6		線彫	泥粕	[内面]・・・(六)世向良謀(讀谷)山 按司室康(熙)五年(丙)年(十一)月十 五日卒		谷覧) (山)	(如)	1666	(1668 ~ 1680)	蓋段 [一 段]
	第45図2 PL.26の 2		24号嘉	募室フク土	益	陶製無頸 鬼形(ボー ジャージーシ) (壺屋焼)	Шa	7.4 14.3 29.4		総 描	なし	[内面消されている銘書]具志川大 屋観雲上孫/安仁屋観雲上男子思 /御畿十六/康熙二十六年丁卯九 月廿八日/ [内面消されていな い銘書]康熙四十弐年(辛)末十一月 / 口口喜観雲上妻/口口ロロ/ (虔観雲上/				(1687), (1703)	(1689 ~ 1701). (1705 ~ 1717)	
54	第45図3 PL.26の 3		39号舊	驀室(前)フク土	蓋	陶製無頭 要 形ポー ジナージージ) (壺屋焼)	Ша	- 11.0 29.0		櫛描	なし	[内面]・・・(仲)里按司朝隆室思戸 金/雍正十四年丙辰四月八日洗骨	(向)	仲里	Ø)	(1722 ~ 1734)	1736	蓋段なし
55	第45図4 PL,26の 4		40号幕	幕庭フク土、 墓室フク土、 墓室裁骨器302°	蓋	陶製無頸 甕 形(ボー ジャージーシ) (壺屋焼)	Ш	- 11.7 31.1		線彫	なし							蓋段なし No.2'は No 2付 近 か ら出土
56	第45図5 PL.26の 5		40号墓	墓室フク土、 墓庭外フク土	蓋	陶製無類 費 形ポー ジャージージ) (壺屋焼)	Ш	8.5 11.7 29.0		磁描	なし							蓋段 [- 段]
57	第45図6 PL.26の 6		40号墓	募室フク土、 墓庭フク土	蓋	陶製無頭 甕 形(ボー ジャージーシ) (壺屋焼)	Ш	- - 29.0		なし	なし							養段なし
58	第45図7 PL.26の 7		39号幕	韓室(前)フク土	益	陶製無頸 甕 形ポー ジャージーシ) (喜名焼)		8.4 11.2 32.0		梅描	なし	[内面]七世/向氏仲里按司朝英法 名(向)維屏/雍正拾一癸丑年二月 二(日)卒/乾隆拾(己巳だと四が抜 けている)己巳年十月十日洗骨/ 仲里按司朝英雄宝/乾隆(二)十年 (乙)亥五月十五日・・・/合葬		仲里	朝	1733	1745 か 1749	つまみり 蓋段 [- 段] 外値 に「△右」 と墨書有
59	第45図8 PL.26の 8		24号幕	募室フク土	盎	陶製無頭 費 形(ボー ジャージーシ) (壺屋焼)		10.8 32.6		なし	なし	[内面]乾隆三拾老年丙戌七月七日 洗骨/(呂?)氏宮城筑登之親雲上娘 潮平筑登之親雲上妻		潮平	(集)	(1752 ~ 1764)	1766	つまみ b 蓋段なし
60	第45図9 PL.26の 9		24号茲	募室藏骨器No.2 下	蓋	陶製無頸 饗 形(ボー ジャージーシ) (壺屋焼)		9.3 7.4 28.8		なし	なし	[内面]乾隆三十八年癸巳/壬三月 ロ八日/次男・・・筑登之/ロ 口洗什/				(1759 ~ 1771)	1773	つまみな し。 蓋段 [一 段]
61	第45図 10 PL-26の 10		40号幕	募室藏件器Xo.2′	蓋	陶製無頸 壊 形(ボー ジャージーシ) (盛屋焼)		10.6 10.4 34.9		なし	なし							つまみな し。 蓋段なし No.2'は No 2付 近 か ら出土

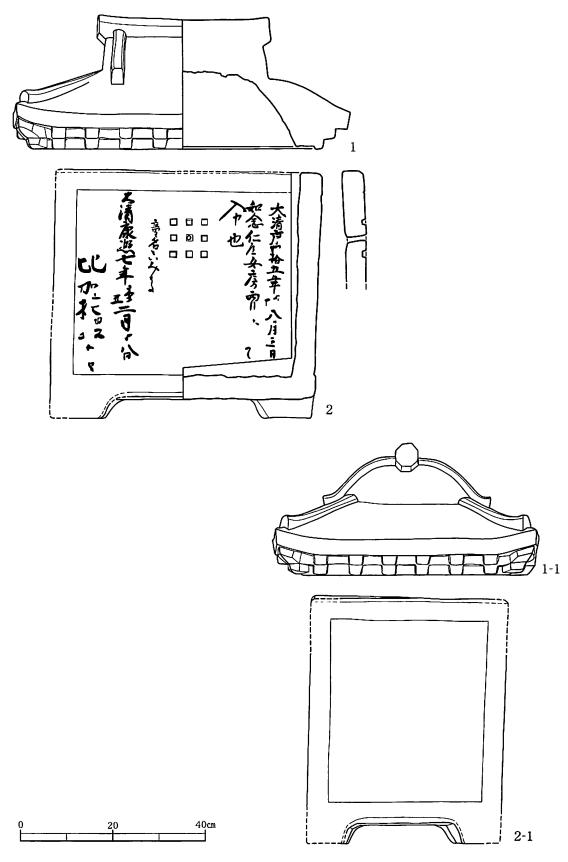
电路	挿図番号 図版番号	地区	墓番号	出土地点	身・蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法量	対 %	文様	施釉	第 海	Æ	家名	名乗頭	西 曆 死去年		備考
62	第45図 11 PL:26の 11		24号篇	嘉室フク土	蓋	陶製無頭 製 形(ボー ジャージーシ) (藍屋焼)	шс	10.8 8.7 29.3		なし	なし	[内面]乾隆五十七年壬子七月廿四 日洗骨車姓潮平筑登之親雲上妻王 金	車	潮平	(4 ()	(1778 ~ 1790)	1792	つまみな し。 蓋段なし
63	第45図 12 PL-26の 12		24号嘉	募室フク上	益	陶製無頸 製 形ポー ジャージーシ) (壺屋焼)	Шс	6.4 8.0 28.2		なし	なし	[内面]嘉慶弐拾四年已卯八月二十七日嫡子湖平(筑登之)親宏上集本 妻洗骨/口口口毛氏大工矩(筑登 之)親雲上安林娘真牛/		湖平	Ж	(1805 ~ 1817)	1819	つまみな し。 <u>출</u> 段なし
64	第46図1 PL.27の I		38号幕	驀廃フク土 墓庭(右垣)フク 上	蓋	陶製円筒 形(ジーシ) (黄屋焼)	IV	- - 42.8	65	線影	なし	[内面]・・・筑登之						線彫の幹 書
65	第46図2 PL.27の 2		38号墓	墓庭フク土 幕庭(右垣)フク 土 幕庭外フク土	身	陶製円筒 形(ジーシ) (壺屋焼)	īV	38.2 42.8 32.8	64	線彫・ 貼付	なし							-
66	第46図3 PL:27の 3		31号篇	第上フク土 フク土	蓋	陶製円筒 形(ジーシ) (壺屋焼)	IV	- - 39.6	67	なし	なし	[内面]・・・ロ・・・ロ/屋宿祖尓 (也)		屋富祖		(1722 ~ 1794 対 よ り)	(1736 ~ 1796 対 よ り)	
67	第46図4 PL-27の 4			31号墓フク土 31号墓上フク上 31号墓庭フク土 31号墓室フク土 23号墓室(奥)	Ŗ	陶製円筒 形(ジーシ) (壺屋焼)	IV	31.8 55.1 36.3	66	線 彫・ 貼付	なし	「正面、左]大清乾隆・・・・・/ ロロロ・・・ロロ・・/洗竹ロロ (屋富祖)尔也)/ [正面、右]ロロ /屋富祖尔也		屋窩組		(1722 ~ 1794)	1736 ~ 1796	窓庇 [0.6 cn]
68	第46図5 PL.27の 5		24号幕	草室藏骨器/0.16	ħ	陶製有類 甕形(ジー シガーミ) (壺屋焼)	V2	27.8 44.6 22.4		貼付	なし							ポージャー に近い。 底孔7 人 省 [女 性1]
69	第46図6 PL.27の 6		39号聲	幕室(前)フク土 幕室(奥)フク土	д	陶製有頭 甕形(ジー シガーミ) (壺屋焼)	V4	30.4 60.0 26.7		線彫・貼付	なし	[正面]向組光(六男渡久地)親雲上朝 存/思戸金・・・・/大部(乾 降)五十四年(己)酉十月□□□ /・・・・(補)採問切得低□/(親) 雲上長女世/・日日去方に十□/ [右後面] 徳韻谷山王子朝苗・・・ /・・・検司朝隆先室思(戸金)・・・	向	(仲里)	朝	(1789)	(1791 ~ 1803)	
70	第47図1 PL.28の I		6D号 概	基室安置藏骨器 No.4	蓋	陶製有頭 甕形(ジー シガーミ) (点屋焼)	Vс	- 10.4 21.7	71	なし	マンガン	【内面】池原藩戸大正抬年旧西五月 抬日洗骨/父次男藩戸四男		池原		(1907 ~ 1919?)	1921	蓋段 [二 段]
71	第47図2 PL.28の 2		6D() 蔡	基室安置藏骨器 No.4	Ŗ	陶製有頭 饗形(ジー シガーミ) (帝屋焼)	V5	22.6 38.0 12.9	70	線彫	マンガン							底孔9 人骨 [小 片]
72	第47図3 PL.28の 3		33万⊈	墓室安置載竹器 %a4	蓋	陶製有頭 饗形(ジー シガーミ) (壺屋焼)	V c	- 7.8 18.4	73	なし	マンガン	[内面]比嘉盛徳/次女カマド/三 オ/昭和十五年/印二月二十日洗 骨		比嘉	盛	(1926 ~ 1938)	1940	人 针 [乳 ~幼児1]
	第47図4 PL.28の 4		33号幕	墓室安置養骨器 No.4	삵	陶製有頭 甕形(ジー シガーミ) (壺屋焼)	V5	18.0 30.7 9.2	72	線彫	マンガン			-				底孔7 人骨 [乳 ~幼児1]
	第47図5 PL:28の 5		39号盘	嘉室(前)フク土	益	陶製有類 機形(ジー シガーミ) (壺尾焼)	V c	8.2 - -	75	なし	マンガン	[内面]□□□□□□の明隆□□真吳 染冨名腰親雲上室離別辞六十七/ 大(清嘉)寝二十(一年丙)子十一月二 十八日洗骨	(向)	(仲里)	朝	(1802 ~ 1814)	(1816)	蓋段 [一 段]
	第47図6 PL.28の 6		39号篇	募室(前)フク土	身	陶製有類 襲形(ジー シガーミ) (磁量焼)	V4	23.2 47.3 18.8	74	線影· 貼付	マンガン	[正而]十世种里按司朝隆七女真具 集富名廢親雲上室盤別壽六十七嘉 慶二十一年丙子十一月二十八日洗 骨/大诸嘉慶二十一年丙子十一月 二十八日洗骨	(向)	仲里	Ø)	(1802 ~ 1814)	1816	

連番	挿図番号 図版番号	地区	墓番号	出土地点	身・蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法鼠	対 No	文様	施釉	銘 書	氏	家名	名乗頭	西 唐 死去年	西 暦 洗骨年	備考
76	第47図7 PL-28の 7		24号墓	基室藏骨器No.17	益	陶製有頭 甕形(ジー シガーミ) (壺屋焼)	VЪ	10.9 19.7 29.0		なし	マンガン	[内而]嘉慶弐拾四口己卯八月廿五 日嫡子湖平筑登之权翌上洗骨集本	(車)	潮平	华	(1805 ~ 1817)	1819	蓋段 [二段] 「き」高さ [0.4cm]
77	第47 匈 8 PL.28の 8	北	7号墓	嘉室安置藏骨器 %1	蓋	陶製軒付 張形(ジー シガーミ) (藍屋焼)	VI a	8.7 20.6 32.4	78	貼付	マンガン	[内面]成豊九年辛(ほんとは己)未十一月六日福平里之子親宴上次男寛 起洗骨仕/同年辛(ほんとは己)未十一月六日次男親平里之子親雲上 寛起口洗骨/同年辛(ほんとは己) 未十一月六日嫡子係童名貞蕭戸洗 骨仕	(易)	潮平	X	(1845 ~ 1857)	1859	蓋段 [三 段] 「き」高さ [0.3cm]
78	第47図9 PL.28の 9	北	7号墓	幕室安置藏骨器 No.1	身	陶製軒付 褒形(ジー シガーミ) (壺星焼)	VII	32.4 66.0 25.0	77	貼付	マンガン							底孔37 人 骨 [男 1、女2、 幼児1]
79	第47図 10 PL.28の 10			18号墓庭フク土 15〜18号 墓 庭 フク土	益	陶製有類 甕形(ジー シガーミ) (壺屋焼)	Va	11.0 15.7 31.2		貼付	マンガン	[内面)乾隆四十年乙未十月十八日 洗骨/口口戌七月六日洗什/口口 (喜屈武)/妻		(喜屋 武)		(1761 ~ 1773)	1775	蓋段[一段] 「き」高さ [1.3cm]
80	第48図1 PL.29の I		24号募	基室安置機骨器 No.3	身	土器盛		25.0 42.7 20.0		tsl	なし							転用機骨 器。 ガラス小 玉 が311 点得られ た。
81	第48図2 PL.29の 2		24号藍	募室フク土 (左側崩落)フク 土	Ġ	土器壺		18.5 23.4 13.9		なし	なし							転用蔵骨 器。 内底部に 骨付着。
82	第48図3 PL.29の 3		16号幕	基室安置藏骨器 No.1	身	土器壺		20.6 37.1 16.2		なし	なし					-		転用蔵骨 器
83	第48図4 PL-29の 4		39号葉	墓室(前)フク土	身	土器壺		19.6 37.0 20.0		なし	なし							転用蔵骨 器
84	第48図5 PL.29の 5		40号墓	募室蔵骨器/6.2′ /6.3′ 墓室フク上 嘉庭フク土 フク土	身	褐釉陶器 愛 (中国産)		18.8 52.8 13.7		なし	褐釉							転用裁骨 器 No.2'は No 2、No.3'は No.3 付近 から出土
85	第48図6 PL.29の 6		38号墓	墓庭フク土 墓 庭(右 垣)フ ク 土	身	掲釉陶器 壺 (タイ産)		- 49.6 25.2		なし	超釉							転用蔵骨 器
86	第48図7 PL29の 7		24号墓	蘇室藏骨器No.19	身	陶器甕 (喜名焼)		29.7 53.7 22.4		なし	泥釉	[外而開部]口良口概整上/同男子 口嫡子/康熙三十五年乙子/八月 口四日				(1696)	~ 1710)	転用裁骨 器。 人骨 [男 性2、女性 1]
87	第48図8 PL.29の 8		40号嘉	蘇室蔵骨器‰2′ №3′ 墓室フク土 墓庭フク土	身	陶器製 (産地不明)		30.7 38.3 19.0		なし	緑褐色釉							転用裁骨 器 No.2'は No. 2、No.3'は No.3 付近 から出土
	第49図1 PL30の 1			基室發付器/62′		陶器褒 (喜名焼)		22.9 31.8 14.9		郷目貼 付	釉							転用載骨 器 No.2'は No. 2付 近 か ら出土
	第49図2 PL.30の 2		39号墓	森室 (前)フク土	身	陶器壺 (壺屋焼)		14.8 26.6 12.0		縄目貼 付	なし							転用截骨 器
	第49図3 PL.30の 3		24号奪	墓室蔵骨器%26	ф	陶器壺 (壺屈焼)		- - 19.2		なし	泥釉							転用 進 骨 器

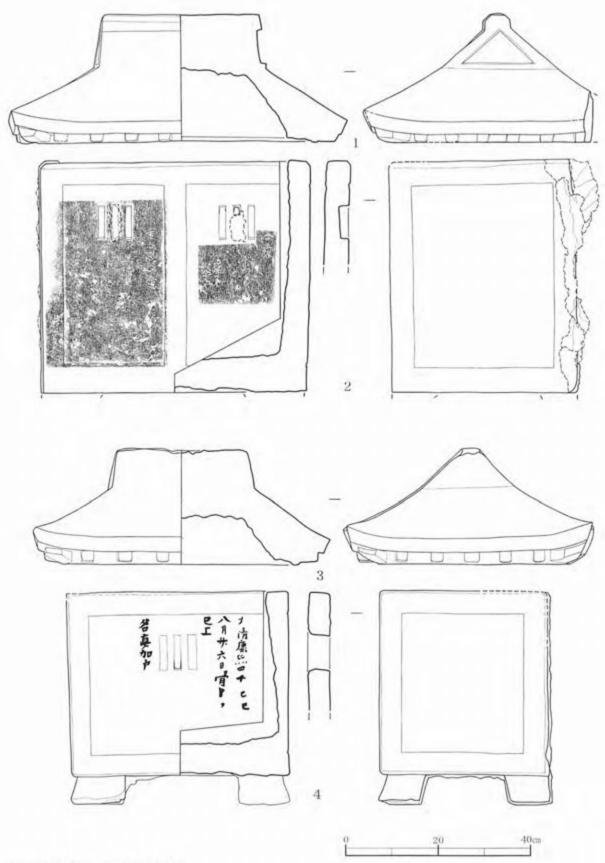
連番	师闵番号 図版番号	地区	墓番号。	出土地点	身・蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法讯	対 No.	文様	施軸	銘 登	Æ	家名	名乗頭	西 塔 死去年	西 暦 洗骨年	備考
91	第49図4 PL.30の 4		9号墓	墓室安置蔵竹器 No.2	益	陶器甕 (壺屋焼)		7.0 5.8 19.8	92	なし	なし							転用裁件 器
92	第49図5 PL.30の 5		9号幕	墓室安置養骨器 No.2	身	陶器號 (壺屋焼)		21.3 39.6 16.1	91	拙座貼 付	なし							転用載竹 器
93	第49図6 PL.30の 6		36号幕	草室设骨器%3	益	瓦質壺 (湧田?)		8.9 6.4 16.0	94	なし	なし						_	転用裁付 器
94	第49図7 PL.30の 7		36号聲	墓室織竹器加3	身	五質壺 (孫田?)		13.5 28.5 15.3	93	なし	なし							転用 藏作器 人 骨 [男性2、女性 1、若年1、 幼児1]
95	第49図8 PL30の 8		40号寫	墓室藏竹器No.2′	身	陶器甕 (壺屋焼)		15.9 32.4 13.0		なし	なし							転用蔵付器 器 No.2'は No 2付 近 か ら出土
96	第49図9 PL30の 9			40号幕室蔵骨器 No.2' 36号幕室フク土 36号幕フク土	身	陶器漿 (薩摩焼)		17.2 29.2 13.7		なし	黒褐柏							転用蔵貨器 Ma2'は Ma 2付近か 5出土
97	第49図 10 PL.30の 10		7号幕	袖墓内	身	陶器褒 (壺屋焼)		11.7 26.4 10.0		なし	なし	[外面胴部]長男新垣三良/男子明 治世三年(庚子)旧七月廿日午後/ 七時生翌廿一日/午前七時死亡也 /幼名ナシ		新垣		1900		転用蔵作 器
98	第49図 11 PL_30の 11		24号墓	墓室藏骨器%24	身	火炉 (喜名焼)		14.0 19.7 16.4		なし	泥釉・アメ釉							転用蔵作 器
99	第49図 12 PL30の 12		24号舊	藝室安置藏骨器 No.4	蓋	鉢 (喜名焼)		36.3 18.0 18.1		なし	泥粕							転用費作器。 人骨[細片 (約1体)]
100	第49図 13 PL:30の 13			36号募室フク土 39号 募室(前)フ ク土	益	福鉢 (壺屋焼)		32.2 13.3 11.3		なし	なし	[外面]口口之/比嘉尔也		比嘉				転用蔵作 器
101	第50図1 PL.31の 1		17号墓	墓庭(右隅)	身	小並 (並屋焼)		7.2 11.9 7.5		なし	なし							転用蔵作器 器 底孔1
102	第50図2 PL.31の 2		43号幕	幕室フク土	蓋	小壺 (壺屋焼)		- 2.7 6.5		なし	なし	[ふち]窓慶ノ長男武太 大正六年・・ ロ夭亡ロロロ			邀	(1917)		転用機作 器
103	第50図3 PL.31の 3		32号與	墓室フク土	蓋	油壺 (壺屋焼)		4.1 3.6 7.4		なし	なし	[内面]大正三年死亡/昭和十三年 宮城/政忠次男三郎/		宮城	政	1914		転用政ヤ 器
104	第50図4 PL31の 4		3号篇	墓室フク土	蓋	素焼 (アカムン) (壺屋焼)		6.9 5.0 16.6		なし	なし	[内面]宮・・・/・・□村□(男金城?)親雲上		(金城)				転用蔵作 器
105	第50図5 PL.31の 5		6D号 墓	墓室安置發骨器 Xo.5	蓋	小鉢 (本土産)		- 2.3 13.0	106	蓋甲に 力の字		[内面]昭和九年五月九日二女池原 久子三才/昭和十年五月一日光江 三女二才 【朝面】(盛?)口口子		池原		(1934), (1935)		転用政作器
106	第50図6 PL31の 6		6D号 墓	基室安置護骨器 No.5	身	小鉢 (本土産)		14.8 13.2 11.4	105	褐釉斑	緑色釉							転用酸作器。 人骨[小片(焼骨)
107	第50図7 PL.31の 7		8号墓	幕庭フク土	身	小壺 (壺屋焼)		12.1 25.2 9.1		なし	林色釉							転用發作 器

法量 上:上部径 中:器高 下:下部径(cm)

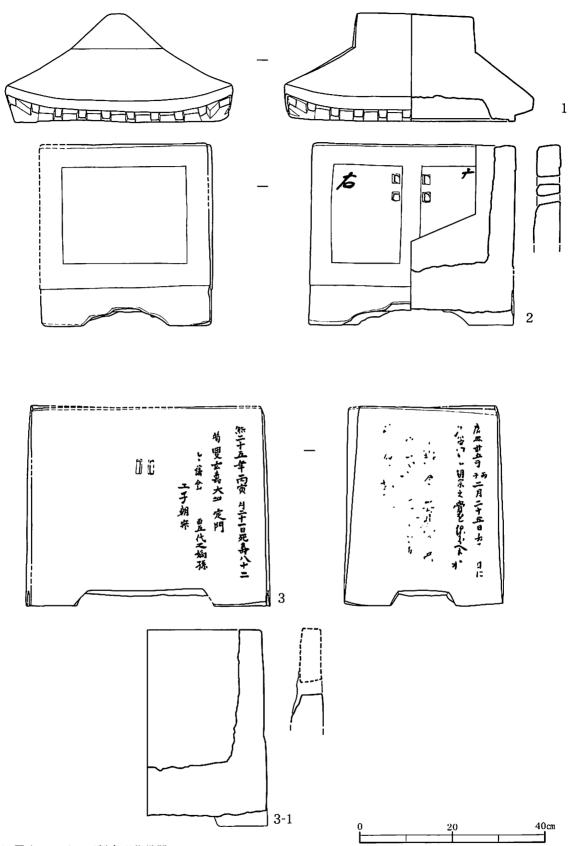
遊番	挿図番号 図版番号	地区	幕番号	出土地点	身・蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法鼠	对 No	文様	施釉	R B	Ţ.	家名	名乗頭	西 暦 死去年	西 暦 洗骨年	備考
108	第50図8 PL.31の 8		32号墓	墓室フク土	¥	小壺 (壺屋焼)		10.0 22.7 8.3		なし	なし							転用蔵骨 器
109	第50図9 PL31の 9		7号墓	□ 30 □	ij	小壺 (壺屋焼)		8.9 17.5 6.2		なし	なし							転用載骨 器
110	第50図 10 PL31の 10		14号墓	墓庭フク土	身	小壺 (壺屋焼)	i	8.5 13.6 7.6		なし	なし							転用蔵骨 器
111	第50図 11 PL.31の 11		23号幕	墓庭フク土	Ü	小壺 (壺屋焼)		9.3 12.3 6.6		なし	なし							転用蔵骨 器
112	第50図 12 PL.31の 12	1t	8号盘	墓庭フク土	ij	小壺 (壺屋焼)		7.8 13.3 7.0		なし	なし							転用磁竹 器
113	第50図 13 PL31の 13		14号幕	墓庭フク土	À	小壺 (壺屋焼)		8.1 13.3 6.4		なし	なし							転用 裁 分 器
114	第50図 14 PL.31の 14		38号墓	墓庭(右垣)フク 土	身	小壺 (壺屋焼)		7.5 9.0 5.2		なし	なし							転用蔵骨 器
115	第50図 15 PL.31の 15		32号墓	墓室フク土	ÿ	油壺 (壺屋焼)		12.8 21.6 12.0		なし	黒色釉							転用蔵骨 器
116	第50図 16 PL31の 16		11号墓	墓室	Ü	油壺 (壺屋焼)		11.1 16.4 9.2		なし	黒色釉							転用裁竹 器
117	第50図 17 PL.31の 17			42号墓フク土 32号墓庭フク土	Ü	小鉢 (本土産)		16.4 16.9 11.8		なし	褐色釉							転用磁件 器



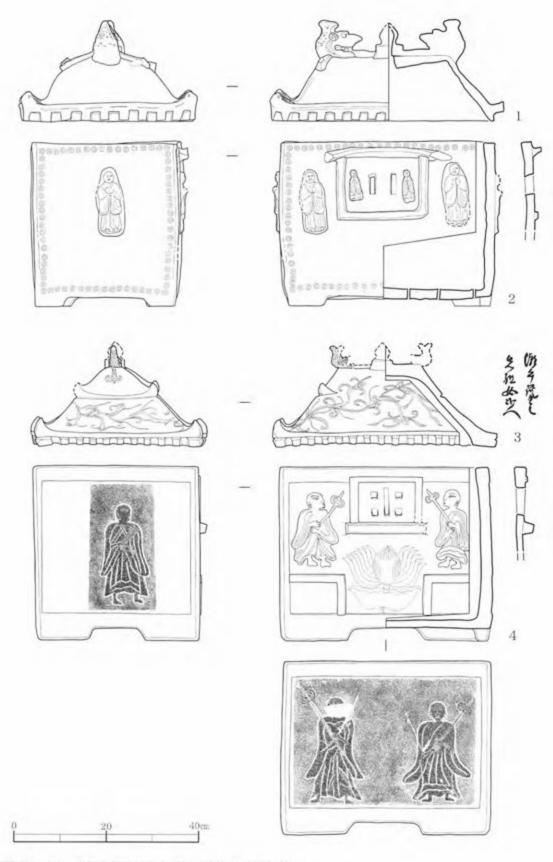
第32図(PL.13) 石製家形蔵骨器



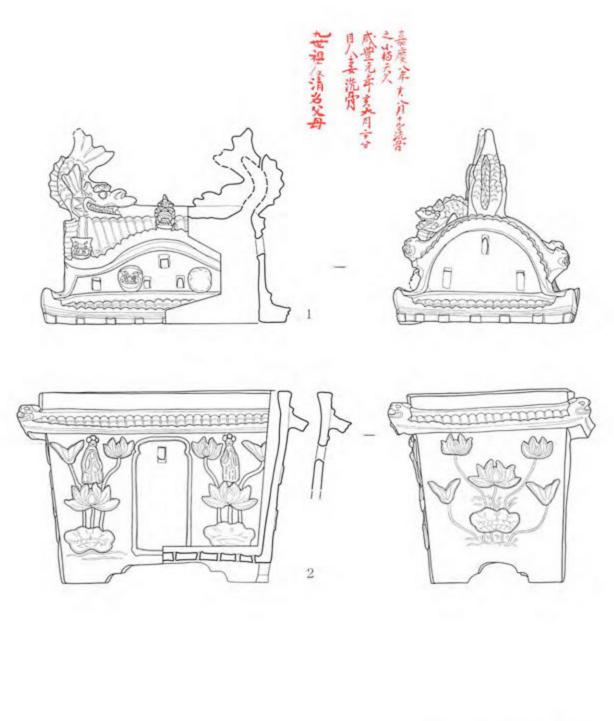
第33図(PL.14) 石製家形蔵骨器

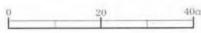


第34図(PL.15) 石製家形蔵骨器

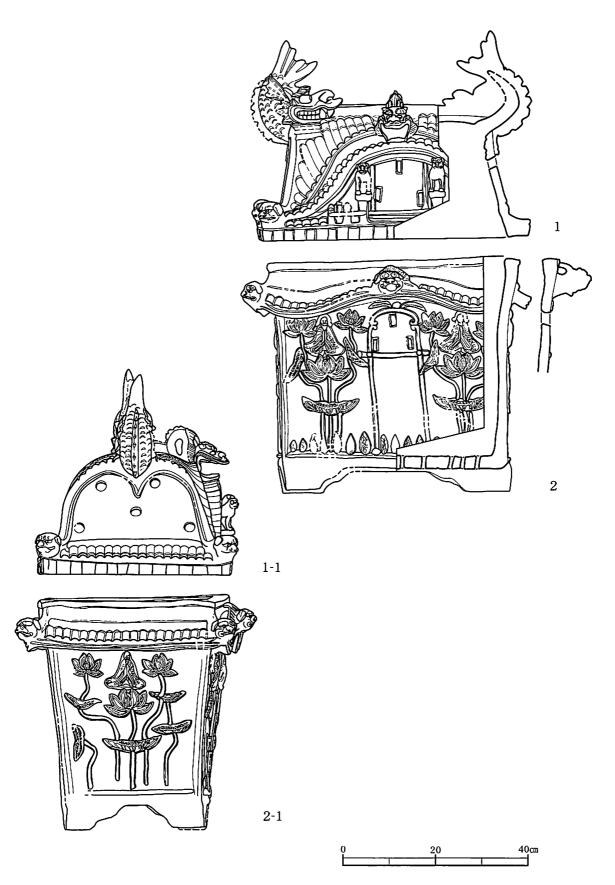


第35図(PL.16) 陶製家形蔵骨器:素焼 (方言でアカムン)

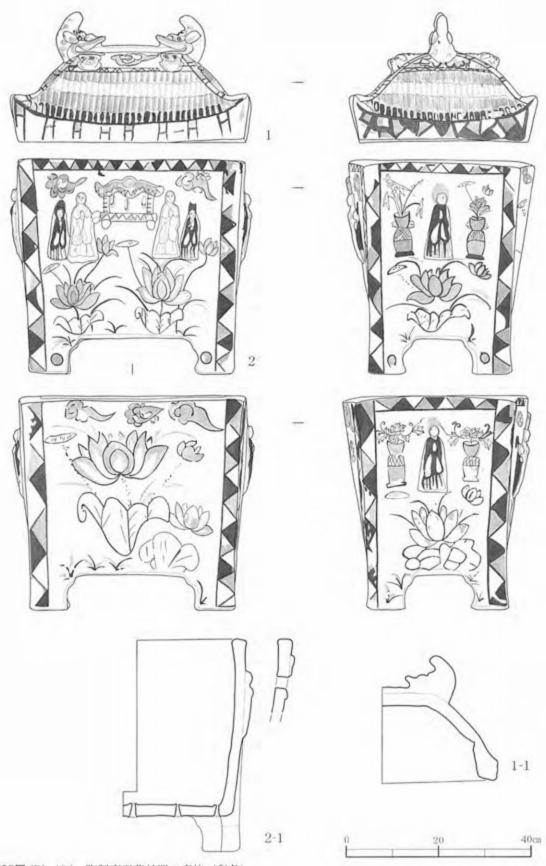




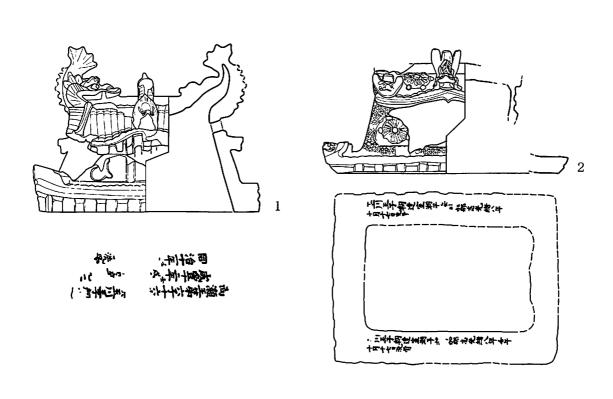
第36図(PL.17) 陶製家形蔵骨器:素焼 (方言でアカムン)

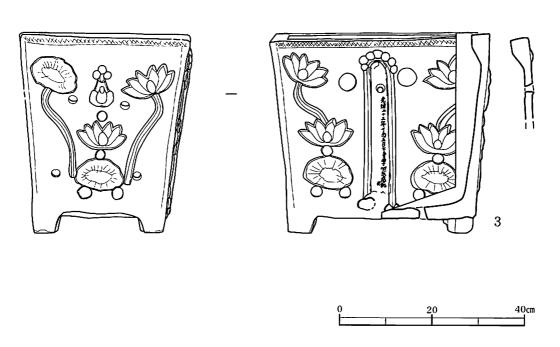


第37図(PL.18) 陶製家形蔵骨器:素焼(方言でアカムン)

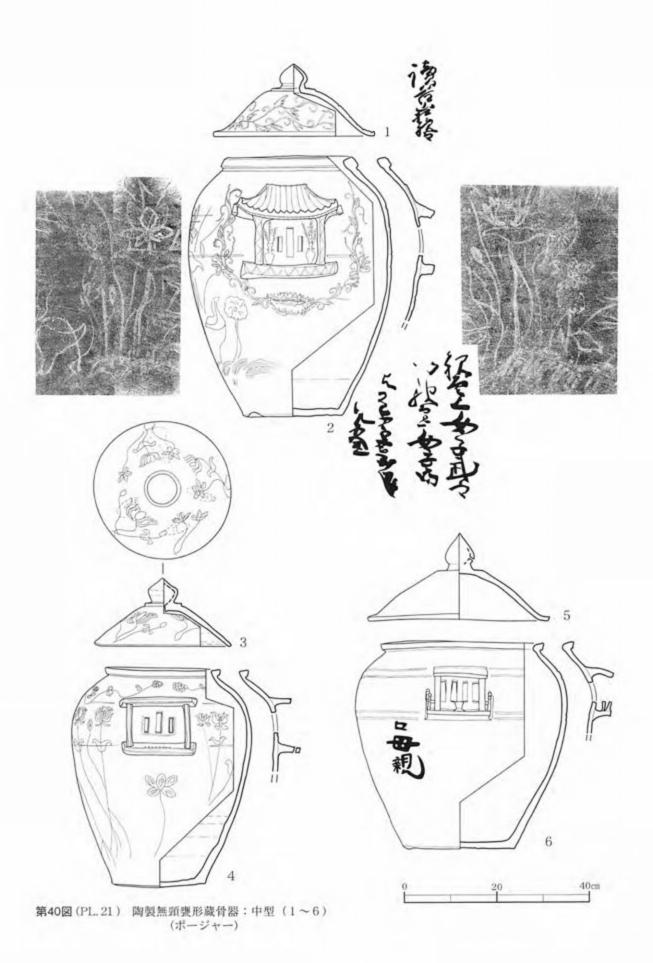


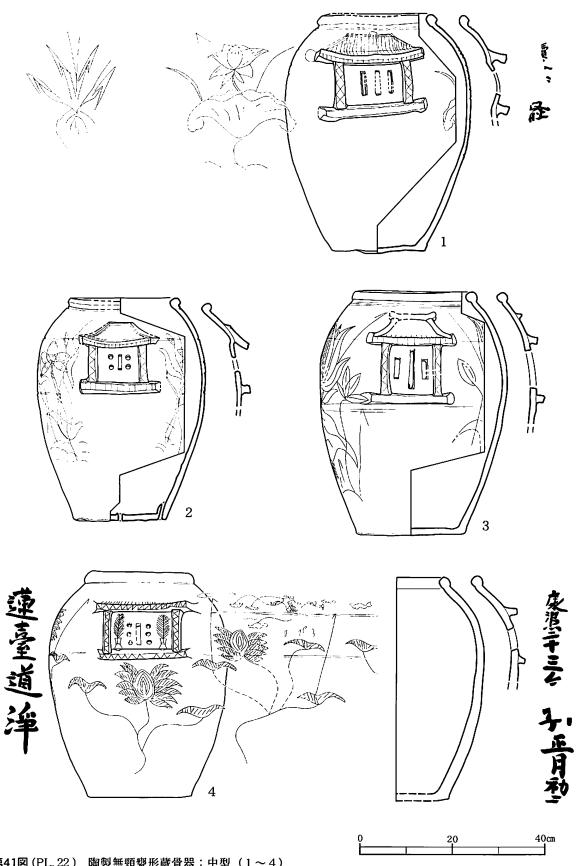
第38図(PL. 19) 陶製家形蔵骨器:素焼 (彩色)



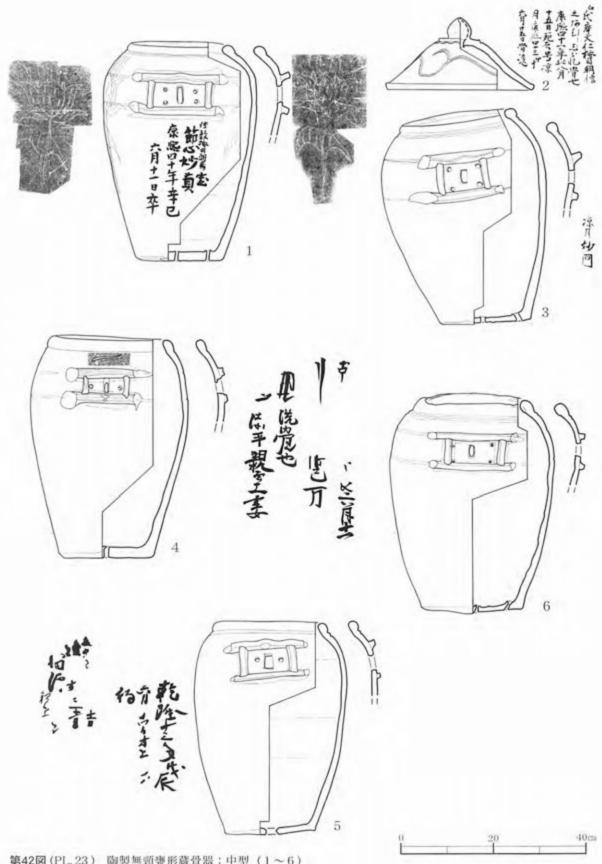


第39図(PL.20) 陶製家形蔵骨器:施釉

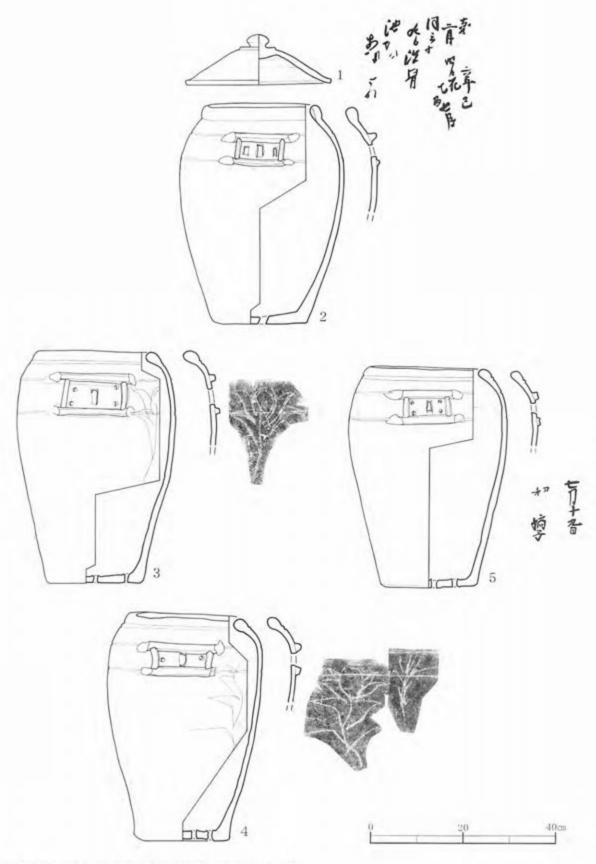




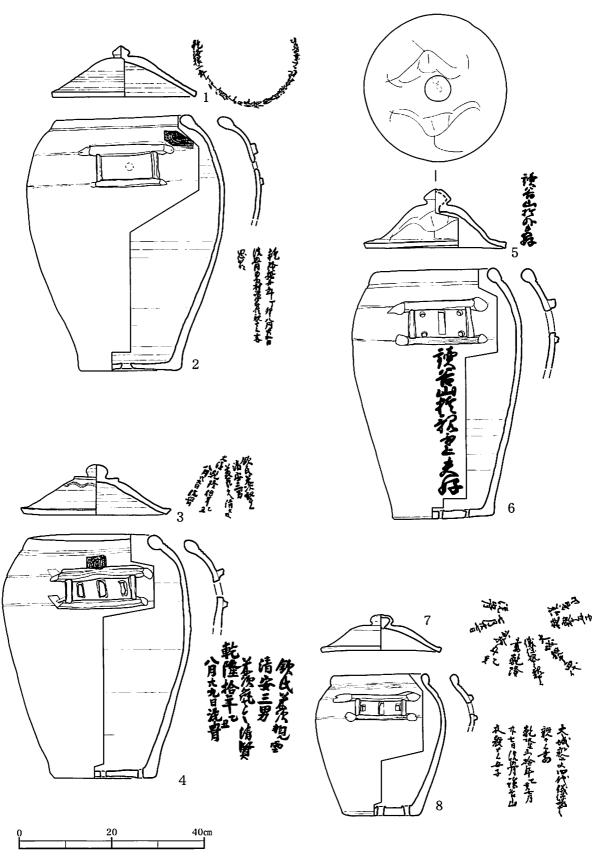
第41図 (PL. 22) 陶製無頸癭形蔵骨器:中型(1~4) (ボージャー)



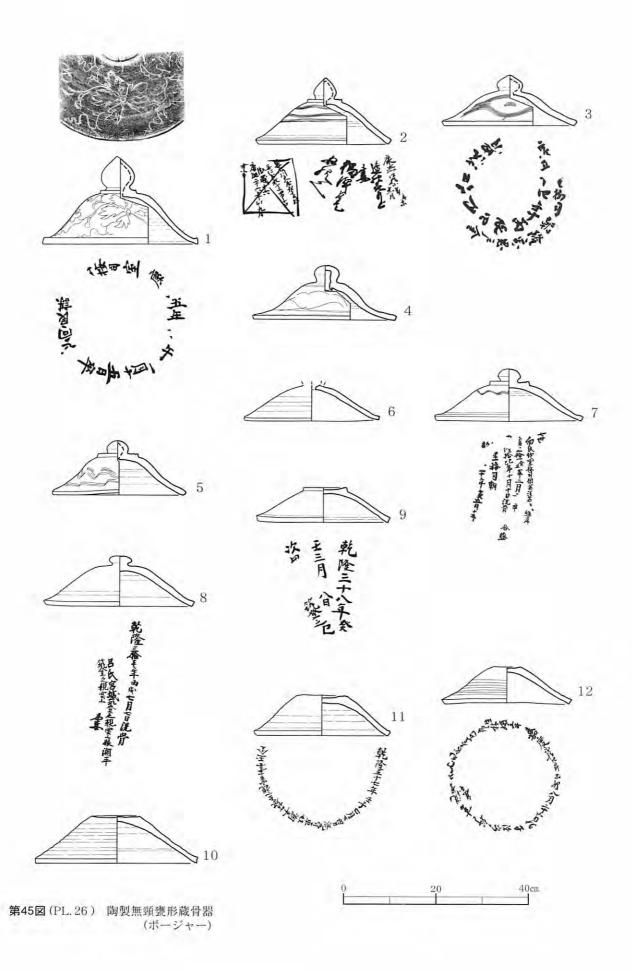
第42図(PL 23) 陶製無頸甕形蔵骨器:中型 (1~6) (ボージャー)

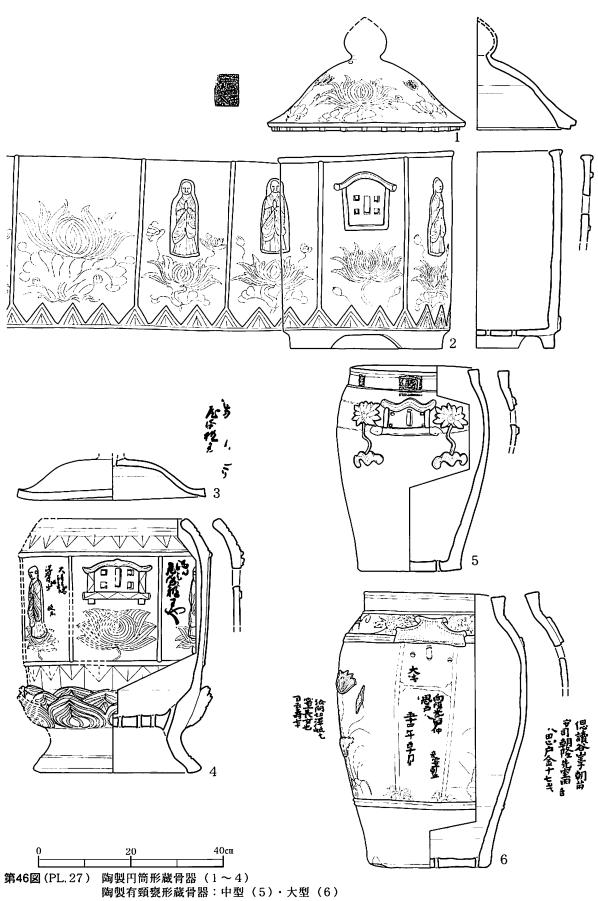


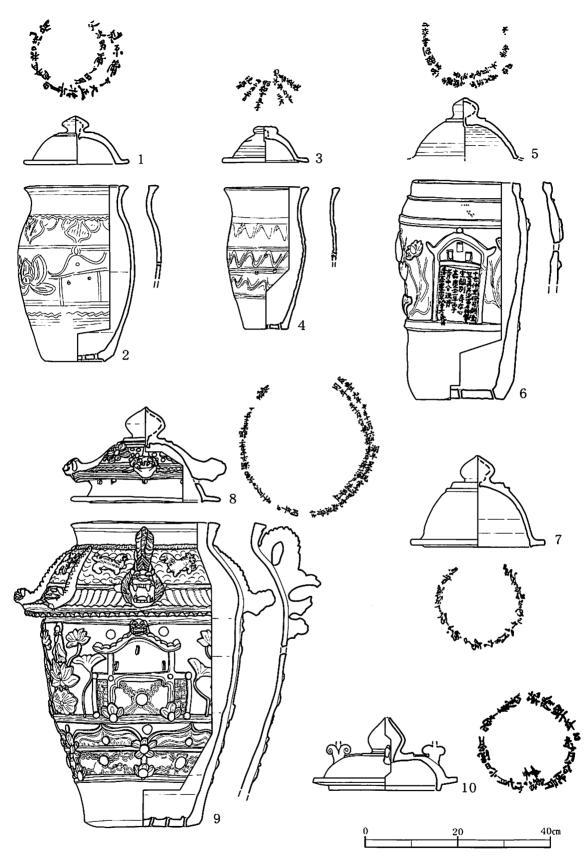
第43図(PL.24) 陶製無頸甕形蔵骨器:中型 (1~5)



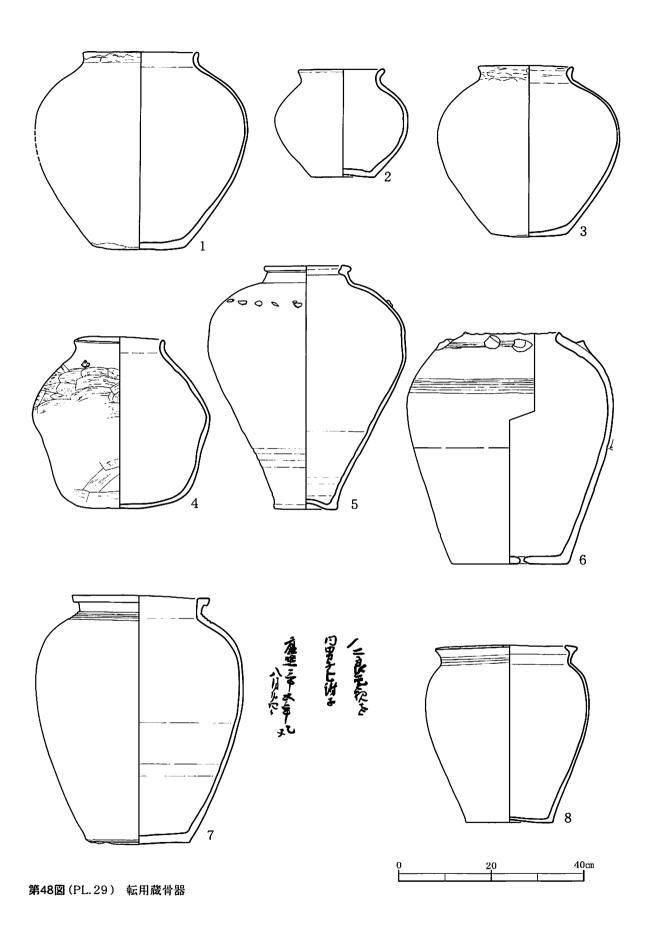
第44図(PL.25) 陶製無頸甕形蔵骨器:大型 (1~6)・小型 (7・8) (ボージャー)



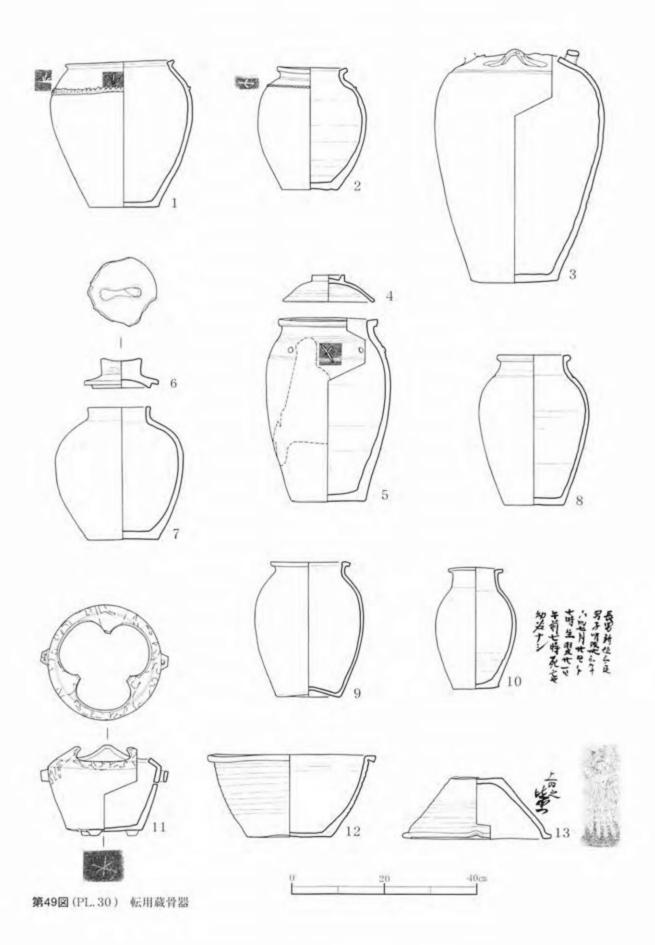


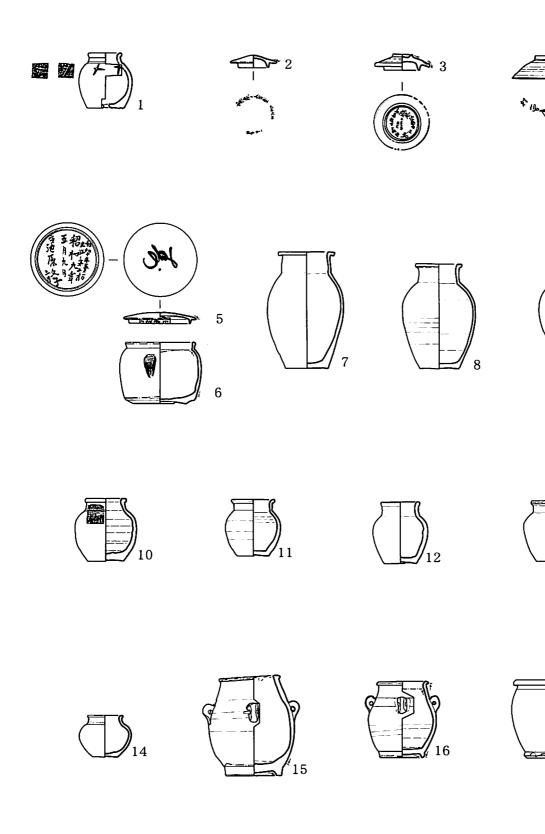


第47図(PL.28) 陶製有頸漿形蔵骨器:小型(1~4)・中型(5~7) 陶製軒付漿形蔵骨器:大型(8~10)



- 76 **-**





第50図(PL.31) 転用蔵骨器

第6表 ミガチ(銘書)のある蔵骨器観察一覧

連番	挿図番号 図版番号	基番号	出土地点	身・蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法量	対必	銘 書	氏	家名	名乗頭	西 暦 死去年	西 暦 洗骨年	備考	故事 (位牌)
1		1号墓	(右垣)	蓋	陶製無頭 褒 形ポー ジャージーシ)	П	- 8.7 27.0		[内面]・・・ロ(年)ロ/・・・ロロ							
2		1号幕	(右垣)	益	陶製無頸 豊 形(ボー ジャージーシ)	Пс	8.4 7.6 30.1		[ふち]大清嘉慶二年巳五月十八日たる 比嘉洗什/ [内面]卯七月廿八日/宮 ロ/たる比嘉妻/亀あんま		比嘉		(1783 ~ 1795)	1797	蓋段[一段]	
3		1号墓	(右垣)	Ŗ	陶製無頭 褒 形ポー ジャージーシ)	ш	29.7 47.0 21.7		[正面右]たる比嘉/ [正面左]卯七月口 口口/たる比嘉		比嘉				底孔12	
4		1号墓	(右垣)	查	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	Va	12.5 17.8 33.3		[内面]たる比嘉 [ふち]ロロロロたる比 第ロロロスロ		比嘉				蓋段[二段] 「き」高さ [0.8cm]	
5		1号墓	(右垣)	蓋	陶製有頸 豊形(ジー シガーミ)	v	- - 21.8		[ふち]ロロロロオ							
6		1号墓	(右垣)	身	陶製有類 褒形(ジー シガーミ)	V4	33.6 65.0 25.2		[正面]00・・・/00・・・						窓庇[0.6cm] 底孔4	
7		1号墓	墓庭フク土	身	陶製有類 褒形(ジー シガーミ)	V5	19.4 - 14.9		・・・松子太郎口松・・・						氏孔12	
- 1	第36図1 PL.17の I	2号墓	募室安置藏件器 No.2	益	陶製家形 (ウドゥンジーシ) (壺屋焼)	II b	50.7 42.2 53.8		[内面]路慶八年亥八月十九日洗竹/之 小樽天久/成璧元年亥六月二十八日/ 同人妻洗骨/九世祖慶清名父母	(欽)	祖慶	消	(1789 ~ 1801), (1837 ~ 1849)	1803, 1851	朱色のミガ チ(銘書)	
9		2号墓	墓室安置蔵骨器 No.1	蓋	陶製家形 (ウドランジージ)	II b	- 30.3 49.5		九世長男諸名	(欽)	(祖慶)	前	1010,			
10		2号墓	墓庭外土坑	身	陶製家形 (ウドゥンジーシ)	П			[正面]・・・(也?)/清ロ・・・/ 夫妻・・・							
11		2号墓	驀庭外土坑	蓋	陶製軒付 豊形(ジー シガーミ)	VI a	12.3 16.3 33.2		明治四十一年/ロロロの洗竹/ロ・・ /ロ・・・/仁ロ/十二世				(1894 ~ 1906)	1908	蓋段[一段]	
12		3号墓	墓室フク土 墓口フク土 墓庭フク土 墓フク土	身	陶製家形 (アドゥンジージ)	П	1 1		[ふち]・・□(金?)城口親雲上・・・・ /・・・七月七日□□・・・					-		_
13		3号墓	墓室フク土	益	陶製有類 費形(ジー シガーミ)	V a	11.0 - -		[内面]・・・ロ・・・/ロ九(日)/ロロロ/金城親登上/ロ・・・		金城				蓋段[一段] 「き」高さ [0.8㎝]	
14		3号墓	墓室フク土 幕ロフク土	蓋	陶製有頭 甕形(ジー シガーミ)	V b	8.0 14.6 29.9		[内面]光緒拾三年丁亥八月七日〇〇〇 〇維妻洗骨				(1873 ~ 1885)	1887	蓋段[二段] 「き」高さ [0.25cm]	
15		3号墓	墓室フク土	道	陶製有頭 甕形(ジー シガーミ)	V b	11.4 15.0 32.9		[内面]光緒十九年二月ロロ/金岐ロロ 変死亡/金城ナベノ洗骨光緒二十年四 月/廿日/光緒ロ年・(月)廿日/長男金 城次良死亡/大正拾四年乙丑旧六月/ 廿六日洗骨/合衆		金城		1893, 1875 ~ 1909	1894, 1925	蓋段[二段] 「き」高さ [0.1cm]	
16		3号墓	墓室フク土	蓋	陶製有頭 甕形(ジー シガーミ)	VЪ	10.9 17.5 32.0		[内面]成豊十年庚(申)八月ロロ・・・/ (城?)親雲上ロ同十二年戌八月廿ロロ同 人口ロロロロロロロ/ [ふち)光緒 十三年丁亥八月七日大中村金城親雲上 洗骨		金城		(1860), (1862), (1873 ~ 1885)	~	蓋段[二段] 「き」高さ [0.15cm]	
17	-	3号墓	募室フク土	益	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	VЬ	10.4 - 34.5		[内面]越来・・・ヨリ/大正・(年) ・・廿六日/・城・・男補/全人婦 夫合郡/同治拾壱年中三月廿六日死亡				1872	(1874 ~ 1886)	蓋段[一段] 「き」高さ [0.1cm]	

法量 上:上部径 中:器高 下:下部径 (cm)

进番	掉図番号 図版番号	墓番号	出土地点	身·蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法献	対 No.	銘 当	氏	家名	名乗頭	西 暦 死去年	西 暦 洗骨年	備考	故事 (位牌)
18		3号墓	墓室フク土	益	陶製有頭 環形(ジー シガーミ)	V c	9.3 13.6 28.2		[内面]金城次男藩/・・・同人次男口葬 /・・・・・ロ・・・治四拾五・・・ /・・・ロヨリ		金城				蓋段[二段]	
19		3号幕	幕室フク土	蓋	陶製有頭 隻形(ジー シガーミ)	V c	- - 29.9		[内面]光緒十三年丁亥八月七日五代 金・・・・・(藩)				(1887)	(1889 ~ 1901)	蓋段[二段]	
20		3号墓	幕室フク土	Ŗ	陶製有類 製形(ジー シガーミ)	V4	- 21.0		不鮮明						窓庇[0.3cm]	
21		3号墓	幕室フク土	蓋	陶製有頭 費形(ジー シガーミ)	v	8.9 12.2 23.7		[内面]金城加那ノ長男牛大正十四年乙 丑六月廿六日洗骨/越来村字白川口口		金城		(1911 ~ 1923)	1925	蓋段[二段]	
	第50図4 PL.31の 4	3号墓	幕室フク土	益	素焼 (アカムン) (壺屋焼)		6.9 5.0 16.6		[内而]宮・・・/・・□村□(男金城?)親 翌上		(金城?)				転用蔵骨器	
23		3号幕	募室フク土	蓋	施釉鍋		8.0 - -		[内面]・・・・・/同十一年・・・/ 同(五?)拾口年・・・/・・・・・/ ロ・・・/ロ・・・/ロ・・・/						伝用蔵骨器	
24		4号墓	墓庭フク土 幕室フク土	益	陶製家形 (ウドコンジーシ)	H	- - 40,0		[内面]・・・・・二月二日/・・・喜 重二男/・・仲村奥喜賢/当三十二年 /・・・十三口旧口月十一日/洗什/ ロロロ/喜ロ/妻(ツル?)/口四十四 ロ/・・・ロ年旧十一月十一日洗件		仲村集	丼				
25		4号翼	墓庭フク土 驀室フク土 墓口フク土	蓋	陶製家形 けドゥンジーショ	П	- 42.0 47.2		[内面]明治四十五年一月廿八日洗骨/ 旧四十四年十二月十日/明治四十三年 庚戌十一日死/喜重/口七十八歳			둮	1910	1912		
26		4号墓	嘉庭フク土 墓室フク土	蓋	陶製家形 (9ドゥンジージ)	II	- - 48.1		[内面]・・・ロ/ 明治世・・・				(1897 ~ 1906)	(1899 ~ 1920)		
27		4号墓	幕庭フク土 幕室フク土 墓口フク土	身	陶製家形 (9Fo25-3)	П	38.0 40.2 31.0		[正面]明治四十〇〇〇旧十一月十一日 洗骨/喜瓜二男仲村築喜賢		仲村集	喜	(1893 ~ 1910)	1907 ~ 1912	底孔2	
28		4号墓	墓庭フク土 墓室フク土	蓋	陶製有頸 饗形(ジー シガーミ)	V c	9.4 12.5 29.2		[内面]喜(宜?)長男・・・/仲村集喜・ /・・・十日口		仲村築	兹			蓋段[二段]	
29		4号幕	募庭フク土 第ロフク土 募室フク土	蓋	陶製有頭 甕形(ジー シガーミ)	V c	7.6 9.7 20.6		□···□(f:?)/□···□						_	
30		4号墓	募室フク土	益	陶製有類 饗形(ジー シガーミ)	v	9.7 - 28.8		[内面]・・・月廿五日洗骨/・・・ロ三 女葫戸/ロ人合葬						「き」高さ [0.1cm]	
31		4号墓	墓室フク土 墓庭フク土 墓口フク土 袖墓周辺	身	陶製有頭 銀形(ジー シガーミ)	V5	29.0 56.5 20.2		[内頼部]・・・□□□□大正十一年死				1922	(1924 ~ 1936)	窓庇[0.3cm] 底孔16	
32		5A号 整	寫室安置護骨器 No.1	蓋	陶製無頸 製 形ポー ジャージーシ)		11.2 30.6		[外面]・・・・/旧七月六日/石川尓也 /妻 [内面]石川尓也/妻〇〇		石川				つまみb。 蓋段なし	
33		5A号 墓	舊室藏骨器	益	陶製無頸 襲 形(ボー ジャージーシ)		10.2 9.0 33.3		[内面 消されている]読みとれず						蓋段[一段]	
34	-	5号募	6年701	蓋	陶製無頭 裏 形ポー ジャージーシ)		9.7 28.9		[内面]000/维正拾(四年)/丙辰000/000/000/000/000/000/000/000/000/0	ļ			(1722 ~ 1734), (1862 ~ 1874)	1	つまみa。 蓋段なし。 内面に墨掛 で口印有	
35			5B号墓フク土 6号墓フク土	蓋	陶製無頸 饗 形(ボー ジャージーシ)	ļ	- 11.0 29.0		[内面]雍正拾四年丙辰/・・・□□改 /□□□□改/□□□□□□/□□章 城/光緒二年子十月/八十□韓□/ 御分□□□仕御奉/□□間切□□□ 村生/(大?)□□保/□□間切平□屋村 生/(安?)□□/姉□□□/女房/				(1722 ~ 1734). (1862 ~ 1874)	1 '	つまみb。 蓋段なし。 内面に基件 で〇印有	

遊番	挿図番号 図版番号	萬番号	出土地点	Ŗ	名称又は 仮称	形式分類	法虽	対 No	銘 ひ	氏	家名	名乗	西 暦 死去年	西曆	備考	故事 (位牌)
36	Market 17	5B号	墓室フク土	蓋	関製無頭 変形ボー	Пс	9.0 9.0	-	[内面]光緒二年/八月廿日/〇〇〇/ 〇〇〇/金城			頭	(1862	(1876)	蓋段なし	(12,147)
		25			ジャージーシ)		31.8						1874)			
37		6B号 翼	幕室フク土	췶	陶製家形 (ウドゥンジージ)	II b	- 42.0 47.9	38	[ふち]光緒二十三年丁酉五月二十五日 /嫡子池原盛範死/ [内面]光緒二十 三年丁酉五月二十五日/嫡子池原盛範 死/仝三十一年巳九月廿日洗骨		池原	盛	1897	1905		
38	第39図3 PL.20の 3	6B号 双	慕室フク土	Ą	陶製家形 (ウドゥンジージ) (壺屋焼)	П	46.6 43.4 40.2	37	[正面]光緒二十三年丁酉五月二十五日 嫡子池原盛範死		池原	盛	1897	(1905 対より)	底孔3	
39		6B号 蔡	墓室フク土	蓋	陶製有頭 療形(ジー シガーミ)	V b	9.8 15.4 31.0		[内面 消されている銘書)道光拾二年 丘 辰七男池原里之子親袰上口洗什/ [消されていない]道光弐拾六年丙午四 月十日死去七男嫡子池原里之子同人嫡 子思口成型元年辛亥七月四日洗什/合 葬		池原		(1818 ~ 1830), 1846	1832. 1851	蓋段[三段]	
40	第47図1 PL.28の 1	6D号 墓	墓室安置藏竹器 No.4	蓋	陶製有頭 費形(ジー シガーミ) (壺屋焼)	Vс	- 10.4 21.7		[内面]池原藊戸大正拾年旧酉五月拾日 洗骨/父次男藊戸四男		池原		(1907 ~ 1919?)	1921	蓋段[二段]	
41		6D号 幕	基室安置義骨器 No.2	ă	陶製有頭 豊形(ジー シガーミ)	v	7.6 15.3 13.8	42	[内面]大正七年七月廿一日次男池原稿 戸/大正九年旧正月十八日骨洗		池原		1918	1920	蓋段[二段]	
42		6D号 弘	茲室安置战骨器 No.2	身	陶製有頭 甕形(ジー シガーミ)	V5	27.2 53.1 18.3	41	[内頸部]大正七年旧六月廿一日次男池 原藩戸/大正九年旧正月十八日骨洗		池原		1918	1920	窓庇[0.1cm] 底孔7 人骨 [成年 男性1]	
43		6D号 数	基室安置費貸器 Xo.3	蓋	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	v	7,2 9.0 18.2	44	[ふち]二勇(=男?)池原藩戸子三勇(=男 ?)三郎ロ行年三才		池原					
44		6D号 盛	墓室安置藏作器 No.3	¥	陶製有頭 镰形(ジー シガーミ)	V5	20.6 27.9 10.3	43	[ふち]二勇(=男?)池原蒲戸三勇(=男?X子?)池原三郎行年三才		池原				底孔6	
45		6D号 盛	墓室安置藏骨器	益	陶製有頸 褒形(ジー シガーミ)	V	8.1 11.9 27.0		長男池原太郎大正□□□□□□六日 八重山ヨリ来・		池原				蓋段[三段]	
46	第50図5 PL:31の 5	6D号 萬	幕室安置藏分器 No.5	蓋	小鉢 (本土産)		- 2.3 13.0		[内面]昭和九年五月九日二女池原久子 三才/昭和十年五月一日光江三女二才 [朝面)(盛?)ロロ子		池原		(1934), (1935)	(1936 ~ 1948), (1937 ~ 1949)	転用蔵骨器	
47		6E号 茑	墓室フク土 6号墓フク土	蓋	陶製有頭 豊形(ジー シガーミ)	V c	7.0 - -		[内面]・・・ロ七年戊ロ・・・						蓋段[一段]	
48		6号篇	フク土	蓋	陶製軒付 寝形(ジー シガーミ)	VIЬ	11.0 17.6 32.0		[ふち]午正月十口日/次男新(垣?)『筑登 之(略字で得かれている)』 観雲上口口/ [内面]道光二拾八年/申十一月十日 新垣筑登之観雲上接洗骨		新垣		(1834 ~ 1846)	1848	蓋段[一段]	
49		7号墓	墓室フク土	蓋	陶製家形 (ウドゥンジーシ)	П	1 1 1		[内面]・・・・・元祖							
50			7号幕庭フク土 7・25号 墓 間 フ ク土	身	陶製家形 (ウドゥンジーシ)	0	38.0 41.5 27.0		[ふち]光緒十六癸(ほんとは庚)寅十二月 十九日新垣女子むつ		新垣		(1890)	(1892 ~ 1904)		
51			7号墓室フク土 7号墓庭フク土 7・25号 墓 間 フ ク土		陶製無頭 獀 形 (ボー ジャージージ)	Ш	33.0 - 20.4		[正面]同人孫二口							
52		7号幕	墓庭フク土	益	陶製無頭 費 形ポー	Пс	9.2		[内面]・・・(垣?)筑登之口・・・						蓋段[一段]	
					ジャージーシ)		_				_			į		

法量 上:上部径 中:器高 下:下部径 (cm)

連番	挿図番号 図版番号	墓番号	出土地点	身・蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法鼠	林沁	銘 再	ĸ	家名	名乗頭	西 暦 死去年	西 曆 洗骨年	偏考	故事 (位牌)
53		7号墓	墓庭フク土	身	陶製無頸 提 形(ボー ジャージーシ)	Ш	25.4 - 22.5		E/o							
54		7号墓	4年 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	身		V5	26.0		[外頭部]イロロ							
55		7号驀	墓庭フク土	蓋	陶製軒付 饗形(ジー シガーミ)	VI	- 30.0		不算明							
56		7号第	幕庭フク土	蓋	陶製有類 甕形(ジー シガーミ)	v	- - 37.0		不鮮明							
57		7号翦	葛室フク土	身	陶製軒付 褒形(ジー シガーミ)	V12	- - -		[正面]嘉慶(二?)十六年/ロロ十一月十 八日/・・・ロロロロロノ・・・(親) 鉄上妻				(1821?)			
58	第49図 10 PL:30の 10	7号幕	袖墓内	身	陶器褒 (壺屋焼)		11.7 26.4 10.0		[外面開部]長男新垣三良/男子明治廿三年(庚子)旧七月廿日午後/七時生翌 廿一日/午前七時死亡也/幼名ナシ		新垣		1900	(1902 ~ 1914)	転用蔵骨器	
59		7号墓	驀暖フク土	蓋	描鉢		34.0 - -		不鮮明 読みとれず						転用改骨器	
60			7・25号 驀 間 フ ク土	着	陶製家形 (ウドゥンジージ)	П	- - -		[ふち]光緒口・・・				(1875 ~ 1909)	(1877 ~ 1923)		
61		8号墓	紫宝	盎	内製家形 (ウドランジージ)	II b	40.0 46.5 47.0		[ふち]大正十二年旧五月十九日死去仁和新凤/明治廿九年丙申/七月十八日死亡州五月十八日死亡新凤仁和县女□/ 明治□年□□五月十八日死亡/仁和□□明治廿九年丙申十一月□□。		新垣		1896, 1923	(1898 ~ 1910), (1925 ~ 1937)		
62			8号墓前フク土 9号墓フク土	蓋	陶製家形 けドゥンジーシ)	II b	- - -	63	[ふち]・・・五年己卯閏三月ロロ三日ロ □池原子盛(快?)		池原		(1865 ~ 1877)	(1879 対より)		
63		8号崭	墓庭フク土	ħ	陶製家形 (ワドゥンジーシ)	П	47.4 44.4 40.5	62	[正面]光緒五年己卯閏三月二十ロ/・・ (池?)原子盛口洗(骨)・之/也				(1865 ~ 1877)	1879		
64		8号墓	松室	蓋	陶製有頭 漿形(ジー シガーミ)	Vс	- 14.5 34.6		[内面]昭和七年旧二/月十一日/三十 □/新垣カマド/三才子カナシ		新垣		(1932)	(1934 ~ 1946)	蓋段[一段]	
65		8号幕	SE	蓋	陶製有頭 饗形(ジー シガーミ)		- 16.4 29.0		道光:十三年癸(卯)・・・□月廿二日山 戸新垣				(1843)	(1845 ~ 1857)	蓋段[一段]	
66		8号墓	蘇室	蓋	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	v	11.4 - 31.6		[ふち]ロロロロ/次男親雲上男子ロロ 新垣/ロロロ廿六日ロロ男男子・・・ 新垣						蓋段[二段]	
67		8号盘	幕フク土	益	陶製有頸 製形(ジー シガーミ)	v	8.3 12.5 24.0		宮城三良長男口		宮城				蓋段[一段]	
68			9号墓室フク土 9号墓庭フク土 9号墓上フク土 9号墓上フク土 9・10号 墓 庭 フ ク土 10号墓室フク土 10号墓フク土	蓋	陶製有類 喪形(ジー シガーミ)		12.0 - 35.0		[内面]・・・二月廿三日池原カメ/大正・・・/池原・・・		池原		(1912 ~ 1926)		蓋段[二段]	
69		9号幕	幕庭フク土 幕室フク土	推	陶製有類 製形(ジー シガーミ)	v	9.2 - 24.0		・・・技補戸				_		蓋段[三段]	
70		9号幕	幕庭フク土	五	陶製有類 要形(ジー シガーミ)		10.0 - 26.0		[ふち]不鲜明 ・・・ロロロ/ロロロロ						蓋段[一段]	

連番	挿図番号 図版番号	墓番号	出土地点	身・蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法量	対 No	銘 書	Ŋ.	家名	名乗頭	西 暦 死去年	西 曆 洗骨年	備考	故事 (位牌)
71			9号幕庭フク土 9・10号 幕 庭 フ ク土		陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)		24.0 - -		・・・ 城マカ(洗?)							
72			9号幕庭フク土 9・10号 幕 庭 フ ク土	身	陶製有頭 張形(ジー シガーミ)		24.0 - -		ロ三十九ロロロ・・・							
73		9号幕	墓室安置發件器 No.1	蓋	陶製軒付 豊形(ジー シガーミ)	VIЬ	10.5 15.5 27.5	74	[内面]道光二十年庚子十一月廿七日洗 骨仕尔也ロ本小ノ女子ロロ(消されて いる)動				(1826 ~ 1838)	1840	蓋段[一段] 「き」高さ [0.3cm]	
74		9号幕	墓室安置藏骨器 No.1	身	陶製軒付 復形(ジー シガーミ)	VI2	27.8 57.3 22.5	73	[内頸部]道光十二年(本当は二十年)庚子 十一月廿七日洗骨仕尓也ロ本小女子ロロ(鎖)				(1826 ~ 1838)	1840	底孔8 人骨有	
75		10号纂	墓室フク土	蓋	陶製有頭 甕形(ジー シガーミ)	VЪ	8.0 - 23.6		[内面]明治四十五年旧/四月二十七日 /宮城三/良子/女ウト/年一才/		宮城		(1912)	(1914 ~ 1926)	蓋段[二段] 「き」高さ [0.1cm]	
76		10号幕	墓室フク土	蓋	陶製有頭 饗形(ジー シガーミ)	Vс	- - 38.0		[ふち]・・・・・ロ次女カメ/ [内面]・・・城三良							
77		10号墓	墓室フク土	蓋	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	V c	10.0 - 30.0		[内面]大正七年十一月三口三良長男三 良/六				(1918)	(1920 ~ 1932)		
78		10号墓	墓室フク土	益	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	v	7.4 14.4 28.0		[内面]光(緒)十二年0九月000宮城仁 王二男/000		宮城		(1886)	(1888 ~ 1900)	燕段[一段] 「き」高さ [0.2cm]	_
79		10号墓	墓室フク土	蓋	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	V	8.0 15.2 35.0		[内面]・ロ十二年亥九月初四日宮城仁 王歳十九(ヨコに二十三)妻亀二十九ロ 子歳三ロ		宮城				蓋段[二段] 人骨 [小片 (焼骨)]	
80		11号墓	墓庭フク土 前方石積フク土 墓フク土	蓋	陶製家形 (ウドゥンジーシ)	II b	1 - 1		[ふち]明治丗九年丙(午)・・・				(1906)	(1908 ~ 1920)		
81		11号墓	フク土 前方石積フク土	蓋	陶製家形 (ウドゥンジーシ)	11	1 1 1	82	[ふち]・・・・(三?)男新頃・・・(境) 登之寿六十九/		新坦		(1892 対より)	(1894 ~ 1906 対より)		
82		11号墓	フク土	身	陶製家形 けどっンジージ	II	1 1 1	81	[ふち]光緒十・年壬ロ・・・寿六十九/ 新垣・・・		新垣		(1892)	(1894 ~ 1906)		
83		11号墓	墓庭フク土	蓋	陶製家形 (ウドゥンジーシ)	II	 		[ふち]光緒廿甲午十一月・・・・				(1894)	(1896 ~ 1908)		
84		11号幕	フク土	蓋	陶製家形 (ウドランジーシ)	П	- -		[ふち]光緒十四戊子・・・・				(1888)	(1890 ~ 1902)		
85		11号墓	フク土	蓋	陶製家形 (ウドランジーシ)	П	- - -		[内面]・・・(良?)/・・・□新垣/・・・ ロタ大正/・六年旧三/・・□九日/		新垣					-
86		11号墓	フク土	蓋	陶製家形 (ウドランジーシ)	11	- - -		[ふち]・・・月十一日洗骨三良新垣(略字で筑登之)親雲上/・・ロ三代元祖三男・次男嫡子洗骨ロ/	-	新垣					
87		11号墓	フク上 募室	身	陶製家形 (ウドランジーシ)	П	- 48.5 -		[ふち]・・・ロ死亡ロロ六十七才/洗骨 新垣口ロロ/ カメ		新垣		-			
88		11号墓	フク土	蓋	陶製有類 甕形(ジー シガーミ)	V	- - 22.0		[内面]同治元年壬戌十一月死亡三・・・ /(二か三)男口郎・・・/(九?)ケ月 同 治(十二)年癸酉・・・□生・・・/□□ 加ヒ・・				1862	(1864 ~ 1876)	蓋段[二段]	
89		11号慕	フク土	益	陶製有類 褒形(ジー シガーミ)	v	12.0 - 25.0		[内面]明治四十年旧九月十二日死亡/ 新垣三郎ロノ三良小ロ・・・/ 技・・・・ /行ロ・・・		新垣		1907	(1909 ~ 1921)		_
90		11号墓	フク土	蓋	陶製有類 褒形(ジー シガーミ)	v	- 21.0		[ふち]昭和十四年旧四・・・・・				(1939)			

迎番	挿図番号 図版番号	墓番号	出土地点	身・蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法虽	対 No.	第二	氏	家名	名乗頭	西 暦 死去年	西 曆 洗骨年	備考	故事 (位牌)
91		11号籍	フク土	盗	陶製有頭 甕形(ジー シガーミ)	v	7.0 13.6 30.0		[内面]明治・・・・/IT(五?)月・・・ /新(垣)・・・/ツル行・・・/ [ふち]・・・(旧)□月九日(死?)亡新垣牛 (三?)女ツル行(年?)四・・・		新垣		~	(1870 ~ 1926)	蓋段[二段]	
92		11号墓	幕庭フク土	身	陶製有頭 観形(ジー シガーミ)	V5	26.0 - -		昭和三年・・・・洗骨				(1914 ~ 1926)	1928		
93		11号幕	フク土	益	陶製軒付 甕形(ジー シガーミ)	VI a	1 1 1		[内面]・・・□年九月十七(日)・・・・・							
94		13号篇	フク土	蓋	陶製有類 褒形(ジー シガーミ)	Vc	- 11.6 -		[内面]□□□□/・・・城亀						蓋段[一段]	
95		13号幕	フク土	蓋	陶製有頭 甕形(ジー シガーミ)	V	14.0 - 36.0		[ふち]務慶口拾年六(月)・・・・ロロロ・・・/・・・・ロロロ・・・ロ筑登之ロロ・・ロロ/				(1805 か 1815)	(1807 ~ 1819 n 1817 ~ 1829)	蓋段[一段]	
96		14号募	墓室フク土	蓋	陶製無頭 复 形ポー ジャージーシ)		- - 29.0		康 熙(六?)・・・/・・・□ □・・・ /・・・□				(1667? か 1721 ~ 1723?)	<u> </u>		
97		17号幕	幕庭フク土	蓋	陶製無頭 褒 形(ボー ジャージーシ)		10.5 8.9 29.8		[内面 近光三年癸未六月廿七日口口口 入/ 棚原筑(登之)(女?)子・・・							
98		17号墓	墓庭フク土	蓋	陶製有類 甕形(ジー シガーミ)		10.5 - 28.7		[内面]道光三年癸未六月二拾七・棚原 筑(登之)・・・				(1823)	(1825 ~ 1837)	蓋段[一段] 「き」高さ [0.4cm]	
99			17・18号墓墓庭 フク土	益	陶製無頭 甕 形(ボー ジャージーシ)		- - -		【内面】・・・ロ戸ロロ・・・							
100			17号墓庭フク土 18号墓庭フク土	身	小壺		9.5 20.5 7.6		0/0/00						伝用蔵骨器	
101		18号幕	墓庭フク土	查	陶製無頭 褒 形(ボー ジャージーシ)	ł	9.3 -		[内面]乾隆三十・・・八月廿八日六男 (たる?)棚原口ロ・・・ロロや		棚原		(1765 ~ 1774)	(1767 ~ 1788)	つまみり。 蓋段なし	
102		18号墓	盛庭フク土	蓋	陶製無頭 張 形(ボー ジャージーシ)	l	- - -		[内面](乾)隆・・・年(乙)酉・・・(月)口 (日)口口・・・				(1736 ~ 1796)	(1738 ~ 1810)	つまみb。 蓋段なし	
103		18号墓	幕室蔵骨器	ă	陶製無頭 痩 形(ボー ジャージーシ)		- - -		[内面]乾隆廿口・・・・・・□				(1755 ~ 1764)			
104			幕庭フク土	蓋	褒 形(ボー ジャージーシ)		7.9 - -		[内面]乾(隆?)〇〇年〇〇〇・・・/〇〇〇				(1736 ~ 1796?)	(1738 ~ 1810?)	蓋段[一段]	
105			幕庭フク土 幕庭(石積)	蓋	褒 形(ボー ジャージーシ)		- - -		[内面)乾隆?ロ・・(丁)巳斎原・・・・ /五?(月)・・・・		棚原	_				
106			墓室藏骨器	身	褒 形 (ボー ジャージーシ)		26.5 47.8 21.0		乾隆二拾六年(辛巳)・・・/□□□・・・					(1763 ~ 1775)	窓底[1.1cm] ②-2 底孔5	
107		18号籍	嘉庭(石積) 嘉庭フク土	身	要 形(ボー ジャージーシ)		51.0 24.0		[正面 乾隆(五)拾四年己酉八月廿二(日) /舊氏惠充嫡子ロロ子(洗?)ロ		_	惠	(1775 ~ 1787)	(1789 対より)	2-1	
108		18号幕	蘇庭フク土	益	陶製有類 褒形(ジー シガーミ)		13.2 15.0 29.5	1	【内面]乾隆五拾四年己酉八月廿二日極 氏恵充嫡子棚原口・(洗)骨	植	棚原	遊	(1775 ~ 1787)	1789	蓋段[一段] 「き」高さ [0.8cm]	

等码	挿図番号 図版番号	荔番号	出土地点	身 益	名称又は 仮称	形式 分類	法低	対 No	銘 書	氏	家名	名乗頭	西 暦 死去年	西 暦 洗骨年	備考	故事 (位牌)
109			18号墓庭フク上 18号墓庭(石積) 17・18号 幕庭フ ク土	身	陶製無頸 褒 形(ボー ジャージーシ)		- - 22.0		(嘉)慶二ロ・・・□月/五?日前原□ □・・・□洗付				(1783 ~ 1795 か 1801 ~	(1797 か 1815 ~ 1821)		
													1819)			
110			18号墓庭フク土 18号墓庭(石積) 17・18号 墓庭フ ク土	身	陶製無頭 変 形(ボー ジャージーシ)		- 23.0		・・・棚原口・・・		棚原					
111		18号墓	墓庭(右隅) 墓庭フク士	蓋	陶製有頭 豊形(ジー シガーミ)	Va	- - -		[内面]ロ・・・/嘉慶・・・/ロ子・・・ /同年ロ・・・ロロ洗骨・・・/ロ/					(1796 ~ 1821)	蓋段[一段] 「き」高さ [0.75cn]	
112	第47図 10 PL_28の 10		18号幕庭フク土 15~18号 髯 庭 フク土	蓋	陶製有頭 饗形(ジー シガーミ) (壺屋焼)	Va	11.0 15.7 31.2		[内面]乾隆四十年乙未十月十八日洗骨 /口口戌七月六日洗骨/口口(喜屠武) /娑		(喜屋 武)		(1761 ~ 1773)	1775	蓋段[一段] 「き」高さ [1.3cm]	
113		18号墓	墓庭(右隅)	養	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	Va	9.8 - 28.9		[内面](乾隆?)四十三(年)戊戌十一月十日洗什婻子口口口筑登之親登上/同人妻乾隆四十七壬寅年口月廿三日洗骨/(仁·获?)公(義?)口口				(1764 ~ 1776). (1768 ~ 1780)	(1778), 1782	蓋段[一段] 「き」高さ [0.85cm]	
114	_	18号墓	基室設价器	蓋	陶製有頸 甕形(ジー シガーミ)	Vъ	10.4 14.9 27.2		[内面]道光十六年丙申六月廿九日三男 /名嘉地筑登之親雲上妻洗骨/口口口 年己丑七月七日洗骨口口口口口口口		名嘉地		(1822 ~ 1834)	1836	蓋段[一段] 「き」高さ [0.2ca]	
115		18号墓	墓室安置磁件器 %2	蓋	陶製有頭 甕形(ジー シガーミ)	Vь	10.0 13.3 28.7		[内面]道光六年丙戌五月十二日洗骨/元計/口			(元 ?)	(1812 ~ 1824)	1826	蓋段[一段] 「き」高さ [0.3cm]	
116	_	18号葉	慕庭フク土 墓庭(右隅)	益	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	V b	11.0 - 20.6		[ふち]・・・七日棚原筑(登之)・・・		棚原				「き」高さ [0.25cm]	
117			墓室安置藏什器 No.1	蓋	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	V c	10.6 11.7 27.9		[内面]元彦母思戸			(元 ?)			蓋段[二段]	
118		18号墓	器件數定差	身	陶製有類 褒形(ジー シガーミ)	V4	28.3 52.8 21.0		[正面遊光ロ・・・/十ロ・・・(洗)骨					(1821 ~ 1851)	恋庇 [0.35 cm]	
119		19号幕	亞室	蓋	陶製家形 (ウドゥンジーシ)	П	1 1 1		[内面]・・・(網)原口口・・・		棚原					
120		19号幕	幕室	蓋	陶製無頭 豊 形(ボー ジャージーシ)		- 12.3 30.7		[内面]乾隆四年己未七月九日(洗付)/ロ 棚原(筑登之)親雲上嫡子/ロロ・・/乾 隆四年己未七月十九日葬也/ロ棚原 (筑登之)親雲上/嫡子(遊)ロ		棚原	擏	(1725 ~ 1737)	1739	つまみa。 蒼段なし	
121		19号墓	墓室	蓋	陶製無頭 饗 形(ボー ジナージーシ)	Шb	- 10.0 33.4		・ロ・・・・ロ九(日?)ロロロ・・						つまみり。 盖段なし	
122		19号墓	墓室	益	陶製無類 豊 形ポー ジャージーシ)		- 8.1 27.9		[内面]大济乾隆口年甲口/·月(二?)日先 (骨?)/口相原筑登(之)親(雲)上女子真 口(韓?)		棚原		(1730 ~ 1742?)	(1744?)	つまみり。 蓋段なし	
123			19号驀室 34号墓フク土	益	陶製無頭 褒 形(ボ - ジャージーシ)		9.0 12.5 35.7		[内面]・・・ロロロ九(月)八日洗竹/ロロ得口棚(原?)・・・妻						つまみ b。 蓋段[一段]	
124		19号墓	墓室	盎	陶製無頸 壊 形(ボー ジャージーシ)	Пc	8.7 7.8 –		[内面]・・・ロ・・・/・・・筑登之親 (袰上)・・・/・・・ロロ(禅?)ロ・・・						蓋段[一段]	
125		19号墓	墓室	蓋	陶製無頭 褒 形(ボー ジャージーシ)		8.5 9.5 31.5		[内面)乾隆五〇・(己)〇八月廿・・・四 男松洗骨仕候					(1740 か 1785 ~	盗段なし	
												_		1794)		

遊番	挿図番号 図版番号	基番号	出土地点	身・蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法鼠	対 No	銘 背	ĸ	家名	名乗頭	西 暦 死去年	西 暦 洗骨年	備考	故事 (位牌)
126		19号篇	墓室	蓋	陶製無頭 寝 形(ボー ジャージーシ)	Шс	8.0 9.6 31.2		[内面]乾隆四十九年甲(辰)・・・・/・・ (骨?)/・・・棚原筑(登之)・口妻		棚原		(1770 ~ 1782)	1784	蓋段なし	
127		19号幕	墓室	蓋	陶製無類 褒 形(ボー ジャージージ)	Шс	8.0 10.2 29.0		[内面]道光十(九?)年己亥八月廿四日洗 骨前村棚原仁也妻		棚原		(1825 ~ 1837)	(1839)	蓋段なし	
128		19号篇	公室	蓋	陶製無頸 費 形(ボー ジャージーシ)	Шс	9.5 7.7 31.4		[内面]乾隆三十四年(己)丑四月六日洗竹 三男口口仁屋				(1755 ~ 1767)	1769	蓋段[一段]	
129		19号幕	墓室	益	陶製無頭 寝形(ボー ジナージージ)	Шс	9.0 13.5		[内面](嘉)慶十七年・・・			-	(1812)	(1814 ~ 1826)	蓋段なし	_
130		19号墓	墓室	益	陶製無頭 嚢 形(ボー ジャージーシ)	Ш	- - -		[内面]乾隆三拾六(年)辛卯七月ロ・・・				(1771)	(1773 ~ 1785)		
131		19号墓	發室	蓋	陶製無頸 豊 形ポー ジャージージ		- - 32.8		[内面]口棚原口・・・(緒?)戸(洗)骨							
132		19号幕	幕室	蓋	陶製無頭 独形ボー ジャージーシ)		- 31.2		[内面]乾隆五十八年壬丑五月二十八 (日)・・・/・・・棚原口ロ・・・ロロ /洗骨口		棚原		(1779 ~ 1791)	1793		
	第43図5 PL.24の 5	19号募	基室	身	陶製無頸 甕 形ポー ジャージーシ) (壺屋焼)		25.6 47.7 20.8		【正面】・・・ロ・・ロロ・/・・・七月 十九日/ロ・・・親茲上嫡子						窓庇[1.2cm] ②-1 底孔5	
134		19号幕	基室	身	陶製無頭 褒 形(ボー ジャージーシ)	Ш1	25.6 46.3 21.5		・・・□年辛卯七月七日洗骨/義心□□□/次男						窯印有 窓底[0.8cm] ③-1	
135		19号墓	幕室	身	陶製無頸 褒 形(ボー ジャージーシ)		28.0 48.0 23.0		乾隆四拾九年/甲辰九月廿一日(洗)骨 /・・・・□□□親雲上/妻				(1770 ~ 1782)	1784		
136		19号篇	亞主	身	陶製無頸 甕 形(ボー ジャージーシ)		29.0 48.0 22.0		乾隆三十年丙戌(本当は乙酉)九月八日 (洗)骨極得宗相原・・・/(意)呂妻・・・		棚原		(1751 ~ 1763)	1765	窓印有 窓庇[1.2cm] ②-1 底孔5	
137		19号葉	墓室	身	陶製無頭 豊 形ポー ジャージーシ)	ļ	28.7 50.0 23.0		乾隆五拾四年己(西)八月口口/四男松 洗骨仕口				(1775 ~ 1787)	1789	窓底[0.4cm] ③-1	
138		19号墓	慕室	身	陶製無頸 褒 形(ボー ジャージーシ)		24.2 - 20.7		· · · · · /(雲?) · · · · ·						底孔5	
139		19号篇	墓室 幕庭フク土	身	陶製無頭 褒 形ポー ジャージーシ)		- 21.0		棚原筑登之親雲上憲承(乾隆)八年癸亥 (十)月二十(七)日・・・		棚原	惠	(1741 家譜よ り)		底孔6	
140		19号篇	幕室	蓋	陶製有頭 痩形(ジー シガーミ)		12.9 17.9 34.1		[内面](嘉慶?)十一年寅十月廿〇(日)/ 喜屋武(筑登之)親雲上/〇〇(廿一日?) 沈骨仕〇		海星洛		(1806)	(1808 ~ 1820)	蓋段[二段] 「き」高さ [0.5cm]	
141		19号幕	幕室	盎	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)		12.5 - 34.2		[内面]・・・□□嫡子/童名・・・						蓋段[一段] 「き」高さ [0.8cm]	
142		19号幕	菜室	蓋	陶製有頭 甕形(ジー シガーミ)		11.0 15.1 29.8		[内面]嘉慶拾六年(辛未)八月十一(日)棚 原筑登之洗骨也		棚原		(1797 ~ 1809)	1811	蓋段[二段] 「き」高さ [0.5cm]	
143		19号篇	墓室	蓋	陶製有頭 痩形(ジー シガーミ)		11.0 16.9 28.0		[内面]道光(七)年丁亥(ロ月・)七日ロロ・・・ロ倉典・・				(1827)	(1829 ~ 1841)	蓋段[一段] 「き」高さ [0.5cm]	
144		19号墓	募室	蓋	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)		12.7 18.2 31.2		[内面]・・・ロ(棚)原(筑登之)親婁上ロ ヒ六月洗骨		棚原				蓋段[一段] 「き」高さ [0.8cm]	
145		19号墓	嘉室 墓庭フク土	蓋	陶製有類 甕形(ジー シガーミ)		11.3 13.8 30.0		[内 画]嘉(慶)・・・三月二十・・・ /・・・(遼X貴?)嫡子・・・/(嫡)子棚 原筑(登之)・・・・・妻[ふち]・・・ 棚原筑登(之親蛮)上夫婦・・・		棚原		(1796 ~ 1821)	(1798 ~ 1835)	蓋段[一段] 「き」高さ [0.5cm]	

遊西	挿図番号 図版番号	基番号	出土地点	身.蓝	名称又は 仮称	形式 分類	法鼠	対 %	路 よ	ı,	家名	名乗頭	西 暦 死去年	西 暦 洗骨年	简考	故事 (位牌)
146		19号墓	基金	챮	陶製有類 饗形(ジー シガーミ)	Vb	8.8 14.3 28.3		[内面]光緒武拾三年丁酉二月六日嫡子 棚原筑登之親雲上長女武大金洗骨		棚原		(1883 ~ 1895)	1897	蓋段[二段] 「き」高さ [0.1cm]	
147		19号墓	幕室	蓋	陶製有頭 製形(ジー シガーミ)	V b	- - 28.2		[ふち]政(登)六年丙辰二月・・・・/ 三女真鶴洗骨同人三男真山戸				(1842 ~ 1854)	1856	「き」高さ [0.2cm]	
148		19号墓	募室	查	陶製有頭 豊形(ジー シガーミ)	Vъ	9.4 - 28.6		[内面]棚原(筑)登之女子/ロロ/・・・ 中十二月ロ日/洗骨		棚原				蓋段[三段] 「き」高さ [0.3cm]	
149		19号墓	驀室 蟇庭フク土	蓋	関製有頭 費形(ジー シガーミ)	Vb	12.0 17.1 32.0		[内面]道光十九年己亥八月二十四日洗 骨/棚原筑登之/妻/(道?)光十九己亥 /・・・(策)登之		棚原		(1825 ~ 1837)	1839	蓋段[一段] 「き」高さ [0.3cm]	
150			19号墓室 34号墓フク土	蓋	陶製有頸 壊形(ジー シガーミ)	VЪ	11.7 16.8 31.1		[ふち]威聖六年丙辰二月二十七日棚原 英登之親雲上遼福洗什/光緒十三年 (丁亥)四月十七日棚原(英登)之惠福妻洗 竹		朗原	遊	(1842 ~ 1854), (1873 ~ 1885)	1856, 1887	蓋段[二段] 「き」高さ [0.25cm]	
151		19号幕	基金	査	陶製有頭 漿形(ジー シガーミ)	V b	8.5 15.1 27.0		[内面]同治六年丁(卯)七月三日嫡子棚原 筑登之憲以三女真鶴洗骨		棚原	遵	(1853 ~ 1865)	1867	蓋段[二段] 「き」高さ [0.2cm]	
152			19号墓室 34号幕フク土	Ą	陶製有頭 変形(ジー シガーミ)	V5	29.8 51.6 21.5		[内頸部]阿治六年丁卯七月三日螭子棚 原筑登之惠以三女真鶴		棚原	邀	(1853 ~ 1865)	(1867 対より)	底孔9	
153		19号墓	墓室 幕庭フク土	ä	陶製有頭 饗形(ジー シガーミ)	VЬ	8.0 16.5 27.6		[内面]・・・嫡子棚原筑登之嶽孝光緒五年己(卯)・・・・・		棚原	遼	(1865 ~ 1877)	(1879 対より)	巻段[一段] 「き」高さ [0.2cm]	
154		19号葉	蔡室安置蔵骨器 No.6 幕庭フク土	ħ	陶製有類 摂形(ジー シガーミ)	V5	29.0 52.0 20.5		光緒五年己卯四月二十三日洗骨鎮子棚 原筑登之惠孝		棚原	遼	(1865 ~ 1877)	1879	底孔5 人替[小片]	
155		19号募	幕室	蓋	陶製有頭 菱形 (ジー シガーミ)	Vc	8.3 15.9 28.8		[内面]阿治六年丁卯七月三日燒子棚原 筑登之嶽貞洗件/同人基明治四十四年 旧八月十四日洗骨		棚原	遼	(1853 ~ 1865), (1897 ~ 1909)	1867, 1911	蓋段[二段]	
156		19号墓	墓室	蓋	陶製有頭 費形(ジー シガーミ)	V c	7.2 10.0 20.6		[ふち]光緒弐(拾三)年丁酉二月十六日嫡 子棚原筑登(之)惠裕三女亀(洗)仲		棚原	嶽	(1883 ~ 1895)	1897	蓋段[二段]	
157		19号幕	構宝	蓋	陶製有頸 観形(ジー シガーミ)	V c	10.1 15.0 28.0		[内面]明治四十五年旧八月十四日橿原 黒口五女(ゴ?)ゼイ		棚原	麽	(1912)	(1914 ~ 1926)	蓋段[二段]	
158			19号墓室 18号墓庭フク土 18号墓庭(石積)	ă	陶製有頭 漿形(ジー シガーミ)	Vс	9.8 11.2 30.1		[内面]昭和九年旧・・・日洗(骨)/棚原 厳裕		棚原	邀	(1920 ~ 1932)	1934	蓋段[二段]	
159			19号墓室 18号墓庭フク土 18号墓庭(石積)	ħ	陶製有頭 甕形(ジー シガーミ)	V5	32.0 - -		[内頸部]昭和九(年)十一月廿一日洗骨棚 原憲裕		棚原	邀	(1920 ~ 1932)	1934		
160		19号幕	英宝	Ŋ	陶製有頭 鞭形(ジー シガーミ)	V3	30.6 - 24.4		不鮮明 ・・・ロロ/・・・ロロ						窓庇[1.6cm]	
161		19号墓	基本	ģ	陶製有類 獀形(ジー シガーミ)	V4	31.2 60.3 24.0		[正面]兼久之/棚原筑登之/道光拾九 己亥		棚原		(1825 ~ 1837)	(1839 対より)	底孔6	
162		19号墓	基室安置進件器 No.5	身	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	V5	27.0 - -		[内頭部]同治六年丁卯七月三日・・・ (嫡?)・棚原筑登之意貞洗骨		棚原	畫	(1853 ~ 1865)	1867	寒庇 [0.25 cm]	
163		19号幕	募室	\$	陶製有頭 機形(ジー シガーミ)	V5	28.7 54.1 22.8		[内頸部]棚原(筑登之)親雲上女子思危		棚原					

連番	挿図番号 図版番号	募番号	出土地点	身・蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法瓜	対 Na	銘 造	Л	家名	名乗頭	西 曆 死去年	西 暦 洗骨年	備考	故事 (位牌)
164			19号墓室 34号墓フク土	身	陶製有頸 寝形(ジー シガーミ)	V5	30.0 54.7 20.0		[内面)(明)裕四十五年・・・月十日口裏 (祐)(日・・・ロロ/ [ふち]・・・ロ四十五年旧八月十(日洗 骨)(朝原滅・祐)ロ・・・ロ/ ら 河口ロロ・・・・		棚原	遊	(1898 ~ 1910)	(1912)	е Д2	
165		20号墓	墓庭フク土	蓋	陶製家形 (ウドゥンジージ1	П	1 1 1		[内面]光緒十八年壬辰八月・・・/三男 ロ・・・				(1892)	(1894 ~ 1906)		
166		20号幕	左垣フク土	身	陶製家形 (ウドゥンジージ)	П	- -		同治十一壬申九月十三日冼(骨)/ 道····				(1858 ~ 1870)	1872		-
167		20号墓	左垣フク土	蓋	陶製無頭 張 形ポー ジャージージ	Па	- 12.0 34.0		薙(正)・・・				(1723 ~ 1736)	(1725 ~ 1750)	つまみ a 蓋段なし	
168		20号幕	墓庭フク土 左垣フク土	蓋	陶製無頭 観形ボー ジャージージ)	Ш	- - -		[内面]・・・戊辰・・・/・・・(富か寅?X田?)洗骨/・・・・							
169			21号 葉(右 垣)フ ク土 20・21号 墓間フ ク上 21号幕庭フク土 21号幕フク土	蓋		п	- - 48.0	170	不鲜明							
170		21号薪	墓庭フク土 (左垣)フク土	身	陶製家形 (ウドランジージ)	II	45.0 44.8 35.5	169	・・・カメ三女富美子							-
171		22号墓	袖墓室フク土	蓋	陶製無頭 褒 形(ボー ジャージーシ)	Шс	7.5 10.0 31.0		乾隆五拾九年甲寅七月・・・/・・・ □□□□□□・・・				(1794)	(1796 ~ 1808)		
172	第34図2 PL.15の 2	24号墓	墓室藏骨器%9	身	石製家形 (イシジーシ)	I	43.8 39.4 44.2		[正面右]广/ [正面左]右						人件有	
173	第35図3 PL.16の 3	24号幕	墓室截骨器%21	蓋	陶製家形 (ヴテーンシーシ! (壺屋焼)	Пb	22.6 21.8 48.8		[正面]潮平筑登之/先祖女武人		湖平					
174		24号墓	墓室蔵骨器№23	蓋	陶製家形 (ウドゥンジーシ)	Пb	38,3 23,1 49,5	175	[内面]乾隆二十六辛(巳)年・・・/・・		明袋		(1747 ~ 1759)	1761		
175		24号墓	墓室裁竹器%23	身	陶製家形 (ウドゥンジーシ)	Π	45.7 46.0 45.2	174	[左倒面]不鲜明							
176	第45図2 PL-26の 2	24号墓	募室フク土	蓋	陶製無頸 寝 形(ボー ジャージーシ) (流屈焼)		7,4 14.3 29.4		[内面消されている銘書] 具志川大屋観雲上孫/安仁屋観雲上男子思/御歳十六/康煕二十六年丁卯九月廿八日/ [消されていない銘書] 康熙四十弐年(辛) 未十一月/口口喜観雲上表/口口口口/(掟)観雲上/				(1687). (1703)	(1689 ~ 1701), (1705 ~ 1717)	着段[一段]	
177	第44図5 PL.25の 5	24号幕	墓室安置錢竹器 No.6	蓋	陶製無頭 褒 形(ボー ジャージーシ) (遺屋焼)		- 12.6 30.8		[内面]統谷由掟製豊上(略字で書かれて いる)夫婦	(向)	読谷山				蓋段なし	
178	第44図6 PL.25の 6	24号幕	墓室安置錢付器 No.6	身	陶製無頸 嚢 形ポー ジャージーシ) (壺屋焼)		26.6 54.2 22.0	177	[正面]読谷山锭製製上夫婦	([ú])	読谷山				窓底[1.6cm] ②-1 底孔5	
179	第40図1 PL.21の 1	24号幕	墓室安置藏件器 No.5	蓋	陶製無頸 要 形(ボー ジャージーシ) (喜名焼)		9.5 15.6 35.0		[内面]競谷山岚登之親雲上	(向)	統谷山				蓋段[一段]	
180	第40図2 PL-21の 2	24号墓	墓室安置發付器 No.5	身	陶製無頭 隻 形(ボー ジャージーシ) (喜名焼)		26.6 56.3 21.8	1	[右側面]・・(筑登之)親翌上女子□□□ /(筑登之)親翌上女子□/□□□□□ □□/□□(室?)						窓庇[3.6cm] ①-1 人竹 [小片 約1体] 底孔なし	

連番	挿図番号 図版番号	幕番号	出土地点	身・蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法鼠	対 No	銘 遊	Æ	家名	名乗頭	西 暦 死去年	西 暦 洗竹年	備考	故事 (位牌)
181	第42図2 PL.23の 2	24号墓	英室藏骨器No.12	蓋	陶製無頸 褒 形(ボー ジャージーシ) (喜名焼)		8.7 15.7 31.9	182	[内面]向氏摩文仁按可朝信/之阿む志られ竹也/康熙四十一年壬午八月/十五日死去号涼月/康熙四十三甲申/六月廿五日行済也	向	摩文仁	朝	1702	1704	蓋段[一段]	
182	第42図3 PL.23の 3	24号茲	募室競骨器%12	9	陶製無頸 襞 形(ボー ジャージーシ) (喜名焼)		24.2 46.6 19.7	181	[内面扇部]凉月妙图				l .	(1704 対より)	窓底[1.9cm] ②-2 底孔5	
183	第44図7 PL.25の 7	24号墓	基室安置裁骨器 No.7	蓋	陶製無頭 張 形(ボー ジャージーシ) (壺屋焼)		8.1 25.9	184	[内面]統谷山锭親雲上女子/大城親坐上四代/儀保筑登之親型上妻/乾隆弐 拾年乙亥七月廿七日洗付		統谷山 /儀保		(1741 ~ 1753)	1755	蓋段なし	
184	第44図8 PL.25の 8	24号墓	基室安置藏骨器 No.7	Ģ	陶製無類 褒 形ポー ジャージージ (壺屋焼)		20.2 30.7 17.1	183	[正面]大城親雲上四代僅保筑登之/親 雲上妻/乾隆弐拾年乙亥七月/廿七日 洗什(読)谷山/锭親雲上女子		読谷山 /儀保		(1741 ~ 1753)	1755	窓底[0.8cm] ③-1 底孔5	
185	第45図8 PL.26の 8	24号葉	幕室フク土	ă	陶製無頸 要 形ポー ジャージーシ) (壺屋焼)		- 10.8 32.6		[内面]乾隆三拾壱年丙戌七月七日洗符 /(呂?)氏宮城筑登之親雲上娘湖平筑登 之親雲上妻	(車)	湖平	(\$ Q)	(1752 ~ 1764)	1766	つまみ b 蓋段なし	
186		24号墓	塔室(中央棚)	益	陶製無頭 褒 形(ボー ジャージーシ)		- 9.9 32.4		[内面]乾隆二十三戊寅年九月十八日死 /摩・・・ロロロ・・・ロ顕大婦同三 十年乙酉・・・(洗)滑				1758	1765	つまみ b 盗段なし	
187		24号墓	幕室フク土	蓋	陶製無頭 要 形 (ボー ジャージーシ)	шь	9.8 31.5	188	[内面]乾隆三拾一年(丙戌)七月七日洗竹 / ロ・・・娘廣鍋湖平筑登之親雲上(? 示)/妻/	(班)	湖平	(集)	(1752 ~ 1764)	1766	つまみり 蓋段なし	
188		24号墓	基室磁竹器No.22	4	陶製無頭 費 形(ボー ジャージーシ)	ш	27.0 50.2 20.7	187	乾隆三十一年丙戌七月七日冼仆/口嶽 里之子娘真鍋湖平(琉登之)親雲上/妻		湖平		(1752 ~ 1764)	1766	窓底[0.7cm] ③-1	
189	第45図 12 PL.26の 12	24号茲	幕室フク土	益	陶製無頸 甕 形ボー ジャージーシ) (壺屋焼)		6.4 8.0 28.2		[内面]嘉慶弐拾四年己卯八月二十七日 婚子南平(筑壁之)親雲上集本妻洗竹/ 口口口毛氏大工羯(筑壁之)親雲上安林 娘傧牛/	(車)	湖平	纵	(1805 ~ 1817)	1819	つまみなし 蓋段なし	
190	第45図9 PL26の 9	24号嘉	萬室藏骨器16.2 下	益	陶製無頭 甕 形ば - ジャージーシ) (壺屋焼)	ШС	9.3 7.4 28.8		[内面]乾隆三十八年癸巳/壬三月ロ八日/次男・・・・筑登之/ロロ洗骨/				(1759 ~ 1771)	1773	つまみなし 蓋段[一段]	
191	第45図 11 PL.26の 11	24号墓	幕室フク土	益	陶製無頭 現 形(ボー ジャージージ) (壺屋焼)	Пс	10.8 8.7 29.3		[内面]乾隆五十七年壬子七月廿四日光 骨耶姓糊平筑登之親雲上表玉金	ijξ	潮平	(集)	(1778 ~ 1790)	1792	つまみなし 盗段なし	
192		24号篇	舊室藏骨器%14	¥	陶製無頸 費 形(ボー ジャージーシ)	Ш1	28.0 50.6 22.8		乾隆五十七年壬子七月廿四日洗骨/車 姓次男襴平筑登之親雲上妻玉金	фí	湖平	集	(1778 ~ 1790)	1792	窓庇[0.7cm] ③-1 底孔3	
	第42図5 PL23の 5	24号墓	基室藏骨器Na.15	埭	陶製無頸 寝 形ポー ジャージーシ) (壺屋焼)	Ⅲ 1	22.8 46.4 19.6		[消された銘書]不鮮明・・・/ [正面] 乾隆十三年戊辰/六月(十)四日〇〇〇 / [正面左側〇〇・・十一〇/〇〇〇〇〇〇〇 銀上・・・				(1748)	(1750 ~ 1762)	窓庇[1.2cm] ②-2 底孔1	
	第42図4 PL.23の 4	24号墓	墓室藏骨器‰18	¥	陶製無類 養 形(ボー ジャージーシ) (壺屋焼)		25.2 48.1 20.6		[消された銘書]ロ・・・・ロロ巳ー 月・・・/ロロ/ [右側面]乾(隆)拾(三 年戌)辰六月十四(日)洗骨也/口潮平親 雲上斐	(40)	潮平	(集)	(1734 ~ 1746)	(1748)	窓庇[1.1cm] ②-1 眩孔5	
	第40図6 PL.21の 6	24号墓	就完安置歲骨器 №2	身	陶製無頭 復 形ポー ジャージーシ) (喜名焼)	1 1	35.3 44.9 24.0		[左例而]口口母親						窓庇[6.5cm] ①-1	
196		24号墓	弘宝(中央棚)	Ŋ	陶製無頸 甕 形(ボー ジャージーシ)	Ш	-		[正面]毛姓(運天?)親렇上・・・/心寂妙 法大姉・・・/□戸樽/・・・十月酶 日洗(骨)	E					窓庇[1.2cm] ②-1	
197		24号幕	幕室フク土	蓋	陶製有類 豊形(ジー シガーミ)	V b	10.0 15.7 28.0		不鮮明						蓋段[一段] 「き」高さ [0.23cm]	

遊船	挿図番号 図版番号	从番号	出土地点	酔・や	名称又は 仮称	形式 分類	法鼠	対 No	第 背	Ľ	家名	名乗頭	西 曆 死去年	西 暦 洗骨年	備考	故事 (位牌)
198	第47図7 PL_28の 7	24号幕	墓室蔵骨器№17	蓋	陶製有類 褒形ジー シガーミ) (壺屋焼)	Vb	10.9 19.7 29.0		[内面]蹇夔弐拾四口己卯八月廿五日嫡 子湖平筑登之银盘上洗竹集本	(中)	潮平	#	(1805 ~ 1817)	1819	蓋段[二段] 「き」高さ [0.4cm]	
199		24号墓	墓室蔵件器№13	身	陶製有類 摂形(ジー シガーミ)	V4	33.5 64.7 24.5		[ふち]嘉慶十年乙丑六月二十口日洗骨 /嫡子初平筑登之親雲上集安/	(車)	湖平	集	(1791 ~ 1803)	1805	窓庇[0.5cm] 人分 [男性 1、女性1]	
200	第48図7 PL.29の 7	24号墓	墓室裁骨器%19	身	陶器寶 (喜名焼)		29.7 53.7 22.4		[外面胴部]□良□親雲上/同男子□嫡 子/康熙三十五年乙子/八月□四日				(1696)	~	転用蔵骨器 人骨 [男性 2、女性1]。	
201		25号篇	器件資産亞	蓋	陶製有頭 機形(ジー シガーミ)	V	- - -		[内面]屋比久筑登之男子まつ屋比久・・・		足比久					
202		25号幕	墓室フク土	蓋	陶製有類 褒形(ジー シガーミ)	V	- 30.4	204	[内面]同治十二年壬酉七月四日洗骨・・・ (屋)比久		(屋比 久)		(1859 ~ 1871)	1873		
203			25号墓室フク土 11号墓庭フク土	蓋	陶製有類 徴形(ジー シガーミ)	v	26.6 - 22.0	206	【内面]同治十二年壬ロ七月四日洗骨三 ロ(屋)比久・・・		(屋比 久)		(1859 ~ 1871)	1873		
204		25号墓	墓室フク土	身	陶製有頭 甕形(ジー シガーミ)	V5	25.0 - 20.5	202	[内頭部]同治十二年壬(ほんとは癸)酉七 月四日洗竹まつロ				(1859 ~ 1871)	1873	窓底[0.4cm] 底孔18	
205			25号墓室フク土 25号墓庭フク土 11号幕庭フク土	身	陶製有頭 摂形(ジー シガーミ)	V5	28.3 51.1 20.5		[内頸部]同治十二年壬(ほんとは癸)酉 ヒ 月四日洗骨次口屋比久		屋比久		(1859 ~ 1871)	1873	恋庇[0.3cm] 底孔9	
206			25号嘉室フク土 25号嘉庭フク土 11号嘉庭フク土	身	陶製有類 復形(ジー シガーミ)	V5	28.0 51.0 20.5	203	[内頸部 治・・・・四日洗骨三口 (屋?)比久		(屋比 久)		(1859 ~ 1871 対より)	(1873 対より)	底孔25	
207			25号墓庭フク土 11号幕庭フク土	身	陶製有類 甕形(ジー シガーミ)	V5	27.0 - -		[内頭部]同治十二年壬ロ(ほんとは癸酉) 七月口日洗什屋比(久?)・・・		(屋比 久)		(1859 ~ 1871)	1873		
208		29号篇	墓室安置藏竹器 Xo.6	蓋	陶製家形 (ウドゥンジーシ)	Пb	33.0 35.0 45.5		[内面]同治十年辛戌九月八日洗骨/嬪 子比嘉筑登之/妻		比嘉		(1857 ~ 1869)	1871		
209		29号幕	募室安置發行器 No.8	益	陶製無頭 褒 形(ボー ジャージーシ)		9.3 11.9 32.8		[内面 消されている第書]乾隆六治年乙 卯六月(十八)日小橋川(筑登之)親雲上洗 骨/ [内面 消されていない解書]旅優 八年丑七月七日小橋川(筑登之)親雲上 真加戸洗骨		小橋川		(1781 ~ 1793), (1789 ~ 1801)	1795. 1803	蓋段なし	
210		29号墓	墓室安置藏骨器 No.1	蓋	陶製無頭 観 形(ボー ジャージーシ)		9.8 8.0 30.2		[内面]乾隆三十七年壬辰七月六日新垣 □□□□新垣尓也/・・・□/・・・				(1772)	(1774 ~ 1786)	蓋段[一段]	
211		29号墓	墓室安置藏骨器 No.5	蓋	陶製無類 要 形ポー ジャージーシ)		7.9 11.5 30.0		【内面】乾隆口十五年/口口口八日洗骨 /(うし?)口口				(1766 ~ 1778 b 1776 ~ 1788)	(1780 か 1790)	蓋段なし	
212		29号墓	墓室安置蔵骨器 No.2	蓋	陶製無頸 甕 形ポー ジャージーシ)		11.0 7.5 27.3		[内面]安肃村/瓜(間?)戸新垣/口口月 十八日洗口新垣尔也斐男子瓜(間?)戸新 垣口人入口	1	新垣				蓋段[一段]	
213		29号墓	基室安置條介器 No.2	身	陶製無頭 褒 形(ボー ジャージーシ)		29.7 53.6 22.5	1	不鮮明 [正面]ロ・・・/ [右側面]ロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロ						张孔4	
214		29号章	墓室安置藏骨器 No.5	Ŗ	陶製無頭 褒 形 (ボー ジャージーシ)	ļ	28.5 46.4 22.4		[正面]〇〇〇〇〇〇〇〇一全城統督						底孔4	

連番	種図番号 図版番号	幕番号	出土地点	身 - 蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法鼠	対	郑 書	Æ	家名	名乗頭	西 暦 死去年	西 暦 洗骨年	備考	故事 (位牌)
215		29号墓	墓室安置藏骨器 No.7	蓋	陶製有頭 甕形(ジー シガーミ)	V	11.5 17.3 29.0		[内面]たら比嘉/成豊五年/十一月十八日/洗骨/		比嘉		(1841 ~ 1853)	1855	蓋段[二段]	
216		29号幕	基室安置護骨器 %4	蓋	陶製軒付 豊形(ジー シガーミ)	VIЬ	17.0 20.7 35.3		[内面]乾隆六拾乙卯六月廿八日小口口 親雲上洗骨/				(1781 ~ 1793)	1795	蓋段[二段]	
217	- 	30号幕	驀室フク土	盏	陶製有頭 観形(ジー シガーミ)	Vс	7.4 5.7 13.5		[ふち]昭(和)拾五年・・・カマレニ長池 原セイユキ		池原		(1940)			
218		31号墓	墓室フク土	益	陶製家形 (パランジージ)	ПЬ	1 1 1		[内面]薙正拾年壬子閏・・・・/多和 田ノロクモ・・・/八十六童名・・・				(1732)	(1734 ~ 1746)		
219		31号幕	墓室フク土	蓋	陶製家形のドランジージ)	Пb			[内而]雑(正)十二年・・・・/・・ロロー・・・				(1734)	(1736 ~ 1748)		
220		31号墓	墓室フク土	蓋	陶製無頭 製 形ポー ジャージーシ)	Па	- 12.2 30,3		[内面)宮平村/首里大屋子/上江洲筑 登之/夫婦ロ/同人第/三人/同人男 子/三人/ ロロロロロ		上江洲				つまみ a	
221		31号墓	墓室フク土	蓋	陶製無頸 襲 形ポー ジャージーシ)	II a	7.3 12.0 28.3		[外面]稲福口口口/男子/稲福尔也/ [内面]口口口口口		稲福				つまみ a 蓋段[一段]	
222		31号墓	墓室フク上	蓋	陶製無頭 観 形ポー ジャージーシ)	Па	7.1 - 29.8		[内面]南風原間切宮平村大新口大城口 (掟?)親雲上/ ロロ・・/ロロ・・/ロ・・		大城				つまみ a 蓋段[一段]	
223		31号墓	墓室フク土	蓋	陶製無頭 襲 形ポー ジャージーシ)	Шa	- 11.6 39.0		[内前]□□□・・・/□・・・/□						つまみa 査段なし	
224		31号墓	驀室フク土	莶	陶製無頭 観形(ボー ジャージーシ)	Па	8.8 14.3 30.5		[外面]000/0000/0000/ 000/0人						つまみ a	
225		31号墓	墓室フク土	蓋	陶製無頭 費 形ポー ジャージーシ)	Па	7.9 - 31.2		[内面]・・・ロ・・・/・・・ロ						つまみ a 蓋段[一段]	
226		31号墓	墓室フク土	蓋	陶製無頸 費 形ポー ジャージーシ)	I I a	9.8 13.6 33.5		[内面]十(六年?)/二(男?)ロロ/ロロロ /・・・						つまみ a	
227		-	31号幕室フク土 24号 幕 室(左 側 崩落)フク土	蓋	陶製無頭 観 形(ボー ジャージーシ)	Па	8.2 11.8 29.4		[内面)南風原/間切/宮平村/上江洲 ロロロ/ロロロ/真うし/四男/次 (良)		上江洲				つまみ a 盗 段[-・段]	
228		31号墓	フク土	蓋	陶製無頭 優 形(ボー ジャージーシ)		- 10.7 33.0		[内面]大诸乾(隆)二拾(五)年庚辰八月二 拾九日洗骨三男福福筑登之親雲上童名 真良/同弐拾九年甲申十月十九日洗骨 同人妻/		稲福		(1746 ~ 1758). (1750 ~ 1762)	1760, 1764	つまみり 盗段なし	
229		31号墓	フク上	蓋	陶製無頭 褒 形ポー ジャージージ)	Шb	- 10.2 32.5		[内面(乾隆三)拾三年(戊)子九月廿三日 死同三拾六年辛卯八月廿五日先滑(徒 骨?)□/乾隆□··□丁(亥)··(月)廿 日真加戸/十二月十一日洗什/ 同人 □□□□/男子				(1768)	1771	つまみり 盗段なし	
230		31号墓	墓室フク土	蓋	陶製無頭 要形(ボー ジャージーシ)	шь	- 11.1 32.1		[内面]00000/0新垣						つまみ b 蓋段なし	
231		31号墓	墓室フク土	益	陶製無頭 甕 形(ボー ジャージーシ)	Шb	9.9 29.0		内面南風(原間切)/宮平(村)・・/ロロ・・/ロロ・・/要/洗骨/						つまみ b 蓋段なし	<u></u>
232		31号墓	墓室フク土 墓フク土	蓋	陶製無頭 豊 形ポー ジャージーシ)	Шb	- 8.3 30.4	233	[内面]四/八月十七日/宮平村/赤嶺 筑登之親雲上/女房		赤嶺				つまみ b 遊段なし	
233	_	31号墓	盛フク土 墓庭フク土 墓上フク土	身	陶製無頭 嚢形(ボー ジャージーシ)	Ш	25.2 44.3 21.6	232	西八月十七日/宮平村赤嶺筑登之親雲 上/女房/		赤嶺				窓印有 底孔1	

法量 上:上部径 中:器高 下:下部径(cm)

連番	挿図番号 図版番号	募番号	出土地点	身 蓋	名称义は 仮称	形式 分類	法量	対 No	銘 诗	氏	家名	名乗頭	西 曆 死去年	西 暦 洗骨年	简考	故事 (位牌)
234		31号幕	フク土	蓋	陶製無頸 甕 形(ボー ジャージージ)	Шс	9.3 9.1 32.6		[内面]・・・・四月四日洗骨次男口口 ロ・・/ ・・・ロ ロ ロ /・・・ロ /・・・0000/・・・ロロ						蓋段なし	
235		31号篇	墓室フク土 萬フク土	蓋	陶製無頭 甕 形(ボー ジャージーシ)	Пс	8.1 9.6 31.2		[内面]乾隆三拾九年(甲)午・・・・死去 同四(拾)・・・洗骨				1774	(1776 ~ 1784)	蓋段なし	
236		31号篇	墓室フク土	益	陶製無頭 褒 形ポー ジャージージ)	Шс	9.8 8.5 28.4		[内面]乾隆三十四年丑五月(横に「十月」 と書かれている)十八日/〇〇 辛卯八 月廿五日洗竹〇〇〇 稲福〇/久米村		稲福		(1769)	1771	蓋段なし	
237		31号幕	嘉室フク土	蓋	陶製無類 要 形(ボー ジャージーシ)	Пс	9.5 11.5 35.2		[内面]嘉慶二年□七月五日/洗骨宮平 村□□/(多?)□(阿美?)				(1783 ~ 1795)	1797	蓋段なし	
238		31号盛	墓室フク土 墓フク土	益	陶製無頭 甕 形(ボー ジャージージ)	Шc	9.5 10.9 34.0	239	[内面]嘉慶三年戊午七月九日嫡子稲福 筑登之口口洗骨		稲福		(1784 ~ 1796)	1798	蓋段なし	
239		31号墓	墓室フク土 墓フク土	身	陶製無頭 褒 形(ボー ジャージーシ)		33.0 59.7 21.7	238	嘉慶三年戊午七月九日/福福岚登之親 安上/洗骨		稲福		(1784 ~ 1796)	1798	窓印有 窓庇[0.4cm] ③-1 底孔5	
240		31号墓	墓フク土 墓庭フク上	蓋	陶製無頸 装 形ポ - ジャージーシ)		- - 28.2		[外面]《乾隆三)指年乙酉十月十八日洗骨 稲結筑(集之)・・・・・(天久)乃ろ/ [内面] 乾隆)三指年乙酉十月十八日洗 骨稲福筑登之女子思戸ロ天久乃ろ		稲福		(1751 ~ 1763)	(1765)		
241		31号篇	幕室フク土 墓フク土	蓋	陶製無頭 饗 形(ボー ジャージーシ)		- 31.5		[外面]・・・男子山戸/ [内面](消されている銘書)・・・ロ年八月廿九日洗竹三男稲福筑登之親雲上/・・・ロ/・・・ロ		稲福				蓋段なし	
242		31号墓	フク土	Я	陶製無頭 観 形(ボー ジャージーシ)	□ 1	27.2 50.0 26.0		[消された発音]ロバ月・・・/ (大) 消乾隆二十日年/ロ・・・・・(骨妻?) [消されていない銘書]口乾隆二拾(五)年 庚辰拾月/				(1760)	(1756 ~ 1764), (1762 ~ 1774)	窯印有 窓庇[0.6cm]	
243		31号蔡	幕フク土 幕上フク土	身	陶製無類 豊 形(ボー ジャージーシ)	ші	26.5 48.8 22.9		乾隆三拾九年(甲)年/四月三日死去真 □□戸/同□□□年申/□月□日洗件				1774	(1776)	窯印有 底孔4	
244		31号墓	墓室フク土	身	陶製無頭 褒 形(ボー ジャージーシ)	ШІ	25.0 48.5 20.5		□□ /(あ?)□						窓庇[1.2cm] ②-2	
245		31号墓	嘉室フク土 フク土	身	陶製無頭 褒 形(ボー ジャージーシ)	1 1	25.3 49.5 19.5		ひつじ/二月十八日/口口口気登之親 独上						窓印有 底孔なし	
246		31号黨	墓室フク土 墓庭フク土 幕上フク土	身	陶製無頭 選 形(ボー ジャージーシ)	101	29.3 50.5 23.2		[後前]00000・・・		-				窯印有 底孔6	
247		31号墓	フク土	身	陶製無頭 狼 形 (ボー ジャージーシ)		29.0 - -		[内預部]□□□□・・・							
248		31号篇	墓フク土 墓室フク土	4	陶製無頭 賽 形(ボー ジャージーシ)	Ш	31.6 - -		大(帝)0000・・・/西00・・・/ 八月0・・・/000・・・							
249		31号幕	フク土 墓上フク土	身	陶製無頭 装 形(ボー ジャージーシ)	Ш	35.5 55.8 25.0		:奶/ロロ ロ/・・・・ロ/ロ ロ・・・/ロ人ロロロロ/						窓底[0.6cm] ③−1	
250		31号幕	幕室フク土	身	陶製無頭 要 形(ボー ジャージーシ)	Ш	29.0 43.3 21.0		乾隆三十四年丑/十月□日(洗)滑/・・・ □戸/□□				(1755 ~ 1767)	1769	底孔6	
251	第46図3 PL_27の 3	31号篇	墓上フク土 フク土	ä	陶製円筒 形(ジーシ) (壺屋焼)	ľV	- 39.6		[内面]・・・ロ・・・ロ/星宿祖尔(也)		屋富祖		(1722 ~ 1794 対より)	(1736 ~ 1796 対より)		

連番	挿図番号 図版番号	墓番号	出土地点	身.蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法量	対 No	銘 書	氏	家名	名乗頭	西 暦 死去年	西 暦 洗骨年	備考	故事 (位牌)
252	第46図4 PL.27の 4		31号墓フク土 31号墓上フク土 31号墓庭フク土 31号墓室フク土 23号墓室(奥)		陶製円筒 形(ジーシ) (壺屋焼)	IV	31.8 55.1 36.3		[正面、左]大油乾隆・・・・・/ロロロ・・ロロ・・/洗骨ロロ(屋穿祖)尔(电)/ [正面、右]ロロ/屋穿祖尔电		屋窩租		(1722 ~ 1794)	1736 ~ 1796	窓底[0.6cm]	
253		31号幕	幕室フク土	益	陶製有類 甕形(ジー シガーミ)	Vа	6.8 14.5 28.5		[内面] 掟赤嶺筑登之嫡子加口戸・・・		赤嶺				蓋段[二段] 「き」高さ [0.8cm]	
254		31号篇	フク土	蓋	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	VЬ	10.2 - 30.5		[ふち]思戸のろ口口口洗骨口口口九 年口・・・・・						蓋段[二段] 「き」高さ [0.4cm]	
255		31号墓	墓室フク土 墓フク土 墓庭フク土	身	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	V4	26.6 - -		[ふち]嘉慶二年(丁巳)七月(七?)日(宮平 ?)村新垣口口口妻洗骨		#i#i		(1783 ~ 1795)	1797	窓庇[0.7cm]	
256		32号幕	幕庭フク土	蓋	陶製有頭 袰形(ジー シガーミ)	Vс	8.4 10.0 22.6		[内面]明治三十八年巳旧・月七日死ス/三代(嶋?)袋三良三女カナ歳三ツ/同ロ 十一年旧子正月口日死ス/同人二男 (亀?)歳二ツ		お祭		1905	(1907 ~ 1919)	蓋段[二段]	
257		32号氧	墓庭(右側)	蓋	陶製有頭 饗形(ジー シガーミ)	Vс	7.3 7.8 16.0		[内面]□□政秀/次男・・・/昭和十 □・・・			政	(1936 ~ 1944)		蓋段[一段]	
258		32号墓	墓庭フク土	蓋	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	Vс	8.4 7.7 18.0		[内面 消されている銘書]明治四ロ・・・ / (消されていない銘書)ロ・・・・/		-				蓋段[一段]	
259			32号墓室フク土 32号墓庭(左側) 32号墓庭(右側) 32号墓墓口(左側)	蓋	陶製有類 甕形(ジー シガーミ)	v	14.2 16.0 32.0	t .	[内面]同治・・・/・・・日ロロ/・・・ ロロロ/ [ふち]同・・・/				(1862 ~ 1875)	(1864 ~ 1889)	蓋段[三段]	
			32号墓フク土 32号墓庭フク土 41号墓上フク土											i		
260		32号篇	幕庭フク土	蓋	陶製有類 褒形(ジー シガーミ)	v .	10.8 17.0 12.3		[\$5]····· /	,					善段[二段]	
261		32号幕	驀選フク土	蓋	陶製有頭 袰形(ジー シガーミ)		- - 27.4		[内面]道光二十四・・・				(1844)	(1846 ~ 1858)		
262		32号萬	幕庭フク土	益	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)		8.0 10.4 20.4		[内面]光緒十四年戊/子六月二十八日 /□□□和□/女子□□/洗竹□□				(1874 ~ 1886)	1888	蓋段[二段]	·
263		32号寫	墓庭フク土	Ŗ	陶製有頭 甕形(ジー シガーミ)	V5	22.6 31.5 13.6		三女カナ歳口・・・							
264			32号墓庭フク土 35号墓庭フク土	蓋	陶製軒付 選形(ジー シガーミ)	VI a	- - 40.0		[内面]・・・□甲午五月・・・/・・・ 大筑登(之)・・・/・・・竹月□							
265			32号墓庭(右側) 32号墓ロ(右側) 32号墓庭フク土 35号墓庭フク土 41号墓上フク土	蓋	陶製軒付 寮形(ジー シガーミ)	VI b	15.4 18.0 24.9		・・・(十九日?)洗骨ロロ・/ロ・・ロロ・/						蓋段[二段]	
266	第50図3 PL31の 3	32号幕	幕室フク土	益	油壺 (壺屋焼)		4.1 3.6 7.4		[内面]大正三年死亡/昭和十三年宮城 /政忠次男三郎/		宮城	政	1914, (1938)	(1916 ~ 1928)	転用載骨器	
267		33号篇	墓室安置蔵骨器 No.1	蓋	陶製家形 けドランジージ	Шb	32.3 43.2 39.5		[ふち]昭和十口年旧二月二十日洗骨/ [内面]比嘉盛徳妻マカ/死亡時二十 七才		比斯	盛	(1922 ~ 1942)	1936 ~ 1944		
268		335} 🗱	驀室フク土 驀庭フク土	蓋	陶製有頭 甕形(ジー シガーミ)	V b	10.0 14.9 13.7		【内面】00六年丙申六月十二·0000						蓋段[一段] 「き」高さ [0.4cm]	

連番	挿図番号 図版番号	基番号	出土地点	身.蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法量	対 No	銘 準	II.	家名	名乗頭	西 暦 死去年	西 曆 洗骨年	備考	故事 (位牌)
269	第47図3 PL.28の 3	33号墓	墓室安置養骨器 Na.4		陶製有頭 雙形(ジー シガーミ) (壺屋焼)	V c	- 7.8 18.4		[内面]比嘉盛徳/次女カマド/三才/ 昭和十五年/旧二月二十日冼骨		比茲	盛	(1926 ~ 1938)	1940	人 骨[乳 ~ 幼児1]	
270		33号墓	墓室フク土	蓋	陶製有類 痩形(ジー シガーミ)	Vс	9.2 13.9 33.0		[内面]昭和六年旧九月六日洗骨/ロロロニ女比嘉カメ		比茲		(1917 ~ 1929)	1931	蓋段[二段]	
271		33号墓	墓室安置蔵骨器 No.3	查	陶製有類 變形(ジー シガーミ)	V	9.4 23.0		[内面]大正一年旧/八月十四日亡/行年七才申ノ人/嘉手納/ロロロ戸/三女(ツ)ル				1912	(1914 ~ 1926)	人骨[幼児1 胎児~新生 児1]	
272		34号墓	フク ±	益	陶製無頭 提 形(ボー ジャージーシ)		9.4 10.6 31.8		[内面]上選天(筑登之の略字)親雲上張孝 乾隆け八年癸未七月廿四日骨洗/御同 人女子真嘉登(家譜では戸)/ 上選天 ロロ次男樽(家譜では梅金)/乾隆四拾 二年(丁)西正月二十七日/洗骨/同人 女子弼	(茲)	上運天	遊	(1761 家譜よ り)、 (1749 ~ 1761)、 (1763 ~ 1775)	1763, 1777	つまみ b。 蓋段[一段]	
273		34号墓	フク土	蓋	陶製無頸 製 形(ボー ジャージーシ)	Шс	8.5 8.9 30.1		[内面消されている銘書)乾隆口拾口年 戊ロ七月・・・/嫡口ロ・・・ロ・・・ ロ・・・/ [内面消されていない銘書] 蘓世禄上選天筑登之臺理/(乾隆五十年乙巳三月十八日死去(享年)/五十七 號真自	植	上運天	遊	1785	(1787 ~ 1799)	養段なし	
274		34号墓	フク土	益	陶製無頸 銀 形ポー ジャージーシ)	Ш	- 29.0		[内面]・・・・四日洗骨也							
275	•	34号墓	フクホ.	蓋	陶製無頸 現 形 (ボー ジャージーシ)	Ш	8.5 11.3 33.7		[内面]仲宗根筑登之親雲上口口口・・・		仲宗根				益段なし	
276		34号墓	フク北	蓋	陶製無頭 観 形ポー ジャージージ)	Ш	9.2 - 26.4		[内面]乾(隆)/弐拾六(年)/辛巳・・・				(1761)	(1763 ~ 1775)	蓋段[一段]	
277		34号墓	フク土	分	陶製無類 費 形(ボー ジャージーシ)	Ш	24.6 - -		乾隆五拾二年/丁未十二月廿二日洗骨				(1773 ~ 1785)	1787		
278		34号幕	フク土	蓋	陶製無頸 費 形(ボー ジャージーシ)	V b	10.0 - 35.5		[内面]乾隆五十ポ年丁(未)□月□・(洗) 付上運天筑登之親雲上・・・/向氏真 鑑/憲孝室	(蘓)	上運天	遨	(1786 家語よ り)	1787	蓋段[二段] 「き」高さ [0.2cm]	
279		34号墓	フク上	益	両製有類 獲形ジーシ ガーミ)	v	- - -		[内面]・・・丙子 ヒ月 廿六日(洗)骨 /・・・(筑)登 之 ロ・・・/・・・ ロ・・・						蓋段[六段]	
280		34号墓	フク t.	蓋	関製有類 現形 ジーシ ガーミ)	v	7.2 - 24.0		[内面]・・・ロロロ/・・・年丙ロ /・・・ロロ						蓋段[一段	
281		34号墓	フク十:	蓋	陶製有頭 饗形(ジー シガーミ)		6.7 - -		[内面 治ロ・・・/旧十二・・・/ 巫 天・・・/ 長 男 ロ・・・/ 明 治 ロ ロ・・・/旧十一月ロ・・・/洗骨				(1868 ~ 1910)	1870 ~ 1912	蓋段[一段]	
282		34号墓	フクナ.	盎	陶製軒付 提形(ジー シガーミ)		- - 23.5		[内面]・・・(月?)十三日(奥)島遊姫(長?)・・・/・・・・□月廿二日洗骨/・・・□□・・・		(奥島)	(遊 ?)			「き」高さ [0.1cm]	
283		34号墓	フク土:	蓋	陶製軒付 摂形(ジー シガーミ)	1	12.0 - 29.6		[内面]成豊ロロ・・・/ロロロロロロロ(子?)ロ /・・・・・ 廿 二(日?)洗 竹 漱ロ・・・/・・・ロロロ			遊	(1851 ~ 1862)	(1853 ~ 1876)	蓋段[一段] 「き」高さ [0.4cm]	
284			35号墓フク土 35号嘉庭フク土 32号嘉庭フク土 32号幕アク土 42号幕フク土	蓋	陶製有類 褒形(ジー シガーミ)		6.5 - 17.4		砕ツル/年号明治				(1868 ~ 1912)	(1870 ~ 1926)	蓋段[一段]	
285		35号墓	フク土 墓室フク土	益	陶製有類 観形(ジー シガーミ)	Ve	9.3 11.4 24.9		[ふち]・・・□旧□・・・/□□男□□ □四歳						益段[二段]	

連番	挿図番号 図版番号	募番号	出土地点	身·蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法鼠	対 Na	銘 母	Æ	家名	名乗頭	西 暦 死去年	西 暦 洗骨年	備考	故事 (位牌)
286			35号基フク土 32号基庭フク土	蓋	陶製有頭 優形(ジー シガーミ)	v	16.6 - 36.2		・・・子十一月十六日〇〇〇〇〇多洗 分/						蓋段[二段]	
287			35号幕フク土 32号幕庭フク土	蓋	陶製有頭 製形(ジー シガーミ)	v	10.9 14.5 30.0		不鮮明 [ふち]・・・・ロロ						盖段[一段]	
288		36号幕	募室藏骨器%2	蓋	石製家形 (イシジーシ)	1 b	37.5 25.5 67.5		不針明							
289			36号墓室蔵骨器 No.2' 36号墓フク土 37号墓庭フク土	蓋	陶製無頭 妻 形ポー ジャージーシ)		- 30.0		[内面]大清・・・・/(欽?)・・・・・						蓋段なし No.2'は No.2 付近から出 土	
290			36号墓庭フク土 37号墓庭フク土	查	陶製無頭 費 形(ボー ジャージーシ)	Ш	- 30.0		[内面]乾隆四十二年・・・・・				(1777)	(1779 ~ 1791)		
291		36号墓	墓庭フク土	蓋	陶製無頭 豊 形ポー ジャージーシ)	Ш	- -		[内面]・・・七月欽氏・・・	欽						
292	第49図 13 PL.30の 13		36号墓室フク土 39号 墓 室(前)フ ク土	蓋	擂鉢 (壺屋焼)		32.2 13.3 11.3		[外面]口口之/比嘉尔也		比嘉			_	伝用蔵骨器	
293	第43図1 PL.24の 1		36号墓室蔵骨器 No.3′ 36号墓室フク土 40号墓室蔵骨器 No.3′	[陶製無頸 褒 形(ボー ジャージーシ) (壺屋焼)		7.3 10.8 31.1		[内面]乾隆(二)拾六年巳/二月口口死/同(三拾年)と酉七月/九日洗骨/口口・・/あ口口られ				(1761)	1765	蓋段[一段] %3'は %3 付近から出 土	
294		37号墓	墓庭フク土	蓋	陶製無頭 要 形(ボー ジャージーシ)	Шa	8.0 12.0 32.0		[内面]大浦乾隆拾口年口口/口・・・				(1746 ~ 1754)	(1748 ~ 1768)	つまみ a 蓋段[一段]	
295			37号墓庭フク土 37号墓フク土 38号幕庭フク土	蓋	陶製無頭 寝 形(ボー ジャージーシ)	Шb	- 10.8 32.3		[内面]飲氏六代濱元親雲上清盛乾隆・・・ □□□・・・	欽	消元	វ៉ា			つまみ b 盗段なし	
296			37号墓庭フク土 36号墓庭フク土		陶製無頭 要 形(ボー ジャージーシ)	Пс	10.1 10.0 30.0		[内面]乾隆三十二年丁亥三(月)・・・・ ロ氏大湾親翌上清門妻		大湾	清	(1767)	(1769 ~ 1781)	蓋段[一段]	
297	_	37号募	墓庭フク土	蓋	陶製無頭 饗 形(ボ - ジャージーシ)	ш	- - 26.0		[内面]・・・ロ・・・/・・・里之子 /・・・ロ(卯?)/・・・ロ(骨?)							
298		37号墓	墓庭フク土	蓋	陶製無頭 優 形(ボー ジャージーシ)	ш	- -		[内面]・・・年丙戌/・・・□/・・・							
299		37号墓	墓庭フク土 墓フク土	췶	陶製無頭 セ 形(ボー ジャージーシ)	Ш	10.7 8.3 33.0		[内面]欽・・・/ロ・・・						蓋段[二段]	
300		37号墓	墓庭フク土	蓋	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	v			[ふち]次男ロロ・・・							
301		38号基	墓庭フク土	身	石製家形 (イシジーシ)	ī	28.0 –		道光三十〇・・・〇日/〇/竒							
302	第46図1 PL_27の 1	38号墓	墓庭フク土 墓庭(右垣)フク 土	蓋	陶製円筒 形(ジーシ) (壺屋焼)	ľV	- - 42.8		[内面]・・・筑登之						線彫の銘書	
303	第34図3 PL.15の 3	39号墓	墓室(前)フク土	Ð	石製家形 (イシジーシ)	I	49.6 43.2 50.8		[正面] 康熙二十五年丙寅ロ月二十一日 死酵八十二/菊(叟)玄彦大师定門ノロ (元祖) 讃谷山(王子朝)苗五代之蟟孫ノ (歳谷山王)子朝宗 [右側面] 康熙卅五年 丙子二月二十五日去□□□□ノ遺谷山 王子朝宗之骨を(げらへ?)□□□	(向)	讀谷山	क्षा	1686. 1696	(1688 ~ 1700), (1698 ~ 1710)		菊叟玄郡 居士

法量 上:上部径 中:器高 下:下部径(cm)

围船	挿図番号 図版番号	墓番号	出土地点	身 蓋	名称义は 仮称	形式 分類	法量	対 %	銘 書	氏	家名	名乘頭	西 暦 死去年	西 暦 洗骨年	備考	故事 (位牌)
304	第39図2 PL.20の 2	39号幕	驀室(前)フク土	蓋	陶製家形(クラッシテーシテ (壺星焼)	II b	- - 53.2		[ふち]王川王子朝達室潮平按司加那志 光緒八年(壬午)十月十七日洗件/(玉)川 王子朝遠室潮平按(司)加那志光緒八年 壬午十月十七日洗骨	(向)	亚州	卻	(1878 故事よ り)	1882		(貞 心 妙 潔大姉→ 光 緒4.戊 寅2.16 ※死去 1878年)
305	第39図1 PL.20の 1	39号幕	葛室(前)フク土	為	陶製家形(ウドゥンジージ) (磁星焼)	II b	- 35.7 -		[内 面尚 顧 王 第 六 子 十 六(世)・・・ /・・・ロ玉川王子朝達/ 咸豊十二年 壬戌・・・・(日)卒・ロロ/ 同治十一年 壬ロ・・・・洗骨/	向	玉川	朝	1862	1872		寬仁維 其 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
306		39号幕	葛室(前)フク土	蓋	陶製無頸 費 形(ボー ジャージーシ)	Шa	8.0 - 31.6		[内面]映熙ロ 十(月?)・・・/向氏・ロロロロ・ロ・ロ・	(á)	(設谷 山)	(朝)			つまみ a 蓋段[一段]	
307		39号墓	驀室(前)フク土	益	陶製無頭 ・	Ша	7.2 15.0 31.5		[内面]改革合口	(向)	(讀谷 山)	(朝)			つまみ a 蓋段[一段]	(雲 峰 宗 白居士→ 天 啓4.甲 子2.23 ※死去 1624年)
308		39号幕	幕室(前)フク土	蓋	陶製無頸 装 形(ボー ジャージーシ) (喜名焼)		8.4 15.1 34.0		[内 面]・・・□・・□(熙?)十(九?)・・ □月十□日/座喜味按司・・・		(讀谷 山) 座喜味				つまみ a 蓋段[一段] 朱色の銘書 (ミガチ)	
	第45図1 PL.26の 1	39号幕	驀室(前)フク土	盗	陶製無頸 製 形(ボー ジャージーシ) (喜名焼)	Шa	7.6 18.8 33.6		[内面]・・・(六)世向良謀(議谷)山接司 室康(熙)五年(丙)午(十一)月十五日卒	向	(濟 谷 山)	(朝)	1666	(1668 ~ 1680)	蓋段[一段]	慈光净心 大姉→康 熙5年 丙 午11.15 ※死去 1666年
310		39号墓	嘉室(前)フク土	蓋	陶製無頭 甕 形(ボー ジャージーシ)	Шa	- 11.5 31.6		[内面:廃正二年甲辰七月十九日洗骨/ (安心了)体/西平口口口口女子/思武 太金/仲里按可/をかや口	(向)	仲里	(朝)	(1722 故事)	1724	つまみ a 蓋段なし	安心了休 大姊→康 熙61.王 寅9.20 ※死去 1722年
311		39号篇	募室(前)フク土	Я	陶製無頸 費 形(ボー ジャージーシ)	Ш	29.5 - -	310	棄正二年(甲辰)・・・(洗骨?)/安心了 (休)・・・/・・谷・・・/・・ (童)・・・/	(向)	(旅谷 山)	(朝)	(1722 故事)	1724	窓庇[1.5cm] ②-1	安心了休 大姉→康 熙61.壬 寅9.20 ※死去 1722年
312		39号幕	驀室(前)フク土	蓋	陶製無頸 饗 形(ボ - ジャージーシ)	Шa	- 13.0 32.0	313	中里按司朝隆室真嘉戸樽/梅屋妙斎康 熙五十七年戊戌九月十三日洗竹/中里 按司朝隆(長女)思亀樽/朝権妙妙花/ 雍正五年丁末十月(十八日)洗竹	([fi])	仲里	朝	(1716 故事よ り)、 (1713 ~ 1725)		つまみ a 蓋段なし。 外 面 に「左 三」と 墨 脊	1
313		39号幕	葛室(前)フク土	Ŗ	陶製無頭 鞭 形(ボー ジャージーシ)		27.0 - 23.3		[正而]种里按司朝隆室/梅屋妙薰/(仲里按司朝隆夏女/(朝權妙)花 [後面] 仲里按司朝隆夏女/(朝權妙)花 [後面] 仲里按司朝隆至/真嘉戸樽/梅居妙薰/ 康熙五十七年戊戌/九月十三日洗骨/ 仲里按司朝隆長女思亀樽/朝(權) 妙花/雍正五年丁未/十月十八日/洗骨	ı	仲里	朝	(1716 故事より)、 (1713 ~ 1725)	1718, 1727	窓底[1.5cm] ②-1	梅屋妙黛 大姉→康 無55.丙 申10.16 ※死去 1716年
314	第45図3 PL26の 3	39号茲	驀室(前)フク土	益	陶製無頭 隻 形(ボー ジャージーシ) (壺屋焼)	Шa	- 11.0 29.0	315	[内面]・・・(仲)里接司朝隆室思戸金/ 棄正十四年丙辰四月八日洗竹	(向)	仲里	朝	(1722 ~ 1734)	1736	蓋段なし	
315		39号墓	募室(前)フク土	Ą	陶製無頸 製 形(ボー ジャージーシ)	Ш	<u>-</u> -	314	・・・四月八日/・・・室思戸金	(向)		(朝)	(1722 ~ 1734 対より)	(1736 対より)		

法量 上:上部径 中:器高 下:下部径 (cm)

避番	挿図番号 図版番号	墓番号	出土地点	身・蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法鼠	対 No.	路市	氏	家名	名乗頭	西 暦 死去年	西 暦 洗骨年	偏考	故事 (位牌)
316		39号墓	盛室(前)フク土	盏	陶製無頭 甕 形(ボー ジャージーシ)	Ша	8.6 13.5 32.0	317	[内面]・・・(向)良哲佐敷按司(朝易)号 悔翁康熙(四十八年)己丑十二月二日卒	(向)	佐敷	(朝)	1709	,	つまみ a 蓋段[一段]	梅翁常皎 居士→康 熙48.己 丑12.2 ※死去 1709年
317		39号墓	募室(前)フク土	ģ	陶製無頸 現 形(ボー ジャージーシ)	Ш	23.9 45.5 19.3	316	向氏佐敷按司朝易号梅翁/康熙四十八 己丑十二月初二日卒/山川之嘉寨同五 十壱年壬辰七月廿四日洗/骨之時湧田 之墓/二安置也	向	佐敷	朝	1709	1712	寒庇[1.3cm] ②-1 成孔5	梅翁常皎 居士→康 熙48.己 丑12.2 ※死去 1709年
318		39号墓	墓室(前)フク土	蓋	陶製無頭 镀 形(ボー ジャージーシ)		-		(乾隆三十)一年丙戌二月・・・・・	(á)	(仲里)	(朝)	(1766)	(1768 ~ 1780)	つまみb	
319		39号墓	墓室(前)フク土	蓋	陶製無頭 製 形 (ボー ジャージーシ)	Шb	9.5 30.0		[内面]大清雍正十四年丙辰七月二十日 洗骨/佐敷按司妻秋月妙桂	(向)	佐敷	(朝)	(1722 ~ 1734)	1736	つまみb 蓋段なし	
320		39号墓	募室(前)フク土	蓋	陶製無頸 製 形(ボー ジャージーシ)		8.2 9.0 30.0	321	[外面]乾隆拾八年癸酉八月十四日洗竹 六男仲里子(=里之子の略)朝嘉/	(向)	仲里	朝	(1739 ~ 1751)	1753	つまみb 盗段[一段]。 外面に銘書 と「o 右二」 の墨書有	
321		39号墓	墓室(前)フク土	Я	陶製無頸 甕形(ボー ジャージーシ)	Ш	- - 21.2	320	乾(隆)拾八年(癸酉八)月十四日洗骨 /・・・仲里(子朝)嘉	(向)	仲里	(朝)	(1739 ~ 1751)	1753		
322	第45図7 PL.26の 7	39号墓	墓室(前)フク土	蓋	陶製無頭 費 形ポー ジャージーシ) (官名焼)	ШЪ	8.4 11.2 32.0	323	[内面]七世/向氏仲里接司朝英法名(向) 維屏/雍正拾一癸丑年二月二(日)卒/ 乾隆拾(己巳だと四が抜けている)己巳 年十月十日洗什/仲里按司朝英継名/ 乾隆(二)十年(乙)亥五月十五日・・・/ 合葬	向	仲里	朝	1733	1745 か 1749	つまみb 蓋皮(一段) 外面に「Δ 右」と思 有。	
323		39号幕	募室(前)フク土	身	陶製無頭 製 形 ポー ジャージーシ)	Ш	-	322	・・・・・/乾隆拾己巳年十・・・	(向)	(仲里)	(朝)	(1733 対より)	(1749 対より)	寒鹿[1.7cm] ②-1	
324		39号墓	墓室(前) フク主	益	陶製無頸 甕 形(ボー ジャージーシ)	Шε	9.7 8.0 31.8		[外面]顧谷山按可・・・/ロ・・・ロロ・・・/ [内面]顧谷山・・/・・・朝(易?)・・・/ロロ・・・/女子・・・	([ñ])	(佐敷) 讀谷山	헤			遊段[一段]。 内外面に銘 書。 外面に「△ 左一」と墨 書有	
325		39号纂	幕庭フク土	蓋	陶製無頭 饗 形(ボー ジャージーシ)	Шс	10.0 18.5 30.0		[内面]・・娘・・・/ロ・・・						蓋段なし	
326	-	39号墓	募室(前)フク土	蓋	陶製無頭 観 形(ボー ジャージーシ)	Ш			[内面]・・・法司大城親方朝章母・・・ /・・・雍正五年丁未十月・・・盤件		大城	朝	(1713 ~ 1725)	1727		
327		39号幕	驀室(前)フク土	益	陶製無頭 製 形(ボー ジャージーシ)	Ш	-		[内面]・・・(筑登)之嫡子/・・・(讀谷) 山按司女子	(向)	讀谷山	(朝)				-
328		39号募	墓室(前)フク土	蓋	陶製無頸 現形(ボー ジャージーシ)	Ш	-		向氏佐敷接司側易・・・	向	佐敷	朝				
329		39号墓	驀室(前)フク土	蓋	陶製無頭 隻 形(ボー ジャージーシ)	Ш	- - 34.0	330	[内面]仲里按司朝與太玄(宗白)/乾隆間 一年丙戌二(月)・・・・/	(向)	仲里	(II)	(1759 故事よ り)	1766	蓋段なし。 外面に「左 △」と墨書 有	大玄宗白 居士→乾 隆24 ※死去 1759年
330		39号墓	募室(前)フク土	¥	陶製無頭 甕形(ボー ジャージーシ)		28.5 - 20.8	329	仲里・・朝興・・・/大玄宗白/乾隆 三十一年丙戌/二月十九?・・・・・	([ń])		朝	(1759 故事よ り)	1766	窯印有 窓庇[0.7㎝] ③-1 岐孔6	大玄宗白 居士→乾 隆24 ※死去 1759年

法量 上:上部径 中:器高 下:下部径(cm)

遊番	挿図番号 図版番号	墓番号	出土地点	身・蓋	名称义は 仮称	形式 分類	法量	対 No	銘 ආ	Æ	家名	名乗頭	西 暦 死去年	西 暦 洗骨年	備考	故事 (位牌)
331		39号幕	墓室(前)フク土	益	陶製無頸 観 形(ボー ジャージーシ)	Ш	- - 34.0	332	(讀?)・・・(司?)脊椎	(向)	(設谷 (山)	(朝)			蓋段[一段]	
332	第41図1 PL.22の 1	39号幕	幕室(前)フク土	身	陶製無頭 甕 形(ボー ジャージーシ) (喜名焼)	1	24.0 51.7 20.0	331	[正面右朝]讀谷(由接司)・□	(向)	(讀谷 山)	(朝)			窓庇[3.4cm] 成孔なし	
333		39号章	募室(前)フク土	益	陶製無頭 褒 形(ボー ジャージーシ)		- -	334	[外 面]・・・・・日 洗 竹 十 世(仲) 里・・・/ [内面]・・・辰三月二十八 日洗(竹)	([ជំ])	仲里	(朝)		(1760 対より)	窓庇[3.4cm] 底孔なし	世爵壯鑑 居士一乾 隆22.丁 丑4.24 ※死去 1757年
334		39号幕	驀室(前)フク土	身	陶製無頸 豊 形(ボー ジャージーシ)		27.2 - 22.4	333	乾(隆)二十五年庚辰三月二十八(日)冼仲 十世仲里按司朝隆	(向)	仲里	朝	(1757 故事よ り)	1760	黎 唯[0.9cm] ③-1 成孔6	世爵壯鑑 居士一乾 隆22.丁 壮4.24 ※死去 1757年
335		39号寫	墓室(前)フク土	삵	陶製無頭 観形(ボー ジャージーシ)		26.8 48.0 21.2		仲里按司朝義/向祐之(全)喜/・・・ (乾隆三)十一年丙戌/・・・・・(洗) 骨	(向)	仲里	朝	(1752 ~ 1764)	(1766)	恐庇[0.6cm] ③-1 底孔6	悦峰全喜 居士
336	第42図1 PL.23の I	39号墓	募室(前)フク士	身	陶製無頭 喪 形(ボー ジャージーシ) (喜名焼)	Ш1	21.8 47.3 18.8		[正面]佐敷桉司朝(易)室/節心妙真/康 熙四十年辛巳/六月十一日至	(向)	佐敷	해	1701	(1703 ~ 1715)	黎唯[2.0cm] ①−2 成孔4	節心妙真 大姉→康 熙40.辛 巳6.11 ※死去 1701年
337	第41図4 PL.22の 4	39号墓	幕室(前)フク土	身	陶製無頭 甕 形ぱ - ジャージーシ) (喜名焼)	ш	23.6 49.2 22.6		[正而右側)康熙二十三年甲子正月初(二) [正而左側)遊姦道浄	(向)	(讀谷 山)	(朝)	(1684)	(1686 ~ 1698)	窓底[2.6cm] ①−1	蓮臺道净 居士
338		39号幕	驀室(前)フク土	¥	陶製無頭 隻 形(ポー ジャージーシ)	Ш	- - -		(嘉)慶二年・・・/(二)十六日洗(骨)	(向)	(仲里)	(朝)	(1783 ~ 1795)	1797		
339		39号幕	墓室(前)フク土	¥	陶製無頸 甕 形(ボー ジャージーシ)	Ш	23.4 - 17.9		讃谷(山)・・・/按可・・・/ロ・・・ /(大?)・・・/ロ・・・/ロ・・・	(百)	讀谷山	(朝)			底孔なし	
340		39号墓	葛室(前)フク土	Ŋ	陶製無頭 褒 形ぱ - ジャージーシ)		- 19.2		・・・□朝英室/・・・□□	(ங்)	(仲里)	朝			KA6	
341		39号篇	墓室(前)フク土	身	陶製無頭 豊 形ポー ジャージーシ)		- - 21.8		・・・・(隆?)室	([គំ])		(朝)				
342		39号旗	蘇室(前)フク土	身	陶製無頭 観 形(ボー ジャージーシ)		24.1 - -		前任法司大城親方朝章・・・		大城	朝			窓庇[1.1cm] ②-2	
343		39号森	募室(前)フク土	Ą	陶製無頭 豊 形(ボー ジャージーシ)		- - -		・・・梅屋/康煕五十・・・九口・・・	(向)	(仲里)	(朝)	(1704 ~ 1716?)	(1718?)		
344		39号盘	募室(前)フク 土	蓋	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	ĺ	9.9 - 29.6		□向□(仲)里按司朝見室号名春室常昌 嘉(慶)二年・月二十□日洗骨	向	仲里	(I)	(1790 故事よ り)	1797	「き」高さ [0.9cm]	春室常昌 大姉→乾 隆55.庚 戌2.11 ※死去 1790年
345		39号幕	幕室(前)フク土	蓋	陶製有頭 堤形(ジー シガーミ)	ļ	11.7 20.1 31.6		仲里按司朝恭韓思龜道光六年两戊三月 三十日洗什/同七年(丁)安七月十日洗 什思戸金(六?)男松金并台三人	(向)	仲里	Ø)	(1812 ~ 1824), (1813 ~ 1825)	1826, 1827	蓋段[二段] 「き」高さ [0.5cm]	

刮油	挿図番号 図版番号	墓番号	出土地点	身・蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法鼠	対 No	48 28	Æ	家名	名乗頭	西 斯 死去年	西 暦 洗骨年	備考	故事 (位牌)
346		39号墓	墓室(前)フク土	蓋	陶製有頭 饗形(ジー シガーミ)	V a	12.9 18.4 –		【ふち】十三世仲里)按可朝見母月心口ロロ・・・/ 【外面】十三世仲里按可)朝見母ロ・・・/ 新慶・・・・・□九日卒/同ロ・・・・洗件/	(向)	(仲里)	朝	1796 ~ 1819	1798 ~ 1821	蓋段[二段] 「き」高さ [0.7cm]	心月寂光 大姉
347		39号墓	募室(前)フク土、 募室(奥)フク土	蓋	陶製有頭 雙形(ジー シガーミ)	V b	- - -		明治丗九年・・・/・・・川朝康・・・	(向)	玉川	朝	(1906)	(1908 ~ 1920)	「き」高さ [0.2cm]	
348	第47図5 PL.28の 5	39号墓	墓室(前)フク土	蓋	陶製有類 甕形(ジー シガーミ) (壺屋焼)	Ve	8.2 - -	349	[内面]□□□□□□ 研隆□□真吴荣富 名被親雲上室離別寿六十七/大(清嘉) 度二十(一年丙)子十一月二十八日洗骨	([á])	(仲里)	朝	(1802 ~ 1814)	(1816)	蓋段[一段]	
349	第47図6 PL.28の 6	39号墓	蘇室(前)フク土	身	陶製有頭 漿形(ジー シガーミ) (壺屋焼)	V4	23.2 47.3 18.8	348	[正面]十世仲里按司朝隆七女真吳榮富 名號親雲上室隆別群六十七嘉慶二十一 年丙子十一月二十八日洗骨/大清嘉慶 二十一年丙子十一月二十八日洗骨	(向)	仲里	¢#	(1802 ~ 1814)	1816		
350		39号幕	驀室(前)フク土	蓋	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	v	12.3 - 33.1	351	[内面]仲里按司朝(北?)次男仲里里之子 道光六年丙(戌)・・十日冼件	(向)	仲里	朝	(1812 ~ 1824)	1826	蓋段[・段] 「き」高さ [0.3cm]	
351		39号墓	墓室(前)フク土	身	陶製有頸 甕形(ジー シガーミ)	V4	28.9 - -	350	[正 而]仲里按 司 朝(恭)次 男 仲里里之 子・・・(道)光六年丙戌三月三十日洗骨	(向)	仲里	朝	(1812 ~ 1824)	1826		
352		39号幕	驀室(前)フク土	蓋	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	V	10.8	353	[外面]・・・(仲里)按司 朝興 室 真 鶴 金・・・(乾隆五十)三年戊申十(二月)・・・ / [内面]・・・(仲)里按司朝(戦)室・ (鶴?)金/(大)清乾隆五拾(三)・・・・・	(向)	(仲里)	ØI.	(1775 故事よ り)	1788	蓋段[一段] 「き」高さ [0.4cm]	(献 心 妙 亮大姉→ 乾隆 40, 乙未 12.13 ※死去 1775年)
353		39号墓	驀室(前)フク土	身	陶製有頭 漿形(ジー シガーミ)	V4	27.8 - 24.3	352	大清乾(隆)五十三年戌(申)十二月廿八日 /・□向緝熙仲里按司朝興宝/(真顧金)	([á])	仲里	朝	(1775 故事よ り)	1788	窓庇[1.0cm] 底孔18	(飲心炒 充大婦→ 乾隆 40. 乙未 12.13 ※死去 1775年)
	第46図6 PL.27の 6	39号墓	募室(前)フク土、 募室(奥)フク土	身	陶製有頭 銀形(ジー シガーミ) (壺屋焼)	V4	30.4 60.0 26.7		[正面]向緝光(六男渡久地)親雲上朝春/ 思戸金・・・・/大清(乾隆)五十四 年(己)西十月ロロロ/・・・(補)添問 切滞砥ロ/(親)雲上長女也/・ロ日去寿 ヒ十ロ/ [右後面] 健瀬谷山王子朝 苗・・・/・・・按可朝隆先室思戸 金)・・・/ロロ思戸金(七)七(歳?)	Įúj	(仲里)	朝	(1789)	(1791 ~ 1803)		
355		39号墓	墓室(前)フク上	盗	陶製軒付 製形(ジー シガーミ)	VI a	7.9 - 30.6		[内面]・世向際他)・・・/ロロ仲里按 可/朝慶成豊/五年之卯・・・(三?)日 / 卒同八(年?)戊(年)/八月廿三・/ロ ロ・・/ [ふち]仲里按可朝慶室光緒九 年癸未十月三十日洗骨/同人女口 伊・・・・(鎖?)三人合衆	向	仲里	朝	1855、 (1882 故事よ り)	(1858), 1883	蓋段[二段]	(養 宝 士 - 乙 - 卯9.3 宋 士 - 乙 - 卯9.3 ※ 1855年) (椿 大 緒 - 壬 - 年 - 10.16 ※ 1882年)
356		39号墓	墓室(前)フク上	蓋	陶製軒付 饗形(ジー シガーミ)	VI a	8.2 - -		[内面]・・・大(湾?)・・/口口親雲上 /口駕第之(女?)/五年口卯十二月/・・ ロ /・・・戸 樽・・・/ 同・・・ /・・・	(向)	(仲里)	(朝)				
357		39号寫	墓室(前)フク土	盏	陶製軒付 饗形(ジー シガーミ)	VI a	7.9 - 30.8		[内面]昭和拾八年八月・・洗骨/(長男?X王)川朝本・・・・	(向)	東川	朝	(1929 ~ 1941)	1943	蓋段[·段]	

連番	挿図番号 図版番号	墓番号	出土地点	身・蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法瓜	対処	第一番	氏	家名	名乗頭	西 暦 死去年	西 暦 洗骨年	備考	故事 (位牌)
358		39号墓	黛蜜(前)フク土	蓋	陶製軒付 要形(ジー シガーミ)	VI a	10.6 - 35.0	359	[内面 消されている銘書)乾隆二十年乙 亥五(月)・・・洗骨・・・朝英(継?)室 ロ・・・ロ十月十(五?)日(仕?)(立?) [消 されていない銘書)十(五?)世向永弼(玉?)川按司朝常光緒十一年酉四月二日洗 竹/朝同人室同治十一年申六月十三日 卒光緒三年(丁)丑十月廿八日洗骨/夫 妙合非/	向	玉川	朝	(1741 ~ 1753), 1872, (1883 故事よ り)	1755. 1877. 1885	蓋段[二段] 「き」高さ [0.3cm]	(義仁→ 癸 10.29 高居緒9. 10.29 1883年 動一王 1872年 1872年
359		39号墓	驀室(前)フク土	身	陶製軒付 要形(ジー シガーミ)	VII	31.1 - 22.4	358	拾五世玉川朝常同宝合非	(向)	玉川	朝	1872、 (1871 ~ 1883 対より)	1877、 (1885 対より)	底孔7	
360		39号墓	驀室(前)フク土	蓋	陶製軒付 寝形(ジー シガーミ)	VI a	- - 25.1	361	[ふち]拾五世・常継室口名マカト号玉温 光緒拾壱年・・四月老日死去/光緒成 拾六(年)庚子拾成月拾参日洗骨/ [内面]十五世(玉)川按可/柳常?)二女・戸 /光(緒)・・・月世日洗件/母ロ・・・	([t])	玉川	朝	1885	1900	「き」高さ [0.4cm]	玉温妙光 大姉一光 緒11.乙 西4.朔日 ※死去 1885年
361		39号墓	墓室(前)フク土	身	陶製軒付 褒形(ジー シガーミ)	VI2	26.3 - 22.4	360	十五世(朝?)常継室(仝?)人二女口口戸合 葬	([á])	玉川	(朝)	(1885 対より)	(1900 対より)	底孔6	
362		39号墓	募室(前)フク土	蓋	陶製軒付 褒形(ジー シガーミ)	VI	10.1 21.8 29.6	363	十六世玉川朝康大正九・旧申十月二十 六日卒同十一・・・日洗件	(向)	玉川	ØЯ	1920	1922		
363		39号墓	墓室(前)フク土	身	陶製軒付 選形(ジー シガーミ)	VīI	28.5 - 20.8	362	十六世玉(川)朝康大正九年旧申十月二 十六日(卒)	(fáj)	жл	朝	1920	(1922 対より)	底孔6	
364		39号墓	墓室(前)フク土	蓋	陶製軒付 張形(ジー シガーミ)	VI b	11.7 - 31.7		十三(世)仲里按可/朝・夫婦/十三世 (仲)里按司/朝(見?X夫)婦	(向)	仲里	朝				
365		39号墓	募室(前)フク土	蓋	陶製軒付 褒形(ジー シガーミ)	VIЬ	12.5 18.0 36.3		[ふち]・世向邦獨仲里按司朝・・・・・ 成豊八年八月二十二日(死去)/(同)九年 己未十月十五日洗竹同人/・・・同人 三男棒金合発/[内面]十四世中里按 司)/朝(裁)/ 十(四世)仲里按司/朝 (恭?)先室/	向	仲里	朝	1858	1859	蓋段[一段]	群岳宗永 居士→成 豊8. 戊午 8.22 ※死去 1858年
366	第44図3 PL25の 3	40号墓	募室 歳 件器 Xo. 2′、No.3′ 募室フク土	查	陶製無頭 寝 形(ボー ジャージーシ) (壺屋焼)	Шb	9.6 10.9 32.5	367	[内面]欽氏米須親雲上/清安三男/米 須筑登之清寶/大清乾隆拾年乙丑八月 式九日洗骨	欽	米須	iħ	(1731 ~ 1743)	1745	蓋段[一段] No.2'はNo.2、 No.3'は No.3 付近から出 土	
367	第44図4 PL.25の 4	40号墓	墓室藏骨器/0.2	身	陶製無頭 褒 形ポー ジャージーシ) (壺屋焼)		28.2 53.0 22.0	366	欽氏米須賴毀上/清安三男/米須筑登 之清賢/乾隆拾年乙丑八月弐九日洗骨	欽	米須	iA	(1731 ~ 1743)	1745	窯印有 窓庇[1.5cm] ②-2 底孔5 No2'は No.2 付近から出 土	
368	第44図1 PL-25の I	40号墓	嘉室藏骨器163	蓋	陶製無類 寝 形ポー ジャージーシ) (壺屋焼)	i	- 10.9 30.9	369	[内面]乾隆拾二年 卯八月廿五日洗廿 /内間村嶋袋旋戦雲上妻思福		鸟袋		(1733 ~ 1745)	1747	蓋段なし	
369	第44図2 PL.25の 2	40号墓	募室藏件器%3	身	陶製無頭 寝 形(ボー ジャージーシ) (壺屋焼)		28.8 55.3 21.6	368	[後而]乾隆拾二年丁卯八月廿五日/洗 竹内間村坞袋旋親雲上港思鑑		前袋		(1733 ~ 1745)	1747	窓底[1.0cm] ③-1 底孔1	
370		41号墓	墓室安置藏骨器	蓋	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)		6.0 5.9 18.9	371	一九五○年十二月十三日/五男/島袋 葡		島袋		(1950)			

法量 上:上部径 中:器高 下:下部径 (cm)

連番	挿図番号 図版番号	募番号	出土地点	身· 蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法鼠	対 No.	群 雜	Я	家名	名乘頭	西 暦 死去年	西 暦 洗骨年	備考	故事 (位牌)
371		41号墓	墓室安置幾什器	身	陶製有頭 饗形(ジー シガーミ)	V5	18.0 30.8 12.6	370	一九五〇年十二月十三日/五男/島袋 満		島袋		(1950)		底孔7	
372			41号幕上フク上 32号幕庭(左側) 32号幕庭(左側) 32号幕庭(右側) 32号幕室フク土 35号幕室フク土 35号幕室フク土 49号幕マフク土 49号幕エフク土 49号幕エフク土	身	陶製有頭 製形(ジー シガーミ)	V5	26.0		・・・代目之・・・/女口口・・・カマ/・・・(大正?)四年・・・				(1915?)			
373			42号嘉室フク土 42号嘉フク土 32号嘉庭フク土 35号嘉フク土		陶製有頸 褒形(ジー シガーミ)	Vс	7.3 6.5 20.0		[内面]・・・廿□死亡/・・・父良・・・ /昭和(九)年/・・・旧戌□月二七日/ 洗骨/							
374			42号墓フク土 32号墓庭(左側) 32号墓庭フク土	蓋	陶製家形 (ウドゥンジージ)	ПЬ	- 39.0		昭和0000元去0/0年七十(二?) 才/00次良							
375		42号幕	墓室フク土	為	陶製有頭 獲形(ジー シガーミ)	v	9.2 8.6 20.9		[内面]岛袋父口口(岛?)袋大口/口口/ 口口口口口/口口口/		島袋				蓋段[一段]	
376		42号幕	墓室フク土	ä	陶製有頭 張形(ジー シガーミ)	v	10.5 15.0 28.3		[ふち](明治?X廿二?)年八月廿一日島俊 次良次男口口洗竹/ [内面]不鮮明		島袋				蓋段[一段]	
377		42号墓	墓室フク土 墓フク土	Ŋ	陶製有頭 豊形(ジー シガーミ)	V5	17.0 26.0 12.0		[内 頸 部]・・・・・月 廿 日・・・ /・・・・・洗骨父亀							
378			42号墓室フク上 42号墓フク土 35号墓庭フク土 32号墓庭フク土		陶製有頸 褒形(ジー シガーミ)	V5	22.8 34.2 12.5		[内頸部]昭和四(年?)口(七?)月・・・/				(1929?)		底孔12	
379	第50図2 PL.31の 2	43号墓	墓室フク土	蓋	小壺 (壺屋焼)		- 2.7 6.5		[ふち]巌慶ノ長男武太 大正六年・・・ ロ夭亡ロロロ			遊	(1917)	(1919 ~ 1931)	転用蔵骨器	
380			48号墓室フク土 47号蘇フク土	蓋	陶製有類 褒形(ジー シガーミ)	v	10.6 13.4 27.0		[ふち)明治・・・/ [内面]昭和十二年 ロロ月十・・・/ 二 男宮ロ・・・ /・・・ロロロ				(1937)		益段[二段]	
381		48号纂	墓室フク上	益	陶製有類 甕形(ジー シガーミ)	v	- 10.9 23.5		[内面]・・・□良長男□郎小/・・・/ □						蓋段[三段]	
382		48号幕	墓室蔵骨器	蓋	陶製有類 褒形(ジー シガーミ)	V	7.4 - 22.8		[内面]大東島三・・・/・・・死亡						蓋段[三段] 人骨[幼児1]	

第7表 北地区ミガチ(銘書)のある蔵骨器観察一覧

遊番	挿図番号 図版番号	地区	蘇番号	出土地点	身・蓋	名称又は 仮称	形式 分類	法鼠	対 Xo	銘 書	Æ	家名	名乘頭	西 暦 死去年	西 暦 洗竹年	伯 考
1		北	2号幕	墓室フク土 墓庭フク土	益	陶製有類 褒形(ジー シガーミ)		8.6 14.3 29.0		[ふち]何治三年甲子八月・・・				(1864)	(1866 ~ 1878)	蓋段[一段] 「き」高さ[0.3cm]
2		삮	2号篇	墓室フク土	Ą	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	V4	28.3 - -		[内頸部]口口口口仲村獎(筑登之)親雲上 妻洗什		仲村渠				
3		北	2号篇	募室フク土 募庭フク土	身	陶製有頸 硬形(ジー シガーミ)	V5	31.6 51.6 22.1		[正面]同治三年(甲)子八月/赤嶺口(筑 登之の略字)ロロロ/女子		赤嶺		(1864)	(1866 ~ 1878)	底孔17
4		北	3号篇	基室战骨器	益	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	v	9.8 12.8 30.4		[ふち]真緒戸長男長睦流竹/昭和五年 庚午二月廿五日/昭和七年壬申□月廿 □日死亡/昭和十五年旧八月二十三日 長陸長女ツル洗竹		(新嘉 喜)	Ŀ	(1916 ~ 1928), 1932	1930, 1940	蓋段[二段]
5		北	3号墓	幕室フク土 墓庭フク土	蓋	陶製有類 饗形(ジー シガーミ)	v	11.2 14.2 28.3		【ふち】同治三年甲子八月廿七日洗骨/ ロロロ金ロロロロ女子ロロ				(1850 ~ 1862)	1864	蓋段[二段] 「き」高さ[0.35㎝]
6		北	3号墓	墓室フク土 墓庭フク土	計	陶製有類 甕形(ジー シガーミ)	V5	26.9 50.0 21.0		[ふち]ロロロロ年甲子八月廿ロ日						底孔6
7		北		3号墓室蔵骨器 9号墓フク土	Ŋ	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	v	26.6 - -		[ふち]大・・・・・・・(喜?)長三						
8		北	4号篇	基室藏骨器%al	蓋	陶製家形(ウドゥンジージ)	Пb	- - 50.0	9	[ふち]明治世一年旧八月廿一日洗骨/ 比嘉権妻カマ子/ 比嘉権の/の明治 世五年旧八月六日洗骨/		比茲		(1893? 対より) (1898 対より)	1898, 1902	
9		北	4号幕	菜室蔵竹器№1	身	陶製家形 (ウドゥンジージ)	11	41.3 45.7 37.5	8	[正面]明治サー年八月廿一日/ [ふち] 明治(1/?)六年旧七月六日死亡/比嘉博 妻カマ/明治サー年旧八月廿一日洗骨 / 明治サー年旧八月廿一日死亡/比 嘉博 全世五年旧八月六日洗骨		比盛		1893?, 1898	1898, 1902	底孔5
10		北		4号墓内フク土 中 9号墓フク土	身	陶製家形 (ウドランジージ)	IJ	48.8 45.6 36.5		[ふち]紅雲妙香信女/光緒三十五年八 月十三日洗竹/明治四十三年旧八月十 三日新口月十六日洗竹/ 比嘉亀(赤 峯?)ロ・・・/大正十三年旧ロ・・・		比嘉		(1895 ~ 1907), (1896 ~ 1908), 1924	1909, 1910, (1926 ~ 1938)	底孔4
11		北	4号墓	墓庭フク土	身	陶製有類 褒形(ジー シガーミ)	V4	33.8 - -		[内頸部]明治三十九口口・・・・・比 嘉カメ		比嘉		(1906)	(1908 ~ 1920)	
12		北	5号森	フク土	蓋	陶製無頸 費 形ポー ジャージージ)	Ш	9.6 10.4 30.5		[内面]向?・・・/ロロ親雲上/朝嘉/号名/ロ松	向?		朝			蓋段なし
13		北	6号幕	墓口フク土	蓋	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	v	1 1 1		[ふち]易姓湖(平)・・・	易	湖(平)				「き」高さ[0.2cm]
14		北		6号墓室藏骨器 7号墓室藏骨器	蓋	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	v	13.6 - 33.5		[ふち]・・・義和同人妻ロロ・・/[内面]・・・ ロ子山田/義和同人/女ロ之/ロロ (食?)/大正元年/旧十月ロ(日?)/ロ・	(背)	di#H	義	(1912)	(1914 ~ 1926)	蓋段[二段]
15		北	6号縣	基室成分器%2	身	陶製有類 機形(ジー シガーミ)	V5	26.8 52.6 20.6		【後面】问治ロロ年ロロ・・・/十一(月 ?)・・・・/・・・ロロロ				(1862 ~ 1875)	(1864 ~ 1889)	底孔12
16		北	7号盔	墓室藏骨器%4	蓋	陶製無頭 甕 形(ボー ジャージーシ)	0	- 10.0 29.6		[内面]乾隆五十九年甲寅七月十日寛口 潮平・・・/□□・・・同□□向・・・	(易)	湖平	寬	(1794)	(1796 ~ 1808)	
17		北	7号赛	草室養骨器%3	蓋	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	V	9.6 15.7 29.3	18	[内面]光緒(七が消されて横に J八」が 書かれている)年(庚が消されて横に 『壬」が書かれている)年九月十日嫡子 初平里親雲上寛致洗骨/光緒八年壬午 九月十日嫡子初平里之子親雲上寛致洗 竹堂(年寛)名亀/光緒拾四年戊子十二 月九日同人妻洗骨	(易)	湖平	寛	(1868 ~ 1880), (1874 ~ 1886)	1882. 1888	蓋段[二段] 「き」高さ[0.15㎝]

法量 上:上部径 中:器高 下:下部径(cm)

遊击	挿図番号 図版番号	地区	嘉番号	出土地点	身 - 益	名称又は 仮称	形式 分類	法鼠	対 No	a i	氏	家名	名乗頭	西 暦 死去年	西 暦 洗骨年	備 考
18		北	7号篇	基室農骨器/03	Ġ.	陶製有頭 漿形(ジー シガーミ)	V4	28.3 - -	17	[内頸部]光緒七年庚午九月十日嫡子襉 平里親发上		湖平		(1868 ~ 1880 対より)	(1882 対より)	
19	第47図8 PL.28の 8	北	7号纂	安置發骨器%。1	苍	陶製軒付 漿形(ジー シガーミ) (磁屋焼)	VI a	8.7 20.6 32.4		[内面]成豊九年辛(ほんとは己)来十一月 六日初平里之子製雲上次男寛起洗竹仕 /同年辛(ほんとは己)来十一月六日次 男湖平里之子製雲上寛起口洗竹/同年 辛(ほんとは己)末十一月六日嫡子孫童 名真葫戸洗竹仕	(易)	湖平	É	(1845 ~ 1857)	1859	蓋段[三段] 「き」高さ[0.3cm] 人骨[男性1、女性 2、幼児1]
20	第33図2 PL-14の 2	北	8号墓	基室安置護骨器 No.1	Ġ.	石製家形 (イシジーシ)	I	58.4 54.7 —		[正面左]/大済城熙四拾年辛巳八月廿六日廿口申候/如蔵(玄?)記□/竜名思徳金/ [正面右]知念尓也/比原=嘉)尓也/よのる/合五人		知念/ 比加 (=嘉)		(1687 ~ 1699)	1701	線彫の銘書の上に 墨書 人骨[男性2、女性 2、小児1、幼児1]
21	第32図2 PL13の 2	北	8号幕	募室安置藏骨器 No.2	讣	石製家形 (イシジーシ)	I	57.4 53.6 56.7		[正面左]大祜康熙七年ロ丑二月ロ八日 / 比加(=弟)按ロロロ/ 帝名真みる/ [正面右]大诸康熙拾五年丙辰八月三日 / 知念仁風女房骨ロロロノ入カ也		知念/ 比加 (=嘉)		(1654 ~ 1666)	1668 入力 (1676)	人价[男性2、女性 2、若年1、小见1、 幼见1]
	第33図4 PL-14の 4	北	8号寫	墓室安置蔵骨器 No.3	身	石製家形 (イシジーシ)	I	48.0 46.4 47.4		[正面]大清碳熙四年乙巳/八月廿六日 廿口口口/巳上/名真加戸		知念/ 比加 (= 嘉)		(1651 ~ 1663)	1665	人骨[女性1]
23		北	8号墓	总室安置條分器 Xo.6	鲞	陶製有頭 現形(ジー シガーミ)	V	13.3 18.9 33.8		[内面]岐登五年乙卯八月廿一日春英嫡 子宮城筑登之親雲上春親童名松令同年 同日同人女子真牛洗骨/光緒十三年辛 (ほんとうは丁)亥口四月廿六日死宮城 筑登之親雲上妻同十五年癸丑十二月世 日洗骨	(駱)	宮城	存	(1841 ~ 1853). 1887	1855. 1889	蓋段[一段] 「き」高さ[0.3cm]
24		北	9号幕	フク土	蓋	陶製有頭 張形(ジー シガーミ)	v	- - 19.5		[内面]比嘉次邱/四男ノ長男		比嘉				:
25		北	9号稿	フク土	蓋	陶製有頸 甕形(ジー シガーミ)	v	10.7 14.0 30.0		[ふち]長好口三男口口・・口長三 /・・・・・四月拾三日洗針						蓋段[一段]
26		北	9号幕	英室践 骨器	ð	陶製有頭 褒形(ジー シガーミ)	V5	29.9 55.0 19.1		[ふち]真蒲戸長男長(睦?)昭和四年旧八 月(四?)日死去/洗骨日昭和五年旧十一 月廿口(日?)/		(新嘉 喜)	長	1929	1930	底孔10
27		北	9号幕	墓室藏骨器	身	陶製有頸 甕形(ジー シガーミ)	V5	30.7 66.1 22.2		[ふち]昭和十五年旧八月廿三日五男妻				(1940)		底孔8
28		1t	9号森	基室設計器	益	陶製軒付 褒形(ジー シガーミ)	VI a	10.2 13.9 29.7		[内面]明治三十六年卯五月二十三日/ 光緒二十九年死亡/次男長友(全))妻マ ツル/四女カマ/昭和十五年旧八月二 十三日/新九月二十四日/妻マツル洗 骨		(新嘉 喜)	長	1903	1940	蓋段[三段]
29		北	9号幕	蔡宝藏 骨器	Ą	陶製軒付 要形(ジー シガーミ)	VII	31.7 68.8 23.3		[正面)次別新嘉春長友/ 表マツル/全人四女カメ/ [内頸部 明治ロロロロニ十三日 ヨコに光(轄?)ロロロロ 一切完定次別新嘉春長友口口(加?)ロ明治三十八年旧四月廿口日が全人四 女カメ/昭和五年日十一月二十日死亡昭和十五年旧八月二十三日(ヨコに「新九月二十四日」と書かれる)次別長友妻マツル洗竹		新嘉喜	长	1930	1905. 1940	底孔16

第2節 沖縄産陶器

1. 壺屋焼施釉陶器

壺屋焼の瓶・酒注・猪口等が検出された。これらは被葬者への副葬品もしくは祭祀用として使用されたと考えられるものである。各器種ごとに述べることにする。

瓶 (第51~54図)

有頸の袋物を瓶としてまとめた。ここでは、主に器形や文様の特徴で分類を試みたが、基本的には「銘苅古墓群(Ⅱ)」での分類基準に準じた。次の六種に大別される。

- 1 類 胴部は大きく膨らみ、頸部は長く、一対の把手もしくは獣面様の貼付けが施される。脚部はハの字もしくは鍔状に開き、底部際で折れ曲がり直立する。頸部と胴部それと脚部とがそれぞれ強調される。花生けとして使用されたものである。第51図1~3は本種の典型例である。同図1と2・3とは胴の膨らみの位置にちがいはあるが、他の特徴は概ね一致する。
- 2類 前記1類に比べ頸部から胴部への移行は緩やかで、胴部は下膨れする。頸はやや細く把手は無い。脚部はハの字状に開きそのまま底部へ至る。脚部は高い上げ底である。一般に"ビンシー" と呼ばれる酒器である。同図4~8がここに含まれる。
- 3 類 瓶の基本的形態を示すもので、胴の張り具合から二種に細分した。基本的に酒器と考えられるが、花器か判断に迷うものもある。
 - a 頸部から胴部への膨らみはやや強く、その最大径が下半部に位置するものである(第52図1 ~6)。胴部の張り方は前記2類にやや近いが、脚部の形状に違いがある。口縁形態をみると本種には、直口するものと外反するものがある。
 - b 頸部から胴部へと膨らみ、そのまま窄まることなくほぼ直線的に底部へと至るものである(第 53 図 1 ~ 4)。胴部上位では肩をつくる。口縁部は外反するものが多い。一般に頸部下位に線 彫りによる圏線を施すのみで装飾性に乏しいが、同図 3 は器体上半部を白色土を掛け、また線 彫りに代わって呉須による絵付けで圏線を施すなどの加飾がみられる。
- 4類 一般に"古典焼"と称されるレリーフによる文様を施すものである(同図 5・6)。大正から昭 和初期頃にかけて壺屋において盛んに焼かれたという。花・鳥・魚・船等エキゾチックな図柄 を施している。
- 5類 沖縄で一般に"トナキビン(渡名喜瓶の文字で表記される)"と称される酒器である(第54図1~4)。体部上下に膨らみを持ちそれぞれに肩部・腰部をつくるが、肩部と腰部の膨らみの形状で二種に細分される。なお、「銘苅古墓群(Ⅱ)」での報文において、本種をユシビンと称されるとしたが誤りである。ここに訂正しておく。
 - a 肩部で折れ曲がりそのまま垂下、腰部で丸く膨らむものである (同図 1・2)。本種の標品は器体上下で釉薬の掛け分けを施す。
 - b 肩部は丸味を帯びて腰部は角張り気味に膨らむものである(同図3・4)。 a に比べ装飾性にや や乏しい。
- 6類 器形的な特徴は前記2類に近い器形の白色で小振りの瓶である(第54図5~8)。装飾性に乏

しく水注とセットで副葬に用いられたと考えられる酒(あるいは水か)器である。

酒注 (第55図1~4)

体部に注口を持つ有頸の酒器で、一般に"カラカラ"と称される。ここでは二種に大別される。

- 1類 胴部の大きく膨らむものである (同図 $1\sim3$)。全体に丸みを持つ。底部は内刳りされ碁筒底となる。
- 2類 頸部と胴部の境が角張り肩部を形成するものである(同図4)。同部には稜を持つ。底部へは緩やかなカーブを描いて高台へと至る。

猪口 (第55 図 5 ~ 11)

飲酒用の極小の容器で、先の酒注とセットで用いられた。土は精選され焼きも良い。いずれも口縁部は外反、高台を持つ。サイズからみると同図 $8\cdot 10$ は大型、同図 $5\sim 7\cdot 9\cdot 11$ は小型の部類に属する。

註1 『銘苅古墓群(川)』 那覇市教育委員会 1999年3月

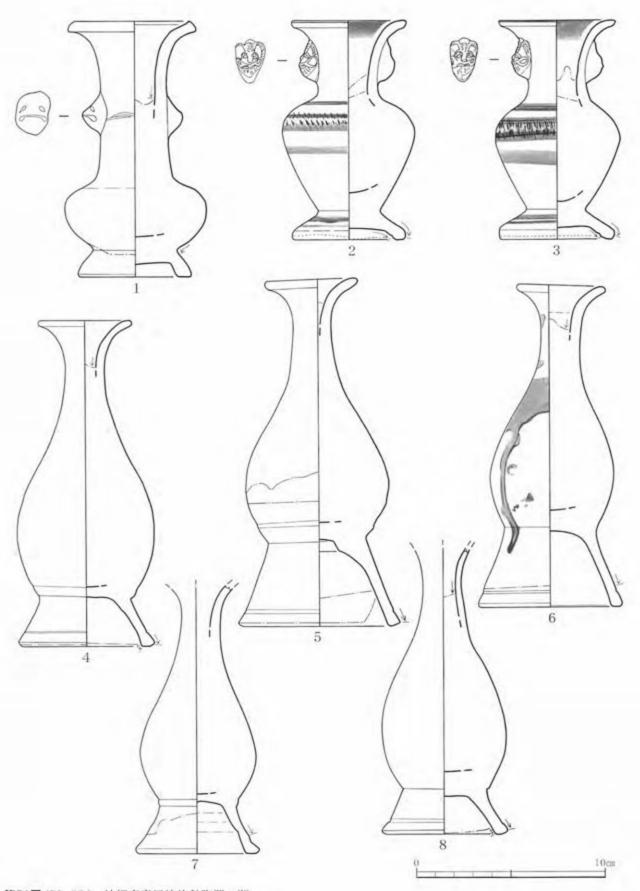
第8表 沖縄産壺屋焼施釉陶器出土一覧

器種	残存状況	完 形	口縁部	底 部	胴 部	合 計
	瓶	29	22	29	55	135
酒	注	3	0	13	14	30
猪		20	2	2	0	24
合	計	52	24	44	69	189

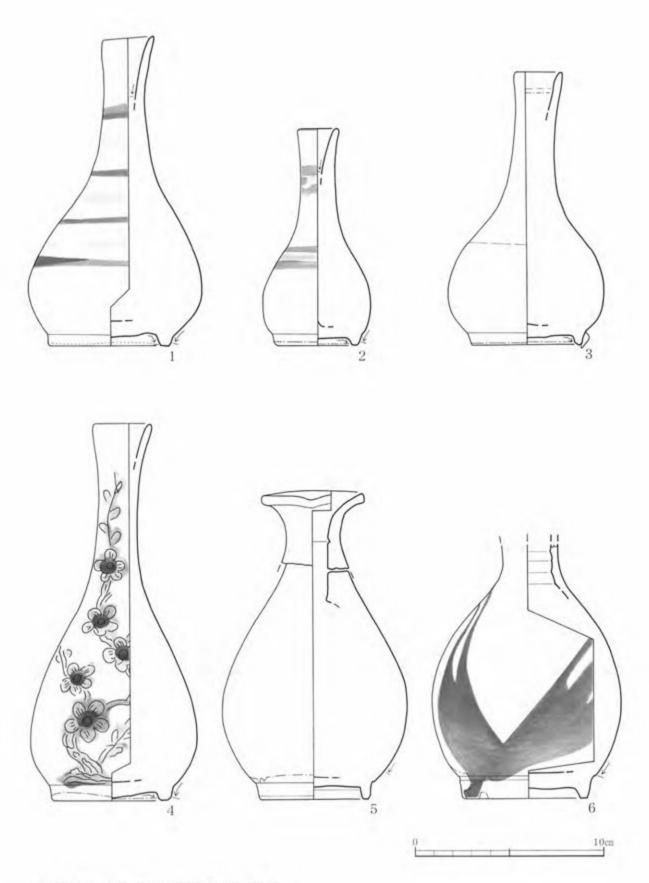
第9表 沖縄産壺屋焼施釉陶器観察一覧

				7 nn 101 m				
挿図番号 図版番号	器種	分類	口器底(cm)	素 地	釉種および 化 粧 土	施釉範囲	特 徵	出土地
第51図1 PL.32の1	瓶	1	6.6 13.5 6.0	細粒子	白色土 コバルト	外: 白色土を全面塗布 コバルト脚脇まで 内: 頸部中途まで	頸部に一対の獣面(獅子か)の把手。	20 号墓庭 フク土
" 2 " 2	瓶	1	6.1 11.6 6.0	"	白色土、透明 釉、コバルト	外:総釉掛けの後畳付 に白色土を塗布 内:頸基部まで	頸部に一対の獣面の把 手。胴部に飛び鉋で刻	6 号墓 フク土
" 3 " 3	瓶	1	6.2 11.6 6.1	"	"	n	文。各部に沈線とコバ ルトによる圏線を巡ら す。	"
" 4 " 4	瓶	2	5.0 17.2 7.2	11	飴釉	外: 畳付および内面は 露胎 内: 頸部中途まで	焼成が完全でなかった のか発色にややムラが ある。	40 号墓室 フク土
" 5 " 5	瓶	2	4,9 18,4 8.6	微粒子	白色土 透明釉 緑釉	外:脚部裏面中途まで 内:口縁部裏面まで	口縁部から緑釉を流し 掛けする。釉境は紫や 青に発色。	39 号墓庭 フク土
" 6 " 6	瓶	2	4.7 16.9 7.4	"	白色釉 鉄釉	外:脚部脇まで 内:頸部中途まで	やや透明感のある白色 釉の上から淡い褐色の 釉を流し掛ける。	23 号墓 (右垣) フク土
" 7 " 7	瓶	2	不明 不明 6.5	細粒子	鉄釉	外:脚部脇まで 内:頸部中途まで	暗褐色で白っぽい粒子 を含んだ釉。胎土に白 色粒子を含む。	36 号墓室 フク土
" 8 " 8	瓶	2	不明 不明 6.6	,;;	n	外:畳付まで施釉の後 畳付を拭き取る 内:頸部中途まで	発色にややムラがあ る。	40 号墓室 フク土
第52図1 PL.33の1	瓶	3 a	2.9 16.4 6.5	"	白色土、透明 釉、コバルト、 飴釉、緑釉	外:総釉掛けの後畳付 で釉のみ拭き取る 内:頸部中途まで	育色と飴色の圏線を交 互に巡らす。胴部下半 部と内底面に緑釉。	39 号墓庭 フク土
" 2 " 2	瓶	3 a	2.2 11.5 4.5	11	白色土、透明 釉、コバルト、 鉄釉	外:総釉掛けの後畳付 を拭き取る 内:頸部中途まで	頸部と胴部に背色と飴 色の圏線を巡らす。	43 号墓室 フク土
" 3 " 3	瓶	3 a	2.4 14.5 5.9	微粒子	白色土 透明釉	外:総釉掛けの後畳付 を拭き取る 内:口縁部裏まで	全面に細かな貫入がみられる。	40 号墓庭 フク土
" 4 " 4	瓶	3 a	3.1 20.0 6.3	細粒子	白色土 コバルト 鉄釉	外:総釉掛けの後畳付 を掻き取る 内:不明	線彫りで梅花を描き、 花を飴色、他を淡青色 に絵付けする。	43 号墓室 フク土
" 5 " 5	瓶	3 a	5.6 不明 5.9	微粒子	黒釉	外:髙台脇まで 内:不明	頸部上端の破損部に鉛 製の口縁部を取りつけ る。	36 号墓室 フク土
" 6 " 6	瓶	3 a	不明 不明 6.7	微粒子	灰釉 鉄釉	外:高台脇まで 内:口縁裏面までか	灰釉は透明感がある。 底部から上部へかけて 鉄釉を流し掛けする。	20 号墓 フク土
第53図1 PL.34の1	瓶	3 b	2.8 12.7 6.4	細粒子	鉄釉	外:高台際まで、内底 面に丸く塗布 内:頸部上位まで	釉色は僅かに明るい。 素地もやや赤味を帯び る。	3号墓庭フク土
" 2 " 2	瓶	3 b	3.8 12.4 6.1	"	鉄釉	外:総釉掛けの後畳付 を掻き取る 内:不明	焼成が十分でないのか 手触りは少しざらつき 光沢もない。	19 号墓庭 フク土
" 3 " 3	瓶	3 b	2.4 12.4 5.0	"	白色土 透明釉 鉄釉	外:総釉掛けの後畳付 を拭き取る 内:頸部中途まで	肩部を境に上を透明釉 下を鉄釉で掛け分ける	21 号墓庭 フク土
" 4 " 4	瓶	3 b	2.9 11.2 5.6	"	鉄釉	外:高台際まで、一部 胴部に無釉の箇所 内:口縁内面まで	胴部無釉の箇所は焼成 も弱く、橙色を帯びる	23 号墓庭 フク土
" 5 " 5	瓶	4	2.6 12.7 4.1	不明	鉄釉 緑釉	外:総釉掛けの後畳付 を拭き取る 内:頸部中途まで	文様刻文の後に鉄釉を 掛ける。口縁部に緑釉 を流す。	19 号墓室 フク土
" 6 " 6	瓶	4	3.2 12.1 5.0	"	鉄釉 緑釉	外:総釉掛けの後畳付 を拭き取る 内:口縁部裏面まで	施釉の後に文様を彫り 込む。明るい飴色。口 緑部に緑釉を流す。	6 号墓 フク土

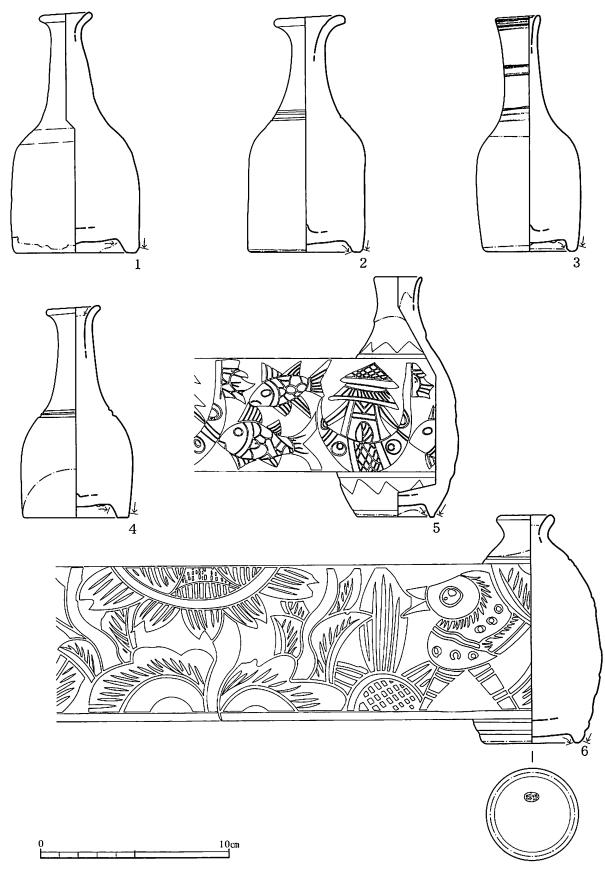
			口径					
挿図番号 図版番号	器種	分類	口径 器高 底(cm)	素 地	釉種および 化 粧 土	施釉範囲	特徵	出土地
第 54 図 1 PL.35の 1		5 a	2.5 14.8 5.8	微粒子	鉄釉 灰釉	外:胴部の一部と高台 内を除き総釉 内:口縁部裏面まで	肩部以上に鉄釉、腰部以下に灰釉を掛け、胴部に 鉄釉を帯状に流す。	40 号墓庭 フク土
" 2 " 2	瓶	5 a	3.1 13.2 5.0	"	"	n n	" 同図 1 に比べ焼成は良 く、発色もきれい。	1号墓庭 フク土
" 3 " 3	瓶	5 b	不明 不明 5.8	細粒子	鉄釉	外:高台脇までと内底 面 内:頸部中途まで	器体下半部は煤が付着、白っぽい。	18 号墓庭 フク土
" 4 " 4		5 b	3.7 20.3 6.4	"	"	外:髙台脇まで 内:頸部中途まで	n	1号墓庭 フク土
" 5 " 5		6	2.1 不明 4.9	"	白色土 透明釉	外:透明釉は胴下部ま で 内:頸部中途まで	焼成は良いが、口唇部 で釉の剥落がみられ る。	6 B号墓 室フク土
" 6		6	4.3 10.2 2.2	"	"	外:総釉掛けで畳付に 白色土を塗布 内:頸部中途まで	器面に焼成時に付着し た窯糞が残る。	4号墓庭 フク土
" 7 " 7		6	不明 不明 3.9	細粒子	"	外:透明釉は胴下半部 まで 内:頸部中途までか	サイズからみて副葬品 と考えられる。	42 号墓室 フク土
" 8 " 8		6	2.0 8.4 3.7	"	n	外:透明釉は胴下半部 まで 内:頸部中途まで	n,	35 号墓 フク土
第 55 図 1 PL.36の 1	酒注	1	4.0 8.7 7.6	微粒子	灰釉 白色土	外:底部際まで 内:不明	胴部に線彫りと飛鉋に よる刻文を充填。刻部 に白色土で埋める。	18 号墓庭 フク土
" 2 " 2	酒注	1	不明 不明 7.0	"	黒釉	外:底部際まで 内:不明	器面に煤が付着し、黄 味がかる。	11 号墓庭 フク土
" 3 " 3	酒注	1	不明 不明 7.5	"	"	外:底部際まで 内:頸基部まで	最も胴の張りが強く丈 も低い。	45 号墓室 フク土
n 4		2	不明 不明 5.6	"	鉄釉	n	胴部に成形時についた とみられる凹みが残 る。	43 号墓室 フク土
第 55 図 5 PL.36の 5	猪口		3.4 1.7 1.6	微粒子	透明釉	外: 畳付際まで 内: 総釉掛け	精選された白土を用いる。 釉にも透明感があるがややくすんだ色。	43 号墓室 フク土
" 6			3.5 1.9 1.9	"	n,	n	同図5にもまして灰色 にくすんだ釉色。	18 号墓庭 (右隅)
" 7 " 7	猪口		3.5 2.0 1.8	"	"	n,	精選された白土を使用 し釉も透明。つくりも 丁寧。	15・17 号 墓庭フク土
" 8 " 8	猪口		4.7 2.6 2.1	"	n	外:高台脇まで 内:総釉掛け	器面に削り痕や凹みが あり、比較的つくりは 雑。	11 号墓庭 フク土
" (3.3 2.1 1.7	"	n.	"	精選された白土を使用 し釉も透明。僅かに貫 入がみられる。	6 号墓 フク土
" 10 " 10			4.8 2.2 2.1	,,	n	"	精選された白土を使用 し釉も透明。つくりも 丁寧。	8号墓庭 フク土
" 11 " 11			3.4 1.8 1.8	"	n	n	n	北3号墓庭フク土



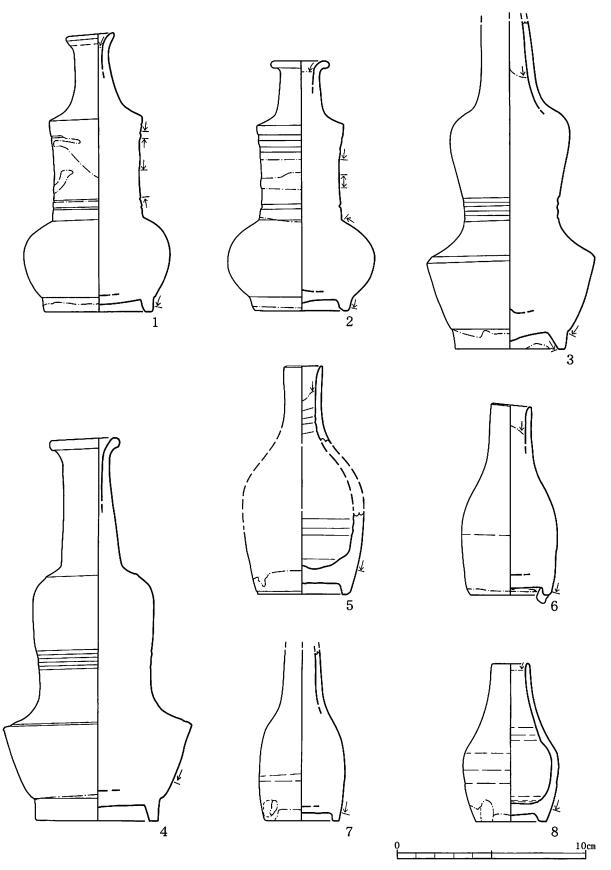
第51図(PL. 32) 沖縄産壺屋焼施釉陶器:瓶



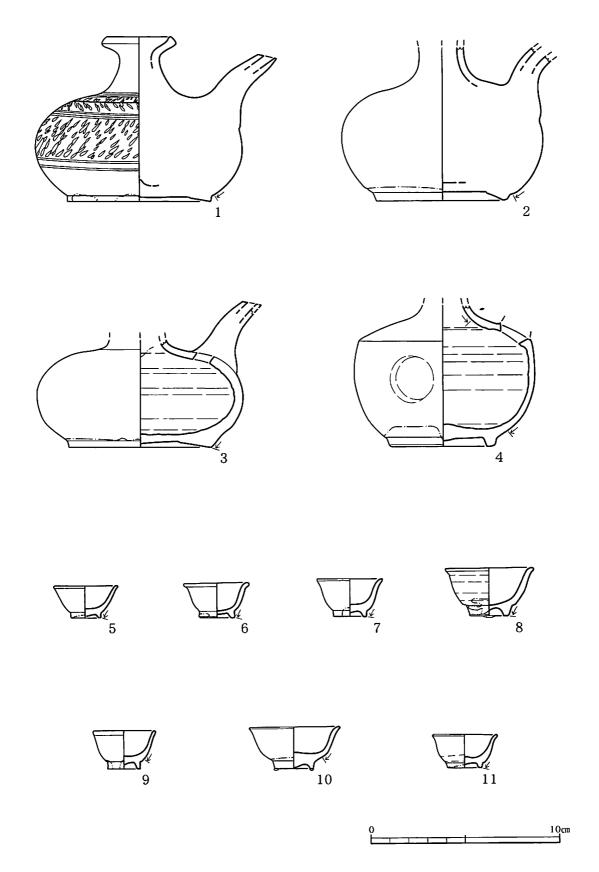
第52図(PL.33) 沖縄産壺屋焼施釉陶器:瓶



第53図(PL.34) 沖縄産壺屋焼施釉陶器:瓶



第54図(PL.35) 沖縄産壺屋焼施釉陶器:瓶



第55図(PL.36) 沖縄産壺屋焼施釉陶器:酒注(1~4)、猪口(5~11)

2. 壺屋焼無釉陶器

「アラヤチ (荒焼)」と呼ばれるもので、基本的に施釉しない。今回確認できた器種には、徳利・瓶・ 小皿・急須・火入・鉢 (植木鉢を含む)・水鉢等がある。それらの内、今回は、ほぼ全形の窺える資料か ら図示した。

1. 徳利 (第56図・第57図)

『壺屋古窯群』』と同様、器形から分類を行い、以下の分類案を踏襲した。

【型 最大径を底部の近くに持ち、ほぼナス形を呈するもの。

Ⅱ型 最大径を胴部に持ち、ほぼ丸形を呈するもの。

Ⅲ型 ″ 、ほぼ胴長を呈するもの。

Ⅳ型 "、ほぼ砲弾形を呈するもの。

2. 小皿 (第58図1)

器形は、やや変形している。口唇部に煤が付着していることから、灯明皿として使用したものと思われる。

3. 急須 (第58 図 2・3)

2は、上に取り付けられた半円状の把手の根元の下位に注ぎ口を設けている。胴部の断面形は楕円状に膨らみ、口縁部の上位で屈曲して、口縁上端が直立する。口縁部には、沈線が1条巡る。全体のつくりは丁寧で、器面は滑らかである。

3は、筒状の把手を横に取り付けたものであるが、使用者の利き腕が左手である場合のものと思われる。器形は、胴部が膨らみ、口縁の上位で屈曲して、口縁上端が直立する。

4. 火入 (第58 図 4)

器形は、底部から斜位に直線的に立ち上がり、そこから屈曲して、胴部から口縁部にかけて直線的に やや外傾する。口唇部は、やや肥厚する。

註1 『壺屋古窯群 | 』那糊市教育委員会 1992年

第 10 表	沖縄産壺屋焼無釉陶器出土-	一瞥
277 1 2 2 3 2		3-2

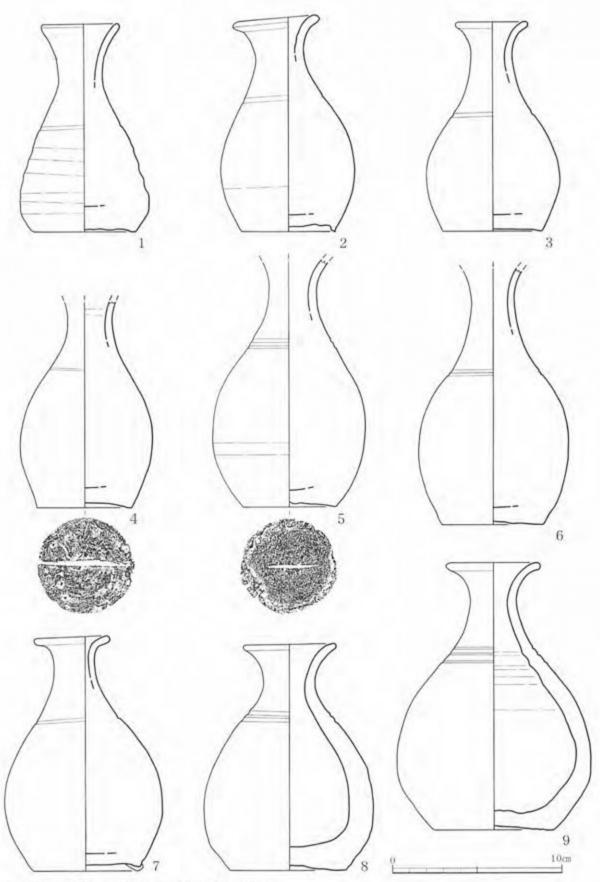
器和	夏存状况	完	形	口縁部	底	部	順	部	叴	計
徳	利		14	10		18		43		85
小	IIIL		4	4		0		0		8
急	須		2	0		0		0		2
火	入		1	2		3		0		6
合	計		21	16		21		43		101

第 11 表 沖縄産壺屋焼無釉陶器 徳利観察一覧

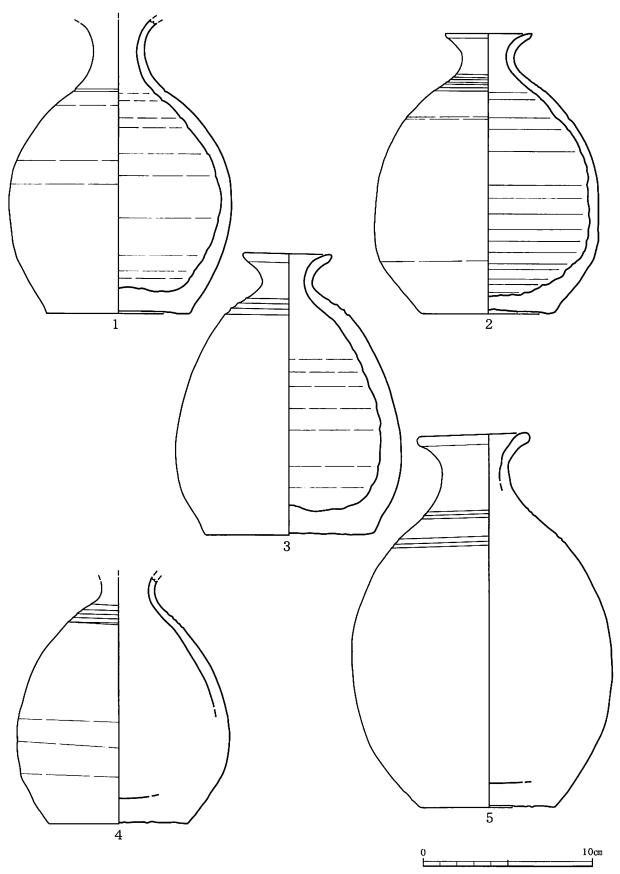
挿図番号	出土地点	器種	分類	法	量 ((cm)	色	調	観察事項
図版番号	山土地点	66年里	万粮	口径	器高	底径	外面	内 面	既余争以
第 56 図 1 PL.37 の 1	32 号墓庭 (右側)	徳利	I	4.6	12.2	6.0	淡緑黄色	淡緑黄色	同部に沈線が1条巡る。□唇部の断 面形は舌状を呈する。外器面には自 然釉が淡黄色に発色している。素地 の色調は暗茶褐色を呈す。
第 56 図 2 PL.37 の 2	37 号墓庭 フク土	"	11	4.9	12.6	5.3	暗茶褐色	_	肩部に沈線が1条巡る。口唇部の断 面形は丸味を帯びる。
第 56 図 3 PL.37 の 3	40 号墓室 フク土	"	=	4.0	12.3	5.9	茶褐色 暗茶褐色	_	肩部に沈線が1条巡る。口唇部の断面形は丸味を帯びる。素地の色調は暗茶褐色を呈す。
第 56 図 4 PL.37 の 4	36 号墓室 フク土	"	=	1	1	6.0	暗茶褐色	暗茶褐色	肩部に沈線が1条巡る。外底面に「-」字形の記号が確認できる。素 地の色調は暗茶褐色を呈す。
第 56 図 5 PL.37 の 5	40 号墓室 フク土	"	=	_	1	5.6	暗茶褐色	暗茶褐色	肩部に沈線が2条巡る。外底面に 「-」字形の記号が確認できる。素 地の色調は暗茶褐色を呈す。
第 56 図 6 PL.37 の 6	36 号墓室 フク土	"	=	-	1	5.9	茶褐色	暗褐色	用部に沈緑が2~3条巡る。外底面の一部にはに自然釉が淡緑黄色に発色している。素地の色調は唷茶褐色を呈す。
第 56 図 7 PL.37 の 7	38 号墓庭 (右垣) フク土	"	II	4.2	13.9	6.3	暗茶褐色	_	肩部に沈線が1条巡る。口唇部の断 面形は丸味を帯びる。
第 56 図 8 PL.37 の 8	16 号墓室 内№ 4	"	=	5.4	13.4	7.0	暗茶褐色	_	肩部に沈線が2条巡る。口唇部の断 面形は丸味を帯びる。
第 56 図 9 PL.37 の 9	21 号墓庭 フク土	#	II	5,6	15,8	7.0	暗茶褐色	茶褐色	肩部に沈線が3条巡る。口唇部の断 面形は丸味を帯びる。素地の色調は 朱色を呈す。
第 57 図 1 PL.38 の 1	14 号墓上 フク土	Ħ	=	1	1	8.1	暗茶褐色	暗朱色	肩部に沈線が1条巡る。素地の色調は暗茶褐色を呈し、橙褐色粒が素地土中にみられ、器面に並行して橙褐色の筋が一部に確認できる。
第 57 図 2 PL.38 の 2	6 号墓 フク土	Ħ	=	5.3	16.4	8.0	茶白色	茶褐色	肩部に螺旋状沈線を施す。口唇部の 断面形は尖る。素地の色調は暗茶褐 色を呈す。
第57図3 PL.38の3	11 号墓庭 フク土	"	=	5.2	16.6	10.0	茶褐色	朱色	屑部に螺旋状沈線を施す。口唇部の 断面形は尖る。素地の色調は朱色を 呈し、暗茶褐色粒・巻貝の圧痕等が みられる。
第 57 図 4 PL.38 の 4	35 号墓庭 フク土	n,	П	_	1	8.2	茶褐色 暗茶褐色	_	肩部に螺旋状沈線を施す。口唇部の 断面形は尖る。素地の色調は暗灰色 を呈す。
第 57 図 5 PL.38 の 5	19 号墓室	"	Ш	6.6	21.9	8.5	暗茶褐色	_	肩部に2条、その下に間をあけてまた2条、沈線を巡らす。 口唇部の断面形は丸味を帯びる。

第 12 表 沖縄産壺屋焼無釉陶器 その他観察一覧

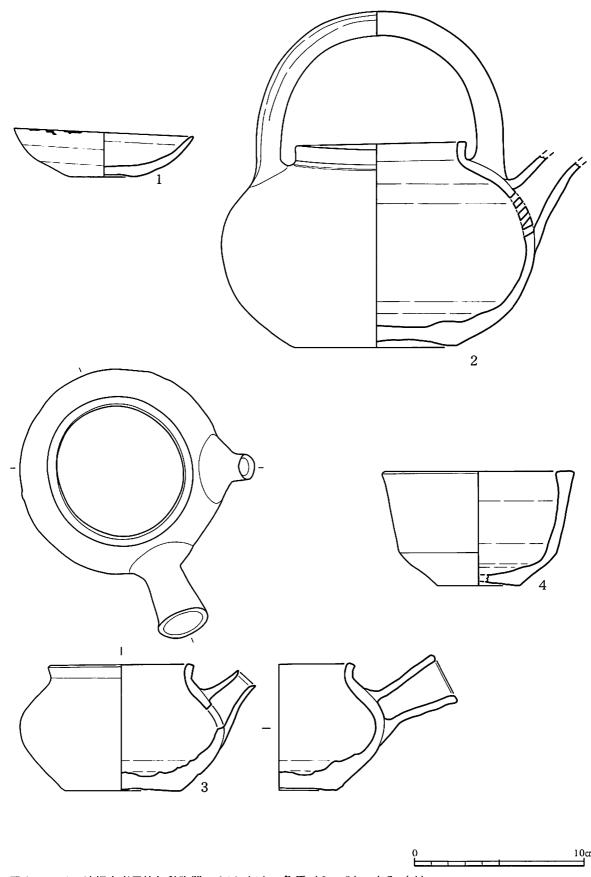
挿図番号	出土地点	器種	法	鼠 (0	em)	色	調	観察事項
図版番号	加工地黑	命性	口径	部高	底径	外面	内面	既余争块
第 58 図 1 PL.39 の 1	15・16 号 墓庭フク土	小皿	10.6	2.9	3.9	暗灰色 茶褐色	暗灰色 茶褐色	やや器形が変形している。口唇部には煤の 付着が見られる。
第 58 図 2 PL.39 の 2	38 号墓庭 フク土	急須	10.1	19.8	9.6	暗朱色	暗朱色	注口部と胴部との間には、10カ所穿孔している。器面は丁寧に調整されている。
第 58 図 3 PL.39 の 3	21 号墓庭 フク土	"	8.5	7.5	5.1	暗褐色	朱色	注口部と胴部との間に、注口部の内面の幅 にあわせて1つ穿孔している。素地の色調 は朱色を呈す。
第 58 図 4 PL.39 の 4	4号墓室 フク土	火入	11.3	6.7	4.9	暗褐色	暗褐色	素地の色調は朱色を呈し、やや脆弱で、光 沢のある微砂粒を含む。



第56図(PL.37) 沖縄産壺屋焼無釉陶器:徳利



第57図(PL.38) 沖縄産壺屋焼無釉陶器:徳利



第58図(PL.39) 沖縄産壺屋焼無釉陶器:小皿(1)、急須(2・3)、火入(4)

3. 喜名焼・その他の陶器

胎土焼成その他の特徴が壺屋焼とは異なるもので、喜名焼あるいはその可能性のあるものをここで一括して扱った。瓶・火入・鉢・火炉・急須などの器種がある。

瓶 (第59図1~6)

いずれも喜名焼あるいはその可能性のあるものである。同図1は長頸で胴は丸く膨らみ小振りである。 底部は内外から削り出した高台を持つ。同図2・3は胴の張りが大きく、口縁部は上端でラッパ状に開 く。底部はベタ底。器形やサイズなど共通しておりセットとみられる。同図4・5 はともに器面に黒色の 釉を掛け、外底面には沈線を巡らす。前者は胴部の膨らみが強く下膨れする。頸部と胴部の境に圏線を 巡らす。後者は胴部の膨らみがさらに強くなり、やや算盤玉に近い。同図6 は底部の形状を除き先述の 4に近い。器面に自然釉の付着はあるものの基本的に無釉である。

火入 (第60 図 1 ~ 4)

方言で "ヒートゥイ" と呼ばれる煙草の火種入れである。いずれも体部は円筒形で、腰部から高台脇 にかけては斜めに折れ曲がる。口縁部内縁は張り出す。同図 $1\cdot 2$ はベタ底、同図 3 は高台が付く。また 同図 4 は三脚を持つ。

鉢 (第60図5)

口径底径ともに大きく身の低い鉢である。肩が張り口縁部で内湾する。底部はベタ底。内底面には粘土紐を逆U字状に張り付けた突起が付けられる。その用途については不明だが、食物をすり潰すためのものであろうか。「壺屋古窯群 I」において同様な突起を有する資料が検出されている。

火炉 (第60図6)

器体上半部でくの字に肩の張る器形で上下方へそれぞれ窄まっていく。肩部上方には半円状にカーブ した口縁部が残存しており、本来口縁部には都合三個の窓があったものと思われる。肩部直下に縦に孔 の穿たれた把手を持つ。底部には三個の足を持つ。ちなみに 24 号墓で蔵骨器への転用品が検出されて いる。

急須 (第61 図 1 ~ 3)

茶(湯)飲用の容器である。同図1・2は身、同図3は蓋である。前者はいずれも体側部に中空の把手を有するなど器形的には共通するが、釉の有無や胎土に違いがある。同図3は宝珠様のつまみを持つ。 胎土や器肌の具合は同図1に近いがサイズ的には同図2に近い。

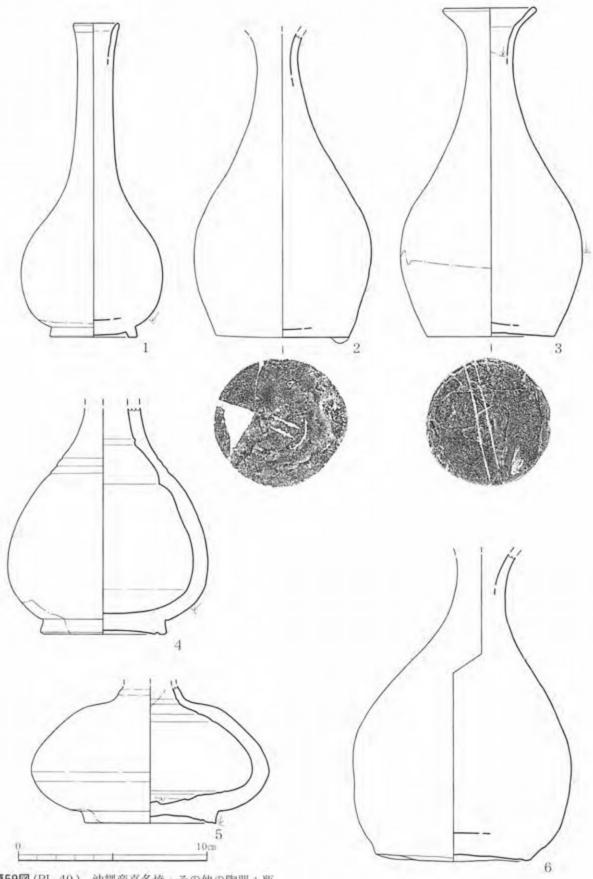
註1 『壺屋古窯群1』那覇市教育委員会 1992年3月

第13表 沖縄産喜名焼・その他の陶器出土一覧

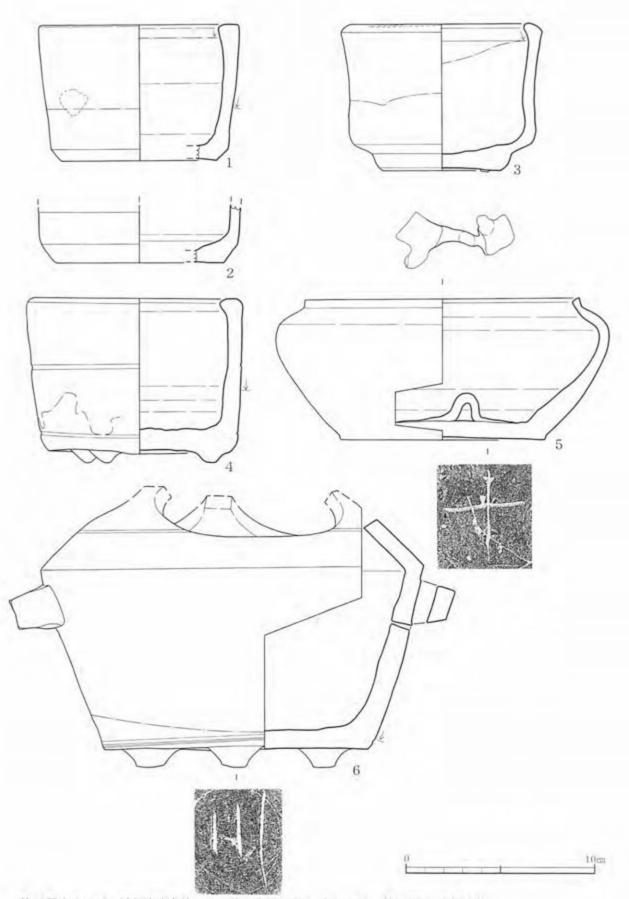
器種	残存状況	完	形	口縁部	底	部	胴	部	合	計
	瓶		3	0		4		2		9
火	入		3	1		1		0		5
火	炉		1	0		0		0		1
	鉢		1	0		0		0		1
急	須		3	0		0		0		3
合	計		11	1		5		2		19

第 14 表 沖縄産喜名焼・その他の陶器観察一覧

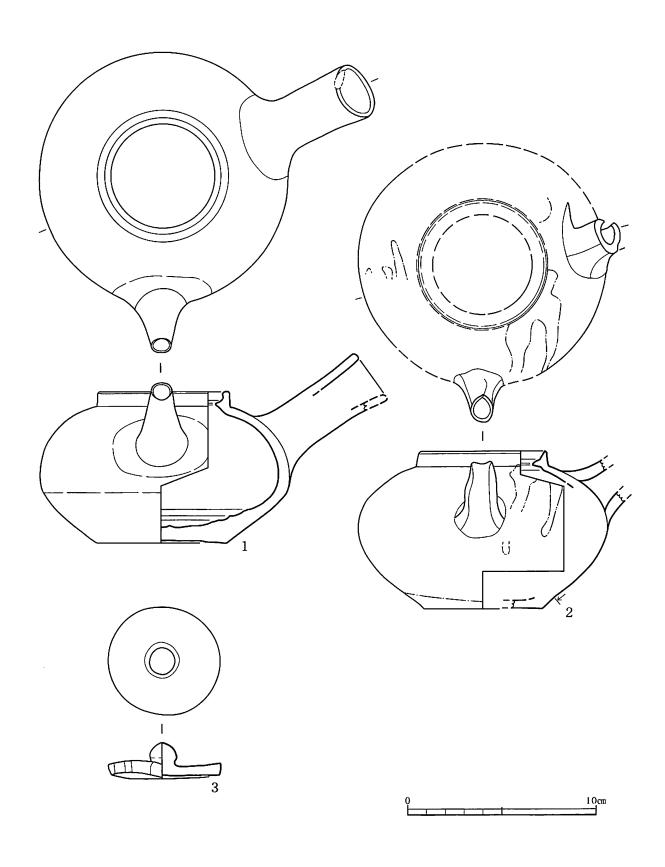
第 14 表	₹ भ	P稱座·	各石烷	・その	他の陶都	器観祭一覧		
挿図番 図版番		器種	分類	口径 器高 (cm)	素 地	胎土の色調	特徵	出土地
第 59 B PL.40 G		瓶	喜名焼	2.5 16.7 4.6	微粒子	外:赤褐色 中:赤褐色 内:赤褐色	赤褐色の釉を髙台脇まで施釉。釉は半側面 でやや光沢を帯びる。	16 号墓室 フク土
"	2 2	瓶	"	不明 不明 7.0	"	外:薄紫色 中:薄紫色 内:薄紫色	器面全体は黒ずんでいるが、特に上半部に 著しい。釉の可能性有り。胎土に微量の白 色粒子を含む。外底面に窯印有り。	22 号墓庭 フク土
"	3	瓶	"	5.0 17.3 6.7	"	外:灰色 内:淡い褐色	上記2と同じく黒褐色の失透釉。露胎部は 青灰色。胎土にサンドイッチ状の白色土を 含む。外底面に窯印(?)有り。	22 号墓庭 フク土
"	4 4	瓶	不 明	不明 不明 6.7	細粒子	淡い赤褐色	半光沢の黒色釉を掛ける。焼成は比較的良 好。判断に迷うが、外底面のつくりは喜名 焼の特徴に似る。	2号墓庭 フク土
"	5 5	瓶	不 明	不明 不明 7.0	"	"	半光沢の釉を掛ける。上半部はガラス化。 外底面のつくりは喜名焼の特徴に似る。	20 号墓庭 フク土
11	6 6	瓶	不 明	不明 不明 8.2	微粒子	外:黒色 中:濃い赤紫色 内:黒色	ほぼ全面に自然釉を浴び赤褐色の光沢を有するが、明確な施釉は認められない。	40 号墓室 蔵骨器 № 3 内
第60 PL.41		火入	喜名焼	10.6 7.2 8.2	"	淡い赤褐色	胴部中央から口縁部内縁にかけてガラス化 した黒色釉を掛ける。	43 号墓室 フク土
"	2 2	,,	,,	不明 不明 9.0	"	外:黒色 中:濃い赤褐色 内:黒色	底部分の小片。焼きは良く堅緻。施釉の有無は不明。胎土に白色粒子が微量認められる。	39 号墓室 (奥) フク土
"	3	,,	"	10.6 7.7 6.3	"	"	一定していないが、概ね胴中央から口縁部 内縁にかけて施釉。外面は底部まで自然釉 も付着。つくりは変形もありやや雑。	23 号墓庭 フク土
"	4 4	"	"	11.4 8.8 9.6	ıı	外:淡い赤褐色 中:茶褐色 内:茶褐色	黒色釉を掛ける。粒子状の不純物を多く含む。胴部中央と下部に沈線が囲繞する。	39 号墓室 (前) フク土
"	5 5	鉢	不 明	14.5 7.5 10.8	"	赤褐色	無釉。胎土に白色粒子や石英等を多く含み 手触りはざらつく。見込みの紐状の突起は 芋等をすりつぶすためのものか。	21 号墓庭 フク土
"	6 6	火炉	喜名焼	不明 不明 13.9	"	橙褐色	暗褐色の釉。露胎部は茶色。胎土は粗い石 英粒を含み、サンドイッチ状に練り込まれ た白色土がみられる。外底面に窯印有り。	39 号墓庭 フク土
第61[PL.42	図 1 の 1	急須 (身)	不 明	7.0 8.0 6.8	"	茶褐色	無釉。表面に粗い粒子が多くざらつく。胎 土に白色粒子を含む。	38 号墓庭 フク土
"	2 2	"	喜名焼	6.8 8.4 6.2	"	茶褐色	鉄錆色の光沢のある釉を底部近くまで掛け さらに注口横に黄白色の釉 (黒釉か) を流 す。	38 号墓庭 フク土
"	3	急須 (蓋)	不 明	6.0 1.9 —	"	灰色	焼成時の強い加熱で表面はざらつき、歪み もみられる。上記 1・2 何れかに伴うもの であろう。	38 号墓庭 フク土



第59図 (PL,40) 沖縄産喜名焼・その他の陶器: 瓶



第60図(PL.41) 沖縄産喜名焼・その他の陶器:火入(1~4)、鉢(5)、火炉(6)



第61図(PL.42) 沖縄産喜名焼・その他の陶器:急須

第3節 陶質土器

「アカムヌー (アカモノ)」と呼ばれるものである。器種としては、鍋・羽釜・水鉢・火鉢・炉・急須・ ミニチュア製品・火入等が確認できた。

1. 鍋 (第62図1~3)

「サークー」と通称されるものである。以下で、蓋と身の2つに分けて述べる。

〈蓋〉

1は、全体のほぼ3分の2程が残る資料で、高台をもつ皿を伏せたような器形となっている。口唇部の断面形は、舌状を呈する。高台状の摘み周辺は箆けずりで器面調整され、摘み内の窪みも箆でけずり出されている。

〈身〉

2・3は、口縁部が「く」字状に屈曲し、胴部の膨らむ器形である。蓋受け部の断面形は、弧状を呈す。 2は紐状の把手が外傾した口縁部に貼付されるが、3ではそれが欠失している。

2. 羽釜 (第62 図 4)

羽釜の胴部資料と思われる。幅 2cm 程の鍔が横位に張り出し、鍔より上位の外器面には茶褐色の釉(?)が施されている。

3. 水鉢 (第62図5)

口縁部が内湾する鉢形の器形で、「ミジクブサー」と呼ばれるものである。口唇部の断面形は舌状を呈し、口唇近くでやや肥厚する。口縁部に沈線を1条巡らし、その下位に数条1組の波状沈線を施す。

4. 火鉢 (第62図6・7)

『喜友名貝塚・喜友名グスク』ではほぼ全形のわかる資料が炉として報告されているが、ここでは器種を火鉢として分離しておく。器形は、上面観が弧状となる本体部と本体部から突出し上面観が方形となる部分に分けられる。側面からみると、突出部は本体部より1段下がり、階段状になる。6・7は、いずれも本体部となる資料である。2点共に、口縁内面に器物を据えるための突起があり、7は本体部から突出部へ移行する部分である。

5. 炉 (第63図1~4)

「ヒールー(火炉)」と通称されるものである。口縁形態から、以下3つに分けられる。

(第1類)

口縁部が「く」字状に屈曲し、口縁上部が内傾するものである。1 は、口唇部が水平でほぼ平坦な面をなし、内傾する口縁部の断面形は、階段状を呈す。口縁内面には、煤の付着がみられる。

(第2類)

口縁部が内湾するものである。2は、口唇部の断面形が舌状を呈し、口縁内面に器物を据えるための 突起が貼付されている。また、火窓の一部が残存する。外器面には、少なくとも4条の白線が横位に確 認できる。

(第3類)

口縁部が屈曲し、口縁上部が外傾するものである。外傾する口縁上部は、玉縁状に肥厚する。3 は、 口縁内面に器物を据えるための突起を貼付し、その形状はL字状に屈曲する。口縁内外面には、茶褐色 の釉(?)を施す。

胴部資料

4は、炉の胴部に貼付したと思われる獅子面の把手である。外器面には、茶褐色の釉 (?) を施す。 縦位に穿孔し、把手の下面をけずりとっており、その部分は露胎である。

6. 急須 (第63 図 5 ~ 10)

蓋と身の2つに分けて述べる。尚、以下では、『壺屋古窯群』』の分類案に従う。

〈蓋〉

蓋の庇の傾きによって、以下3つに分類できる。

a:庇部がやや水平なもの

b:庇部がやや下がるもの

c:庇部が弧状に下がるもの

上記の分類では、5はc、6はa、7はbに分類可能かと思われる。

〈身〉

A:口縁部を立ち上げ、胴部が球状のもの

B:口縁部をAより僅かに立ち上げ、胴部が屈曲するもの

口縁部の形態から、8はA、9はBに分類できる。

胴部資料

10 は、急須の胴部横に取り付ける筒状の把手ではないかと思われるが、このような形態の急須は陶質土器ではあまり類例がない。

7. ミニチュア製品 (第63図11)

擂鉢を模倣したミニチュア製品で、他にあまり類例をみないものである。成形は轆轤で行っており、 器内面には擂り目を模した極細の沈線が放射状に施されている。

8. 火入 (第63 図 12)

器形は、底部から斜位に直線的に立ち上がり、そこから屈曲して、胴部から口縁部にかけて直線的にやや外傾する。口唇部は、やや肥厚する。これと同様の器形のものが、沖縄産無釉陶器の火入にもある。 胴部には沈線が1条巡り、底部近くには螺旋状沈線を施す。口縁内面及び口唇部には、煤の付着がみられる。

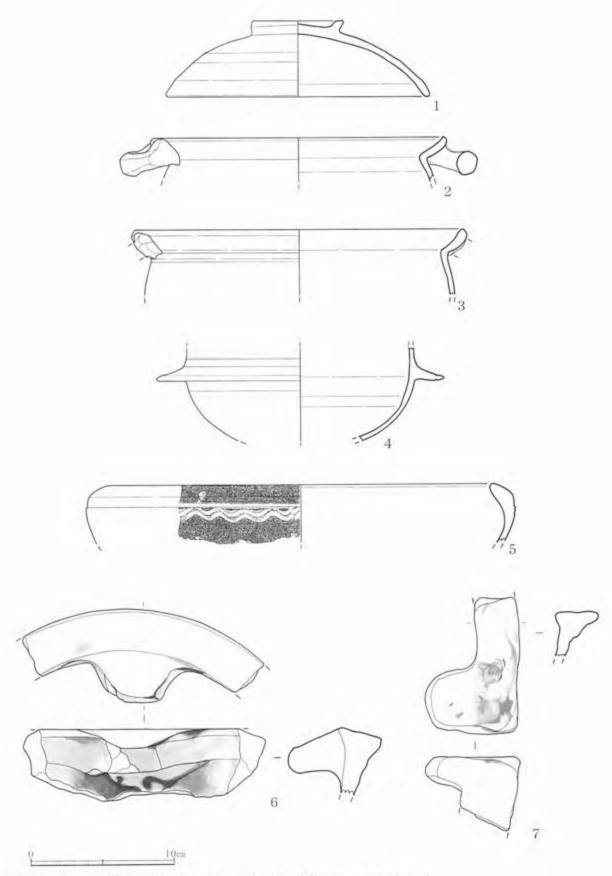
- 註 1 『喜友名貝塚・喜友名グスク』沖縄県教育委員会 1999年
 - 2 『壺屋古窯群 』 那覇市教育委員会 1992年

第 15 表 陶質土器出土一覧

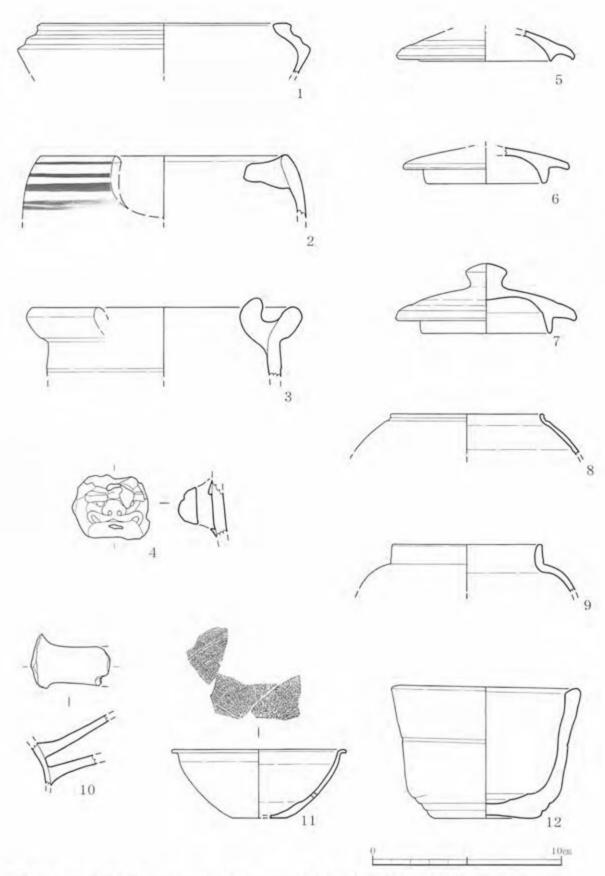
器 種 残存状況	完 形	口縁部	底 部	胴 部	合 計
鍋(蓋)	3	7	5	0	15
鍋(身)	1	51	9	58	119
羽 釜	0	0	0	1	1
水 鉢	0	6	0	6	12
火 鉢	0	3	0	0	3
火炉	1	21	13	41	76
急 須(蓋)	2	0	14	4	20
急 須(身)	0	3	0	18	21
ミニチュア製品(擂鉢)	1	0	0	0	1
火	1	0	1	1	3
合 計	9	91	42	129	271

第 16 表 陶質土器観察一覧

界 16 表	岡貫工品	観祭一覧							
挿図番号	出土地点	器種	分類		法 最	(cm)	素地	(C 13)	観察事項
図版番号	山土地点	60 TH	<i>11 131</i>	口径	器高	底径	光 地	رسم ت	EX. Six -) F-2 (
第62図1 PL.43の1	26 号墓庭 フク土	鍋(蓋)		_	5.3	_	橙褐色	橙褐色	直径 18.4cm。摘みの直径は 6.3cm
第62図2 PL.43の2	24 号幕庭 フク上	鍋(身)		20.6	1	-	橙褐色	外:茶白色 内:橙褐色	蓋受け部の幅は 2.1cm。
第62図3 PL.43の3	36 号墓 フク土	"		23.0	1	_	茶白色	茶白色	蓋受け部の幅は 2.0cm。
第62図4 PL.43の4	32 号墓庭 フク土	羽釜		_	-	_	茶白色	外:橙白色・茶白色 内:茶白色	最大胴径(鍔部の直径)は20.0cm。鍔 より上位の器外面に茶褐色の釉(?) を施す。
第62図5 PL.43の5	22 号葛庭 フク土	水鉢		26.8	1	_	朱白色	朱白色	口唇部に沈線を1条巡らし、その下位 に数条1組の波状沈線を施す。
第62図6 PL.43の6	40 号墓室 フク土	火鉢		-	ı	-	茶白色	桃白色	口縁内面には煤が付着している。口唇 部の幅は3.1cm。
第 6 2 図 7 PL.43 の 7	40 号墓室 フク土	"		-	ı	_	茶白色	茶白色	口唇部の幅は 3.0cm。
第63図1 PL.44の1	24 号墓庭 フク土	þí	1 類	13.5	1		橙褐色	稅褐色	
第63図2 PL.44の2	24 号幕庭 フク上	"	2 類	13.1	1	-	橙褐色	外:橙白色 内:茶白色	器外面に幅 1 ~ 5mm 程の白線が横位に 4 条確認できる。口縁内面の突起には 煤が付着している。
第63図3 PL.44の3	6 号墓 フク土	n,	3類	14.6	1	_	茶白色	外:橙白色 内:茶白色	口縁部の内外面に茶褐色の釉(?)が 施され、部分的に残存している。
第63図4 PL.44の4	6 号墓 フク土	炉 (?)		1	-	_	茶白色	茶白色	獅子面の把手に直径 7mm 程の穴を縦位 に穿孔している。外面に茶褐色の釉 (?)を施す。
第63図5 PL.44の5	24 号墓庭 フク土	急須 (蓋)	с	_	1	ı	橙白色 灰色	茶白色・暗茶褐色	庇部がやや下がる。直径 9.4cm。
第 63 図 6 PL.44 の 6	1号幕庭 フク土	Н	a	1	1	1	茶白色	茶白色	庇部がやや水平となる。直径 8.8cm。
第63 図 7 PL.44 の 7	7号墓庭 フク土	H	b	_	3.7	_	橙褐色	松褐色	摘みの形状は宝珠状を呈し、庇部がや や下がる。直径 11.4cm。
第63図8 PL.44の8	24 号墓 フク土	急須 (身)	A	4.0	-	-	橙褐色	外:橙褐色 内:茶白色	
第63 図 9 PL.44 の 9	24 号墓庭 フク土	n	В	8.0	-	_	橙褐色	外:茶褐色 内:橙褐色	
第63図10 PL.44の10	23 号墓室 (奥)	急須(身)?		-	_	-	茶白色	茶白色	急須の把手部分と思われる。
第63図11 PL:44の11	3 号墓庭 フク土	ミニチュア製 品 (拙鉢)		9.2	3.6	2.8	橙褐色	位褐色	内面には、捕鉢の擂目を模倣した細沈 線が密に施されている。
第63図12 PL.44の12	22 号墓庭 フク土	火人		10,0	7.0	5.4	橙褐色	松褐色	胴部に沈線が1条、底部近くには螺旋 状沈線が巡る。口軽部及び口縁内面に は煤が付着する。



第62図(PL.43) 陶質土器:鍋(1~3)、羽釜(4)、水鉢(5)、火鉢(6·7)



第63図(PL.44) 陶質土器: 炉(1~4)、急須(5~10)、ミニチュア製品(擂鉢)(11)、火入(12)

第4節 中国産陶磁器

副葬品として墓に納められた陶磁器なので、香炉、瓶、杯、碗、皿、水滴、急須など日用品が主体である。

(1) 青磁

香炉は三足の筒形香炉(第64図1~3)と三足の袴腰香炉(第64図4、5)などが出土している。瓶及び袋物として第65図1~3に示した。馬上杯(第65図4)が1点検出されている。第64図1・4・5の香炉や第65図1・3の瓶、第65図4の馬上杯などは15~16世紀頃の青磁で若干古い。

(2) 青白磁

青白磁の杯 (第65 図 5) が 1 点検出されている。型づくりで 8 弁をもつ花形に仕上げられている輪花杯である。

(3) 白磁

白磁は袴腰香炉(第65図6)と小杯(第65図7~9)などが検出された。

(4) 青花

青花は碗 (第66 図 $1 \sim 4$)、馬上杯 (第66 図 5)、袋物 (第66 図 6)、水滴 (第66 図 7)、角皿 (第66 図 8)、小杯 (第67 図 $1 \sim 8$) などが検出された。その中で第66 図 $1 \ge 6$ などは 16 世紀頃の青花であるが、残りは $17 \sim 18$ 世紀の青花である。

(5) 朱泥

朱泥は急須 (第67 図9) 1点が検出された。外底に「荊溪陳子文製」のスタンプが見られる。

(6) 瑠璃釉

第67図10は瑠璃釉の袋物である。胴部外面から高台外面までは瑠璃釉が施されている。 $15\sim16$ 世紀頃の瑠璃釉と考えられる。

以上の副葬品としての中国陶磁器の外に転用蔵骨器として第48図5の褐釉陶器壺が検出されている。

第5節 タイ産陶磁器

タイ産鉄絵文瓶である(第67図11)。胴部に唐草文が廻っている。唐草文の上段と下段は直線描の鉄 絵が廻っている。16世紀頃の鉄絵と考えられる。

タイ産陶磁はこの1点の外に、転用蔵骨器として褐釉大型四耳壺が検出されている。(第48図6)。

第 17 表 青磁出土一覧

		Ó	tri			Ħ	Ä			\$2	物			馬士	上杯			Ę	ńi		frat
出土地	完	П	底	胴	'nί	П	MX;	即可	76	П	W.	桐山	光	п	底	胴	76	LL	117.	開刊	Frar
1号幕庭フク土																			_		1_
1号稿(左垣)フク土			Г																-		1
1 号稿フク上		Ι																		1_	1
3 号ៈ蘇庭フク土	\Box										1										1
4 号蔵室フク土											1										1
6 号稿フク土																				1	
14 号略室フク土	ı																				1
15・16 号葉庭フク土					1																
19 号 萬室																			1		1
20 号墓庭フク土																					
21 号稿庭フク上												2	2	L							4
21 号稿(右垣) フク土												L							1		
24 号 横庭 フク土				1											L						-
32 号葉庭フク上				ı																<u> </u>	_1_
36 号 蘇客フク上													<u> </u>								. 1
38 号幕庭フク上	1	L										Щ.	$oxed{oxed}$		<u></u>	<u> </u>			<u> </u>	<u> </u>	1
38 号幕庭(右垣) フク土	l ī														$ldsymbol{ld}}}}}}}}}$			Щ		Щ	1
39 号 鎮客(奥) フク土		1													<u> </u>				<u> </u>		ı
40 号幕省ツク土				\Box							ı		<u> </u>					<u> </u>		<u> </u>	1
45 号蔦客フク上														L_			\perp		<u> </u>	<u> </u>	1
合 計	4	1	0	2	1	0	0	0	0	0	3	2	3	0	С	0		0	4_	2	23

第 18 表 青白磁・白磁出土一覧

	I	許日	日磁									ľ3	檢								
出出:地	$\overline{}$	ŧ	不			15	þгi			ŧ	ſ.			袋	物			Б	fil _		合計
	76	L1	压	Hel	完	П	11%	Elej	×	11	此	胴	完	1	U.C.	胴	完	11	N.	刑可	
1号 篠庭フク土																				L	1_
6 号幕フク土									-		\Box										
15・16 号幕底フク土					1																1
19 号葉庭フク土																		Щ			1
20 号幕フク士		i				-															1
21 号奪庭フク土											1			2		<u></u>					3
22 号葉庭フク土									_												1
23 号蔦庭フク上																1					1
24 号 ६ 年截骨器No 24 内									1												t
24 号 廣 名 蔵 骨 器 No 26 下									-												1
31 号葉庭フク土												L				1					1
31 号奪フク土						1							L								1
32 号幕庭フク土																				-	1
36 号稿室フク士										1											1
37 号稿底フク土	1																	L			1
38 号 蘇庭 (右垣) フク土									1									L			
40 号幕庭フク上																		Ī			1
í7 át	1	0	0	0	ì	2	0	0	5	ı	1	0	0	23	0	2	0		1	2	19

第 19 表 青花出土一覧

114 1 144			ή			MS_	し杯			袋	物			水				111								11			合計
出 北 地	完	П	庭	胴	完	LL	11/2	[44]	76	1.1	IN.	開山	完	1:1	n'e	胴	完	1.1	W.	Hid	完	1.1	底	胂	完	T.I	EF.	胴	स्यवा
1号蔵座フク土		1	2	1	_	$\overline{}$										$\overline{}$									1			ī	- 6
2号構プク土		1		$\overline{}$					_										_										1
2号幕上(ウス石付近)フク土				1	$\overline{}$	$\overline{}$	$\overline{}$		-										_				\Box	_					1
3号幕ロフク土		1	$\overline{}$						_							$\overline{}$	П		-										I
3 号幕左ソデ右上	-		$\overline{}$	_	-	$\overline{}$			-						\vdash		$\overline{}$				$\overline{}$								1
5 号幕庭フク土			1		\vdash			$\overline{}$		-	$\overline{}$						-							-					1
6 入号数フク土	-			1				$\overline{}$				\vdash				-	\vdash		_	_	$\overline{}$								1
6号祭フク土	\neg		2		_		_	_	_	_	$\overline{}$				_		_		_		\vdash	$\overline{}$	_						3
9号幕上フク土	-	1	-	\vdash	-	-				_		_		_			\vdash		_				\vdash		_	\vdash		-	1
11号墓前方石積フク土	-	÷	\vdash	\vdash	╁	\vdash	_	<u> </u>	_		\vdash		-		-	_	\vdash	-		_	_	_	\vdash						ī
北川り蘇庭フク土			۰	\vdash	-	\vdash					\vdash	_	-		\vdash		├──	\vdash	_	-	1				\vdash	\vdash			i
16 号幕日	-	1	\vdash	\vdash	├─	┢		-			_		-	-	 	\vdash	 	\vdash	_		۱÷	-	\vdash				_		Ť
17・18 号葉庭フク上	-	÷	┝	╆	├	╁─		┝	\vdash	_	\vdash	_	\vdash		_	_					\vdash	\vdash			_	-	_	-	\vdash
18 11 年 行四	_	<u> </u>	1	\vdash	┢	 		\vdash		\vdash	_	_	-		<u> </u>	 	├──	_		\vdash	\vdash	-	\vdash	-		\vdash	\vdash	_	-i-
18号第庭フク士			⊢-	\vdash	\vdash	├-	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	-	1	\vdash		 	 	\vdash	\vdash	_	\vdash	\vdash	\vdash	 	\vdash	_	\vdash	\vdash	\vdash	i i
19号篇36	1	2	├	⊢	⊢	-	\vdash	⊢	H	\vdash	\vdash		-	-	\vdash	\vdash	⊢	-	_		-	_	\vdash	-			\vdash		3
19 号幕系		-4	├	-	⊢	-	_	⊢	-	_	-			_	-	<u> </u>	-			\vdash		_	\vdash		_	\vdash	1	_	- -
			١.		├─	<u> </u>	-	├	-		_	_	-	_	├	├	-	-	_		-	_	-			-	٠.	\vdash	÷
20 号稿 (左垣) フク土		- -	1	-	₩		-		<u> </u>	-	├	_	\vdash	_	├	├	├	-	_	<u> </u>	_	-	┝	-		-	-		
20 号稿フク上		1	├	⊢ .			-	⊢	┝	_		-	_	_		_	├	\vdash		_	_	_	├—	-					÷
20・21 号葉間フク土			├ -	1	├—		_	├		_	_	_				-	١.			_		_	-	-		⊢			4
21 号葉庭フク土			1	١.	├	1	_	├	_		<u> </u>	<u> </u>	_		├—		1	_		-		_	├	1	-	-	-	_	2
21 号蘇(右垣)フク土			⊢	1	_		-	┝	_	_		├	_		-	_	1	-	_	├	<u> </u>		<u> </u>	_	├	-	H	_	
22 号稿庭フク土	1_	1	1	Ь—	<u> </u>			Ь—						<u> </u>		L	-		_		1				_		_	_	4
22 号属フク土	1		<u> </u>	ļ	ļ	_		ļ	L	L	1				Ь—		<u> </u>			<u> </u>	1		<u> </u>	_	_				3
23 号萬名 (奥)	1_			╙	_	_		L			╙		_	_			_	\vdash		<u> </u>	_		<u> </u>		_	_			1
23 号幕底フク上								L					1	<u>. </u>			<u> </u>					_				1	1	1	-4
24 号萬室(中央欄)														<u></u>							1		<u> </u>						1
24 号幕名藏骨器No 4 内																	<u> </u>									1			1_
24 号葉室フク土																					1								1
24 号葉庭フク土		1		1_			1_1_														<u> </u>								3
24 号篇フク士		1	Ĺ																		<u></u>								2
25 号葉フク土				1																									
31 号幕庭フク 1:		1																								L .	1		2
32 号奪庭フク土																													1
36 号募名フク士																								1					2
37 号幕庭フク士			\Box				\Box		T			П	1.			Ι.					1								_
39 号蘇客(前) フク上		1																											1
39 号稿フク土	1																												L
39 号葉庭フク土												\Box															1		l_
40 号屬室藏骨器No 3 内			$\overline{}$	T	Ī		Ι														1								ı
40 号様庭フク土		2			1		\Box			$\overline{}$						1	l		1										3
41 号幕家フク上	$\overline{}$	1		T	1	1	I^-		П						$\overline{}$		1												2
43 号稿室フク土	3	<u> </u>	\vdash	T-	1	1	$\overline{}$	$\overline{}$								Г					ı	\Box	1	ľ					- 5
北地区不時発見の蘇付近		_	T	†	\vdash	\vdash	\vdash		\vdash	$\overline{}$		1	1		1		1	П						\Box		1		Г	1
不 明	_		T	T -	t		\vdash	\vdash	\vdash	$\overline{}$	-	1				i	t —		$\overline{}$	$\overline{}$								$\overline{}$	1
Or at			14	7	0	1	+ $$	0	0	0	$\overline{}$	\vdash	1	0	0	0	2	0	1	0	10	$\overline{}$	0	2	ī	3	4	2	78

第20表 朱泥・瑠璃釉・タイ産鉄絵出土一覧

				朱	池							開	齿桕					710	化铁车	î:		產地	不明		
出土地		急須	(蓋))		急鄉	(<i>1</i>))		+	不			×	£i.			Ħ	K			H	Я		ተለተ
	完		庭	19-1	::	11	W.	iji-i	完	П	H.C.	FH-)	7.0	_tT	n.e	SH	完	[]	uc	Bel	完	П	谜	Siel	ĺ
1号墓庭フク土								1											I				l		1
23 号墓室(奥)フク土																			1						1
24 号墓室蔵骨器No 25 内																							1	$\overline{}$	1
38 号葛庭フク土													\Box		1										1
43 号幕室フク土	1				1																				2
不 明									1																1
合 計		0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	\sqcap	0	0	0	1	0	7

第21表 青磁観察一覧

挿図都 図版都	-	名称又は仮称	類	口 径 器 高 高台径 (cm)	素 地	施 籼	釉色	貫 入	文 様	備 考
第 64 [PL.45 c				8.5 6.0 6.7	灰白色でや や微粒。	ベタ底部分と内底の一 部が露胎。	背緑色	部分的にある。	胴部1本の陽圏 線。	14 号墓室フク土
"	2 2		简形	8.8 5.8 7.5	"	内底の中央部と畳付か ら外底まで露胎。	灰緑色	全面に細かい貫入	胴部に4本の陽圏 線。	38 号墓庭フク土
"	3	香炉		9.3 7.9 5.3	"	n	''	全面に荒 い貫入	"	38 号墓庭(右垣)フク 土
"	4		袴腰	14.0 - -	"	内・外面に施釉。	"	なし	線彫文。	39 号慕室(奥)フク土
"	5 5		腰	34.2 15.9 11.8	"	内底中央部と胴部下位 からベタ底部分にかけ 露胎。	"	全面に荒 い貫入	なし	大型 20 号墓前庭フク土

第22表 青磁、青白磁、白磁観察一覧

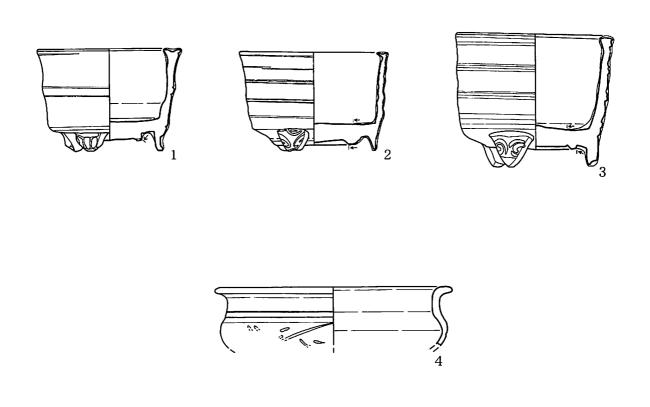
挿図番	•	名称又は仮称	類	口 径 高 高台径 (cm)	素 地	施 釉	釉色	贯入	文 様	備考
第65図 PL.46の		瓶		4.7 17.7 6.2	灰白色でや や微粒。	内面上位から高台外面 まで施釉。	青緑色	全面に荒 い貫入	篦描のくずれた唐 草文。	15・16 号墓庭フク土
II II	2 2	袋物	Ž	- - 7.4	"	内面と畳付が露胎。	"	なし	なし	40 号墓室フク土
n n	3 3	物		- - 46	n	畳付から外底まで盛 胎。	"	外面に細 かい貫入	H	21 号墓庭フク土
"	4 4	馬上杯		5.9 6.4 3.2	n	"	"	全面に荒 い貫入	線描細蓮弁文。	36 号墓室フク土
11 11	5 5	杯	輪花	5.4 3.8 2.6	白色微粒 子。	役付のみ露胎。	背白色	全面に非 常に細か い貫入	外面の弁間に縦の 凹線を入れて全体 の花形。	凸面白色で凹面青色。 37 号墓庭フク土
n n	6 6	香坛	裄腰	9.8 5.4 5.0	n	三足の畳付から外底ま で露胎。	"	なし	なし	
"	7 7			4.1 3.3 2.1	"	畳付のみ露胎。	淡白色	H	n	38 号墓庭(右垣)フク 土
!! !!	8	杯	外反	4.2 - -	"	内・外面に施釉。	"	全面に細かい貫入	"	36 号墓室フク土
H	9 9			4.4 3.5 2.1	"	畳付のみ露胎。	"	なし	n	24号墓室蔵骨器No.24内

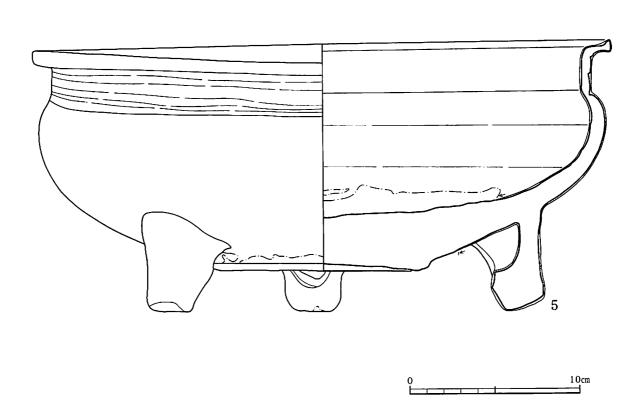
第23表 青花観察一覧

挿図番号 図版番号	名称又は仮称	類	口 径 高 高台径 (cm)	素 地	施 釉	釉色	貨 入	文 様	備考
第66 図 1 PL.47 の 1		中口	16.2 - -	白色でやや 微粒。	内・外面に施釉。	淡青白色	部分的に 荒い貫入	蕉葉文。	40 号墓庭フク土
" 2 " 2	碗		11.6 5.3 6.6	黄白色でや や荒い。	内底と底部が露胎。	"	全面的に 細かい貫 入。	花文。	ベトナム (?) 43 号墓室フク土
" 3 " 3	Ben	外反	13.3 6.3 4.9	白 色 微 粒 子。	畳付のみ露胎。	n	なし	くずれた菊唐草 文。	43 号墓室フク土
" 4 " 4			7.1 3.9 2.4	"	内底から高台際まで施 釉のあと内底釉を蛇ノ 目掻き取り。	"	n	くずれた唐草文。	23 号墓室(奥)
" 5 " 5	馬上杯		6.0 - -	n	畳付のみ露胎と考えら れる。	"	全面に荒 い貫入	"	21 号墓庭フク土
" 6 " 6	袋物		- - 8.6	青白色でや や微粒。	n	"	なし	渦巻の蓮弁文。	22 号墓フク土
" 7 " 7	水滴		4.0 4.0	n	胴部下位から外底まで 露胎。	"	"	上面に花文。	23 号墓庭フク土
" 8 " 8	角皿		1.8 -	n	畳付のみ露胎。	"	#	内面に花文。	21号墓(右垣)フク土

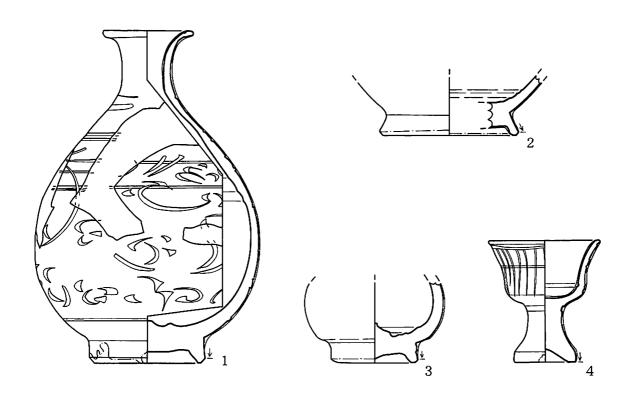
第24表 青花、朱泥、瑠璃釉、夕イ産鉄絵観察一覧

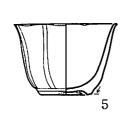
挿図番号 図版番号	名称又は仮称	類	口 径高高台径(cm)	素 地	施和	釉色	貫 入	文 様	備考																	
第67図1 PL:48の1		外反	6.2 3.6 2.5	白色微粒 子。	畳付のみ露胎。	淡黄白色	n	花文。	八角杯 22 号墓フク土																	
" 2 " 2			4.3 2.7 1.8	"	畳付から外底まで露 胎。	淡青白色	"	抽象的。	40 号墓室藏骨器 № 3 内																	
" 3 " 3			5.0 2.8 2.0	"	畳付のみ露胎。	,,	"	n	37 号墓庭フク土																	
" 4 " 4	杯		反	4.8 2.7 2.1	II	畳付から外底まで露 胎。	H.	#	"	北 11 号墓庭フク土																
" 5 " 5	111																			5.2 3.3 2.3	n	畳付のみ露胎。	"	"	n	43 号墓室内
" 6 " 6				3.5 1.9 1.6	"	"	"	"	豹皮状文。	32 号墓庭フク土																
" 7 " 7			5.0 3.1 2.1	n	畳付から外底まで露 胎。	"	"	唐草文。	24 号墓室(中央棚下)																	
" 8 " 8		П	5.2 3.2 2.3	"	"	,,	n	抽象的。	24 号墓室フク土																	
" 9 " 9	急須	蓋	5.4 3.6 4.3	淡朱色微粒 子。	なし	淡朱色	"	なし	43 号墓室フク土																	
" 9 " 9	須	身	5.4 4.8 4.6	n	Н	ji	"	"	43 号墓室フク土																	
" 10 " 10	袋物		- 7.2	淡白色でや や微粒。	胴部外面から高台外面 まで瑠璃釉。	淡瑠璃釉	"	II .	38 号墓庭フク土																	
" 11 " 11	瓶		- - 4.6	灰白色で荒 い粒子。	内面と外面下位から外 底まで露胎。	淡青白色	"	くずれた草花文。	タイ産 23 号墓室(奥)																	

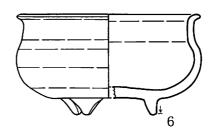




第64図(PL.45) 中国産陶磁器: 青磁(香炉)

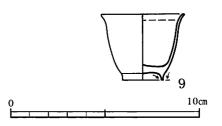




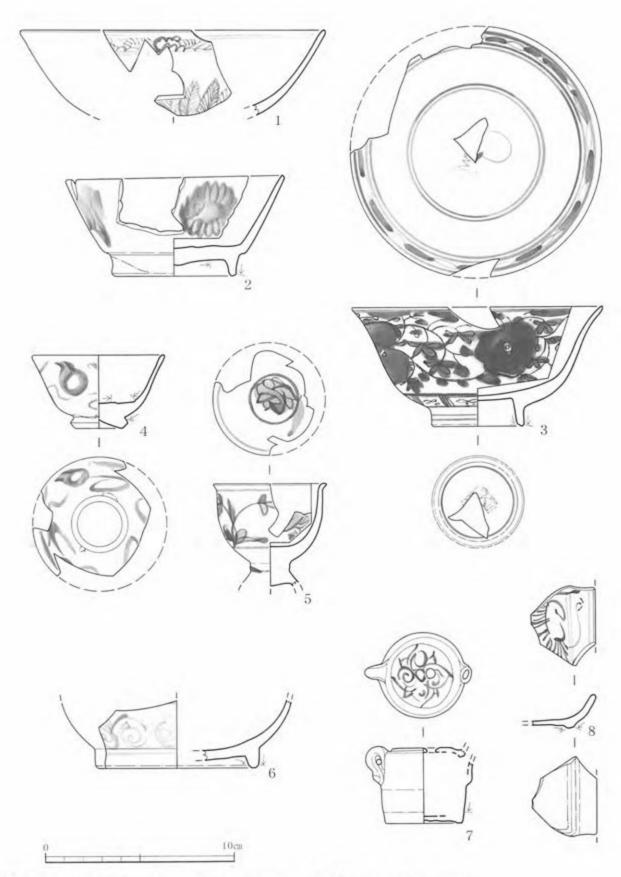




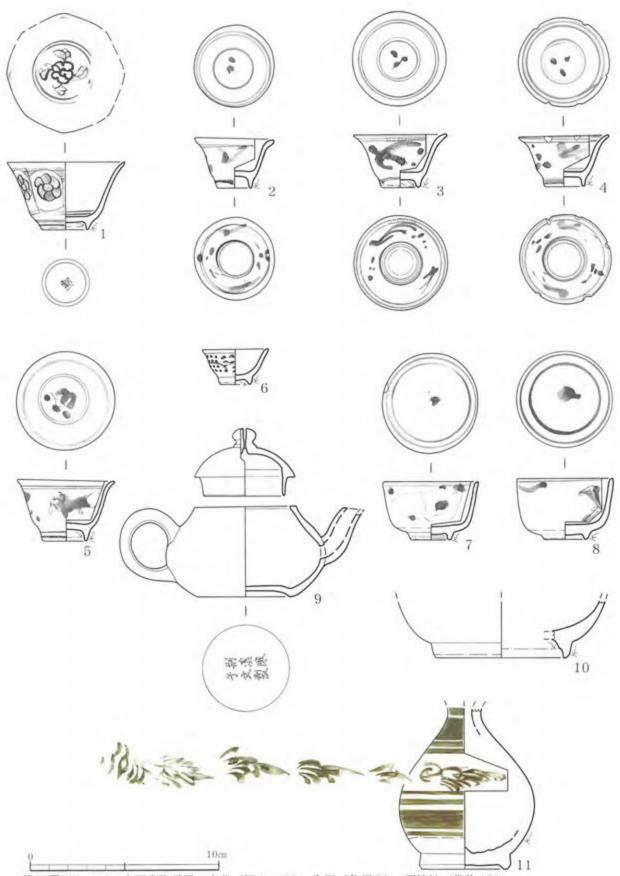




第65図(PL.46) 中国産陶磁器: 青磁(瓶1、袋物2・3、馬上杯4) 青白磁(杯5) 白磁(香炉6、杯7~9)



第66図(PL.47) 中国産陶磁器:青花(碗1~4、馬上杯5、袋物6、水滴7、角皿8)



第67回(PL.48) 中国産陶磁器: 青花(杯1~8)、朱泥(急須9)、瑠璃紬(袋物10) 夕イ産陶磁器: 鉄絵(瓶11)

第6節 本土産陶磁器

本古墓群から出土した本土産陶磁器は総数約330点である。その内の大部分が瀬戸・美濃系の陶磁器で占められており、それ以外に肥前系、薩摩系のものがみられる。

肥前系陶磁器

第68 図1~7 は瓶である。1 は胴部が膨らみ、口縁部がラッパ状に開いた形態である。外面には頸部から高台部にかけて計5条の圏線が認められ、胴部には抽象化された文様がある。細い筆致で描いたあと、さらに太い筆致で重ねて描いてる。頸部に若干のあらい貫入がみられる。器体部には釉薬が均一に掛けられているが、底部外面は部分的に釉薬が膨張しており、めくれあがっている状況が認められる。また、砂粒の付着もみられる。全体的に薄作りで、くすんだ灰白色を呈している。

2は頸部から口縁部にかけてと、胴部も2分の1ほどの部分が失われている。肩部には2条の圏線の上に鋸歯状の文様が、高台部外面にも1条の圏線が巡らされている。胴部にも文様があった可能性があるが、大部分が失われているため判然としない。残存部をみる限り、骨付部以外は総釉である。

3はやや小型の瓶である。頸部には2条の圏線と竹の葉のような文様が、胴部には上下1条ずつの圏線の間に葡萄文が描かれている。高台部にも1条の圏線がある。高台部と胴部のつなぎの部分は深く抉りを入れており明確な段差が認められる。内面と畳付部は無釉であり、また、胴部には円形に釉薬が剥落している部分がある。高台部内側に僅かに砂粒子の付着が認められる。頸部には整形した際の轆轤痕が明確に認められる。

4は外面は3とほぼ同様な文様である。内面および畳付部以外は総釉であり、全体的に黄味がかった 灰白色を呈している。畳付部に砂粒の付着が認められる。

5 は墓室内より得られたものであり、完形である。胴下部が最も膨らみ頸部が長く、口縁部がラッパ状に開いた形態である。内面と畳付部以外には均一に釉薬が掛けられており、光沢感がある。胴部には鋸歯文を縦に引き延ばしたような文様と、円の中に草を描いた文様がそれぞれ2カ所ずつ描かれている。畳付部には砂粒の付着が認められる。均一に掛けられた釉薬や畳付部の釉薬の剥ぎ方などをみると丁寧なつくりの印象を受ける。

6 も胴下部が最も膨らんだ形状であるが、口縁部が失われているため全体の形状は伺えない。頸部には3条の圏線とやや丸みを帯びた鋸歯文が描かれ、胴部には花文が描かれている。畳付部はややあらく釉を剥ぎ取っている。殆どくすみのない白色の地に青色の文様が描かれ、明確なコントラストを呈している。

7は墓室内より得られたものであり完形である。胴部は球形に近い形状を呈し、口縁部はストレートに延びている。畳付部と内面以外は総釉であり、高台部内側には径 5.0mm 前後の粒子が付着している。 胴部には花文と 3 円 1 組の文様をそれぞれ 4 カ所ずつ配している。 地色はやや青みがかった灰白色を呈しており、光沢感がある。

第69図1は小碗である。底部から直角に立ち上がり、口縁部はラッパ状に開いた形状である。畳付部から底部外面にかけては無釉である。内面は無文であるが、胴部外面には草花文が2カ所に描かれている。貫入は認められず、釉薬に黒色の微粒子が多く含まれているため全体的にややくすんだ色調となっている。

2は全体の3分の2が失われており、高台部から直角に起ち上がった筒状を呈している。内面は無文であるが、外面には口縁部に3角形を組み合わせたような文様が巡らされ、その下には草花文が描かれている。高台部外面には2条の圏線が巡らされている。畳付部と口縁部上面以外は総釉である。

3は皿の底部である。内底面には一面に文様が認められ、畳付部以外は総釉である。外底面には2条の圏線とその内側にさらに何らかの文様があったと考えられるが、破損のため判然としない。

4も3同様に皿の底部であるが、3と比較すると高台部が低い。内底面には1条の圏線の中に文様が描かれており、一部しか認められないものの兎の図柄ではないかと推測される。外底面には2条の圏線がみられる。胴部外面にも何らかの文様があったと推測されるが、判然としない。

5は陶器の片口であり、3分の1ほどの残存である。胴下部はやや平担に成形され、口縁部はラッパ状に開いている。注口と胴部の繋ぎを撫で整形した痕跡が認められる。胴部外面に鉄釉で描かれた文様が認められる。細かい貫入がみられるが、胴下部から底部にかけては無釉である。

薩摩系陶器

第69図6は碗である。胴下部から膨らみをもって起ち上がり、口縁部はラッパ状に開いた形状である。畳付部から外底面にかけては無釉である。文様はない。内底面および畳付部にはそれぞれ4カ所の 重焼きの痕跡が認められる。胎土は白色で緻密であり、非常に細かい貫入がみられる。

7は角皿である。6と同様に畳付部から外底面にかけては無釉である。外面胴部4隅に縦位に抉りが入れられている。内面には釉薬を塗布した際の刷毛の痕跡が認められる。胎土は灰白色で緻密、細かい貫入が認められる。無文である。

8 は小杯である。畳付部以外は総釉である。底部から口縁部にかけてストレートに起ち上がる形状である。全体的にやや赤みがかった白色を呈しているが、胎土は白色で緻密であり、細かい貫入がみられる。

9 も小杯である。口縁部上面以外は総釉されており、非常に細かい貫入が認められる。枝を模した取 手が1カ所ついている。胎土は白色で緻密である。

小結

本遺跡より出土した本土産陶磁器は総数約330点である。その殆どは近現代の瀬戸・美濃系の陶磁器で占められているが、肥前・薩摩系の陶磁器も割合的には少ないものの含まれている。今回は瀬戸・美濃系の陶磁器は割愛し、肥前ならびに薩摩系の陶磁器に関して報告する。薩摩系の資料としては磁器もあるかと考えられるが判別し難かったため、陶器のみの報告とした。

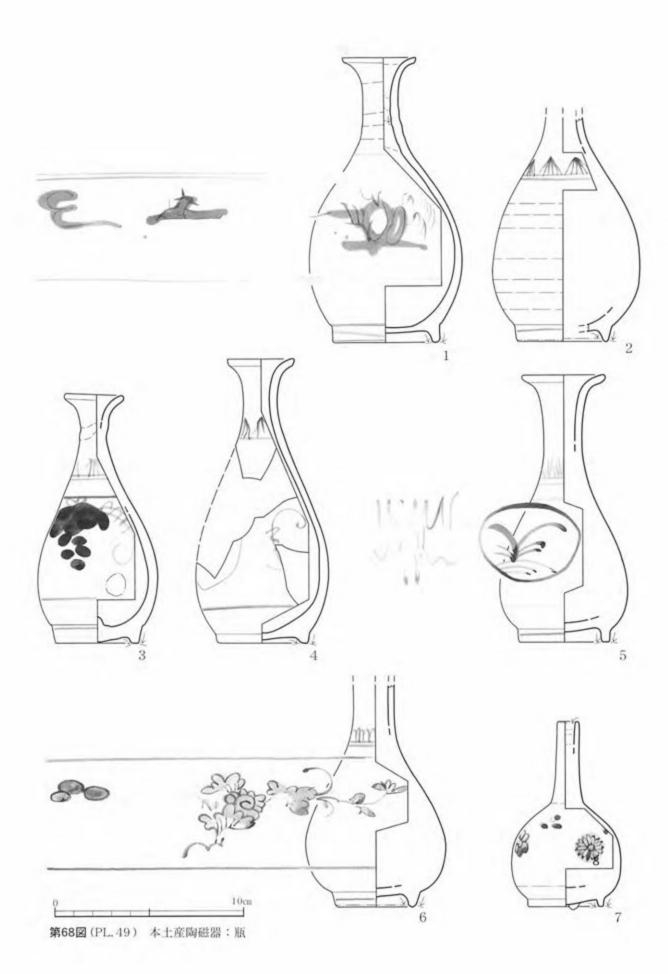
なお報告したものの中には墓室内だけでなく、墓室外で得られたものも含まれている。

肥前系は瓶が多くみられ、その形状や文様などには違いが認められる。時期的には 17 世紀〜 18 世紀 に相当する資料であると考えられる。

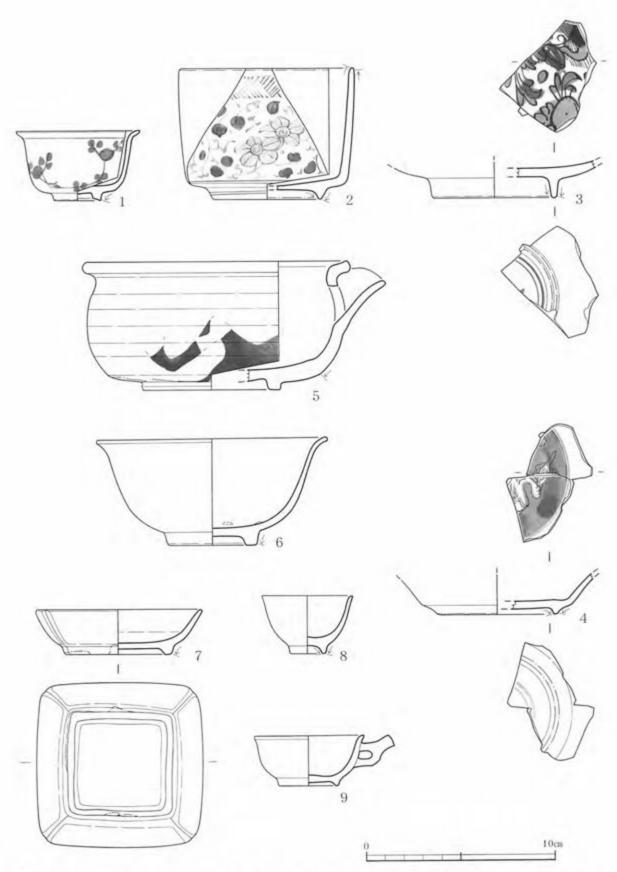
第25表 本土産陶磁器観察一覧

							法证:①口任公民任命器回(50)
挿図番 図版番	5 号 5号	器種	法量	色調	素地	施釉範囲	出土地点
第 68 [PL.49 0	図 1 の 1	瓶	① 3.9 ② 5.6 ③ 15.1	鈍灰白色 青色	灰色緻密	畳付部・内面以外は総釉	22 号墓庭フク土
"	2 2	瓶	① - ② 4.7 ③ -	鈍灰白色 青色	黄灰色緻密	畳付部・内面以外は総釉	22 号墓庭フク土
"	3	瓶	① 3.0 ② 4.4 ③ 13.2	鈍灰白色 青色	黄灰色	畳付部・内面以外は総釉	40 号墓庭フク土
# #	4 4	瓶	① 3.4 ② 4.8 ③ 15.0	黄灰白色 背灰色	赤灰色緻密	畳付部・内面以外は総釉	36 号墓庭フク土
, ,,	5 5	瓶	① 4.4 ② 4.7 ③ 14.1	灰白色 青色	灰白色緻密	畳付部・内面以外は総釉	16 号墓室№ 3
"	6 6	瓶	① - ② 4.2 ③ -	白色 青色	白色緻密	畳付部・内面以外は総釉	36 号墓庭フク土
"	7 7	瓶	① 1.2 ② 4.0 ③ 9.8	背灰色 背色	鈍灰白色 緻密	畳付部・内面以外は総釉	24 号墓室内カメ№ 26 下
第69日 PL.500	図 1 の 1	小碗	① 6.5 ② 2.5 ③ 3.7	鈍灰白色 青色	鈍灰白色 緻密	畳付部から外底部にかけ ては無釉だが、それ以外 は総釉	17 号墓庭ジャリ層
"	2 2	不明	① 9.2 ② 5.7 ③ 6.9	灰白色 青色	灰白色 緻密	畳付部と口縁部上面は無 釉、それ以外は総釉	1号墓前庭
<i>11</i> 11	3	M	① - ② 6.6 ③ -	灰白色 青色	灰白色 緻密	畳付部以外は総釉	14号墓庭フク土
<i>!!</i> !!	4 4	Ш	① - ② 6.4 ③ -	青灰白色 青色	白色緻密	畳付部以外は総釉	41 号墓室内フク土
"	5 5	片口	① 13.2 ② 7.2 ③ 6.8	灰オリーブ色 黒褐色	灰黄色 緻密	胴下部から外底部にかけ ては無釉	21 号墓庭フク土
"	6 6	碗	① 12.2 ② 4.7 ③ 5.7	灰白色	白色緻密	畳付部から外底面にかけ ては無釉	24 号墓庭フク土
"	7 7	Ш	① 8.8 ② 5.6 ③ 2.4	灰白色	灰白色緻密	畳付部から外底面にかけ ては無釉	24 号墓室内中央棚下
"	8	小杯	① 4.8 ② 1.9 ③ 3.1	赤灰白色	白色緻密	畳付部以外は総釉	37 号墓庭フク土
# #	9	小杯	① 5.8 ② 3.2 ③ 2.7	灰白色	灰白色緻密	口縁上面以外は総釉	14 号墓庭フク土

※色調は上段が地色、下段が文様の色である



- 139 -



第69図(PL.50) 本土産陶磁器:小碗(1)、不明(2)、皿(3·4)、片口(5)、碗(6)、皿(7)、小杯(8·9)

第7節 墓 誌

第70図に示した2点を墓誌とした。1は、通称「アカムン」と称される陶製の墓誌である。焼成は良好、色調は橙褐色を呈する。混入物として赤色・黒色粒子、ガラス質の鉱物を多量に含む。形状は、横長の長方形を呈する。表面に3mmの沈線で囲まれた区画の中に、陰刻による26字が確認できた。字体は楷書で縦書き。縦17.6cm、横22.6cm、厚さ3.3cm、重さ1,600g。12号墓室出土。

判読可能な文字を以下に示す。

記

墓地

右ハ壺屋島圏内

シヨリ製造団団

被回团候也

□□□辰七月

所有主

島袋ウシ

同図2は、「アラヤチ」と称される陶製(無釉)の墓誌である。焼成は良好、色調は暗茶褐色を呈する。器表面には、焼き膨れ、アバタなどが見られる。混入物として白色・黒色粒子を含む。全体に刷毛目が残る。左下の一部に石灰質の付着が見られる。形状は、縦長の長方形を呈し、僅かに湾曲する。字体は楷書で縦書き。表面には、陰刻により136字が確認できた。判読可能な文字を以下に示す。

此孝囿 [] 之也祖父 [] 大清康熙 [] 日死 伯母玉城 [] 五十七死 大清康熙九年 [] 夫子此三人者 [] 親雲上先祖也然此人紋有其起者 [] 裁者此二人 [] 也利中女而兄也花翁男弟也因然子 鶴翁以二人子養之以此二絡み也然此家財者利中因以力求之也 而後花翁為跡目而父棚原親雲上至父也於此起此 孝以康熙十九年庚申八月十四日致火葬以達先 祖願也

また、裏面には、墨書による以下の文字が確認できる。

大清乾隆 [年] 庚子□ □波 []

縦 32.5cm、横 21.9cm、厚さ 2.2cm、重さ 2,650 g。15 号墓室出土。

なお、博 11 点、瓦 486 点が得られており墓誌の可能性も考えられたが文字やそれに伴う痕跡が判然としないため割愛した。

第8節 石製品

石製品は6点得られた。第70図3は、陰刻による文字(朱墨が施される)が確認できる石製品。小破片のため全体の形状は窺えない。文字としては、表面に「湖」が確認できるのみで、他は判然としない。石質は閃緑岩。残存する長さ10.4cm、幅13.4cm、厚さ13.0cm。重さ1,180g。21号墓庭出土。

同図4は琉球石灰岩を円筒形に整形し、中央に直径2.0cm の孔を貫通させる。表面は若干、研磨されている。直径11.2cm、高さ12.0cm、重さ1,500 g。17 号墓庭出土。

6 は、長方形を呈するほぼ完形の砥石である。表面は、全体的に研磨が施され滑らかである。裏面は 全体に剥離を残す。長さ 18.5cm、幅 6.8cm、厚さ 1.5cm、重さ 400.0 g。石質は緑色片岩。北地区 8 号墓 室フク土出土。

なお、その他の石製品として、灯籠あるいは石塔の笠(石質は凝灰岩)と見られるもの2点(43号墓室内・45号墓室内)、軽石製品1点(北地区8号墓)が得られている。今回は、紙面の都合により割愛した。

註 第8~10節の石質は未同定である。記した石質は、これまでに同定された資料などを参考に類似した名称を示した。

第9節 石 器

石器は2点得られた。種類は、石斧(2点)である。その中で、全形が窺える資料1点を図示した(第70図5)。

5は、局部磨製石斧で、撥形を呈する完形の資料である。表面の基部、刃部両面、両側面の一部に研磨が見られる。長さ13.4cm、幅8.0cm、厚さ2.7cm、重さ510.0 g。石質は、緑色片岩。35号墓フク土出土。

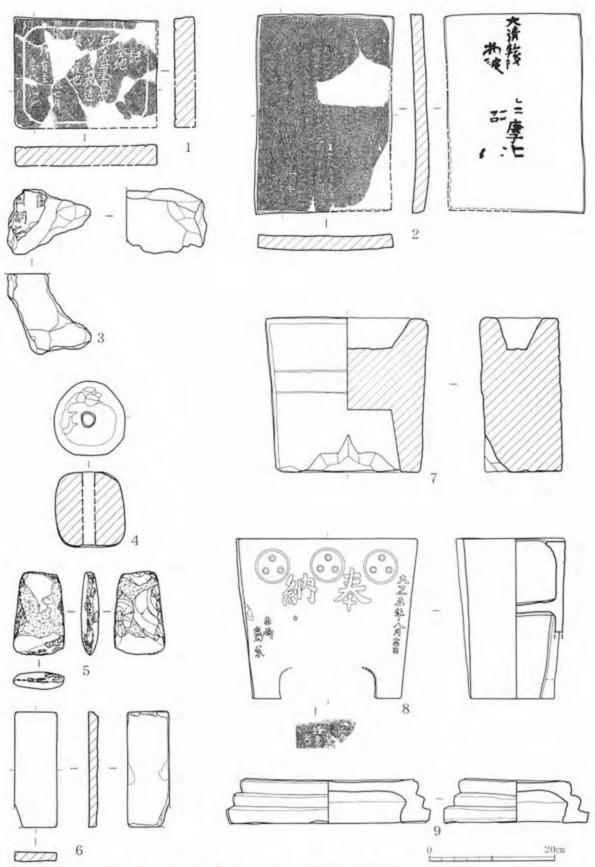
第10節 香 炉

香炉は6点得られた。ここでは3点図示した(第70図 $7\sim9$)。7は琉球石灰岩製の香炉である。高さ24.8cm、横25.6cm、幅12.7cm、重さ14.850kg。下部に抉りを施すが脚部を造り出すまでには至っていない。上面の窪みは5.1cm。正面中央よりやや上方に幅3.7cm の帯を削り出している。全体にノミ痕が顕著に残る。 $7\cdot25$ 号墓間出土。

8 は赤褐色を呈する瓦質の香炉である。脚部は資料の接合ができずその形状は判然としないが、破片 資料から推察すると曲線を重ねた装飾的なものになると考えられる。表・裏面および脚部裏側に、奉納 大正五年八月吉日 赤崎 島袋、□書や 仕□謹 []の文字と「丸に三つ星」の文様が陰刻され ている。上面の窪みは 10.8cm。高さ 25.55cm、横 28.45cm、幅 16.6cm、重さ 5,450 g。38 号墓(右垣) フク土出土。

同図9は、8の香炉に付随する台と見られる。色調は暗褐色を呈する。外面は三段の階段状になっている。縦22.95cm、横32.4cm、高さ7.0cm、台部の厚さ1.6cm、脚部の幅3.9cm。重さ4,300 g。38 号墓(右垣)フク土出土。

なお、図示できなかった資料は、43 号墓室(1 点)、45 号墓室(1 点)、表採(1 点)で、前者二点は 凝灰岩、後者は琉球石灰岩製である。



第70図(PL.51) 墓誌(1·2),石製品(3·4)、石斧(5)、砥石(6)、香炉(7~9)

第11節 円盤状製品

円盤状製品は 43 点得られた。ここでは、13 点図示した(第 72 図)。なお、図示した資料の計測値などについては、第 26 表に示す。

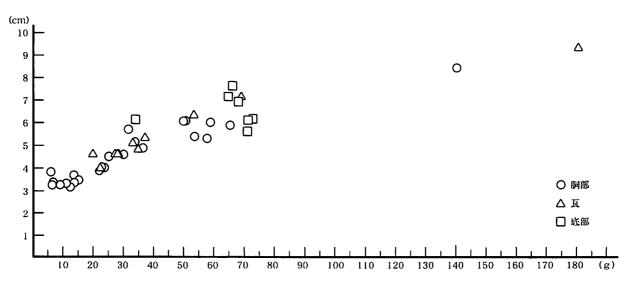
出土地を見ると、1 号墓 (12点)、4 号墓 (2点)、6 号墓 (2点)、8 号墓 (1点)、11 号墓 (1点)、17・18 号墓 (2点)、18 号墓 (1点)、19 号墓 (3点)、21 号墓 (5点)、24 号墓 (2点)、25 号墓 (1点)、32 号墓 (1点)、39 号墓 (1点)、41 号墓 (3点)、44 号墓 (1点)、45 号墓 (1点)、表採 (4点)で、16 基の古墓から検出されている。そのほとんどは墓庭からの出土であるが、4 号墓、41 号墓、44 号墓、45 号墓は墓室内から得られた資料がある。

用いられた素材としては、沖縄産陶器 (施釉陶器・無釉陶器・陶質土器)、瓦など在地の素材が主体である。その他に中国産磁器 (青磁、白磁)、タイ産陶器 (褐釉陶器) が使用されている。本土産陶磁器を利用した資料は得られていない。大きさは、3cm 台~9cm 台のものが得られており、特に3cm~6cm 台に集中している (第27表)。

重量と使用された部位の関係について見てみると以下のように 5 つのグループに分けられるようである。

	大きさ	重量	部位
1	3cm 台	20 g以下	胴部 (9点)
2	4cm 台	$20~\mathrm{g}\sim30~\mathrm{g}$	胴部 (5 点)・瓦 (2 点)
3	5~6cm台	$30~\mathrm{g}\sim40~\mathrm{g}$	胴部 (3 点)・瓦 (2 点)・底部 (つまみ:1 点)
4	5~6cm台	50 g以上	胴部 (6 点)・瓦 (1 点)・底部 (3 点)
5	7cm 台以上	60 g以上	底部 (3点)・瓦 (2点)

第71 図をみると、50 g を境に二分されるようで、小さく軽めのものは特に胴部を、大きく重いものは底部を利用する傾向にある。これらのことから円盤状製品は、製作時における重量・大きさの決定の際、使用する部位や種類を選択して用いることが示唆される。今後、さらに検討したい。



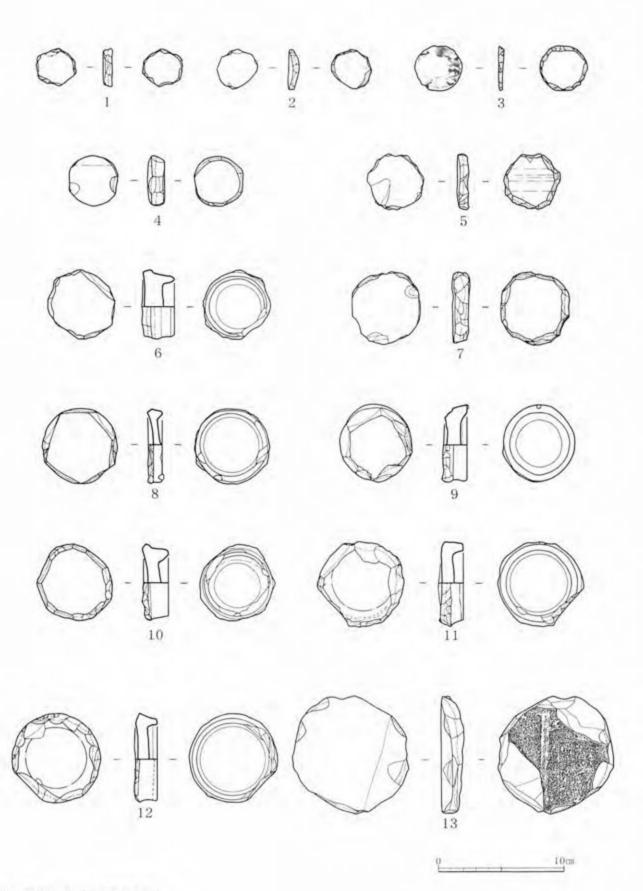
第71図 使用部位と重量・大きさの関係分布

第26表 円盤状製品計測一覧

産地 出土地 種類 器種 部位 完/破 最大径 最小径 厚さ 重さ 第72図1 PL.52の1 4号墓庭フク 嶽 胴部 32 2.6 0.7 8.8 タイ 褐釉 完 第 7 2 図 2 1 号墓庭フク PL.52 の 2 土 3.3 2.7 0.5 6.7 沖縄 施釉 碗 胴部 完 第72図3 39号墓庭(右 PL.52の3 垣)フク土 陶質土器 脳部 3.8 3.5 0.4 5.9 鍋 完 第72図4 1号墓庭フク PL.52の4 土 陶質土器 不明 3.9 1.3 22.6 冲繩 脳部 完 4.1 第72図5 4号幕室フク PL.52の5 土 油细 完 45 40 0.8 248 無納 不明 阻战 第72 図 6 18 号墓庭 (右 PL.52 の 6 隅) 肖磁 碗 底部 完 5.8 5.3 1.5 709 中国 第72図7 21号墓庭フ PL.52の7 ク土 無釉 不明 胴部 完 5.9 5.5 1.3 65.1 沖繩 <u>ッエ</u> 21 号墓庭フ ク土 第72図8 PL.52の8 5.9 0.6 33.9 沖縄 陶質土器 益 底部 完 6.1 第72 図 9 45 号墓室フ PL.52 の 9 ク土 1.2 71.8 沖繩 無釉 碗 底部 完 6.1 5.7 第72図10 32号墓庭フ PL52の10 ク土 第72図11 21号墓庭フ PL52の11 ク土 6.2 1.1 72.5 中国 白桜 5.5 驗 底部 * 1.0 沖繩 施納 * 7.0 66 67.7 驗 麻鄉 第72 図 12 17·18 号墓庭 PL.52 の 12 フク土 72 7.1 0.9 64.9 神細 施釉 碗 底部 完 第72図13 6号墓庭フク PL52の13 土 瓦(赤) 平瓦 胴部 完 9.4 8.4 1.4 1804 油塊 <u> 1 号墓庭フク</u> 14 無釉 霻 胴部 完 3.8 3.2 1.2 22.0 冲繩 1号墓庭フク 1.1 沖繩 15 瓦 (赤) 丸瓦 胴部 完 6.3 5.4 1号墓庭フク 沖縄 16 不明 胴部 52 4.9 0.9 33.8 無釉 常 1号墓庭フク 沖縄 17 完 5.7 4.7 0.8 31.3 施納 ŵ 脳部 1号墓庭フク 29 0.9 139 沖繩 18 無動 不明 脳部 完 34 1号墓庭フク 1.1 冲翻 19 無釉 不明 脳部 完 46 4.1 28.3 1号墓庭フク 20 無釉 不明 胴部 完 3.3 2.7 8.0 11.3 海鄉 1号墓庭フク 21 無釉 不明 胸部 完 6.1 5.1 1.0 51.5 沖繩 1号墓庭フク _ 0.9 冲繩 22 施釉 不明 胴部 1/3 1号幕庭フク 瓦(赤) 平瓦 4.0 1.5 28.6 冲靶 23 胸部 完 46 1.2 平瓦 沖鄉 6 号墓フク土 瓦 (赤) 開部 1/3 19.1 24 8号幕庭フク min 30 04 71 25 施釉 急須 胸部 宗 34 <u>-</u> 11 号墓庭フ ク土 1.2 26 瓦 平瓦 胴部 完 4.0 3.4 225 沖縄 17:18 号墓庭 27 無釉 不明 胴部 完 3.7 3.1 0.8 13.9 神鄉 19号墓庭フ 28 無釉 ğ 胴部 6.0 5.3 1.1 58.9 冲机 完 ク<u>土</u> 19 号 驀 庭 フ ク土 42 29 無釉 不明 胴部 完 5.0 1.2 36.4 <u>19号墓庭フ</u> クナ 30 不明 胸部 5.4 4.6 1.3 53.4 冲抑 無釉 完 ク土 21号墓庭フ ク土 21号 墓 (左 垣) フク土 4.5 5.3 16 沖細 31 無動 不明 阻部 完 576 冲抓 32 瓦 (灰) 不明 胴部 2/3 5.1 1.7 332 <u>__ ッツエ</u> 24号墓庭フ ク+ 33 瓦 平瓦 胸部 完 72 6.8 1.3 68.3 沖繩 24号墓フク 34 無釉 不明 胴部 完 8.5 7.3 1.5 140.1 冲翻 25号墓フク 35 瓦 (灰) 不明 胴部 1/2 46 1.5 19.9 冲繩 --41号墓室フ ク土 3.6 1.0 沖繩 36 無釉 不明 胸部 完 46 <u>- ユ</u> 41 号墓室フ ク土 37 不明 胴部 35 32 1.0 16.5 沖繩 無釉 完 <u>ノエ</u> 41号募室フ ク土 平瓦 4.5 神靶 38 瓦 (灰) 胸部 5.3 1.4 36.9 完 クエ 44 号募室フ ク土 沖繩 瓦 (赤) 平瓦 胸部 宗 4.9 42 1.3 34.9 39 40 表採 無釉 不明 胸部 完 6.1 5.5 nα 508 神都 41 表採 無釉 不明 胸部 完 40 36 1.0 23.7 油鄉 42 表採 施釉 Di 底部 完 7.6 7.5 0.9 66.0 神靴 43 表採 無釉 不明 胴部 完 3.1 2.7 1.0 124 沖縄

第27表 円盤状製品集計一覧

				·						
		不明	台 3	4 cm 台	5 65 台	0.50	7 6 台	0000	9 cm 台	습 at
+	青髓				1					1
産	白谜					1				1
タイ産	揭釉		1							1
	施釉	1	2		1		3			7
神	無釉		6	4	5	4		1		20
超産	陶質土器		1	1		1				3
	Б	1		4	2	1	1		1	10
	5 it	2	10	9	9	7	4	1	1	43



第72図(PL.52) 円盤状製品

第12節 銭 貨

銭貨は号墓不明を除き、32 基の古墓、53 地点から総数 712 点検出された。出土地点で多くみられたのが、庭フク土からで 312 点、次いで墓室フク土から 290 点、蔵骨器内からも 56 点検出された。また銭貨の種類では、有文銭は 120 点、近・現代銭は 20 点、無文銭は 572 点得られた。以下、有文銭、近・現代銭、無文銭に分けて概述する。

なお、拓影の掲載は渡来銭はすべて、寛永通宝、近代銭、無文銭は代表的なものから選んで掲げた。 米国の1セント等においては集計表 (第28表) だけにとどめた。それぞれの詳細については観察表 (第29~31表) を参照されたい。

有文銭 (第74~77図)

有文銭は判読不明銭を除いて、7種類確認された。その内渡来銭は5種類で、最も古いのが北宋時代の皇宋通宝、次いで熈寧元宝(北宋)、淳熈元宝(南宋)、洪武通宝(明)、乾隆通宝(清)が各1点ずつ得られた。洪武通宝においては明銭の他に本邦模鋳銭と考えられるもの(第74図5)も検出された。それらは明銭と比べ外径が約1.7cm、厚さも約0.6mmと小さく薄い粗悪なものである。

今回最も多く検出されたのが江戸時代の寛永通宝で、98点と全体の約8割を占めている。そのうち初期のもので古寛永といわれているのが 20点、寛文期以降に鋳造された新寛永が 75点確認された。背文は「文」が 1点、「元」が 5点見られた。また材質は銅の他に、磁気反応を示すことから、銅に鉄をまぜて作ったと考えられるもの(第 75 図 $7 \cdot 11$ 、第 76 図 $4 \cdot 6$)が 15点得られた。

近・現代銭(第78図)

明治以降の近代銭は総数 15 点検出された。種類は一銭、二銭、五銭、十銭の4種類で、時代も明治から昭和初期のものまで見られる。中でも多かったのが一銭で9点得られた。銭貨の文様や大きさは時代によって変化するが、特に材質は去る大戦との関わりから時代が下るにつれて、銅→アルミ→錫のようにしだいに悪化及び軽量化していく傾向にある。

無文銭 (第79図)

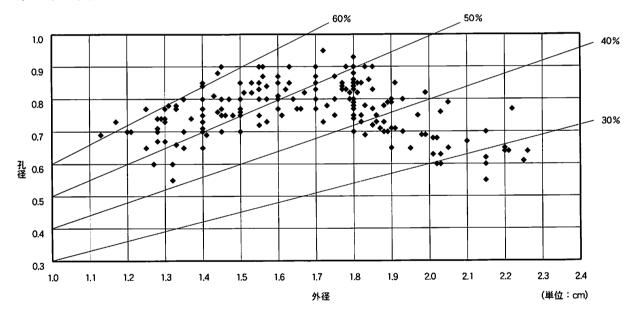
無文銭は号墓不明を除き24地点から、総数572点検出された。特に集中してみられたのが、45号墓室フク土からで167点得られた。これら多数の無文銭は、材質は全て銅であるが、形や大きさなどに様々な違いが見られる。ここでは、孔の形状の違いから3類に大別した。

- I類 孔の形が方形をしているもの。最も多く検出されているタイプであり、外径・孔径・厚さ等の大きさに幅がみられる。そのため、外径、孔径の外径に占める割合(第73回)、厚さから4つに細分を試みた。
 - 1. 外径が 2.1cm 以上で、厚さが約 0.9mm、孔径/外径の割合が 30%前後もの。有文銭とあまり大差がない(第 79 図 $1\sim4$)。
 - 2. 外径が 1.7 ~ 2.1cm 未満で、厚さが約 0.7mm、孔径/外径の割合が 30 ~ 40% もの(同図 5 ~ 10)。
 - 3. 外径が $1.7\sim1.9$ cm 未満で、厚さが約 0.6mm、孔径/外径の割合が $40\sim50\%$ もの(同図 $11\sim$

16)。

- 4. 外径が 1.7cm 以下で、厚さが約 0.6mm、孔径/外径の割合が 50~60% もの (同図 17~30)。
- ■類 孔の形が円形のもの。外径が1.2cm 以下と非常に小さく、孔径が外径に対して極端に大きい。 貨幣かどうかという点で疑問は残る。以下、外径と厚さから2つに細別した。
 - 1. 外径が 1cm 以上もので厚みが 0.5mm 以下と非常に薄いもの (同図 31 ~ 34)。
 - 2. 外径が 1 cm 以下の極小のもので、厚みが 0.5 nm 以上のもの(同図 $35 \sim 45$)。 その中でも、約 0.1 cm の厚手のものは断面形が丸みをおびた台形状をしており、大きさも約 0.7 cm と統一されており、本体にはバリと見られるものが残っている(同図 $40 \sim 45$)。
- Ⅲ類 輪郭および孔が隅丸方形状で、形が崩れた感じのものである。外径は約 1.5cm 前後、孔径が約 0.8cm、厚さが約 0.5mm ものがほとんどである。例外として、 $3 \sim 4$ 枚ほど 1.5cm 以下のものもある(同図 $46 \sim 48$)。

第73図 無文銭 | 類の孔径/外径の散布図



参考文献

- 1. 永井久美男 編 『日本出土銭総覧 1996 年版』 兵庫県埋蔵銭調査会 1996
- 2. 同上 『中世の出土銭』 兵庫県埋蔵銭調査会 1994
- 3. 陸原保 編 『改訂版 東洋古銭価格図譜 全 志庵蔵版』 万国貨幣洋行 1970
- 4. 丁福保 他 『歴代古銭圓説』 陝西旅游出版社 1990
- 5. 内間靖 「第Ⅴ章 第5節 銭貨」『銘苅古墓群Ⅱ』 那覇市教育委員会 1999
- 6. 後藤順一 他 『汐留遺跡』 汐留地区遺跡調査会 1996
- 7. 是光吉基 「国内出土のいわゆる「無文銭」について」 『考古論集―潮見治先生退官記念論文集』 同記念事業会 1993

第28表 銭貨出土一覧

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 文载			781	<u> </u>							££	, 21	U #			近			_	_				şţ		文		li	_			_	T	₩ 120 衣 数复山.	
1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1		_	Τ.			 		2512	IU45	Tin	152		_	2 10			NI.	£t	7,	£t	-					批武		MD arts		Т	i4:	4 水道	4	\vdash	V₀ H:+₩-5	No.
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	i 型 小 i 数 計	小計	小計				小計		_		-	-	+-	9	_	-	M	_	-	_	_	小計	不明	乾隆	IO.	BR	浮熙 元宝	熙寧 元宝	显宋		_	_		-	III.L. SEAN	. •••
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	+	-	+-	\dashv		H		970	~ 1	106 ~	198	<u>``</u>	1 1/1		+	+:	M	-3	<u> </u>	3	<u>ٺ</u>		_	_	120	-91				_	+	+	1.1	ť	1 り長真安フケナ	_
2	+-+-		+	-	_	 	_			+	├-,	\dashv	╁		\dashv	+	-	-		 						-		_		+	+	H.		+		
1 日	++-		+-	\dashv		 	<u> </u>			+	_	\dashv	╁		┥	╁	-			┝	_			_						┪	1	<u> </u>		╁		_
5 79年間	+		+-	\dashv		H			_	+	L'	ᅱ	╀		\dashv	╁	├			_	-	_								╗	+-	+		+		
□ 910 의용생각으로 이 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	+		╆	\dashv		 				┿	┢	ᅥ	┿	_	\dashv	╁	┝			\vdash	 	_					-			╗	-	-	- 3	╁		_
日 : 1 日 :	+		+	\dashv	 				_	+		_	╁		\dashv	╁			_	┝	-	10	_	_			-			\dashv	+	H	-,	╁		
8 1379교72년 - 1 1 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	+-+		┿	\dashv	\dashv	_	'			+-	_	\dashv	+-		\dashv	+	├	_		┝	-				_					┪	╁	١-,		╁		
9 1450월279는 1 2 1 1 1 149월279는 1 2 2 1 1 1 1 149월279는 1 2 1 1 1 149월279는 1 2 1 1 1 149월279는 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	+-+	+	+	\dashv						+		\dashv	+		\dashv	+-				_	-	-	_	_		-	\dashv	-	_	\dashv	+	<u> </u>		╁		
13 14 15 15 15 15 15 15 15	+-	\dashv	╀	\dashv	\dashv	<u> </u>	1			╁	_	-	-		-4	+	_				_	_	-		_		\dashv	-		\dashv	+	Η,	_	╁		
1. 13 日発化プクト	+		₩	\dashv	_	⊢				╁		\dashv	+-		\dashv	+				_	-				_	\dashv				┥	+		_	╁		_
13 15-16-15-16-19-19-72	+-+	-	+	\dashv		\vdash				╀	 .	\dashv	₩		\dashv	╁	_			_		-1			_					\dashv	+	-		╀		_
13 15-16 카페앤 7 2		_	╀	_	_	<u> </u>	1			1		-	┼-		\dashv	╁	_						_			-	_	-	_	+	╁	├		╁		_
14 16 95 現在 1 16 97 現在 1 1	6 2	22	1 22	_	16	6				+		4	╀		4	+	_						-			-	_	-		+	+	١.		╀		
15 15 15 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25	+	\dashv	╄	_	4					╀	<u> </u>	4	╀		4	╀	_			_		-4	-	_					_	\dashv	4	<u> </u>		╀		_
16 17 17 18 18 18 18 18 18		39	+	-	-	26				1		4	╄		4	┼	_			<u> </u>	_		-1	_	_					+	╀	┢	_	╀		_
17 17-18 78 88 できかた		13		1	_	\square				+		4	╀		4	+	_				_			-			\dashv		_	+	+	⊢.	_	╀		_
18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 1		7	+		_1	-		_		╄		_	┼		4	+	_				_	- 2		_	-		\dashv	_	-	4	1	- -	_	╀		
19 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		1	+			-			_	╀	<u> </u>	4	1		4	1	_					_			\dashv	_	_			4	+	<u> </u>		\vdash		
20 195条電子フト	+	2	↓ :			2		_	_	1		4	_		4	+	_				-	$\overline{}$			\dashv			_	1	4	+			╀		
22 19年発音的対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対	+	4	↓_	_	_					╀		4	<u> </u>		4	╄						5	$\frac{2}{ }$		_	_		_	\dashv	4	1	3		╀		_
22 21月高麗ファ王	5 1	12	13	\dashv	- 5	7	-4		_	╀		1	_	1	4	4_	1					_	_	_				\dashv		4	_	<u> </u>	_	╀		_
23 21号級計	+	_#_	igspace	_	_				_	\bot		4	┺		4	╄						-	2		-			-		4	1	7	2	╀		_
22 25 有分下土 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	+	_#	┺			_			_	↓_		4	↓_		4	_						1			_	-1	_	\dashv	_	4	╄	<u> </u>	_	╀		
25 22 月孫守 フナ	9	9	<u> </u>	_	9	Щ			_	_		_	<u> </u>		4	↓_						_	_		_	_	_		_	4	↓ _	_		-		_
25 25 25 25 25 25 25 25	$+\!+\!$	-	上	_			_1		_1	1		_	<u> </u>		\dashv	╄						-1	_		_		_	_	_	4	╄	_	1	L		_
27 23 日発度ファナ 2 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1	$\perp \perp$	L	퇶				1		_	_		4	<u> </u>		4							1	_			_	_	_	_	4	_	1		L		-
28 24号電ブク土 2 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	$\perp \perp$		ot	_		Ш	_	_				_	<u> </u>		4	<u> </u>						-	1	_	_	_		_	_	4	ـ	_	_	<u> </u>		
29 24号程でフナ 2 7		2	+		1	1	1		_			4	<u> </u>		4				_1			-	1	_		_	_	_	_	4	1	2	_	_		$\overline{}$
30 24 幕宏(左側南名)フク土 31 31 31 24 号級安置食物開入 1 P	5 6	67	67		66	1	_		4	╙		4	L		4	_							_		_	_	_		_	4	↓_	L.	_	╀		-
33 24号表皮養付着内外 2内 3 3 3 3 3 4 5 5 5 7 5 4 5 5 5 7 5 4 5 5 5 7 5 5 4 5 5 5 7 5 5 4 5 5 5 7 5 5 4 5 5 5 7 5 5 4 5 5 5 7 5 5 4 5 5 5 7 5 5 4 5 5 5 7 5 5 4 5 5 5 7 5 5 4 5 5 5 5	0 2 8	85	: 85	2	10	73				上		\perp	1		┙	_						9		\dashv		_	_	_	_	4	1	7	2	L		_
32 24号展安政義行器内外22円	3	31	31	_	_	31			_	╙		4	<u> </u>		4	_						_		_	_	4	_	_	_	4	<u> </u>	_	_	_		-
33 26 号幕曜フク土 1 2 1 1 2 1 1 8 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		3	3	\sqcup		3				_		_	_		\downarrow	L			_					\perp	_	_	_	_		4		ļ	_	L		-
31 31号展 F 7 クナ 1 2 2 1 1 8 3 3 1 5 高 F 8 位 7 クナ 2 5 5 1 1 8 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 '	9	9	\Box	1	- 8			_	L		_	_		┙	$oxed{oxed}$			_	_				_		_	_	_	_	4	<u> </u>			L		-
35 32 54 64 72 72 73 74 74 74 74 74 74 74	$\perp \perp$	\perp	上	\Box		Ш			_	<u> </u>		\perp	ㄴ		┙	_						1		_			_	_	_	4	_	<u> </u>		_		_
36 32号度 (右側)		$\perp \!\!\! \perp$	╙		\Box				_	┖		\perp			1	<u> </u>			_			3			_			_	_	4	-	_	-1	Ļ		_
37 32号章ロクナ			L												\perp				\Box			8		1				_	_	4	_	5	2			-
38 32号森ロフク土 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									_	L		\perp			┙							4			_				_	4		4		L		-
39 32号章口(右側) 1 <td< td=""><td></td><td></td><td>L</td><td></td><td>\Box</td><td></td><td>1</td><td>1</td><td></td><td>L</td><td></td><td></td><td>L.</td><td></td><td>\perp</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>_ </td><td> </td><td>\Box</td><td></td><td></td><td></td><td>_ </td><td>\perp</td><td><u> </u></td><td></td><td>_</td><td></td><td></td><td>-</td></td<>			L		\Box		1	1		L			L.		\perp								_		\Box				_	\perp	<u> </u>		_			-
40 35号嘉庭7夕土 4 4 6 7 6 7 6 7			L		\Box					<u> </u>		\perp			\perp	_						ı	_				_		_	4	_	1	_	L		
41 36号森宝フク土 4		$\perp \! \! \! \! \! \! \! \! \! \! \! \! \! \! \! \! \! \! \!$	L												\perp							ı					_	\perp	_	4		1	_	L		-
42 36 与嘉庭フク土 1 <td< td=""><td>) 3:</td><td>33</td><td>33</td><td></td><td>30</td><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td>_</td><td></td><td>┙</td><td><u> </u></td><td></td><td>┙</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>_</td><td></td><td></td><td>_</td><td></td><td>_</td><td>_</td><td>\perp</td><td>_</td><td>\perp</td><td>_</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>_</td></td<>) 3:	33	33		30	3				_		┙	<u> </u>		┙						_			_		_	_	\perp	_	\perp	_					_
43 36号墓口フク土 1 <td< td=""><td></td><td>_1</td><td>—</td><td>\Box</td><td>\Box</td><td>1</td><td></td><td>[</td><td></td><td>L</td><td></td><td></td><td>L</td><td></td><td>\perp</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td> </td><td></td><td> </td><td> </td><td>ļ</td><td>_ </td><td></td><td></td><td>_ </td><td>4</td><td>-</td><td>_</td><td>_ </td><td>_</td><td></td><td></td></td<>		_1	—	\Box	\Box	1		[L			L		\perp										ļ	_			_	4	-	_	_	_		
44 37号幕庭フク土 1 1 1 3 5 1 45 38号幕庭フク土 1 20 20 20 20 20 1 1 20 1 1 1 20 1	5 1 3	37	37	1	35	1	1		\perp	L								1					_	[ļ	\perp	_	1	_	1	_	L		_
45 38号庭庭フク土 1 <td< td=""><td></td><td></td><td>oxdot</td><td>\bot</td><td>$_I$</td><td></td><td></td><td>\Box</td><td>╝</td><td>Ĺ</td><td></td><td></td><td>Ĺ</td><td></td><td>\perp</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>\perp</td><td></td><td>[</td><td> </td><td>_ </td><td>\perp</td><td>\perp</td><td>1</td><td>L</td><td></td><td>1</td><td>L</td><td></td><td></td></td<>			oxdot	\bot	$_I$			\Box	╝	Ĺ			Ĺ		\perp							1	\perp		[_	\perp	\perp	1	L		1	L		
46 38 号嘉庭 (右厢) フク土 4 15 1 20 20 20 20 1 <t< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td><td></td><td>J</td><td>L</td><td></td><td>floor</td><td>Ĺ</td><td></td><td>3</td><td></td><td>_1</td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>[</td><td></td><td></td><td>[</td><td>\perp</td><td>_ </td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td>_</td><td>_</td><td></td><td></td></t<>							5		J	L		floor	Ĺ		3		_1		1				[[\perp	_		1			_	_		
47 39号森庭フク土 1		1	I		\Box	- 1				Ĺ		J	Ĺ	_7	\int	\Box	_]	1							_[\perp	-	_	\Box	L		\rightarrow
48 40号蔡室 1 <t< td=""><td></td><td>2</td><td>2</td><td></td><td></td><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>\prod</td><td>Ĺ</td><td></td><td>\int</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td>15</td><td>-</td><td>-</td><td></td><td>\rightarrow</td></t<>		2	2			2						\prod	Ĺ		\int							20								1		15	-	-		\rightarrow
49 40号嘉庭7夕土 1		1	1			1						floor			J	\Box					\Box	2			\prod	[\Box	1		\Box		1	L		-
50 41号嘉室フク土 2 1 2 1 2 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 4 3 4 3 4					\Box	\Box									floor							-#								1		1	\perp	L		-
51 43号墓室7夕上 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 13	13	13	1		12			J	Γ		I			\int	\Box	_		\Box]	-#	5	\Box		\Box	ı	1		\perp	L			L		\rightarrow
52 41号幕庭77十 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			Γ	\Box	\Box	J						\prod			Ι							2										2				-
53 45 号稿室フク土 4 1 5 5 5 132 6 5 54 号稿不明 5 6 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 6 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 </td <td></td> <td></td> <td></td> <td>\Box</td> <td>\Box</td> <td>\Box</td> <td></td> <td></td> <td>╗</td> <td></td> <td></td> <td>Ţ</td> <td></td> <td></td> <td>J</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>_]</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>\Box</td> <td>\Box</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>Ĺ</td> <td>1 43 号墓室フク上</td> <td>51</td>				\Box	\Box	\Box			╗			Ţ			J				_]			1			1			\Box	\Box					Ĺ	1 43 号墓室フク上	51
54 号寫不明		ı	ı		\Box	1	_ i		_1			_					_			- 1				J				$oldsymbol{ol}}}}}}}}}}}}}}}}$		\int	Ĺ				2 44 号幕庭フク土	52
	3 29 167	67 1	167	29	6	132		Ţ	\Box			_			T							5	1		4	\Box		\Box	\Box	\int	L				3 45 号幕室フク土	53
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1:	13	13	\neg	-	12						\top			T		_											\Box	\Box	I			\Box	Ĺ	4 号幕不明	54
43t 20 75 3 1 1 1 1 5 1 12 120 1 1 2 1 2 5 1 2 3 1 1 1 20 332 202 1 4 3 4 5 5 1 1 2 1 3 1 1 2 1 3 1 1 2 1 3 3 1 3 2 202 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	2 38 572	572 7	572	38	202	332	20	1	1		_ 3	2	[]	1	5	[[2	1	2	- 1	1	120	12	1	5	1	1	1	1	3		75	20	2	4-åt	
合計 98 1 1 1 6 1 12 120 2 3 8 2 3 1 1 20 332 202 3	38 572	572 7	572	38	202	332	20	ı	ı		3	2	:	8				3		2		120	12	1	6		1	1	1	8	98			Ĺ	行計	

※古=古寛永 新=新寛永 不=不明 ※M=明治 T=大正 S=昭和 ※明=明銭 模=模鋳銭

第29表 銭貨観察一覧

# 23 X	双貝凱尔 見						法量(c	m • ø)			
挿図番号 図版番号	出土地点	銭貨名 (種別)	国名	初鋳年	背文	外径	孔径	厚さ	重量	材質	備 考
第74図1 PL.53の1	39 号墓庭フク土	皇宋通宝	北宗	1038	なし	2.45	0.78	0.10	2,3	銅	楷書
" 2 " 2	40 号墓庭フク土	熙寧元宝	北宗	1068	なし	2.45	0.68	0.13	3.6	#	構改
" 3 " 3	"	淳熙元宝	南宗	1189	十六	2.37	0.61	0.12	3.2	"	楷書
" 4 " 4	21 号幕庭フク土	洪武通宝	明	1368	浙?	2.36	0.58	0.13	2.5	銅	楷掛
" 5 " 5	45 号募室フク土	洪武通宝	_	-	なし	1.65	0.75	0.06	0.4	銅	模鈅銭
" 6 " 6	32 号墓庭フク土	乾隆通宝	消	1736	満州 文字	2.36	0.55	0.11	3.3	n	満州文字で左に資、右 に工部資源局 (註 4)
" 7 " 7	22 号墓庭フク土	不明	不明	-	不明	_	_	0.11	1.0	"	下に武と左に資の文字 だけ読み取れる
" 8 " 8	7号墓庭フク土	寛永通宝(古)	江戸	1636 以降	なし	2.50	0.60	0.11	3.4	鋓	
" 9 " 9	"	"	"	Ħ	"	2,44	0.55	0.11	3.1	"	
" 10 " 10	"	"	H	Я	"	2.47	0.58	0.10	3.0	"	
" 11 " 11	19号墓室蔵骨器Na 1 内	"	n	n .	"	2.50	0.57	0.11	2.6	n	
" 12 " 12	22 号慕フク土	"	n	"	"	2.45	0.53	0.13	3.6	"	
" 13 " 13	23 号嘉庭フク土	"	"	"	n	2.41	0.54	0.12	3.5	"	
" 14 " 14	24 号墓庭フク土	"	n	"	n	2.44	0.55	0.11	2.7	"	
" 15 " 15	24 号墓室フク土	"	"	#	n	2.52	0.55	0.16	4.2	н	
第75図1 PL.54の1	H	"	,,	"	"	2.42	0.57	0.14	4.1	"	
" 2 " 2	32 号幕庭フク土	"	"	n,	"	2.43	0.57	0.10	3.2	#	
" 3 " 3	n	H	"	n	"	2.41	0.60	0.10	2.9	n	
" 4 " 4	36 号墓口フク土	n	n	n	n n	2.40	0.55	0.11	3.3	n	
" 5 " 5	39 号幕庭フク土	"	n	и	"	2.45	0.54	0.15	3.9	"	
" 6 " 6	40 号幕室	寛永通宝(文)	"	1668	文	2.50	0.57	0.15	4.0	"	鋳造地:江戸亀戸
" 7 " 7	2号墓室フク土	寛永通宝(新)	"	1697 以降	元	2.31	0.53	0.11	2.5	銅鉄	鋳造地:大阪高津?
" 8 " 8	7号墓庭フク土	"	"	n	元	2.28	0.61	0.12	2.4	"	"
" 9 " 9	38 号墓庭(右垣)フク土	п	"	n	元	2.22	0.52	0.09	2.1	"	"
" 10 " 10	4号墓庭フク土	n	"	n	なし	2.35	0.62	0.10	2.4	銅	
" 11 " 11	6号墓フク土	"	"	"	"	2.19	0.60	0.11	2.5	鋼鉄	
" 12 " 12	7号墓庭フク土	"	"	"	"	2.48	0.57	0.15	4.1	銅	
" 13 " 13	北11号墓庭フク土	"	"	"	"	2.37	0.60	0.10	2.5	"	
" 14	14 号墓室フク土	"	"	"	"	2.32	0.66	0.09	2,3	"	
" 15 " 15	14号墓庭フク土	n	,,	"	"	2.46	0.60	0.10	2.7	"	
第76図1 PL.55の1	n	"	"	"	"	2.38	0.63	0.10	2.5	"	
" 2 " 2	18 号墓庭フク土	"	"	"	"	2.32	0.61	0.10	2.3	"	
" 3 " 3	19号墓室蔵骨器№1内	,,	,,	"	"	2.40	0.67	0.10	2.4	"	
" 4	"	,,	"	"	"	2.35	0.57	0.15	3.3	銅鉄	
" 5 " 5	22号墓室フク土	"	n	"	"	2.48	0.60	0.15	4.0	銅	
" 6 " 6	23 号墓庭フク土	"	"	"	"	2.33	0.69	0.11	2.7	銅鉄	
" 7 " 7	"	n	"	"	"	2.42	0.61	0.10	2.8	銅	
" 8 " 8	24 号墓庭フク土	<i>y</i>	"	н	"	2.37	0.68	0.11	2.8	"	

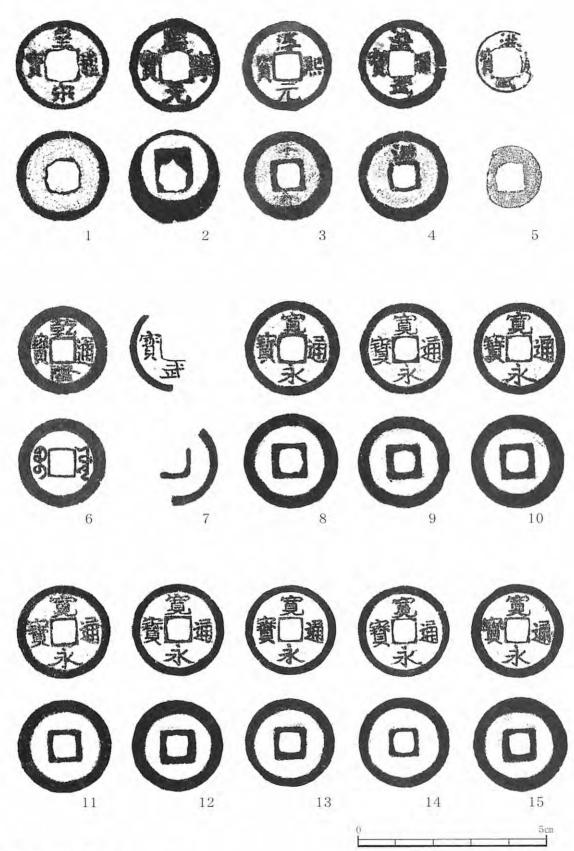
" 9 " 9	24 号墓庭フク土	寛永通宝(新)	江戸	1697 以降	なし	2.40	0.63	0.09	2.2	銅	-
	24 行起庭ノソエ	是小姐玉(村)	111)	1037 2014	/4.0	2.40	0.00	0.00		P(')	
" 10 " 10	n	"	"	n	"	2.21	0.67	0.09	2.0	"	
" 11 " 11	"	"	"	n	"	2.45	0.60	0.11	3,2	*	
" 12 " 12	26 号墓室フク土	"	"	n	"	2.31	0.60	0.10	2.5	"	
" 13 " 13	31 号墓上フク土	"	"	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	H	2.45	0.60	0.11	2.9	"	
" 14 " 14	32 号墓庭(右側)	"	"	"	H	2.32	0.63	0.10	2.7	"	
" 15 " 15	"	"	"	"	"	2,38	0.65	0.12	3.1	"	
第77図1 PL.56の1	31 号墓上フク土	"	"	_	不明	2.50	0.58	0.13	不明	"	蔵骨器の底にくっつい て出土している
" 2 " 2	32 号墓ロフク土	,,	"	,,	"	2.30	83.0	0.10	2.4	"	
" 3 " 3	36 号墓室フク土	"	"	"	"	2.35	0.58	0.12	3.1	"	
" 4 " 4	36 号墓庭フク土	n	"	"	"	2.31	0.67	0.10	2.4	"	-
" 5 " 5	38 号墓庭(右垣)フク土	"	"	"	"	2.40	0.60	0.10	2.7	"	
" 6 " 6	п	"	"	"	"	2.32	0.60	0.09	2.2	H	
" 7 " 7	"	"	"	n	"	2.44	0.60	0.10	2.7	"	
" 8 " 8	n	"	"	"	"	2.45	0.61	0.11	3.2	"	
" 9 " 9	"	"	"	"	"	2.31	0.68	0.10	2.3	"	
" 10 " 10	38 号墓庭フク土	"	"	"	н	2.30	0.71	0.10	2.1	"	

第30表 銭貨観察一覧

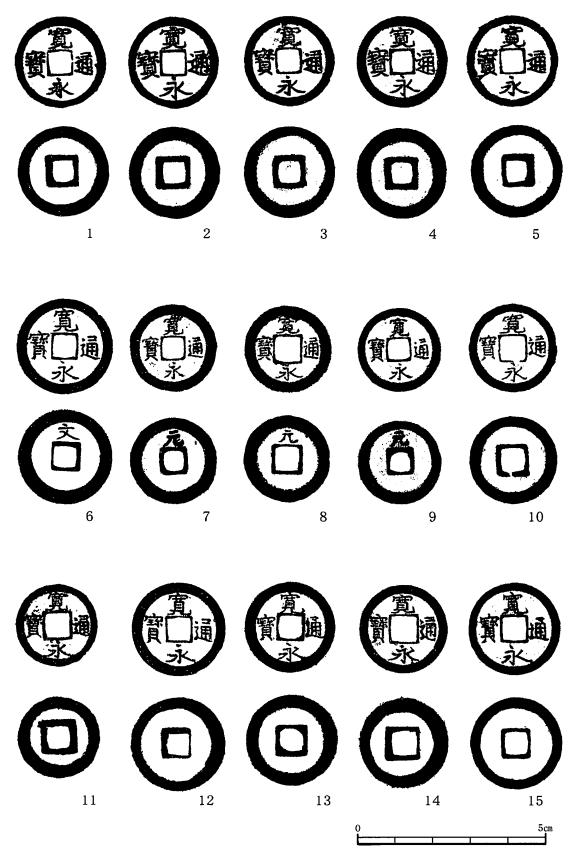
挿図番号	th L We de	96.45.A	i	法量 (0	:m • g))	+ + #f	文字・	文様等	備考
図版番号	出土地点	銭货名	外径	孔径	厚さ	重量	材質	表	Ϋ́	地考
第78図1 PL.57の1	9・10 号墓庭 フク土	十銭	2.21	0.46	0.15	3.6	白銅	中央の円孔を8 枚の日介を7 が 明む大田・本本、ド 明む大田・本本、ド は大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田 が である。 では、その間になる。 で現め戻くされて、巡輪 内側は点の個線を第一次のである。 大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大	中央に円孔。外輪は上に菊花 文、右に十、左に線の文字、 下に桐葉文を配す。輪郭内側 は表と同じ。	
" 2 " 2	44 号墓庭 フク土	н	1.95	0.52	0.19	2.4	錫	中央に円孔。外輪は上に大日本、下に昭和十九年の文字。 文字を区切るように左右に点 を1個づつ配す。	中央に円孔。外輪は上に菊花 文、右に十、左に銭の文字、 下に楊菜文を配す。	
" 3 " 3	37 号墓庭 フク土	五銭	1.91	0.35	0.13	2.6	白銅	中央の円孔を8枚の花弁文が 囲む。外輪は上に大日本、下 に大正十一年の文字を配す る。輪郭内側には点の圏線。	中央に円孔。上に頻花文、右 に五、左に線の文字、下に桐 葉文を配す。輪郭内側は表と 同じ。	
" 4 " 4	36 号墓庭 フク土	"	1.9	_	0.19	1.2	アルミ	中央に放射状の線を背景に羽 を広げる鳥文。外輪は上に大 日本、下に昭和十六年の文字 を配する。輪郭内側には点の 圏線。	中央に雲を背景にした菊花 文、それを挟み上に五、下に 銭の文字を配す。輪郭内側は 表と同じ。	緑刻み
" 5 " 5	37 号墓庭 フク土	一銭	2.8	_	0.15	6.9	銅	中央に点の圏線で囲まれた能 文。館のウロコは角ウロコと 館のウロである。外輪・ ドボれる一切である。外輪・ 上がら右回りにすると 日本・明治十年の文字を配す る。輪郭内側には南中状の圏 線。	中央に一銭の文字。外輪は上に質花文、その右側に以百枚、 た側に横花文、その右側に以百枚、 た側に使一側の小さな文字。 下は右にのびる菊と左にのび る相を根元で東ねた模様が配 されている。輪郭内側は表と 同じ。	
" 6 " 6	40 号墓室	"	2.79	_	0.15	6.9	銅	上記と同じ構成。 年号は明治 十八年。 龍のウロコは波ウロ コと呼ばれるものである。	上記と何じ。	
" 7 " 7	6 号幕 フク土	n	2.3	_	0.12	3.6	銅	中央に桐葉文。外輪は上に大日本、下に大正七年の文字、 その文字をと切るように左右 に小さな桜花文を L 個づつ配 す。輪郭内側には点の圏線。	中央に二瓜の圏線で囲まれた 一銭の文字。外輪は唐草状の 草花文を配す。輪郭内側は表 と同じ。	!
" 8 " 8	37 号墓庭 フク土	"	2.31	_	0.13	3.6	鋓	大正八年の文字以外上記と同じ。	上記と同じ。	
" 9 " 9	19号墓庭 フク土	11	1.75	_	0.16	0.9	アルミ	中央に羽ばたく鳥文。外輪は 上に大日本、下に昭和十四年 の文字、両文字の間左右に1 個づつ小さな桜花文を配す。 輪郭内側には点の圏線。	中央に6枚の花弁文に囲まれた一銭の文字。外輪は上に菊 た一銭の文字。外輪は上に菊 花文、下に桐葉文を配す、そ の間は波模様で埋め尽くされ ている。輪郭内側は表と同じ。	
" 10 " 10	19 号墓庭 フク土	二銭	3.2	_	0.24	13.6	鈅	中央に点の圏線で囲まれた能文。配のウロコは波ウロコと 吹ばれるものである。外域 上から右回りに2SEN・大 日本・明治十五年の文字を配 する。輪郭内側には南東状の 関線。	中央に二銭の文字。外輪は上に類花文、不つ右側に五十枚、 に類花文、一般の右側に五十枚、 左側に換一個の小さな文字。 下は右にのびる朝と左にのびる る柄を根元で東ねた模様が配 されている。輪郭内側は表と 同じ。	
" 11 " 11	22 号墓室 フク土	n	3.19	_	0.21	13.4	銅	明治十四年の文字以外、上記 と同じ構成。	上記と同じ。	

第31表 銭貨観察一覧

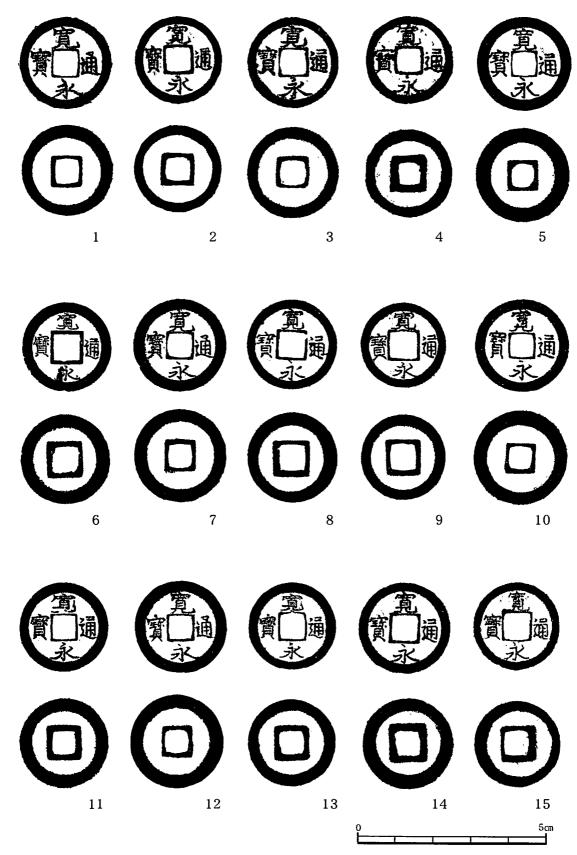
挿図番号・図版番号	出土地点	分類		法量 (c	:m • g)		孔径/外径	備考
	III-LARW	刀椒	外径	孔径	厚さ	重量	(%)	UHI *5
第79図1・PL.58の1	40 号墓庭フク土	I - 1	220	0.64	0.10	2.43	29.1	
" 2 • " 2	11	"	2.15	0.70	0.09	1.43	32.5	-
" 3 · " 3	11	"	221	0.75	0.08	1.65	33.9	
" 4 · " 4	"	"	228	0.65	0.09	2.00	28.5	
" 5 · " 5	24 号墓安置蔵骨器Na 2 内	1 - 2	2.01	0.63	0.07	0.94	30.2	
" 6 · " 6	24 号墓庭フク土	"	2.03	0.60	0.09	1.22	29.6	
" 7 · " 7	"	"	2.05	0.78	0.07	1.05	38.3	
" 8 · " 8	n	"	1.90	0.71	0.07	1.13	37.4	
<i>"</i> 9 · <i>"</i> 9	n	"	1.83	0.69	0.05	0.63	38.0	
" 10 · " 10	24 号墓室(左側崩落)フク土	"	1.89	0.70	0.06	0.81	36.4	
" 11 · " 11	23 号幕庭フク土	I - 3	1.89	0.69	0.05	0.68	41.8	
" 12 · " 12	24 号墓庭フク土	"	1.84	0.86	0.05	0.53	47.0	
" 13 · " 13	"	"	1.80	0.85	0.06	0.47	47.2	
" 14 · " 14	24 号墓室(左側崩落)フク土	"	1.80	0.83	0.06	0.60	46.1	
" 15 · " 15	"	"	1.77	0.85	0.70	0.71	48.0	
" 16 · " 16	n	"	1.70	0.80	0.05	0.48	47.1	
" 17 · " 17	24 号墓庭フク土	1 – 4	1.63	0.90	0.06	0.43	55.4	
" 18 · " 18		, ,	1.62	0.83	0.05	0.45	51.2	
" 19 · " 19		,,	1.60	0.85	0.06	0.37	53.1	
" 20 · " 20	24 号幕庭フク土	,,	1.57	0.80	0.07	0.50	50.9	
" 21 · " 21	24 号幕室(左側崩落)フク土		1.57	0.75	0.07	0.36	47.7	
" 22 · " 22	24 号墓庭フク土			0.73	0.08	0.54	51.3	
" 23 · " 23	2年与歴度ノブエ	"	1.50					
		-	1.41	0.69	0.05	0.40	48.9	
		"	1.40	0.80	0.05	0.30	57.1	
" 25 · " 25	04 🗆 # 💯 🖚 🕨	"	1.42	0.80	0.06	0.33	56.3	-
	24 号墓庭フク土	"	1.40	0.75	0.06	0.41	53.9	
" 27 · " 27	16号募募目	"	1.33	0.78	0.06	0.26	58.6	
" 28 · " 28	24 号墓庭フク土	"	1.35	0.70	0.08	0.36	52.2	
" 29 · " 29	"	"	1.28	0.71	0.05	0.24	55.5	
" 30 · " 30	n	"	1.21	0.71	0.04	0.23	58.3	
" 31 · " 31	n .	II - 1	1.13	0.74	0.03	0.10	65.5	
" 32 · " 32	36 号墓庭フク土		1.02	0.80	0.05	0.07	78.4	
" 33 · " 33	45 号墓室フク土		1.02	0.75	0.04	0.09	73.5	
" 34 · " 34	"	"	1.05	0.75	0.03	80.0	71.4	
" 35 · " 35	24 号墓室フク土	11 - 2	0.80	0.55	0.08	0.06	68.7	
" 36 · " 36	n	"	0.79	0.57	0.06	0.05	72.1	
" 37 · " 37	"	"	0.78	0.51	0.06	0.07	65.3	
" 38 · " 38	"	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	0.80	0.50	0.06	0.05	62.5	
" 39 · " 39	35 号墓庭フク土	"	0.73	0.55	0.06	0.04	75.3	
" 40 · " 40	36 号墓庭フク土	"	0.67	0.41	0.09	0.11	61.2	
" 41 · " 41	"	"	0.69	0.35	0.09	0.12	50.7	
" 42 · " 42	"	"	0.68	0.33	0.10	0.14	48.5	
" 43 · " 43	"	"	0.67	0.31	0.10	0.14	46.2	
" 44 • " 44	"	"	0.67	0.37	0.10	0.13	55.2	
" 45 · " 45	"	"	0.68	0.35	0.09	0.12	51.4	-
" 46 · " 46	45 号募室フク土	133	縦 1.42 横 1.50	0.79 0.83	0.04	0.28	55.4	
" 47 · " 47	,,	n	縦 1.50 横 1.45	0.85 0.89	0.04	0.28	59.1	
" 48 · " 48	n	"	縦 1.45 横 1.50	0.79 0.85	0.05	0.32	55.7	



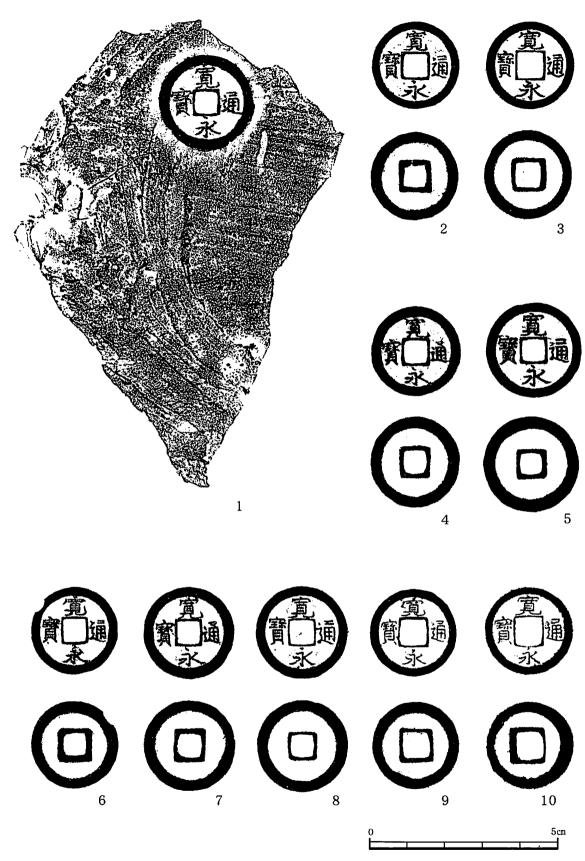
第74図(PL.53) 銭貨



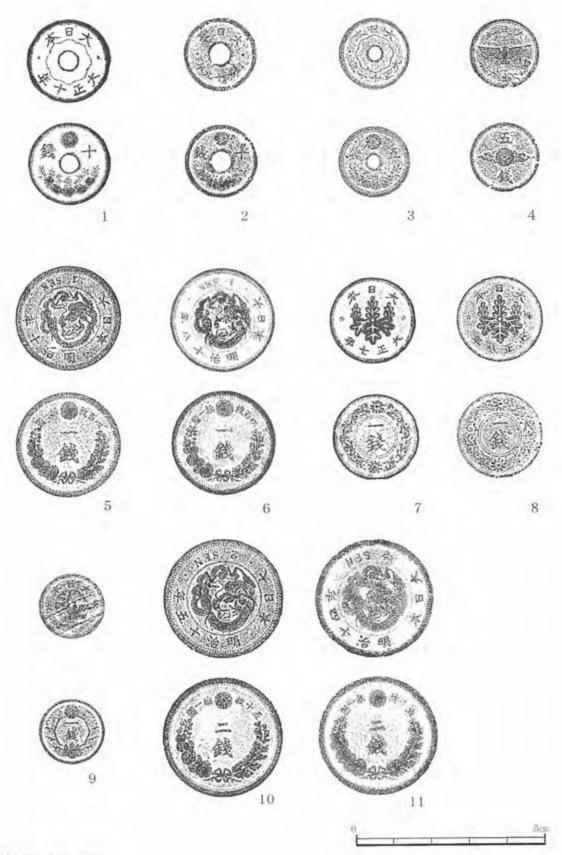
第75図(PL.54) 銭貨



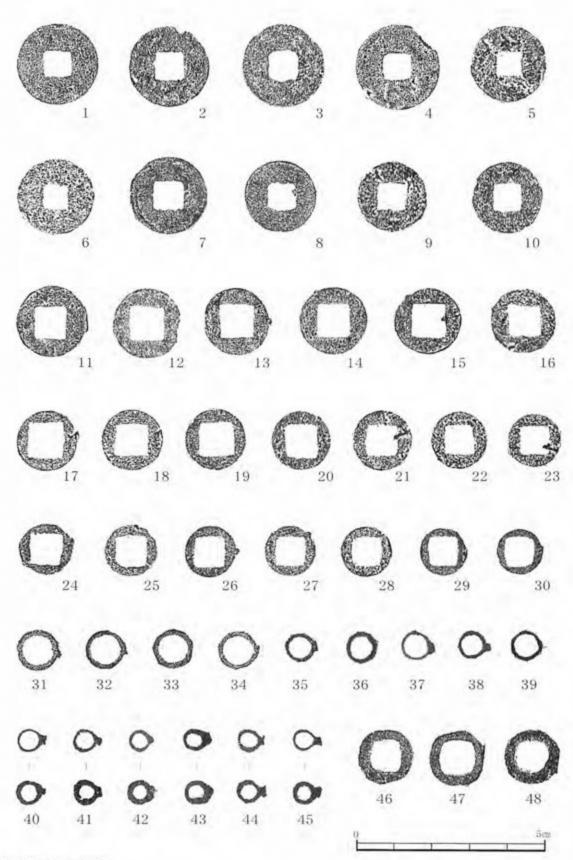
第76図(PL.55) 銭貨



第77図(PL.56) 銭貨



第78図 (PL. 57) 銭貨



第79図 (PL.58) 銭貨

第13節 煙 管

総数 107 点出土。材質は沖縄産施釉陶器製、沖縄産無釉陶器製、金属製の 3 つに大別される。第 32 表に煙管の出土一覧を第 33 表に煙管の観察一覧を掲載した。以下に沖縄産施釉陶器製から順に記述する。

沖縄産施釉陶器製 (第80図1~5 PL.59の1~5) 第32表 煙管出土一覧

雁首15点、吸口9点、計24点が得られた(第32表)。内、雁首3点、吸口2点を図示した。吸口1点以外は全て墓庭等で出土している。銘苅古墓群Ⅱの分類と同様に雁首は大きく2つのタイプに大別される。

- I. 全体に丸味を帯び、首部が太いタイプ (1·2)。
- Ⅱ. 直線的で、火皿部や首部を八角形に面取りするタイプ(3)。

得られた吸口はいずれもⅠに共通する形態で、Ⅱに 対応するものはみられなかった。

沖縄産無釉陶器製(第80図6~11 PL.59の6~11) 雁首が 16 点得られた (第32表)。内、墓庭から出土した 1 点と墓室内から出土した 5 点を図示した。雁首は大きく 2 つのタイプに大別される。

- I. 直線的で火皿部や首部を円形に形成するもの(6)。
- Ⅱ. 直線的で火皿部や首部を八角形に面取りするもの (7~11)。

Ⅱ タイプの資料の一部には自然釉が付着し、光沢を帯びるものもみられた。 Ⅰ、 Ⅱ に対応する吸口の出土は認められなかった。

HH · EU			Į.	沖縄産業	はは記	沖縄産無粒陶器	台計
基品 特	展育	吸口	述べ煙管	羅首	吸山	推竹	LI AT
1号集				2			2
2 13 💢	2	1		2	ì		. 6
3号篇	1	1		1			3
4号集		1	1			1	3
6 P) 🖫	2		1	3	2		8
8 H) II	1		1				2
9・10号幕		1					1
11号幕	2	5(遺構3)	1	1		_	9(遺構3)
15 5 5	1	2					3
17号墓						2	2
18号架		1				1	2
19号篇	1	4				1	6
21 号篇	1	-		2	2	1	7
22号Q				1		l	2
23号篇	4	3		1	1	1	10
24号篇	1(概定)	1(草室)				3(昼室2)	5(墓室4)
26号篇	1						ı
28 号篇	1	1					2
31号幕		1(墓室)				2(幕室1)	3(募室2)
33 13 🕱	1(幕室)	-					2(募室1)
35 I} R	2	1	1				4
36 特集		2(蔡室1)				1(基室)	3(彗室2)
38 号篇	1						1
39 1}頁		3			1	1	5
40号篇	2	1		1	2(幕室1)		6(募室1)
41号集			1(墓室)				1(蘇室)
42号星	1	1		1		1	4
43号幕	1(蔡袞)	2(墓室1)					3(葛奎2)
北4号篇		I,					1
a at	26(嘉室3)	35(墓室4) (遺構3)	6(基室1)	15	9(墓室1)	16(費業4)	107(募室13) (遺鋳3)

金属製 (第81図 PL.60)

総数 67 点が得られた。内、雁首 3 点、吸口 6 点、延べ煙管 1 点、計 10 点を図示した。紙面の都合上、今回は全て墓室内出土の資料のみを図示している。雁首は 3 つのタイプに分類される。

- I. 首部前方が湾曲しており、火皿の下に補強帯が付くもの(1)。
- Ⅱ. 首部前方の湾曲がなくなり、肩がみられるもの(3)。
- Ⅲ. 首部前方の湾曲がなくなり、火皿も小さくなるもの(5)。

吸口は3つに分けられる。

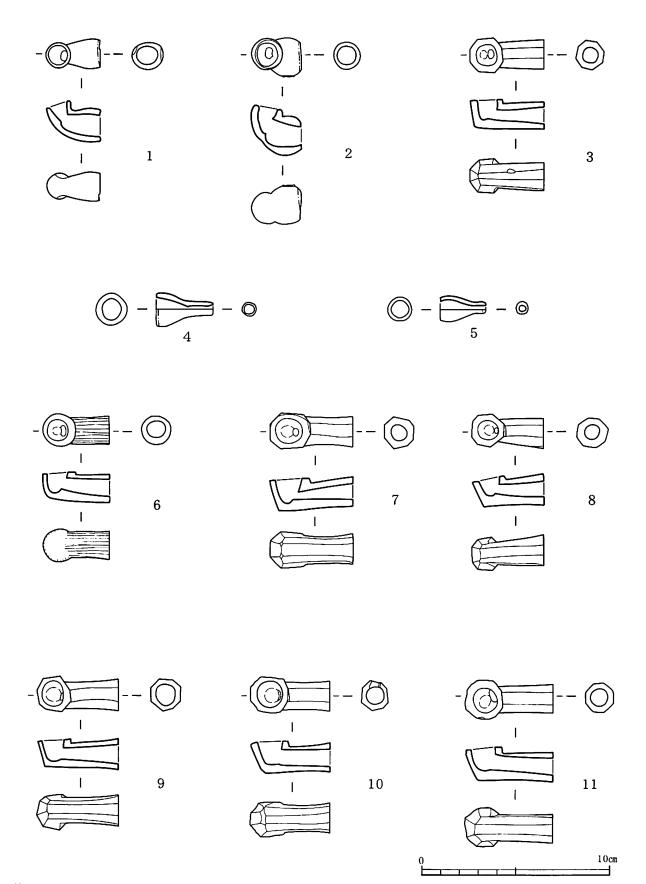
- I. 肩がみられるもの (4)。
- Ⅱ. ラウ接続部から吸口部にかけて内側にカーブして窄まるもの (6・7)。
- Ⅲ. ラウ接続部から吸口部にかけて直線的に窄まるもの (2・8・9)。

延べ煙管は首部前方の湾曲がなくなり、火皿も小さく直線的なもの(10)の他に図示されていないが、 首部前方の湾曲がなくなり、火皿も小さくラウを面取りするものや首部前方が湾曲しており、火皿側と 吸口側に肩がみられるものがある。

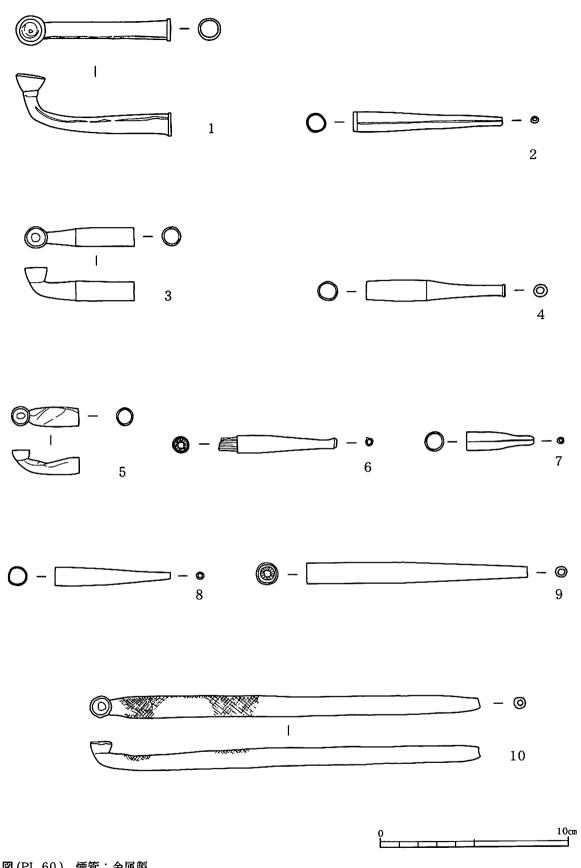
第33表 煙管観察一覧

挿図番号 図版番号	出土地点	形状・材質	観察事項
第80図1 PL.59の1	6 号墓 墓庭フク土	沖縄産施釉陶器 雁首	長さ3.0cm、火皿径1.65cm、立上がり2.25cm。 重量8.0 g。 素地の色は白色で、透明釉が掛かっている。全体の形は 丸みを帯びている。
第80図2 PL.59の2	23 号墓庭	沖縄産施釉陶器 雁首	長さ 2.65cm、火皿径 1.45cm、立上がり 2.6cm。 重量 9.2 g。 素地の色は白色で、灰緑色の釉が掛かっている。全体の 形は丸みを帯びており、特に首部の丸みが強調される。
第80図3 PL.59の3	22 号墓 墓庭フク土	沖縄産施釉陶器 雁首	長さ4.0cm、火皿径1.7cm、立上がり1.4cm。重量10.5 g。 素地の色は暗茶色で、黒色釉が掛かっている。全体の形 は直線的で側面を八角形に面取りしている。
第80図4 PL.59の4	6 号墓 墓庭フク土	沖縄産施釉陶器 吸口	長さ3.0cm、吸口側径0.8cm、ラウ接続側径1.7cm。重量4.6g。素地の色は白色で、透明釉が掛かっている。ラウ接続部から吸口部に向かって窄まっていく形。
第80図5 PL.59の5	40 号墓室	沖縄産施釉陶器 吸口	長さ 2.45cm、吸口側径 0.7cm、ラウ接続部径 1.0cm。重量 2.7 g。素地の色は乳白色で、緑釉が掛かっている。ラウ接続部から吸口部に向かって窄まっていく形。
第80図6 PL.59の6	21 号墓 墓庭フク土	沖縄産無釉陶器 雁首	長さ3.55cm、火皿径1.55cm、立上がり1.4cm。 重量9.7 g。 素地の色は橙色。全体の形は直線的で、器面に細かい筋 状の調整痕がみられる。火皿とラウ接続部の断面は円形。
第80図7 PL.59の7	24 号墓 墓室フク土	沖縄産無釉陶器 雁首	長さ44cm、火皿径2.1cm、立上がり1.7cm。重量14.1 g。 素地の色は暗茶色。全体の形は直線的で側面を八角形に 面取りしている。
第80図8 PL.59の8	31 号墓 墓室フク土	沖縄産無釉陶器 雁首	長さ3.8cm、火皿径1.65cm、立上がり1.5cm。 重量10.7 g。 素地の色は茶色。全体の形は直線的で、側面を八角形に 面取りしている。
第80図9 PL.59の9	24 号墓 墓室フク土	沖縄産無釉陶器 雁首	長さ4.25cm、火皿径1.8cm、立上がり1.45cm。重量10.4 g。素地の色は暗茶色。全体の形は直線的で側面を八角 形に面取りしている。

挿図番号 図版番号	出土地点	形状・材質	観察事項
第80図10 PL.59の10	24 号墓 墓室(右棚)	沖縄産無釉陶器 雁首	長さ 4.2cm、火皿径 1.9cm、立上がり 1.6cm。重量 10.4 g。 素地の色は暗茶色。全体の形は直線的で側面を八角形に 面取りしている。
第80図11 PL.59の11	36 号墓 墓室内フク 土	 沖縄産無釉陶器 雁首	長さ4.7cm、火皿径2.0cm、立上がり1.7cm。重量13.1 g。 素地の色は暗茶色。全体の形は直線的で側面を八角形に 面取りしている。
第81図1 PL.60の1	24 号墓 墓室(右棚)	青銅製品 雁首	長さ8.2cm、火皿径1.6cm、立上がり2.9cm。重量17.5 g。 完形品。継目は左。火皿下部に補強帯がみられる。2 と 対。
第81図2	24 号墓	青銅製品	長さ7.9cm、吸口部径1.1cm、ラウ接続部径0.4cm。重量
PL.60の2	墓室フク土	吸口	11.8g。完形品。継目は左。1と対。
第81図3	43 号墓	青銅製品	長さ 5.7cm、火皿径 1.1cm、立上がり 1.8cm。重量 10.0 g。
PL.60の3	墓室フク土	雁首	完形品。肩がみられる。4 と対。
第81図4	43 号墓	青銅製品	長さ7.4cm、吸口部径0.7cm、ラウ接続部径1.05cm。重量11.7g。完形品。肩がみられる。3と対。
PL.60の4	墓室フク土	吸口	
第81図5	33 号墓	青銅製品	長さ3.6cm、火皿径1.0cm、立上がり1.35cm。重量3.6 g。
PL.60の5	墓室フク土		完形品。全体に小振りな雁首である。
第81図6	33 号墓	青銅製品吸口	長さ 5.3cm、吸口部径 0.35cm、ラウ接続部径 0.85cm。重
PL.60の6	墓室フク土		量4.8 g。完形品。木質のラウが接続部に一部残っている。
第81図7	36 号墓	青銅製品	長さ3.6cm、吸口部径0.5cm、ラウ接続部径0.9cm。重量4.4g。完形品。継目有り。
PL.60の7	墓室フク土	吸口	
第81図8	31 号墓	青銅製品	長さ6.1cm、吸口部径0.35cm、ラウ接続部径1.0cm。重量4.7g。完形品。
PL.60の8	墓室フク土	吸口	
第81図9 PL.60の9	43 号墓 墓室フク土	青銅製品吸口	長さ 11.73cm、吸口部径 0.55cm、ラウ接続部径 1.1cm。重量 23.0 g。完形品。木質のラウが接続部に一部残っている。
第81図10 PL.60の10	41 号墓 墓室(人骨)	青銅製品延べ煙管	長さ20.7cm、火皿径1.1cm、立上がり1.35cm、吸口部径0.6cm。重量45.6g。完形品。ラウ部分に布目痕がみられる。



第80図(PL.59) 煙管:沖縄産施釉陶器製(1~5) 沖縄産無釉陶器製(6~11)



第81図(PL.60) 煙管:金属製

第14節 簪

総数 60 点出土している。内、特徴的な資料 14 点を図示した。頭部の形状は花形、耳かき形、匙形の 3 つに大別される。それぞれを更に分類すると花形と匙形は各々 4 種類、耳かき形は 2 種類みられる。 今回は金属製簪の他に木製簪やガラス製簪等の出土がみられる。第 34 表に簪出土一覧を第 35 表に簪観察一覧を掲載した。以下に頭部の形状を記述する。

頭の飾り部の外郭が尖り、花弁が 6 枚みられるものを花形 A 類 (第 82 図 1 PL.61 の 1)、頭の飾り部の外郭が丸みを帯びる形で、花弁が 6 枚みられるものを花形 B 類 (第 82 図 $2\cdot 4$ PL.61 の $2\cdot 4$)、頭の飾り部の外郭が丸味を帯びる形で、花弁が 5 枚みられるものを花形 C 類 (第 82 図 3 PL.61 の 3)、頭の飾り部を大きく 6 つに区画し、区画内にたくさんの花弁を表現しているものを花形 D 類 (第 82 図 5 PL.61 の 5) とした。

頭部が耳かき状を呈し、全体に短めのものを耳かき形A類 (第83図5 PL62の5) とし、全体に長めのものを耳かき形B類 (第82図6 PL61の6) とした。

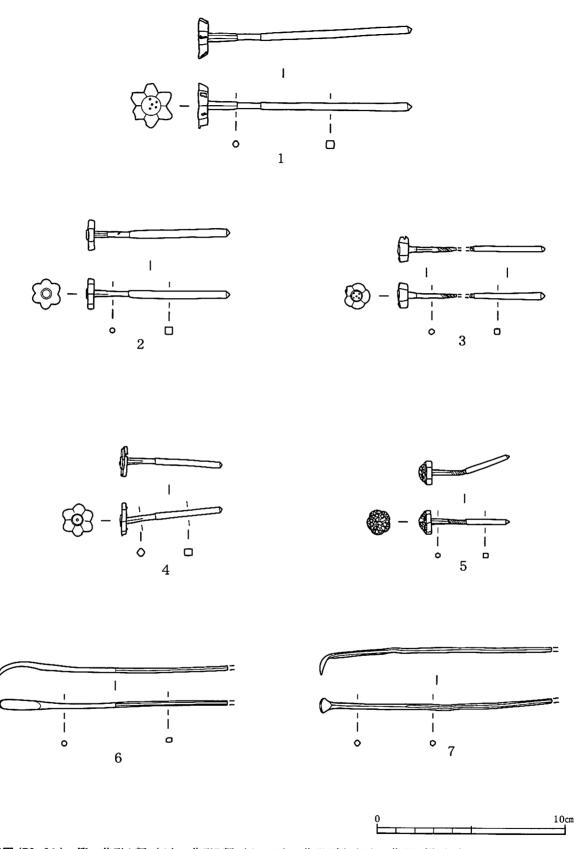
頭部が匙形を呈し、全体に短めのものを匙形 A 類 (第83 図 6・7 PL62 の 6・7)、全体に長めのものを匙形 B 類 (第83 図 $1 \sim 3$ PL62 の $1 \sim 3$) とし、頭部は匙形を呈しているが、首部、竿部が A 類、B 類に比べて細く、全体に長めのものを匙形 C 類 (第82 図 7 PL61 の 7)、全体に短めのものを匙形 D 類 (第83 図 4 PL62 の 4) とした。

第34表 簪出土一覧

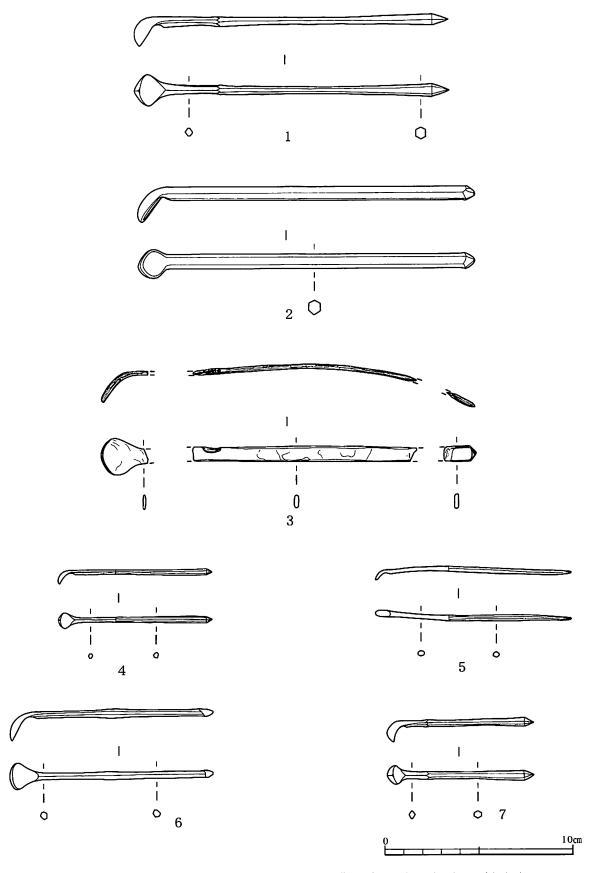
材質·形状		銅	製			鉄	쬈	アルミ製	ガラ	ス형	木 製	合 計
2 市 2	男本符	男副簪	女本簪	女副符	男女子供	男副簪	女本管	男女子供	男副簪	女本管	女本簪	16 c
2号幕			1									1
3号質					1(墓室)							1(募室)
4号幕		1										1
5号稿	1											1
6号墓		1						1		1		3
7号墓				1								1
9-10号幕					1							1
11号墓			1(遺構)						1			2(遺構1)
12号篇		1										1
15号幕		-			1	2						3
16号旗	2(募室)											2(墓室)
17-18号篇	2	1							·		_	3
18号幕	1	2										3
19号幕	1	3			1(墓室)							5(墓室1)
21号稿		1			1	1	1					4
22号墓		1										1
23号墓	2	4		1								7
24号篇	2(墓室成骨器内)		1(墓室蔵骨器内)					_			1(募室藏骨器内)	4(墓室藏骨器内)
26号幕					1							1
29号幕	1(嘉室)	1(墓室)										2(墓室)
31号標	1											1
32:35 号幕	1	1	1		_							3
38号幕	1											1
39号幕		1										1
40号篇		1(墓室護骨器内)										1(墓室蔵骨器内)
42号篇	3	1										4
44号舞				1								1
不明	1											l l
	19(慕室3)	20(墓室1)	4(墓室藏骨器内1)									60(蔡室6)
作 計	(募室改计器内2)			3	6(墓室2)	3	1	1	1	1	1(募室裁骨器内)	(墓室茂骨器内5)
	(希兰教育部内2)	(墓室藏骨器内1)	(遺構1)									(遺構1)

第35表 簪観察一覧

第 3 7 衣 智助祭 ^一 見			
挿図番号 図版番号	出土地点	形状・材質	観察事項
第82図1 PL.61の1	29 号墓 墓室フク土	花形A 青銅製品 男性用本簪	長さ 11.1cm、重量 11.2 g。 花飾りの先端部分は一部欠けているが、残存している箇所をみると花弁先端がやや尖る形をしている。首部は六角形で竿部は四角形、ムディ部のひねり痕はみられない。
第82図2 PL61の2	31 号墓 墓室内	花形 B 青銅製品 男性用本簪	長さ 7.6cm、重量 8.5 g。 花弁先端部はやや丸味を帯びる 形をしている。首部は六角形で竿部は四角形、ムディ部 のひねり痕がみられる。
第82図3 PL.61の3	24 号墓 墓室蔵骨器 № 19 内 (人骨)	花形 C 青銅製品 男性用本簪	長さ不明、重量 43 g。花弁先端部はやや丸味を帯びる形をしている。2 と 4 の花弁数が 6 枚あるのに対してこの資料の花弁数は 5 枚である。首部は六角形で竿部は四角形である。ムディ部のひねり痕がはっきりしている。
第82図4 PL.61の4	24 号墓 墓室蔵骨器 № 23 内	花形B 青銅製品 男性用本簪	長さ 5.3cm、重量 5.9 g。 花飾りの一部が欠けている所もみられるが、残存している箇所をみると花弁先端部はやや丸味を帯びている。 ムディ部のひねり痕ははっきりしない。 全体に小振りの資料である。
第82図5 PL.61の5	19 号墓 墓庭フク土	花形D 青銅製品 男性用本簪	長さ 4.8cm、重量 3.4 g。この資料は花弁数が多いのを表現するために頭部を半円状に形作り、その中を6 つに区切って各区切り内に細かい花弁を形成している。ムディ部のひねり痕もはっきりみられる。全体に小振りの資料である。
第82図6 PL.61の6	29 号墓 墓室フク土	耳かき形B 青銅製品 男性用副簪	残存長12.15cm、重量4.9g。首部は円形、竿部は六角 形。竿部の途中から折れている。
第82図7 PL.61の7	40 号墓 墓室蔵骨器 № 2′内	匙形 C 青銅製品 男性用副簪	残存長 12.3cm、重量 4.5 g。首部は四角形、竿部は六角 形。竿部の途中から折れている。
第83図1 PL.62の1	11 号墓 墓庭遺構	匙形 B 青銅製品 女性用本簪	長さ 17.7cm、重量 20.8 g。首部、竿部ともに六角形。
第83図2 PL.62の2	6 号墓 墓庭フク土	匙形 B ガラス製品 女性用本簪	長さ 17.9cm、重量 23.3 g。首部、竿部ともに六角形。
第83図3 PL.62の3	24 号墓 墓室蔵骨器 № 9 内	匙形 B 木製品 女性用本簪	長さ不明、重量 2.4 g。首部が破損しているうえ、資料 の表層が剥がれている。全体が脆くなっている。
第83図4 PL.62の4	26 号墓 墓庭フク土	匙形D 青銅製品 女性用副簪	長さ8.2cm、重量3.3g。首部は四角形、竿部は六角形。
第83図5 PL.62の5	23 号墓 墓庭フク土	耳かき形A 青銅製品 女性用副簪	長さ 10.4cm、重量 3.8 g。首部は円形、竿部は六角形。
第83図6 PL.62の6	3号墓 そで墓内	匙形A 背銅製品 男女児用簪	長さ12.0cm。重量 9.2 g。首部、竿部ともに六角形。
第83図7 PL.62の7	19 号墓 墓室	匙形 A 青銅製品 男女児用簪	長さ7.8cm、重量6.6g。首部、竿部ともに六角形。



第82図(PL.61) 簪:花形A類(1)・花形B類(2・4)・花形C類(3)・花形D類(5) 耳かき形B類(6)・匙形C類(7)



第83図(PL.62) 簪: 匙形A類 (6・7)・匙形B類 (1~3)・匙形D類 (4)・耳かき形A類 (5)

第15節 金属製品

金属製品は総数 780 点出土した。銅鏡や刀子等の副葬品や指輪等の着葬品を中心に 22 点の資料を図示した。他にもピンセットやハサミ、鍵穴、やかん等も得られたが、今回の報告では割愛した。第 36 表に図示した資料の観察表を、第 37 表に出土一覧を示した。以下に銅鏡から記述する。

銅鏡(第84図·第85図 PL.63·64)

出土した5点を全て図示した。銅鏡は持ち手の付いた柄鏡と円鏡に大別される。鏡背の文様は亀甲地文や柵、蝶、花を組み合わせたもののほかに松、竹、鶴、亀等を組み合わせたいわゆる蓬莱文等がみられ、また5点中3点には鏡職人の銘もみられる。中でも第85図3の鏡背の文様は愛知県熱田神宮に奉納されている蓬莱鏡に似ている。

刀子 (第86図1~5 PL.65の1~5)

総数 10 点出土した。全て墓室内又は墓室内に安置された蔵骨器内から出土しており、鉄製品である。 内、保存状態の良好な資料を 5 点図示した。本資料は刃先が丸味を帯びたものや尖ったものがみられる。 中でも 3 の資料は最も保存状態が良好で、鞘に収められた状態で出土している。

鉄釘 (第86図6~12 PL.65の6~12)

総数 527 点出土した。金属製品中、最も出土量の多い資料である。サイズも大小いろいろみられた。 釘全体に木片が付着し、釘本来の形がうかがえない。保存状態が比較的良好な資料 7 点を図示した。

指輪 (第86 図 13 ~ 17 PL.65 の 13 ~ 17)

総数 47 点出土した。飾り部の文様は花や巴文等がみられる。今回は墓室内で出土した資料 5 点を図示した。

註1 香取忠彦他『特別展「日本の鏡」』熱田神宮庁 1980年

第36表 金属製品観察一覧

挿図番号 図版番号	出土地点	種類・形状	観 察 事 項
第84図1 PL.63の1	40 号墓 墓庭フク土	柄鏡 青銅製品	全長 14.25cm、鏡部分径 8.3cm、柄の長さ 5.95cm、重量 50.0 g。鏡背には牡丹、柵、蝶を組み合わせた図柄。 「藤原光永」の銘がみられる。
第84図2 PL.63の2	31 号墓 墓室フク土	柄鏡 青銅製品	全長 17.0cm、鏡部分径 9.1cm、柄の長さ 7.9cm、重量 100.0 g。鏡背には松、竹、鶴、亀を組み合わせたいわゆる蓬 莱文である。「藤原重義」の銘がみられる。
第85図1 PL.64の1	40 号墓 墓室内	柄鏡? 青銅製品	残存部重量 25.0 g。鏡背に亀甲地文が施されている。
第85図2 PL.64の2	39 号墓 フク土	円形鏡 青銅製品	鏡部分の推定径は7.15cm、鈕座1.2cm、鈕高0.6cm、重量50.0 g。鏡背には界圏が3つみられ、鈕に最も近い界圏内は 無文だが、その他の界圏内には文様がみられる。

挿図番号	111 1 46 1	15 WZ 177.412	知 始 审 语
図版番号	出土地点	種類・形状	観察事項
第85図3 PL.64の3	39 号墓 墓室(前) フク土	蓬莱鏡 (円形鏡) 青銅製品	直径12.2cm、緑厚1.9cm、鈕座3.3cm、鈕高0.7cm、縁幅0.6cm の厚縁鏡。重量875.0 g。鏡背には松、竹、桐、鶴、等の図柄を組み合わせたいわゆる蓬莱文である。鈕は亀形鈕である。「天下一川嶋」の銘がみられる。
第86図1 PL.65の1	16 号墓 墓室	刀子 鉄製品	残存長 6.2cm、最大幅 1.85cm、厚さ約 0.4cm、重量 7.5 g。 刃先は丸味を帯びている。
第86図2 PL.65の2	16 号墓 墓室	刀子 鉄製品	残存長 11.1cm、最大幅 1.8cm、厚さ 0.6cm、重量 19.4 g。 刃部が曲がっている。
第86図3 PL.65の3	24 号墓 墓室安置 蔵骨器No.8 内	刀子 鉄製品	残存長 6.3cm、最大幅 2.0cm、厚さ 0.55cm、柄部 0.65cm、 重量 7.3 g。 刃先が破損している。
第 86 図 4 PL.65 の 4	24 号墓 墓室安置 蔵骨器 No. 13	刀子 鉄製品	残存長 11.9cm、刃部最大幅 1.1cm、鞘部最大幅 2.1cm、刃部厚 0.3cm、鞘部厚 0.85cm、柄部 3.6cm、重量 15.4 g。柄部が少し破損しているが他の部位は残りが良い。鞘に収められた状態で出土。
第86図5 PL.65の5	北 6 号墓 墓室蔵骨器 № 1 内	刀子 鉄製品	残存長 5.4cm、最大幅 1.4cm、厚さ 0.5cm、重量 3.7 g。刃 部に布目痕がみられる。
第86図6 PL.65の6	24 号墓 墓室(右棚)	鉄釘 角形	長さ 5.8cm、重量 4.1 g。全体に木片が付着。
第86図7 PL.65の7	33 号墓 墓室内	鉄釘 角形	長さ4.9cm、重量2.4g。全体に木片が付着。
第86図8 PL.65の8	24 号墓 墓室(右棚)	鉄釘 角形	長さ 4.6cm、重量 2.4 g。全体に木片が付着。
第86 図 9 PL.65 の 9	24 号墓 墓室左側崩 落フク土	鉄釘 角形	長さ4.9cm、重量2.8g。全体に木片が付着。
第86図10 PL.65の10	24 号墓 墓室左側崩 落フク土	鉄釘 角形	長さ 4.4cm、重量 1.6 g。全体に木片が付着。
第86図11 PL.65の11	29 号墓 墓室	鉄釘 角形	長さ 3.3cm、重量 1.2 g。全体に木片が付着。
第86図12 PL.65の12	19 号墓 墓室蔵骨器 No. 2 内	鉄釘 角形	長さ 2.7cm、重量 0.4 g。全体に木片が付着。
第86図13 PL.65の13	42 号墓 墓室内フク 土	指輪 青銅製品	直径 1.0cm、幅 0.45cm、厚さ 0.1cm、重量 1.4 g。指輪を 形成した時にできた継目がみられる。
第86図14 PL.65の14	42 号墓 墓室内フク 土	指輪 青銅製品	直径 2.1cm、幅 0.45cm、厚さ 0.1cm、重量 1.3 g。
第86図15 PL.65の15	40 号墓 墓室蔵骨器 No 2′内	指輪 背銅製品	直径 1.9cm、幅 0.55cm、厚さ 0.05cm、重量 1.1 g。縦沈線が一巡しているものとおもわれる。指輪を形成した時にできた継目がみられる。
第86図16 PL.65の16	39 号墓 墓室(前) フク土	指輪 青銅製品	直径 2.2cm、幅 1.2cm、厚さ 0.15cm、重量 1.4 g。縦沈線が一巡した細い指輪を 7 つ組み合わせたもの。
第86図17 PL.65の17	19 号墓 墓室蔵骨器 № 3 内	指輪 青銅製品	直径 1.9cm、幅 1.8cm、厚さ 0.1cm、重量 1.4 g。縦沈線が 一巡した指輪を 5 つ組み合わせたもの。

第37表 金属製品出土一覧

基础 基础	指輪) i	刀子	R	ピンセット	まタン	やかん	13	Æ	ネーム	建穴	ツル ハシ	ヘラ	ハサミ	争计	税旺	超鉄	Saf	ハン ゴウ	ケース	その他	台計
1号幕	1	1																			3	6
2号募 3号募	6	5(墓室)				-		H	\vdash			┝	<u> </u>	├—		<u> </u>	 —	<u> </u>			1(遺構) 8(募室6)	8(遺構1) 13(募室11)
		3(41)						-	\vdash	 		\vdash	┢	_		-				 	22(屋根7)	22(屋根7)
4号集												<u> </u>	_	<u> </u>				L			(ソデ闘5)	(ソデ周5)
6号幕 8号幕	2					-		-	<u> </u>			⊢	_	L		_	1				,	4
9号幕						H		\vdash	\vdash	 		\vdash	 	\vdash		┢	\vdash	\vdash			1	i
9・10号幕		9												_							4	13
10号募						-		\vdash	_			-										23(墓室2)
	12(遺構10)	9(呉宝2)			1	ı																(遺構10)
12号第	Ī																					1
13 号葉 14 号葉		-				-		\vdash	\vdash	<u> </u>		-			-	-			_	-		
15号幕																					i	i
16号集		71(草室養骨器内)	2(蔡室藏骨器内)											I							1(蔵骨器内)	74(黄骨器内)
17·18号第 18号幕		-						\vdash	\vdash			 	┝	-	-	_				<u> </u>	3	3
19号篇	1	3(幕室養骨器内1) (幕室2)				ı															11(真室2)	16(墓室4) (截骨器内1)
20号幕		(35.31.27						\vdash	-	 		\vdash		\vdash		\vdash					10	10
21号募		2																			4	6
22号第 23号第						 ,	-	-	\vdash			┝	_	-		┝				<u> </u>	4(募室1)	5(募室1)
20.73		315(基室257)				<u></u>			_	<u> </u>						\vdash						322(墓室261)
24号墓	1	(人情39) (幕室進骨器内9)	1(墓室藏什器内)		1(墓室)		1(基室)								ŀ						3(幕室2) (墓室建译器内1)	(人作39) (政介器内11)
25号弧																					9(墓室養骨器内4) (墓室5)	9(費貸器内4) (募室5)
26号幕		2																			3	5
28号集	4	3										_		<u> </u>				3			9	19
29 号頁		2(嘉室)	1(基室设计器内)						L				L									3(墓室2) (蔵骨器内1)
31 号幕 32 号幕		22(人貸20)		1(募室)		<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>			<u> </u>	_				<u> </u>				3(募室1) 5(人骨4)	4(葛宝2) 27(人貸24)
32.35 4 4		32(XH3W				\vdash		-	├─		-	\vdash	 	 	 		-				(F)(A)(211/41/243
34 号葉										1											1	2
35 号募 36 号募		4				\vdash		\vdash	├	ļ		<u> </u>	-		 		-			 		4
38号幕		2							T.												7	9
39 号幕 40 号幕	8(幕室7) 5(幕室4)	_ 55		2(草室1) 2(草室1)					\sqsubseteq	1(真室)											2	
40 号編 41 号篇	5(発表4)			2(監査1)		-			\vdash			\vdash	\vdash	\vdash	1(人情)	-	\vdash		_	 	1	8(募室5) 1(人骨)
42号墓	5(基章)	2(基章)													,							7(墓室)
43号募 44号募		5(蔡室1)						\vdash	\Box		1(幕室)	ī	<u> </u>				L				4(募室2)	12(募室4)
45 号第		12(墓室)	5(墓室)			\vdash			\vdash			-	\vdash	\vdash	 	-	-	-			17(募室)	34(募室)
号填不明													\sqsubseteq	匚		2					10	
北1号票 北3号幕						 			<u> </u>	1		_	⊢	⊢		<u> </u>	├	<u> </u>		<u> </u>	1(蔵骨器内)	2 1(蔵骨器内)
北4号幕						\vdash			\vdash	-		 	\vdash	1		\vdash					1/100 H 65/19/	1 (ALHASIY)
北6号幕			1(募室)																			1(募室)
北8号蔡 北11号幕						 		-	<u> —</u>			<u> </u>	⊢	 	1(基室)	-	<u> </u>	-	1(星至)	1(募室)	1(募室)	4(蔡室)
7.5	-		-			\vdash			Т				一				T				165(蔡室37)	780(葛宝352)
	40/2000	527(募室283)							l				ŀ								(蔵骨器内7)	(人骨64)
台都	47(舊室16) (遺構10)	(人件59)	10(墓室6) (截骨器内4)	5(蘇室3)	2(真宝1)	3	(墓室)	1	2	3(幕室1)	1(森本)	-1	1	1	2(人骨1) (驀室1)	2	1	3	1(墓室)	1(墓室)	(人骨4) (遺構1)	(資价器内92) (遺構11)
	\ALIF 1∪/	(政計器内81)	/==(1) CO (3)//												19632.17						(屋根7) (ソデ周5)	(足根7) (ソデ周5)

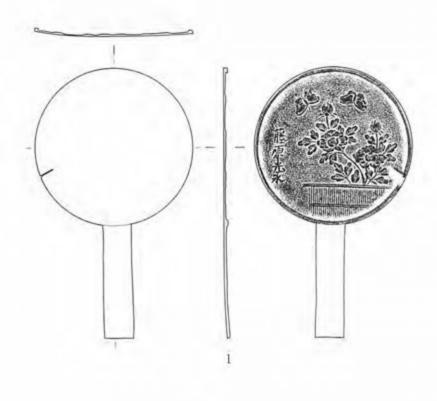
第16節 プラスチック製品

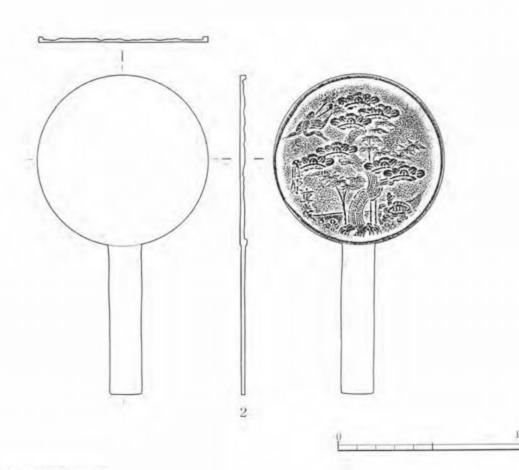
総数 13 点出土した。内、墓室内から出土した 1 点を図示した。第 38 表に出土一覧を示した。以下に 図示した資料について記述する。

プラスチック製櫛 (第86 図18 PL65 の18) 第38表 プラスチック製品出土一覧

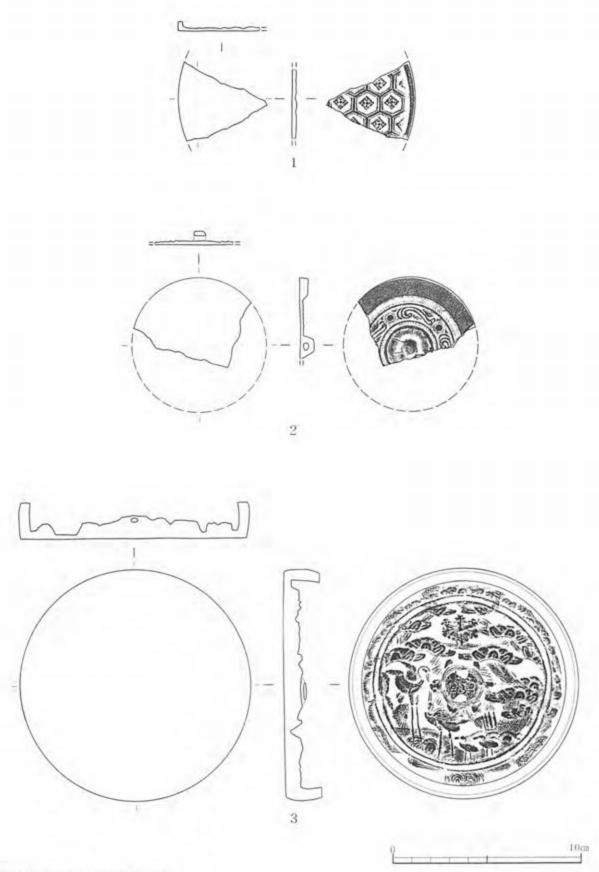
残存長 13.25cm、最大幅 3.55cm、最大厚 0.5cm。 重量 5.0 g。第81 図 10 の金属製延べ煙管ととも に41号墓室内の人骨周辺で出土している。

基番号	櫛	歯ブラシ	印鑑	ボタン	その他	合計
2号墓					2	2
15号墓		1(墓室)			_	1(墓室)
19号暮			1	3(墓室)		4(墓室3)
20号幕	1			I		2
21 号墓				2		2
24号墓	1					1
41号墓	1(墓室)					1(墓室)
合 計	3(墓室1)	1(墓室)	1	6(墓室3)	2	13(墓室5)

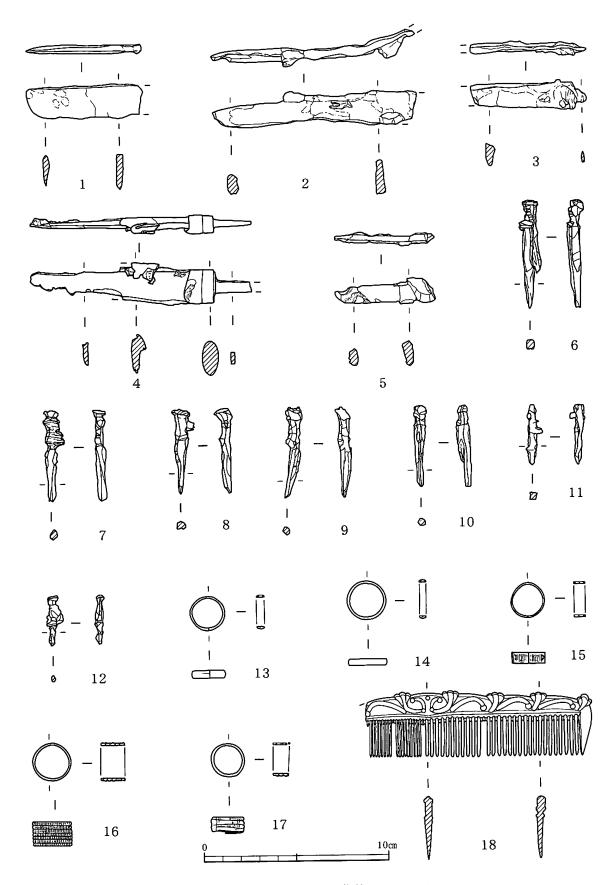




第84図(PL.63) 金属製品:鏡



第85図(PL.64) 金属製品:鏡



第86図 (PL.65) 金属製品:刀子 (1~5)、釘 (6~12)、指輪 (13~17) プラスチック製品:櫛 (18)

第17節 ガラス製品

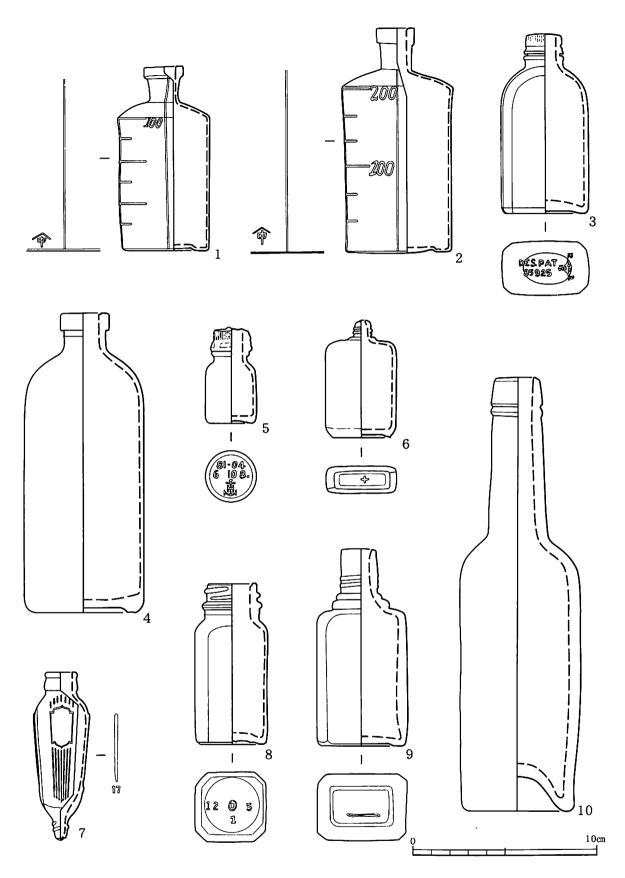
ナーチュー毛出土のガラス製品は34点で、器種のわかるものは、薬瓶、調味料の瓶?、コップ、メガネのレンズ、ランプ・カサの一部、ビー玉、ボタンなどが得られた。

第87図1~7は薬瓶だと思われる。1、2は薬の瓶で、目盛りがついている。左側面に「中」の浮き文字がみられる。3は蓋がしっかりしまった状態で、中には透明の液体が入り、上の方には薄黄色の油が浮いている。4は消毒液の瓶かと思われる。5は茶色の瓶である。蓋も装着しているが、腐食している。中には綿が丸くなって入っている。類似した瓶が7号墓室フク土からも出土している。6は薬の瓶かどうか不明である。しかし底面に「十」の浮き文字があるので、薬品の瓶とした。7は目薬の瓶である。8.9は調味料入れの瓶かと思われる。8は四角形で、底面には浮き文字が見られる。9は長方形で、底面に「一」が見られる。10はあげ底で、液体を入れた瓶だと思われる。気泡が見られる。鋳型を用いて製作されたと思われ、10以外の瓶の側面には接合痕が見られる。

ガラス製品は3、4点墓室内から得られたものもあるが、そのほとんどが庭からの出土である。

第39表 ガラス製品観察一覧

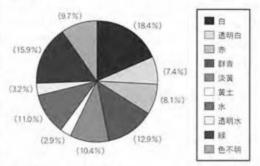
第87図PL.66	口径	底径	器髙	色	観 察 事 項	出土地点
1	2.1	4.6	10.0	透明白	クスリ瓶の丸型 メモリあり	26 号墓庭フク土
2	2.2	5.7	12.1	透明白	クスリ瓶の丸型 メモリあり	26 号墓庭フク土
3	1.8	4.6/2.8	9.7	透明白	8cm 程液体が入っている	北7墓室フク土
4	2.6	5.4	16.3	ブルー	消毒液瓶	21 号墓庭フク土
5	2.0	2.6	4.9	茶	綿?入り 底面に数字あり	北8号墓フク土
6	0.4	1.0/3.1	6.4	茶	底面に「十」	38 号墓庭フク土
7	1.6	0.4	9.0	薄緑	目薬瓶	36 号墓フク土
8	2.5	3.4	8.8	透明白	四角形 調味料の瓶か	11 号墓庭フク土
9	1.8	3.5/4.7	10.7	透明白	長方形 底面「一」	北8号墓室フク土
10	2.3	6.0	23.4	濃緑	アゲ底	35 号墓庭フク土
	1.9	1.9	8.5	透明白	0.8cm 液の入った状態	1号墓庭フク土
	5.0	3.8	6.0	薄青	10角形のコップ	3号墓庭フク土
	2.2	2.6	5.3	茶	瓶の中の綿?に白いカビ	7 号墓室フク土
_	1.9	3.9/5.9	14.6	透明白	クスリ瓶で楕円形	13 号墓フク土
_	2.3	5.1	6.3	薄緑	ランプの灯油を入れる部分	10 号墓フク土
_	_	2.9/3.5	-	透明白	メガネレンズ	21 号墓庭フク土
_	1.8	2.3/3.7	6.5	茶	クレオソート(鎮痛剤)底面 「2」焼けて曲がっている	23 号墓庭フク土
	_		_	不透明白	ランプのかさ	24 号墓庭フク土
	-	_	-	薄黄	逆瓢箪型の蓋?	24 号墓室安置蔵骨器No.2 内
_	_	_	-	薄青	底部片	33 号墓室フク土
_	1.7	3.4	9.2	透明白	側面(2ヵ所)Duraqlas	北 11 号墓庭フク土
_	1.7	3.4	9.2	透明白	側面(2ヵ所)Duraglas	北 11 号墓庭フク土
_	2.1	_		透明白	薬瓶	古墓群一括
ビー玉	1.6			水	不透明の白地に水色の線	1号墓庭フク土
"	1.6			水	透明ガラスの中に水色	4号墓庭フク土
"	1.7			黄	透明ガラスの中に黄色	20 号墓庭フク土
"	1.6			青	透明ガラスの中に青色	20 号墓庭フク土
"	1.6			茶	不透明白の中に茶色の線	21 号墓庭フク土
"	1.4			紫	紫一色	31 号墓上フク土
	1.6			茶	乳白色と黄味がかった白	32 号墓庭フク土
ボタン	1.1	1.1		緑	花弁 10 あり。他に 3 点あり。	4号墓庭フク土



第87図(PL.66) ガラス製品:瓶

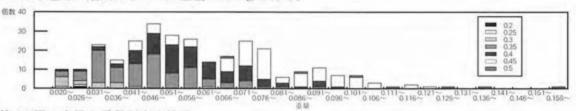
第18節 ガラス製小玉

ナーチュー毛のガラス製小玉は、そのほとんどが24号墓室 内より得られている。その中でも中央棚右側の土器壺 (PL.9 の3段左)から完形309点、破片12点で多量に出土してい る (第48 図1と PL.29 の1の土器壺)。 PL.67 の13 を参照。 そこでそれらの資料を使って色の割合を第88図に示した。そ の結果白が一番多く使われており、次に緑、群青色であった。 他に水、黄土、赤などがあり色彩豊かである。また、巻き上 げ技法の分かる個数についても調べたところ、全体の18.4% 第88 図 色の割合 にあたる57個が巻き上げの顕著なものであった。多いのが水



色で34個中15個で、少ないのが、緑色の49個中僅かに3個だけであった。また、実験的に紐を通し てみた。孔の塞がった 14点を除いた 295点で、74cm になった。大人の首に掛けても十分なゆとりのあ る長さであった。第89図は309点の内、連結した個体11点を除いた298点について、直径と重量の 関係を示した。全体的に 0.031 gから 0.080 gに集中した出土状況である。特に直径 0.45cm についてみ ると、軽い 0.031 gから重い 0.125 gまでいろいろな大きさのものがある。出土量は直径 0.35cm のもの が96点、0.45cm が93点、0.40cm が84点でこの3クラスで全部の91.6%を占める。

第90 図に代表的な小玉の実測図を載せた。それらは全て24 号墓より出土しており、1~6 は蔵骨器 のNo.3、7~11 は蔵骨器No.26、12 はNo.5 より得られた。3、5、12 は巻き上げ技法のわかる資料である。 11 は本遺跡の最大のもので、重量 5.402 g もある。



第89図 直径と重量別出土状況

第19節 貝製品・骨製品

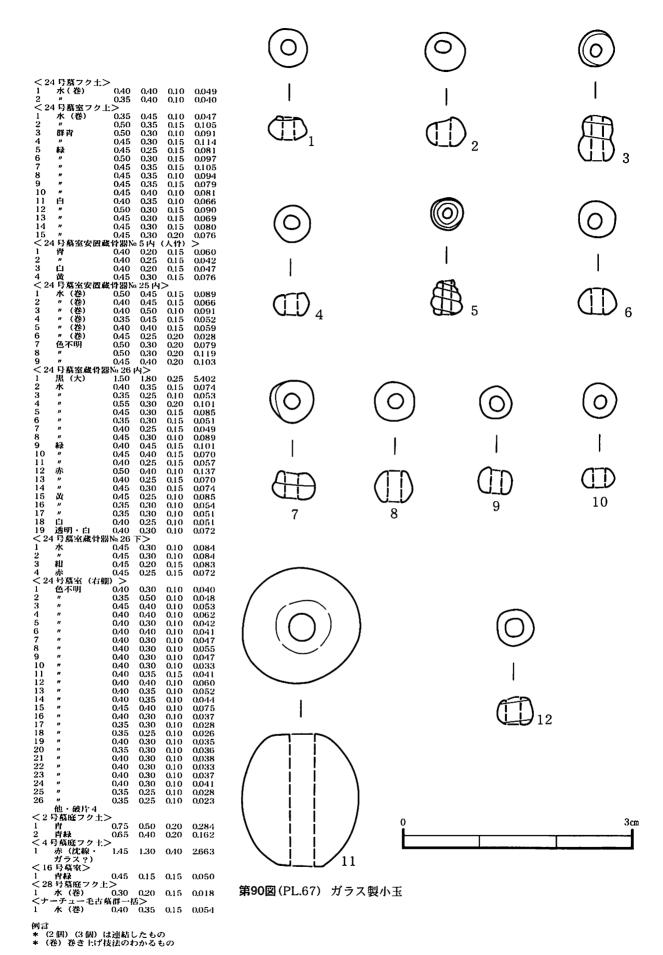
貝製品は第91図1~8の8点で、骨製品は第91図9の1点だけである。

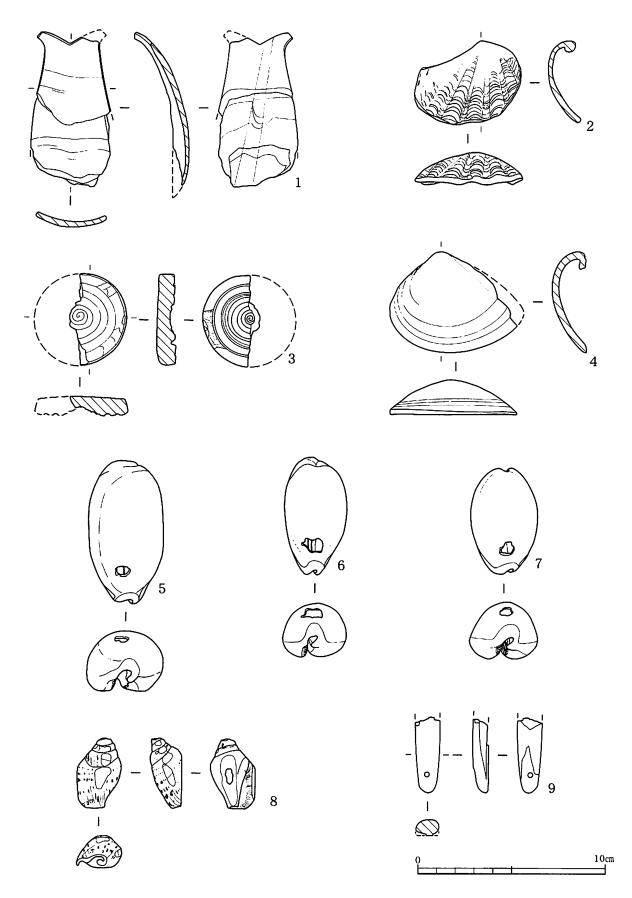
1はヤコウガイ製貝匙である。受けの部分は欠失しているが、柄部を「V」字状に抉っており、裏面 の肋も平坦に仕上げている。全体を3mm程のかなりの薄さで仕上げ、精巧にできた資料である。受けは 浅いタイプである。2、4は二枚貝に研磨したのか、水磨を受けたのか、特に縁辺部が摩滅した製品であ る。2は16g、4は28gである。3は大きいイモガイの螺塔部に研磨をした製品である。半分欠失した 用途不明品である。直径約4.9cm、厚さ1cmである。5~7は24号墓室出土で、5はトウングァナー(シ ルヒラシ所・一次葬所)、6、7は中央の棚の右隅奥から得られた。タカラガイの背面部に組孔を1個穿っ た製品である。貝種は3点とも異なっており、5はジャノメダカラガイで42.1g、6はタルダカラガイ で22 g、7はクチムラサキダカラガイで30.4 gを使用している。8はネジマガキガイを使用した、用途 不明なものである。部分的に研磨をしてあるが、全面には及んでいない。特に体層部は研磨がゆきとど いている。重量 7.9 gである。

9は骨製品である。歯ブラシの柄の部分だと思われる。下端部に 0.3cm の孔がある。輻 1.3cm。

第40表 ガラス製小玉計測(次ページまで続く)

% +∪		ノヘ											
< 24 号 No. 色	墓室安置和	必器件数 對角	3 内> あさ	孔径	ता भा	103 赤 (巻) 104 ″ (巻) 105 ″ (巻) 106 群青 107 ″	0.30 0.39 0.35 0.29		0.039	207 水 208 "	0.3 0.4		0.15 0.038 0.20 0.088
i ii		0.35	0.25	0.15	電館 0.038 0.076 0.051 0.048 0.052 0.110 0.044 0.059 0.030 0.045 0.071 0.050 0.072 0.094 0.061 0.033 0.054 0.033 0.054 0.049 0.065 0.070 0.070 0.060 0.070 0.059 0.093 0.070 0.056 0.051 0.079 0.093 0.070 0.056 0.051 0.079 0.093 0.073 0.063 0.073 0.063	105 ″ (巻)	0.35 0.30	0.10	0030	209 ″ (巻) 0.4	10 0.35	0.10 0.059
2 "		0.45	0.30	0.20	0.076	106 群青	0.45 0.39 0.45 0.20	0.15	0.096 0.079 0.047 0.054	210 " 211 " (巻	0.4 0.3		0.15 0.073 0.15 0.051
3 "		0.40 0.35	$0.25 \\ 0.25$	0.15 0.20	0.031	107 "	0.45 0.20 0.35 0.20 0.40 0.20	0.15	0.047	212 "	0.4		0.15 0.061
5 "	(巻)	0.35	0.25	0.15	0.052	109 "	0.40 0.20	0.15	0.054	213 "	0.3	35 0.25	010 0033
6 "		0.45	0.30	0.15	0.110	110 "	0.45 0.30	0.15	0.116	214 " 215 " (巻	0.3) 0.4	35 0.30 40 0.20	0.10 0.042 0.15 0.060
7 " 8 "		$0.40 \\ 0.35$	0.25 0.25 0.20 0.20 0.25 0.25 0.25	0.15 0.15	0.044	111 ″ (2個) 112 ″	0.35 0.63 0.35 0.43		0.100 0.070	215 "(巻 216 "	0.7	35 0.30	0.10 0.042 0.15 0.060 0.10 0.049
9 "		0.35	0.20	0.15	0.030	113 "	0.35 0.20	0.15		217 "	0.3	35 0.20	0.15 0.031
10 "		0.35	0.20	0.15	0.045	114 "	0.45 0.23		0.048 0.097 0.126 0.087 0.086 0.059 0.045 0.026 0.036	218 ″ (巻) 0.4	40 0.45	0.10 0.092
11 "		0.45 0.35	0.25	0.20 0.15	0.071	115 " 116 "	0.50 0.30 0.45 0.30	0.15	0.126	219 " 220 " (X	 	35 0.35 35 0.35	0.15 0.046 0.15 0.052
13 "		0.45	0.25	0.15	0.072	117 "	0.45 0.30	0.15	0.086	220 ″ (巻 221 透明・	水 0.4	45 0.20	0.15 0.045
14 "	(巻)	0.45	0.45	0.10	0.094	118 "	0.40 0.2 0.35 0.2	0.15	0.059	222 "	0.4	45 0.40	0.15 0.032 0.15 0.052
15 " 16 "	(巻)	0.30 0.35	0.40 0.30	0.15 0.15	0.061	119 " 120 "	0.35 0.20	5 0.15 0.15	0.045	223 " (巻 224 ") 0.4 0.1	40 0.20 35 0.40	0.15 0.052 0.10 0.075
17 "	(12)	0.40	0.30	0.15	0.054	121 "	0.30 0.3	5 0.15	0.036	225 "	0.2 0.4	45 0.30	0.15 0.066
18 "		0.35	0.25	0.15	0.036	122 "	0.40 0.20	0.15	0.075	226 "	0.4	40 0.30	0.15 0.067
19 " 20 "	(巻) (巻)	0.35 0.40	0.30	0.15 0.15	0.033	123 " 124 "	0.45 0.30 0.40 0.30		0.087 0.095	227 " 228 "	0.4 0.4	45 0.25 45 0.30	0.15 0.071 0.15 0.044
21 "	(巻)	0.40	0.30 0.50 0.25	0.15	0.084	125 "	0.35 0.3	5 0.15	0.061	229 "	0.3	35 0.30	0.15 0.084
22 "		0,35	0.25	0.20	0.049	126 "	0.45 0.30		0.102	230 "	0.4	45 0.35	0.15 0.069
23 " 24 "	(巻)	0.40 0.35	0.30 0.40	$0.20 \\ 0.15$	0,060	127 "	0.45 0.2 0.40 0.2	0.15	0.081	231 緑 232 "	0.4 0.4	45 0.25 40 0.40	0.15 0.073 0.10 0.089 0.15 0.042 0.15 0.049 0.15 0.158 0.15 0.074
25 "	(巻)	0.40	0.40	0.20	0.070	128 " 129 " (巻)	0.40 0.4	5 0.10	0.080	233 "	0.4 0.4 0.5 0.5	40 0.20	0.15 0.042
26 "		0.40	0.30	0.15	0.059	130 "	0.35 0.3	5 0.10	0.059	234 "	0.4	40 0.20	0.15 0.049
27 " 28 "		0.45 0.40	0.35	0.15 0.15	0.093	131 " 132 "	0.40 0.20 0.50 0.20	0.20	0.042	235 " 236 "	0.0	50 0.40 45 0.25	0.15 0.158 0.15 0.077
29 "		0.35	0.35 0.25 0.20	0.20	0.056	133 "	0.35 - 0.20	0.15	0.032	237 "(巻) 0.	35 U.3U	0.10 0.034
30 "		0.35	0.20	0.15	0.051	134 "	0.35 0.2	0.15	0.047	238 " 239 "	0.4	45 0.25 40 0.35	0.20 0.076 0.15 0.073
31 " 32 "		0.35 0.45	0.35 0.30	0.15 0.20	0.042	135 "(巻) 136 "	$0.35 0.20 \\ 0.30 0.20$	1 010	0.042	239 " 240 "	0.4	45 0.35	0.13 0.073
33 "		0.40	0.30	0.15	0.080	137 "	0.45 0.2	0.15	0.078	241 " (2)	間) 0.4	45 0.60	0.15 0.176
34 "		0.35	0.35	0.15	0.073	138 " 139 "	0.40 0.3	0.15	0.080	242 # 243 #	0.4	45 0.40 45 0.20	0.15 0.098 0.15 0.069
35 " 36 "		0.40 0.45	0.30 0.25	0.15 0.20	0.047	139 " 140 "	0.45 0.2 0.40 0.3 0.45 0.2 0.45 0.2	0.15	0.090	244 "	0:	30 025	0.10 0.020
37 "	(巻)	0.35	0.40	0.15	0.049	141 ″ (巻)	0.40 0.2	0.15	0.072	245 "	0.4	45 0.20	0.20 0.043
38 " 39 "		0.45 0.40	0.30	0.15 0.15	0.075	142 " 143 "	0.30 0.10 0.30 0.20		0061 0.102 0.081 0.042 0.080 0.059 0.042 0.105 0.032 0.047 0.042 0.035 0.080 0.094 0.094 0.090 0.072	246 " 247 "	0.4	40 0.25 45 0.25 45 0.55	0.10 0.020 0.20 0.043 0.10 0.055 0.15 0.071 0.15 0.172
40 "		0.35	0.30	0.20	0.056	144 "	0.20 0.2	0.10		248 " (2	(周) 0.4	45 0.55	0.15 0.172
41 "		0.35	0.30	0.15	0.046	145 "	0.35 0.2	0.10	0.042	249 "	0.4	45 0.35	0.15 0.089
42 " 43 "		0.35 0.30	0.20	0.20 0.15	0,033	146 淡黄 147 "	0.45 0.2 0.35 0.2	5 0.15 0 0.20	0.072	250 " 251 "	0.4	45 0.30 45 0.25	0.15 0.083 0.15 0.078
44 "		0.30	0.20 0.25 0.15	0.15	0.035	148 "	0.35 0.3	0.10	0.062	252 "	0.4	45 0.25	0.15 0.071
45 "		0.35	0.35	0.15	0.042	149 "	0.40 0.2	5 0.10	0.071	253 "	0.4	40 0.20	0.15 0.049
46 " 47 "	(巻)	0.40 0.35	0.45 0.30	0.15 0.15	0.072	150 " 151 "	0.45 0.2 0.35 0.2	5 0.15 5 0.15	0.079	254 "(巻 255 "	0.9	45 0.30 50 0.35	0.10 0.069 0.15 0.139
48 "		0.40	0.35	0.20	0.050	152 "	0.40 0.3	5 0.15	0.076	256 "	0.4	45 0.30 50 0.35 45 0.35 45 0.25	0.10 0.076
49 "	(巻)	0.40	0.40	0.20	0.054	153 "	0.35 0.2	5 0.10	0.026 0.042 0.072 0.034 0.062 0.071 0.079 0.076 0.076	257 " 258 "	0.	45 0.25 45 0.25	0.15 0.075 0.15 0.074
50 " 51 "	(巻)	0.35 0.30	0.25 0.35 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	0.15 0.15	0.049 0.075 0.051 0.056 0.046 0.033 0.036 0.025 0.042 0.054 0.050 0.054 0.041 0.067 0.053 0.041 0.059 0.026 0.064 0.059 0.064 0.059 0.059 0.059 0.059	154 " 155 "	0.45 0.3 0.45 0.2	5 0.20	0.074 0.072 0.092	258 " 259 "	0.4	45 0.25 45 0.20	0.15 0.074 0.15 0.047
52 "	(巻)	0.35	0.35	0.15	0.067	156 #	0.45 0.2	5 0.15	0.092	260 "	0.	50 0.40	0.15 0.115
53 " 54 "		0,35 0,35	0.25	0.15 0.15	0.053	157 "(巻) 158 "(巻) 159 "(巻)	0.40 0.4 0.45 0.2	0.15 0 0.15	0.097	261 " 262 "	0.	45 0.25 45 0.30	0.20 0.066 0.10 0.101
54 " 55 "		0.35	0.25	0.15	0.059	159 "(巻)	0.35 0.4	0.10	0.047	263 "	0.	45 0.25	0.15 0.098
56 "		0.25	0.25	0.15	0.026	160 "	0.35 0.4		0.092 0.097 0.060 0.047 0.059 0.037 0.025 0.056	264 "	0.3	35 0.20 45 0.20	0.15 0.020 0.15 0.053 0.15 0.028 0.15 0.056
57 ″ 58 透	明・白	0,40 0,40	0.25	0.15 0.15	0.060	161 " 162 "	0.35 0.2 0.25 0.3	5 0.10 0 0.10	0.037	265 " 266 "	0.	45 0.20 40 0.20	0.15 0.033
59 "		0.35	$0.25 \\ 0.25$	0.15	0.048	163 "	0.40 0.3	0.10	0.056	267 "	0.	45 0.20	0.15 0.056
60 "		0.40 0.45	0.25 0.45	0.15	0.059	164 ″ (巻) 165 ″ (巻)	0.30 0.2 0.45 0.4	5 0.10 0 0.15		268 " 269 "	0.	45 0.25 40 0.25	0.15 0.072
61 "		0.35	0.40	0.20 0.20 0.15	0.052	166 "	0.35 0.3	0.10	0.032 0.106 0.052 0.022 0.029 0.049 0.043	270 "	0.	40 0.30	0.15 0.048
63 "		0.45	0.40 0.20 0.25	0.15	0.055	167 "	0.30 0.2	5 0.10	0.022	271 "	0.	45 0.35	0.20 0.070
64 " 65 "	(巻)	0.35 0.40	0.25	0.15 0.15	0.058	168 " 169 "	0.30 0.2 0.40 0.2	5 0.10 0 0.10	0.029	272 " 273 "	0.	40 0.25 40 0.20	0.10 0.042 0.15 0.040
66 "	(老)	0.45	0.35	0.20	0.102	170 "	0.35 0.3	0.10	0.043	274 "	Ö.	40 0.20	0.15 0.033
67 "		0.35	0.25	0.15	0.050	171 "	0.45 0.3	5 0.15	0.100	275 " 276 "	0.	35 0.20 35 0.20	0.10 0.025 0.15 0.023
68 " 69 "	(巻)	0.35 0.35	0.25 0.35	0.15 0.20	0.057 0.063	172 " 173 " (巻)	0.30 0.3 0.35 0.3		0.038 0.035	277 "	0.	35 0.25	0.15 0.023
70 "	(2)	0.35	0.20	0.20	0.048	174 "	0.35 0.3	0.10	0.071	278 "(巻	e) 0.	35 0.20	0.15 0.026
71 " 72 "		0.35	0.30	0.15	0.060	175 " 176 "	0.40 0.2 0.45 0.3	5 0.10	0.054 0.080	279 ″ 280 色不明	.() 	45 0.20 45 0.60	0.10 0.044 0.15 0.089
72 " 73 "	(巻)	0.45 0.40	0.40 0.35	0.15 0.20	0.084	177 "	0.35 0.3	0 0.20 5 0.10	0.071	281 " (3		40 0.80	0.10 0.148
74 "		0.35	0.20	0.15	0.032	178 黄土 (巻)	0.40 0.4	0.10	0.091	282 "		50 0.30	0.15 0.086
75 " 76 "		0,40 0,40	0,30 0,20	0.15 0.15	0.048 0.060 0.090 0.084 0.032 0.074 0.037	179 " 180 "	0.40 0.2 0.45 0.3 0.35 0.3 0.40 0.4 0.40 0.3 0.35 0.2 0.35 0.2 0.35 0.2	0 0.10 0 0.15	0.091 0.066 0.031 0.038	283 " (2 284 "		40 0.60 40 0.25	0.10 0.116 0.10 0.053
77 "		0.40	0.20	0.20	0.037	181 "	0.35 0.2	0.15	0.038	285 " (2	(M) O.	40 0.60	0.10 - 0.126
78 "		0.40	0.35	0.15	0,060	182 "	0.35 0.2	0.10	0.039	286 " (3		45 0.85	0.10 0.185
79 " 80 "	(巻)	0.40 0.35	0.35 0.25	0.20 0.15	0.067 0.050	183 " 184 "	0.45 0.2 0.35 0.3	0 0.15 0 0.15		287 " (2 288 "		40 0.55 45 0.25	0.10 0.117 0.10 0.066
81 赤		0.45	0.30	0.15	0007	185 "	0.35 0.1	5 0.15	0.032	289 " (2	(制) 0.	45 0.50	0.10 0.119
82 "		0.45	0.35	0.15	0.097 0.122 0.103 0.095 0.109 0.094 0.055 0.052	186 "	0.40 0.3 0.40 0.3	0 0.15 5 0.10	0.064	290 m (巻 291 m (巻	3) 0.	45 0.40 45 0.45	0.10 0.095 0.15 0.078
83 " 84 "		0.45 0.45	0.35 0.30	0.20 0.15	0.103	187 水 (巻) 188 "	0.40 0.3 0.40 0.3 0.45 0.4 0.40 0.3 0.45 0.2 0.45 0.3	5 0.10	0.057	292 "		45 0.25	0.10 0.057
85 "		0.45	0.30	0.15	0.109	188 " 189 "	0.45 0.4	0 0.20	በበ76	293 * (巻	i) 0.	40 0.20	0.10 0.035
86 " 87 "		0.45 0.40	0.30 0.20	0,15 0,15	0.094	190 ″ (巻) 191 ″	0.40 0.3 0.45 0.2	0 0.10 0 0.15	0.041	294 # 295 #		45 0.25 40 0.35	0.10 0.050 0.10 0.055
87 " 88 "		0.40	0.25	0.20	0.052	192 "	0.45 0.3	ŏ ŏ.1ŏ	0.060	296 "		40 0.35	0.15 0.054
89 "	(巻)	0.35	0.25	0.15	0.034	193 "	0.40 0.2	5 0.20	0.041 0.039 0.060 0.046 0.079 0.082	297 "	0.	40 0.30	0.10 0.058
90 " 91 "	(巻)	0.35 0.40	0.25 0.20	0.15 0.15	0.039 0.061	194 " 195 "	0.45 0.3 0.45 0.3	0 0.15 0 0.15	0.079	298 # 299 # (2		40 0.30 40 0.50	0.10 0.047 0.10 0.105
92 "	(巻)	0.35	0.25	0.15	0.042 0.065	196 "	0.35 0.2	5 0.10	0.032	300 "	0.	35 0.30	0.10 0.030
93 "	-	0.40	0.25 0.25 0.30	0.20	0.065	197 〃 (巻)	0.35 0.4	5 0.10	0.066	301 "	0.	.35 0.25	0.10 0.033
94 " 95 "		0.35 0.40	0.30	0.15 0.15	0.045 0.050	198 ″ (巻) 199 ″ (巻)	0.40 0.2 0.40 0.3	5 0.10 5 0.10	0.046	302 " 303 "	0, 0.	40 0.20 45 0.35	0.10 0.022 0.10 0.050
96 "		0.40	0.25	0.15	0.072	200 ″ (巻)	0.50 0.2	5 0.20	0.068	304 "	0.	45 0.35	0.15 0.044
97 "	(3/6)	0.45	0.20 0.25 0.25 0.20	0.15	0.077	201 "(巻) 202 "(巻)	0.35 0.4 0.40 0.3	$\begin{array}{ccc} 0 & 0.10 \\ 0 & 0.20 \end{array}$	0.047	305 " 306 "		45 0.25 45 0.35	0.20 0.038 0.10 0.051
98 " 99 "	(巻)	0.35 0.30	0.20	0.15 0.15	0.050 0.072 0.077 0.035 0.033 0.102 0.080	203 "(巻)	0.40 0.3	5 0.10	0.051	307 "	0.	45 0.25	0.10 0.051
100 "		0.45	0.25	0.15	0.102	204 "	0.35 0.6	0.10	0.091	308 "	0.	40 0.25	0.10 0.049
101 " 102 "		0.45 0.45	$0.25 \\ 0.25$	0.15 0.15	0.080 0.080	205 "(巻) 206 "	0.40 0.4 0.35 0.3			309 " 310 他破片		.35 0.25	0.10 0.035
102 "		0.10	.,()	5.10						/ - / -			





第91図(PL.68) 貝製品(1~8)、骨製品(9)

第20節 骨・貝

骨

第41表のような出土状況である。墓室内からも何点か得られているが、ほとんど庭からの出土である。 墓と関係のあると思われる出土は、48号墓室蔵骨器の中からブタの肋骨が出ている。人骨の構成表を参 考に見ると「幼児1名」が葬られていたようである。

第41表 骨出土一覧

出土地点	部位
1号墓(右垣)	?
1号墓庭フク土	トリ不明 ブタ大腿骨 ウシかウマ肋骨(切断痕あり)
1号墓上フク土	ブタ?(切断痕あり)
1号墓庭右垣フク土	ブタ歯
1号墓フク土	ブタ肋骨(切断痕あり)
3号墓左そで石上	ウシ寛骨
4号墓室フク土	ネコR・L上腕骨 寛骨
4号墓庭右垣フク土	ブタ頭部 R·L上顎骨 下顎骨
4号墓庭フク土	ネコR・L大腿骨
7号墓庭フク土	ブタ?
7号墓室フク土	٠ -
9号墓口フク土	ウシかウマ?
11号墓フク土	ヤギL中手骨 ブタ肋骨
15号墓庭フク土	アオザメ科歯1
19号墓室	ブタ肋骨 ネズミ約1体分 ウマ脛骨
19号墓庭フク土	ヤギ基節骨2 L中手骨 ウシ基節骨
20号墓庭フク土	ヤギL下顎骨 ネコR大腿骨
21号墓左垣フク土	ウマかウシ肋骨(切断痕あり)
22号墓庭フク土	ウマかウシ腰椎
23号墓庭フク土	ウシ肋骨 ブタ肋骨
24号墓室フク土	ネズミR下顎骨1
24号墓庭フク土	イヌR・L大腿骨 ブタ?
29号墓室フク土	ブタ寛骨
32号墓上フク土	イヌL上腕骨
32号墓庭フク土	ウシ角 歯 頸椎
35号墓フク土	トリ不明
37号墓庭フク土	ニワトリR脛骨1 R大腿骨1 R・L中手骨 魚不明
39号墓室(前)フク土	?
39号墓庭(右垣)フク土	ブタ大腿骨 尺骨
39号墓フク土	?
41号墓上フク土	ブタレ下顎骨
44号墓庭フク土	ホオジロザメ科歯1
48号墓室蔵骨器内	ブタ肋骨

貝

出土状況を第 42 表にまとめた。完形品で 59 点の出土であった。内二枚貝が 26 点、巻貝 33 点であった。特記すべきことは 45 号墓室内よりオウムガイが 1 点みられる。

第 42 表 貝類出土一覧

出 1号墓庭フク	土 地 点	科名	租 名	完 形	殻頂	殻 口	破片
		スイショウガイ	クモガイ	<u> </u>	/QX 15R	1	1
1号墓庭フク		スイショウガイ	マガキガイ		ī		
1号墓庭フク		スイショウガイ	イボソデガイ	1			-
1号幕庭フク		オニコブシガイ	オニコブシガイ	1			
1号墓庭フク		アクキガイ	シラクモガイ	1			
1号幕庭フク		イモガイ	コマダライモガイ	i l			
1号嘉庭フク		イモガイ	アカシマミナシガイ				1
1号嘉庭フク		イモガイ	ヤナギシボリイモガイ	1			
		イモガイ	ヒラマキイモガイ		1		
1号幕庭フク		タカラガイ	ホシキヌタガイ	1			1
1号墓庭フク							1
1号墓庭フク		リュウテンサザエ	チョウセンサザエ	1			<u>.</u>
1号墓フク土		リュウテンサザエ	チョウセンサザエ	1			
1号墓庭フク		リュウテンサザエ	ヤコウガイ				2
1号蟇庭フク		イトマキボラ	イトマキボラガイ	1			
1号墓庭フク	フ 十.	オニノツノガイ	オニノツノガイ				1
1号墓フクナ	H <u>.</u>	ウミギクガイ	ウミギクガイ				1
1号幕上フク	ナ上	ニシキウズガイ	ニシキウズガイ			1	
2号墓フク土	E .	オニノツノガイ	クワノミカニモリガイ	1			
4号墓庭フク	フナ:	オニノツノガイ	オニノツノガイ				1
5号幕庭フク		フネガイ	リュウキュウサルボウガイ				- 1
6号墓室フク		イトマキボラ	イトマキボラ	1			
6号幕フク土	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	リュウテンサザエ	ヤコウガイ			1	1
6 号墓フク土		タカラガイ	ホシキヌタガイ	1			
6号墓フクエ		イモガイ	ヒラマキイモ				1
9号幕庭フク		ソデボラ	ベニソデ	1			
9 行為版 フラ	7 1.	ニシキウズ	ニシキウズ	1		_	
9号墓庭フク	/ T.					1	
9号幕上フク		イトマキボラ	イトマキボラ				
10 号墓室フ		スイショウガイ	マガキガイ	1		l ——	-
15~18号名		リュウテンサザエ	チョウセンサザエ				1
18 号幕庭フ		タカラガイ	ハナビラダカラ	1			
18 号幕庭(タカラガイ	ホシダカラ				1
19 号幕庭フ		スイショウガイ	マガキガイ	1			_
21 号幕右垣		リュウテンサザエ	チョウセンサザエのフタ	3			
21 号墓庭フ	ク土	マクラガイ	サツマビナ				1
21 号墓庭フ	ク土	タカラガイ	ホシキヌタ	1			
23 号幕庭フ	ク l:	イモガイ	ヤナギシボリイモガイ	1			
24 号墓庭フ		ニシキウズ	ニシキウズ	1			
24 号墓庭フ		リュウテンサザエ	ヤコウガイのフタ				2
24 号墓庭フ		スイショウガイ	マガキガイ	1	_		
24 号嘉庭フ		イモガイ	アンポイナ				1
	(左側崩落) フク上	イモガイ	不明	-			
25 号幕フク		スイショウガイ	マガキガイ		1		
26 号墓庭フ		イトマキボラ	イトマキボラ			1	
32 号墓庭フ		リュウテンサザエ	チョウセンサザエのフタ	1	-	-	
		リュウテンサザエ	ヤコウガイ			-	<u> </u>
32号墓庭フ			クモガイ				2
37号墓庭フ		ソデボラ					2
39 号墓庭フ		スイショウガイ	マガキガイ	1			
39 号嘉室 (ヤマタニシ	オキナワヤマタニシ	2			
	(右垣) フク土	リュウテンサザエ	チョウセンサザエのフタ				
				-			
39 号墓庭(リュウテンサザエ	ヤコウガイのフタ				1
43 号墓室フ	ク土	リュウテンサザエ	ヤコウガイ	3			1
	ク土			3	-		1
43 号墓室フ 45 号墓室フ	ク土	リュウテンサザエ	ヤコウガイ	3 1 33	4		
43 号墓室フ 45 号墓室フ	<u>ク土</u> ク土	リュウテンサザエ	ヤコウガイ	3	<u>4</u>	5 殻 口	22 破 片
43 号募室フ 45 号募室フ 仏 出	ク土 ク土 合 計 上 地 点	リュウテンサザエ オウムガイ	ヤコウガイ オウムガイ	3 1 33			破片
43 号慕室フ 45 号幕室フ 出 1 号墓庭フク	ク土 ク土 合 <u>計</u> 上地点 フ土	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名	ヤコウガイ オウムガイ 種 名	3 1 33 完 形			
43 号募室フ 45 号幕室フ 出 日 号嘉庭フク 1 号嘉庭フク	ク土 ク土 合 計 上 地 点 フナ	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイ シャコガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ	3 1 33 完 形		殻口	破片
43 号幕室フ 45 号幕室フ 出 1 号幕庭フク 1 号幕庭フク 1 号幕庭フク	ク土 ク土 合 計 上 地 点 フナ. フナ:	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒレジャコガイ	3 1 33 完 形		殻口	破 片 不明1
43 号幕室フ 45 号幕室フ 出 1 号墓庭フク 1 号幕庭フク 1 号幕 アク 1	ク土 ク土 合 計 上 地 点 フナ: フナ:	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ マルスダレガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒレジャコガイ ヌノメガイ	3 1 33 完 形 上 1		殻口	破 片 不明 1 不明 1
43 号墓室フ 45 号墓室フ 出 1 号墓庭フク 1 号墓庭フク 1 号墓庭フク 1 号墓庭フク 1 号墓庭フク 1 号墓庭フク 1 号墓庭フク	ク土 ク土 ウ 計 上 地 点 フ土 フ 土: ヒ フ 上:	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイ シャコガイ シャコガイ マルスダレガイ マルスダレガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒレジャコガイ ヌノメガイ ホソスジイナミ	3 1 33 完 形 L 1		殻口	破 片 不明 1 不明 1
43 号募室フ 45 号幕室フ 出 1 号幕庭フク 1 号幕庭フク 1 号幕庭フク 1 号幕庭フク 1 号幕庭フク 1 号幕庭フク 1 号幕庭フク 1 号幕をフク 1 号 3 上フク	ク土 ク土 ウ 計 上 地 点 フ土 フ土 フ土 フ ナ ヒ フ 上	リュウテンサザエ オウムガイ 料 名 ツキガイ シャコガイ シャコガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスザンガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒレジャコガイ スノメガイ ホソスジイナミ マスオガイ	3 1 33 完 形 上 1		殻口	破 片 不明 1 不明 1
43 号嘉室フ 45 号嘉室フ 1 号嘉庭フク 1 号嘉庭フク 1 号嘉庭フク 1 号嘉庭フク 1 号嘉庭フク 1 号嘉庭フク 1 号嘉庭フク 9 号嘉庭フク	ク土 ク土 合 計 上 地 点 フ土 フ土 フ土 フ ナ ヒ フ 上 フ 上	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイ シャコガイ シャコガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ シャコガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒレジャコガイ ヌノメガイ ホソスジイナミ マスオガイ ヒメジャコガイ	3 1 33 元 形 L1		殻口	破 片 不明 1 不明 1
43 号嘉室フ 45 号嘉室フ 1 日 1 号嘉庭フク 1 号嘉庭フク 1 号嘉庭フク 1 号嘉庭フク 1 号嘉庭フク 1 号嘉庭フク 1 日 第 E フク 1 日 第 E フク 1 日 第 E フク 1 日 第 E フク 1 日 第 E フク	ク土 ク土 ク 計 上 地 点 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フト フト フト フト フト フト フト フト フト フト フト フト フト	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイ シャコガイ シャコガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マオサザナミガイ シャコガイ シャコガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒレジャコガイ スノメガイ マスメガイ マスオガイ ヒメジャコガイ ススナガイ マスオガイ	3 1 33 完 形 L1 R1 L1		殻口	破 片 不明 1 不明 1
43 号嘉室フ 45 号嘉室フ 1 1 号嘉庭アク 1 号嘉庭庭アク 1 1 号嘉庭のアク 1 1 号嘉庭のアク 1 1 号嘉庭のアク 1 1 号嘉庭のアク	ク土 ク土 ウ 計 上 地 点 フ土 フ土 フ土 フ 上 フ 上 フ 上	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイ シャコガイ シャコガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスガイ マオサザナミガイ シャコガイ マルスダレガイ マルスダレガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒレジャコガイ メノメガイ ホソスジイナミ マスオガイ ヒメジャコガイ ホソスジイナミ ホソスジイナミ ホソスジイナミ ホソスジイナミ	3 1 33 元 形 L1		殻口	破片 不明1 不明1
43 号慕室フ 45 号嘉室フ 1 日 1 号嘉庭ワク 1 号嘉庭ワク 1 号嘉庭ワク 1 号嘉庭ワク 1 号嘉庭ワク 1 号嘉庭ロク 1 号嘉庭ピフク 11 号嘉庭ピフク 11 号嘉庭ピフク 11 号嘉庭ピフタ 11 号嘉庭ピフタ	ク土 ク土 ウ 計 上 地 点 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイ シャコガイ シャコガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マオサザナミガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒレジャコガイ マノメガイ ネソスジイナミ マスオガイ ヒメジャコガイ ホソスジイナミ ホソスジイナミ ホソスジイナミ ホソスジイナミ	3 1 33 元 形 L 1 R 1 R 1		殻口	破片 不明1 不明1
43 号墓室フ 45 号鷺室フ 1 1 号墓庭フク 1 号墓庭フク 1 号幕庭フク 1 号幕庭フク 1 号幕庭フク 1 号幕庭フク 1 号幕庭グフク 1 号幕庭グフ 1 1 号幕庭グフ 1 1 号幕庭グフ 1 1 号幕庭グラ 1 1 号幕庭グラ 1 1 号幕庭グラ 1 1 号幕庭グラ 1 1 号幕庭グラ	ク土 ク土 ウ 計 上 地 点 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイ シャコガイ シャコガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ シャコガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスグレガイ マトコガイ マトコガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒレジャコガイ エレジャコガイ スノメガイ マスオガイ ヒメジャコガイ エメンマイナミ マスオガイ ヒメジャコガイ ホソスジイナミ ホソスジイナミ ヒメジャコガイ メンガイ	3 1 33 完 形 L1 R1 R1		殻口	破片 不明1 不明1
43 号嘉室フ 45 号嘉室フ 出 1 号嘉庭 アク 1 号嘉庭 アク 1 号嘉庭 アク 1 号嘉 度 アク 1 号嘉 度 アク 1 号嘉 度 アク 1 号嘉 度 度 アク 1 号嘉 度 度 アク 1 号嘉 度 度 で 1 日 号 嘉 度 度 で 1 日 号 嘉 度 度 で 1 日 号 嘉 度 で 1 日 号 嘉 度 で 1 日 号 嘉 度 で 1 日 号 嘉 度 で 1 日 号 嘉 度 で 1 日 号 嘉 度 で 1 日 号 嘉 度 で 1 日 号 嘉 度 で	ク土 ク土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土: ウ土: ウ土: ウ土: ウ土 ウ土: ウ土 ウ土: ウ土:	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイ シャコガイ シャコガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスグレガイ マルスグレガイ マルスグレガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒレジャコガイ マノメガイ ホソスジイナミ マスオガイ ヒメジャコガイ ホソスジイナミ ホソスジイナミ トメジャコガイ メンガイ オンスジイナラー	3 33 完 形 L 1		殻口	破片 不明1 不明1
43 号慕室フ 45 号幕室フ 1 日 1 号嘉庭 フク 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 3 2 2 2 2 3 4 4 5 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	ク土 ク土 ウ土 地 点 フ土 フ土 フ土 フ土 フ 上 フ 上 フ 土 フ 土 フ 土	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイ シャコガイ シャコガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒレジャコガイ ヒレジャコガイ メノメガイ ホソスジイナミ マスオガイ ヒメジャコガイ ホソスジイナミ キソスジイナミ トメジャコガイ ホソスジイナミ トメジャコガイ メンガイ メンガイ テョウセンハマグリ アラスジケマンガイ	3 1 33 元 形 L 1 E 1 R 1 R 1 R 1 R 1 R 1 R 1 R		殻口	破片 不明1 不明1
43 号墓室フ 45 号鷺室フ 1 1 号嘉盛庭フク 1 号嘉盛庭フク 1 号嘉盛庭フク 1 号嘉盛庭フク 1 号嘉盛庭フク 1 号嘉盛庭 アク 1 号嘉盛庭 アク 1 号 5 3 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	ク土 ク土 ウ 計 上 地 点 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイ シャコガイ シャコガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒレジャコガイ エレジャコガイ スノメガイ ネソスジイナミ マスオガイ ヒメジャコガイ エソスジイナミ ホソスジイナミ よソスジイナミ トメジャコガイ メンガイ チョウセンハマグリ アラスジケマンガイ	3 1 33 完 形 L1 R1 R1 R1 R1 R1 R1/L2 L1		殻口	破片 不明1 不明1
43 号嘉室フ 45 号嘉室フ 出 1 号嘉盛医フク 1 号嘉盛医フク 1 号嘉盛医フク 1 号嘉盛医フク 1 号嘉盛医アク 1 号嘉盛医アク 1 号嘉盛医アク 1 号嘉盛医区 1 号嘉盛医区 1 号嘉盛医区 1 号嘉盛医区 1 日号嘉盛医区 1 日号嘉盛医区 1 日号嘉盛医区 2 日号号嘉盛医区 2 日号喜盛医区 2 日号喜盛医区 2 日号高盛区 2 日号高 2 日号高 2 日号高 2 日号高 2 日号高 2 日号高 2 日号高 2 日号高 2 日号高 2 日号 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日	ク土 ク土 ウ土 地 点 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイ シャコガイ シャコガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒレジャコガイ ヒレジャコガイ メノメガイ ホソスジイナミ マスオガイ ヒメジャコガイ ホソスジイナミ ホソスジイナミ ヒメジャコ オイ オリスジイナ チョウセンハマグリ アラスジケマンガイ ウラキツキガイ	3 1 33 元 形 L 1 E 1 R 1 R 1 R 1 R 1 R 1 R 1 R	殻 頂	殻口	破片 不明1 不明1
43 号墓室フ 45 号章室フ 1 日	ク土 ク土 ウ 計 上 地 点 ウ ナ ウ 土 ウ 土 ウ 土 ウ 土 ウ 土 ウ 土 ク 土 ク 土 ク 土 ク 土 ク 土 ク 土 ク 土 ク	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイ シャコガイ シャコガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒメジャコガイ エメンガイ ホソスジイナミ マスオガイ エメンジャコガイ ホソスジイナミ マスオガイ ホソスジイナミ ホソスジイナミ ホソスジイナミ カンスジャコガイ メンガイ チョウセンハマグリ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ ウラキツキガイ シレナシジミ	3 1 33 完 形 L 1 E 1 R 1 R 1 R 1 R 1 R 1 R 1 L 1	機 (自 R 1	殻口	破 片 不明 1 不明 1
43 号嘉室フ 45 号嘉 室フ 1 日	ク土 ク土 ウ 計 上 地 点 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイ シャコガイ シャコガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスガイ マルスガイ マルスガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒレジャコガイ エレジャコガイ スノメガイ マスオガイ ヒメジャコガイ エソスジイナミ マスオガイ ヒメジャコガイ ホソスジイナミ ヒメジャコガイ オフスジイナミ トメジャコガイ テョウセンハマグリ アラスジケマンガイ ウラキツキガイ シレナシジミ レレジャコガイ	3 1 33 完 形 L1 R1 R1 R1 R1 R1 R1/L2 L1	殻 頂	税 口 上 I	破 片
43 号墓室フ 45 号鷺室フ 1 日 1 号墓庭 フク 1 号墓庭 医フク 1 号幕 医 医 フク 1 号幕 医 医 アク 1 号幕 医 E 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区	ク土 ク土 ク土 カ土 カ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイ シャコガイ シャコガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスガイオインジミガイシャコガイシャコガイシャコガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒレジャコガイ ヒレジャコガイ ヌノメガイ ・ボソスジイナミ マスオガイ ヒメジャコガイ ホソスジイナミ ホソスジイナミ トメジャコガイ チョウセンハマグリ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ ウラキツキガイ シレナシジミ ヒレジャコガイ	3 1 33 完 形 L 1 E 1 R 1 R 1 R 1 R 1 R 1 R 1 L 1	機 (自 R 1	殻口	破 片
43 号	ク土 ク土 ク土 ウ 計 上 地 点 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイ シャコガイ シャコガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスガレカイフキガインシャコガイシャコガイシャコガイシャコガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒメジャコガイ ヒンジャコガイ エンスガイナミ マスオガイ エメスデイナミ エソスジイナミ エソスジイナミ エソスジイナミ エンスジイナミ エンスジイナ カウセンハマグリ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ フラキツキガイ シレナシジミ ヒレジャコガイ ヒメジャコガイ	33 元 形 L 1 R 1 R 1 R 1 R 1 R 1 R 1 R 1 L 1 L 1	機 (自 R 1	税 口 上 I	破 片
43 号幕電フ 45 号幕電フ 1 1 号幕電配フク 1 号幕電路医フク 1 号幕電路医アクク 1 号等電路医アクク 1 号等電路医医アクク 1 号等 3 音等 3 音等 3 音等 3 音等 3 音等 3 音等 3 音等 3	ク土 ク土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ	リュウテンサザエ オウムガイ 科名 ツキガイ シャコガイ シャコガイマルスダレガイマルスダレガイシャコガイマルスダレガイシャコガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレカイシャコガイウキブガイマンギョガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキッキガイ ヒメジャコガイ ヒレジャコガイ ヒレジャコガイ ヌノメガイナミ マスオガイ ヒメジャコガイ エソスジイナミ ヒメジャコガイ ホソスジイナミ ヒメジャオカイ チョウセンハンガイ テョウセンハンガイ アラスジケマンガイ ウラキッキガイ シレナシシゴガイ とメジャコガイ シーナシジャガイ シーナシジャコガイ	33 元 形 L1 R1 R1 R1 R1 R1 R1/L2 L1 L1	機 (自 R 1	税 口 上 I	破 片
43 号嘉電 フノ 45 号嘉 電 フノ 1 号嘉	ク土 ク土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイ シャコガイ シャコガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスガイイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ マトスダレガイ マルスダレガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒメジャコガイ ヒンジャコガイ エンスガイナミ マスオガイ エメスデイナミ エソスジイナミ エソスジイナミ エソスジイナミ エンスジイナミ エンスジイナ カウセンハマグリ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ フラキツキガイ シレナシジミ ヒレジャコガイ ヒメジャコガイ	33 元 形 L 1 R 1 R 1 R 1 R 1 R 1 R 1 R 1 L 1 L 1	機 (自 R 1	税 口 上 I	破 片
43 号幕 マフィ (43 号幕 マフィ (45 号幕 マフィ (45 号章 マフィ (45 号号	ク土 ク土 ク土 カ土 カ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土	リュウテンサザエ オウムガイ 科名 ツキガイ シャコガイ シャコガイマルスダレガイマルスダレガイシャコガイマルスダレガイシャコガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレカイシャコガイウキブガイマンギョガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキッキガイ ヒメジャコガイ ヒレジャコガイ ヒレジャコガイ ヌノメガイナミ マスオガイ ヒメジャコガイ エソスジイナミ ヒメジャコガイ ホソスジイナミ ヒメジャオカイ チョウセンハンガイ テョウセンハンガイ アラスジケマンガイ ウラキッキガイ シレナシシゴガイ とメジャコガイ シーナシジャガイ シーナシジャコガイ	33 元 形 L1 R1 R1 R1 R1 R1 R1/L2 L1 L1	機 (自 R 1	税 口 上 I	破 片
43 号嘉室フノ 45 号嘉室フノ 1 号嘉盛医フク 1 号嘉盛医フク 1 号嘉盛医フク 1 号嘉盛医フク 1 号嘉盛医フク 1 号嘉盛医 1 号 号嘉盛医 1 号号嘉盛医 1 号号嘉盛医 1 号号嘉盛医 1 号号 5 号 5 号 1 号号 5 号 5 号 5 号 2 1 号号 5 号 5 号 5 号 2 1 号号 5 号 5 号 5 号 2 1 号号 5 号 5 号 5 号 5 号 2 2 1 号号 5 号 5 号 5 号 2 2 1 号号 5 号 5 号 5 号 5 号 5 号 5 号 5 号 5 号 5	ク土 ク土 ク土 ウ 計 上 地 点 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイ シャコガイ シャコガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスガイイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ マトスダレガイ マルスダレガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒレジャコガイ マノメガイ ボソスジイナミ マスオガイ ヒメジャコガイ エメスジイナミ エソスジイナミ ホソスジイナミ トメジャコ オイ オリスジイナ トメンガイ チョウセンハマグリ アラスジケマンガイ ウラキツキガイ シレナシジミ ヒレジャコガイ ヒメジャコガイ シオーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカ	33 元 形 L1 R1 R1 R1 R1 R1 R1/L2 L1 L1	機 (自 R 1	税 口 上 I	破 片
43 号幕 マフィ (43 号幕 マフィ (45 号	ク土 ク土 ク土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスガイイ ウミギガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ ウミギクガイ ウミギクガイ ウミギクガイ ウミギクガイ マルズダレガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒメジャコガイ エスメガイ ホソスジイナミ マスオガイ エメスがイナミ マスオガイ エメンスシーナミ ヒメジャコガイ メンガイ カリスジイナミ ヒメジャコガイ メンガイ テョウセンハマグリ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ フラキツキヴミ ヒレジャコガイ メンガイ メンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスリメガイ	33 元 形 L 1 R 1 R 1 R 1 R 1 R 1 R 1 R 1 L 1 R 1 R 1 L 1	機 (自 R 1	税 口 上 I	破 片
43 号募室フフフタイト	ク土 ク土 ク土 カ土 カ土 フ土: フ土: フナ: フナ: フナ: フナ: ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土: ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスガイイ ウミギガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ ウミギクガイ ウミギクガイ ウミギクガイ ウミギクガイ マルズダレガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキッキガイ ヒメジャコガイ ヒメジャコガイ ヒレジャコガイ ヌノメガイ マスオガイ ヒメジャコガイ セメジャコガイ マスオガイ ヒメジャコガイ ボソスジイナミ ヒメジャイナミ ヒメジャイナ テョウセンハマグリ アラスジケマンガイ ウラキッキガイ シレナシシゴガイ シーナシジャコガイ シーナンジャコガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスノメガイ アラヌノメガイ 不明	33	機 (自 R 1	税 口 上 I	破 片
43 号	ク土 ク土 ク土 ウ 計 上 地 点 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイイ シャコガイ シャコガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイイマルスダレガイイマルスダレガイマルスダガイイマルスダガイイマルスダガイイマルスメダイイマルスメダレガイマルスメダレガイマルスダレガイマルスダイガイマルスガイイマルスガイイマルスガイイウミミギタガイイマルスダレガイマルスダケガイマルスダケガイマルスダケガイマルスダケガイマルスダケガイマルスダケガイマルスダケブイイウミミギタゲアイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒレジャコガイ マノメガイ マノメガイ ヒンジャコガイ センジャナミ マスオガイ ヒメジャイナミ マスオガイ ヒメジャイナミ ホソスジイナミ ヒメジャコガイ チョウセンハマグリ アラスジケマンガイ ウラキツキガイ シレナシコガイ ヒメジャコガイ シフナミカイ シアナスジャイナ マグリ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスノメガイ アラヌノメガイ 不明 不明	33	機 (自 R 1	税 口 上 I	破 片
43 号 第 マフィー	ク土 ク土 ク土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ	リュウテンサザエ オウムガイ 科名 ツキガイイシャコガイマルスダレガイマルスダレガイシャコガイマルスダレガイシャコガイマルスダレガイシオコガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスメダレガイマルスメダレガイマルスメダレガイマルスメダレガイマルスダレガイマルスダレガイシャコガイイシャコガイイシャコガイイウミギクガガイウミスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキッキガイ ヒメジャコガイ ヒメジャコガイ ヒレジャ・コガイ ヌノメガイナミ マスオガイ ヒメジャコガイ エソスジイナミ ヒメジャコガイ ホソスジイナミ ヒメジャイナ カウセンハマグリ アラスジケママ カガイ アラスジケマンガイ ウラキッキガ シレナシジガイ アラスジケオ アラスジケオ アラスジケオ アラスジケオ アラスジケオ アラスジケマンガイ アラスジケオ アラスジケオ アラスジケアマンガイ アラスジケンガイ アラスジケンガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アリンシンガイ アラスノメガイ アリンシンガイ アラスノメガイ アラスノメガイ	33	松 (i) R 1 L 1	税 口 上 I	破 片
43 号幕電フフィート 43 号幕電フフィート 43 号幕電フフィート 45 号幕電車ファイート 55 墓墓原 75 号号幕幕 55 号号号幕幕 55 号号号幕幕 55 号号号幕幕 55 号号号号幕幕 55 号号号号幕幕 55 号号号号 55 号号号号 55 号号号号 55 号号号号号 55 号号号号号 55 号号号号号号	ク土 ク土 ク土 土 地 点 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ マルスダレガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ マルスギクガイ マルスダレガイ マルスギクガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスギクガイ マルスダレガイ マルスダレガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒレジャコガイ マノメガイ ヒンジャコガイ マスオガイ ヒメジャオナミ マスオガイ ヒメジャイナミ ホソスジイナミ ヒメジャコ ナイ ナッカイ チョウセンハマグリ アラスジケマンガイ テラスジケマンガイ ウラキツキガイ シレナシコガイ ヒメジャゴガイ シフナミガイ スフガイ アラスジケマンガイ フラキガイ シアナンガイ アラスジケマンガイ フラキッカイ マグリカー アラスジケマンガイ フラスジケマンガイ フラスジケマンガイ フラスジケマンガイ フラスジケマンガイ フラスジケマンガイ フラスジケマンガイ フラスジケマンガイ フラスシー エージャーコガイ シンナンガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ フェスクアオリガイ	33	機 (i) R 1 L 1	税 口 上 I	破 片
43 号	ク土 ク土 ク土 ウ 計 上 地 点 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイイシャコガイ シャコガイシャコガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダガイガイシャコガイオイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイマルスガガガイシャコガイマルエガガイシャコガイマルエスダレガイマルボイグレガイマルボイグレガイマルボイがインシャコガイマルスガイイマルスガイイマルスガイイマルスガイイマルスガイイマルスガイイマルスガイイアシャコガイマルボイイアカガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキッキガイ ヒメジャコガイ ヒメジャコガイ エスメガイナミ マスオガイ ホソスジイナミ エメジャコガイ ボソスジイナミ エメジャコガイ メンガイ オーカー カーカー カーカー カーカー カーカー カーカー カーカー カーカ	33 元 形 L 1 R 1 L 1 R 1 R 1 R 1 R 1 L 1 L 1 L 1 L 1 L 1 L 1	松 (i) R 1 L 1	税 口 上 I	破 片 不明1 不明1 不明1 不明1 不明1 不明1
43 号 45 号 45 号 45 号 45 号 45 号 45 号 45 号	ク土 ク土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイイ シャコガイ シャコガイマルスダレガイマルスダレガイシャコガイマルスダレガイシャコガイマルスダレガイシャコガイマルスダレガイマルスダレガイマルスゴケガイマルスメダレガイマルスメダレガイマルスメダレガイマルスメダレガイマルスメギクガイウミギクガガイウミスダイイマルスメダレイマルスダイイマルスダイイマルスダイイマルスダイイマルスダイイマルスダイイマルスダイイマルスダイイマルスダイイマーマースガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒメジャコガイ マスメガイナミ マスオガイ ヒメジャイナミ マスオガイ ヒメジャイナミ ヒメジャイナミ ヒメジャイナミ ヒメンガイ チョウセンハングリ アラスジケママガイ ウラキツシゴガイ シレジャコガイ シレジャコガイ スシガイ アラスジケママガイ ウラキッショ ヒメジャコガイ マラスジケママガイ ウラキッショ ヒメジャコガイ アラスソガイ マラスジケコガイ シンガイ アラスソケママガイ シレジャコガイ アラスソガイ アラスソガイ アラスソガイ シンガイ アラスソガイ シンガイ アラスソガイ シンガイ アラスソガイ シンガイ アラスソガイ シンガイ アラスソガイ アラスソガイ アラスソガイ シンガイ アラスソガイ アラスソガイ アラスソガイ アラスソガイ アラスソガイ アラスソガイ	33	松 (i) R 1 L 1	税 口 上 I	破 片
43 号 第 マフフ (ク土 ク土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土	リュウテンサザエ オウムガイ 科 名 ツキガイイ シャコガイ シャコガイマルスダレガイマルスダレガイマルスダレガイシャコガイマルスダレガイシオコガイマルスダレガイマルスガガイマルスガガイマルススダレガイマルススダレガイマルススダレガイマルススダレガイマルスガイイマルスガイイマルスボイケシャコガイウミギスダレガイマルスボグレガイマルスボグレガイマルスガゲレガイマルスガゲレガイマルスガゲレガイマルスガゲレカゴガイマルスガゲレカコガイマルスガゲレカコガイイマンナコガイマンナコガイマンナコガイマンナコガイママクガガイマンナコガイマンナコガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキッキガイ ヒメジャコガイ マノメガイ マノメガイ マスオガイ ヒメジャイナミ マスオガイ ヒメジャイナミ ホソスジイナミ ヒメジャイナミ トメンガイ チョウセンハマグリ アラスジケマンガイ テョウセンマンガイ ウラキッキガイ シレナショガイ シーナショガイ シーナショガイ アラスジケマンガイ ウラキッキガイ シーナショガイ シーナショガイ マラスラントマンガイ ウラキッキガイ シーナショガイ マラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスフィーカー シーナシジミ ヒレジャコガイ シーナシジミ マーナシンジミ マーナシンジミ マーナシンジミ マーナシンジミ マーナシンジミ マーナシンガイ マーナシンガイ マーナンガイ マーナンガイ マーナンガイ マーナンガイ マーナンガイ マーナンガイ マーナンガイ マーナンガイ	33 元 形 L 1 R 1 L 1 R 1 R 1 R 1 R 1 L 1 L 1 L 1 L 1 L 1 L 1	松 (i) R 1 L 1	税 口 上 I	破 片
43 号 43 号 43 号 45 号 45 号 45 号 45 号 45 号	ク土 ク土 ク土 カ 計 上 地 点 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土	リュウテンサザエ オウムガイ 科がイ 科がイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ シャコガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダがイ カーコガイガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスガガイ マルスガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスガイ シャコガイイ シャココガイイ シャココガイイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスダレガイ ウミギクガイ マルスダレガイ ウミギクガイイ マルスダレガイ マルスダレガイ ウミギクガイイ マルスダレガイ マルスダレガイ ウミギクガイ マルスガイガイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキッキガイ ヒメジャコガイ ヒメジャコガイ ヒンジャコガイ スノメガイナミ マスオガイ ホソスジイナミ マスオガイ ホソスジイナミ ホソスジイナミ ホソスジャコガイ メンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスブイ エスガイ アラスブイ スンガイ アラヌノメガイ スンガイ アラヌノメガイ スンガイ シュモクアオリガイ とレジャコガイ とレジャコガイ とレジャコガイ シュナカガイ シュナカガイ シュナカガイ シュナカガイ シュナカガイ シュナカガイ シュナカガイ シュナカガイ とレジャコガイ スンガイ リュウキュウバカガイ	33 元 形 L1 R1 R1 R1 R1 R1 R1 L1 R1 R1 R1 L1 R1 R1 R1	松 (i) R 1 L 1	税 口 上 I	破 片
43 号 43 号 45 号 45 号 45 号 45 号 45 号 45 号	ク土 ク土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ	リュウテンサイ オウム ガイ 科 名 ツキガイイ シャコガイ シャコガイイ シャコガイイ マルスダレガイ マルスダレガイ マルスガガイイ マルスガガイイ マルスガガイイイ マルスガガイイイマルススダレガイ マルスガガイイイマルススダレガイイ マルスダレガイイ マルスガガイイインキョンガイイ マルスガイイインシャコガイイ ウミギスダイイインシャコガイイ ウミスギイケガイイ マルスガイイインキョンガイイ マルスガイイインキョンガイイ マルスガイイインキョンガイイインシャンディイインシャンディイインシャンガイイインシャンガイイインシャンガイイインシャンガイイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキッキガイ ヒメジャコガイ ヒメジャコガイ マスメガイナミ マスオガイ ヒメジャイナミ マスオガイ ヒメジャイナミ ヒメジャイナミ ヒメジャイナシンガイ チョウセンハマグリ アラスジケママガイ ウラキッショガイ シレジャコガイ シレジャコガイ スシガイ アラスジケママガイ ウラキッショガイ シーションガイ アラスジケママガイ ウラキッショガイ シーシップガイ アラスジケッカイ シンガイ アラスジケッカイ シンガイ アラスジケッカイ シンガイ アラスジケッカイ シンガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ シンガイ シーシジャコガイ ヒレジャコガイ ヒレジャコガイ ヒレジャコガイ とレジャコガイ とレジャコガイ	33	機 (iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	税 口 上 I	破 片
43 号	ク土 ク土 ク土 カ 計 上 地 点 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク土 ク	リュウテンサ オウムガイ 科 名 ツキガイイ シャコガイイシャコガイイシャコガイマルスダレガイイシャコガイマルスダレガイイシャコグレガイマルスタザサイイマルスタザナイマルススガイガイシャコギクダレガイマルススガイイマルススガイイマルスガイイマルスガイイマルスガイイシャコガイイシャコガイイウミルスガイマルスガイイウミルガイマルスガイイマルスガイイフェスガイイマルスガイイフェスガイイマルスガイイフェスガイイフェスガイイマルスガイマルカイイマルスガイイフェスガイイマルカイイマルカイイマルカイイマルスガイイフェスガイイフェスガイイフェスガイイフェスガレイイフェスガレイイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキツキガイ ヒメジャコガイ ヒメジャコガイ エメスガイナミ マスオガイナミ マスオガイナミ セメジャコガイ ホソスジイナミ ヒメジイナミ ヒメジイー メンガイ メンガイ メンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ ウラキツャジョ レレジャコガイ とメジャコガイ とメジャコガイ メンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ フランコガイ メンガイ アラスシケマンガイ ファラスジケマンガイ ファラスジケマンガイ ファラスジケマンガイ ファラスジケマンガイ ファラスツケマンガイ ファラスリンコガイ メンガイ アラスノメガケ アサンガイ メンガイ スシガイ アリカマンイ スシガイ アリカマンイ アカスシガイ スシガイ アカスシガイ ファオークラナコガイ ストナンディークランシガイ ファークランシガイ ファークランシガイ ファークランシガイ ファークランシガイ ファークラークアオカイ ファークラークアオカイ ファークラークアオカイ ファークラークアオカイ ファークラークアオカイ ファークラークアオカイ ファークラークアオカイ ファークラークアオカイ ファークテークアオカイ ファークアケークアケークアケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケーケ	33 1 33 元 形 L1 R1 R1 R1 R1 R1 R1 R1 R1 L1 L	松 (i) R 1 L 1	税 口 上 I	破 片
43 号 43 号 45 号 45 号 45 号 45 号 45 号 45 号	ク土 ク土 ク土	リュウテンサイ オウムガイ 科がイ 科がイ シャコガイイ シャコガイイ シャコガイイ シャコガイイ シャコガイイ シャコガイイ シャコガイイイ マルスタゲレガイ マルスタゲレガイイ マルススダレガイイイイマルススグレガイイイイ マルスタゲレガイイーウミアスダレガイイーマルスガイイイイマルスガイイーマルスガイイイイマルスガイイーフシャコカイイイマルボイイイマルジョガイイーフェギクガガイイマルジスガイイマルジスガイイマルジスガイイマルジスガイイアルガイイアルジスガイイアルカイイイマルボイイイアルカイイイアルカイイイアルスガイイアスカイイイマルスガイイアスカイイイマルスガイイアスカイイイマルスガイイアスカイイアスカイイアスカイイアイアスカイイアスカイイアスカイイアスカイイアスカイイアスカイイアスカイイアスカイイアスカイイアスカイイアスカイイアスカイイアスカイイアスカイイアスカイイアスカイイアスカイイアスカイイアスカイイイアスカイイイアスカイイイアスカイイイアスカイイイアスカイイイアスカイイイイアスカイイイアスカイイイアスカイイイアスカイイイイイアスカイイイイイイイアスカイイイアスカイイイイイイイイ	ヤコウガイ オウムガイ 種名 ウラキッキガイ ヒメジャコガイ ヒメジャコガイ ヒンジャコガイ マスオガイナミ マスオガイナミ マスオガイナミ マスオガイ ナッシンイナミ セメジャコガイ メンガイ チョウセンマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスリガイ とメジャコガイ メンガイ アラオー メンガイ アラオー メンガイ シュナクアコガイ とレジャコガイ メンガイ ヒンジャコガイ メンガイ ヒンジャコガイ メンガイ ヒンジャコガイ	33 元 形 L1 R1 R1 R1 R1 R1 R1 L1 L1 R1 R1 L1 L1	機 (iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	税 口 上 I	破 片 不明1 不明1 不明1 不明1 不明1 不明1
43 号 45 号 45 号 5 号 5 号 5 号 5 号 5 号 5 号 5 号	ク土 ク土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ	リュウテンイ オウム イ 科 名 ツキカガイ シャコガイイ シャコガイイ シャコガイイ シャコガイイ シャカコガイイ マルスダレナイイ マルスダレガイ マルスカザカガイイ マルスカガイイイ マルスカガイイイ マルスカガイイイ マルスカガイイイ マルカガイイイー シャコガイイイ シャコカガイイイー シャコカガイイイー シャコカガイイイイー マルスタグレガイイイー シャカカガイイイー マルスタグレガイイイー マルカガイイイー マルカガイイイー マルカカガイイイー マルカガイイイー マルカガイイイー マルカガイイイー マルカガイイイー マルカガイイイー マルカガイイイー マルカガイイイー マルカガイイイー マルカガイイイー マルカガイイー マンドカガイイー マンドカガイイー マルカガイイー マンドカガイー マンドカガイー マンドカガイー マンドカガイー マンドカガイー マンドカガイー マンドカガイー マンドカガイー マンドカガイー マンドカガイー マンドカケ	ヤコウガイ オウムガイ 種名 ウラキッキガイ ヒメジャコガイ ヒンジャコガイ ヒンジャコガイ ヒンジャコガイ マスオガイ ヒメジャコガイ ヒメジャイナミ ヒメジャイナミ ヒメジャイナナミ ヒメンガイ チョウスジケナガイ テラスジケママガイ ウラキッショガイ ウラキッショガイ アラスジケッカイ アラスジケッカイ アラスジケッカイ アラスジケッカイ アラスジケッカイ アラスジケッカイ アラスジケッカイ アラスジケッカイ アラスジケッカイ アラスジケッカイ レレジャコガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アシンガイ シンガイ リュンヴャ・コガイ アンメガイ リュメジオイ アンメガイ リュメジオイ レンジャコガイ アンメガイ アラスノメガイ	33 1 33 元 形 L1 R1 R1 R1 R1 R1 R1 R1 R1 L1 L	成 (i) R 1 R 1 R 1	成 口 上 I	破 片 不明1 不明1 不明1 不明1 不明1 不明1 不明1
43 号 45 号 45 号 45 号 45 号 45 号 45 号 45 号	ク土 ク土 ク土 (1) 計 上 地 点 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土	リュウテンイ 科がイ 科がイ シャカガイイ シャカガイイ シャカガイイ シャカガイイ シャカガイイ シャカカガイイ シャカガイイ シャカガイイ シャカガイイイ マルスダゲレガイイ マルスダゲレガイイイマルススダゲレガイイイマルススダゲレガイイイイマルススダゲレガイイイマルススダゲレガイイマルスメガイイーカーがイイマルスダゲレガイイマルスガイイン・カーカイイン・カーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカー	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキッキガイ ヒメジャコガイ ヒメジャコガイ ヒンジャコガイ エソスガイナミ マスオガイナミ マスオガイナミ マスオガイ ホソスジイナミ ヒメジャコガイ メンガイ ホソスジャイナミ ヒメジガイ メンガイ テョウセンハマグガイ アラスジケヤガイ シフキッシガイ アラスジケヤガイ シラナギンガイ メンガイ アラスジケオイ ウラキッショガイ メンガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラヌノメガイ ア・明 不明・オーシジミ アノメガイ リュウキャコガイ メンガイ リュウキャコガイ メンガイ リュウキャコガイ メンガイ リュウキャコガイ メンガイ リュウキャコガイ メンガイ リュウキャコガイ メンガイ リュウキャコガイ メンガイ リュウキャコガイ メンガイ リュウキョンメガイ レメンガー ヒメジャコガイ シラナミノメガア ヒレジャコガイ シラナミノメガア ヒレジャコガイ	33 33 33 元 形	機 (iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	成 口 上 I	破 片 不明1 不明1 不明1 不明1 不明1 不明1 R1
43 号 45 号 45 号 5 号 5 号 5 号 5 号 5 号 5 号 5 号	ク土 ク土 ク土 (1) 計 上 地 点 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土 フ土	リュウテンイ オウム ガイ 科がイ シャコガイ シャコガイイ シャコガイイ シャコガイイ シャコガイイ シャコガイイ シャコガイイ シャコガイイイ マルスダレガイ マルスダレガイイ マルスダレガイイ マルスダレガイイ マルスダレガイイ マルスダレガイイイイイマルスダレガイイー マルスダレガイイー マルスダレガイイー マルスダレガイイイイイマルスガイイー シャコガイイケシャコガイイイイイイイイイイイイイイイイイイイイイイイイイイイイイイイイイイイイ	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキッキガイ ヒメジャコガイ ヒメジャコガイ ヒメジャコガイ ヒメジャコガイ マスオガイナミ マスオガイ ヒメジャコガイ ナッスジイナミ セメジャコガイ ナッスジャンオ オソスジコガイ チョスシケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ ウシナシシコガイ メンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスジケマンガイ アラスフがイ メンガイ エメジャコガイ メンガイ アラオー メンガイ シュナクコガイ メンガイ シュナクコガイ とレジャコガイ メンカイ ヒンジャコガイ アラスノメガイ ヒンジャコガイ アラスノメガイ ヒンジャコガイ アラスノメガイ ヒンジャコガイ アラスノメガイ アラスノメガイ	33 元 形 L 1 R 1 R 1 R 1 R 1 R 1 L 1 R 1 R 1 L 1 R 1 L 1 L 1 L 1 L 1 L 1 L 1 L 1 L 1 L 1 L	成 (i) R 1 R 1 R 1	成 口 上 I	破 片 不明1 不明1 不明1 不明1 不明1 不明1 R1
43 号 43 号 43 号 45 号 45 号 45 号 45 号 45 号	ク土 ク土 ク土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ土 ウ	リュウテンイ 科がイ 科がイ シャカガイイ シャカガイイ シャカガイイ シャカガイイ シャカガイイ シャカカガイイ シャカガイイ シャカガイイ シャカガイイイ マルスダゲレガイイ マルスダゲレガイイイマルススダゲレガイイイマルススダゲレガイイイイマルススダゲレガイイイマルススダゲレガイイマルスメガイイーカーがイイマルスダゲレガイイマルスガイイン・カーカイイン・カーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカー	ヤコウガイ オウムガイ 種 名 ウラキッキガイ ヒメジャコガイ ヒメジャコガイ ヒンジャコガイ エソスガイナミ マスオガイナミ マスオガイナミ マスオガイ ホソスジイナミ ヒメジャコガイ メンガイ ホソスジャイナミ ヒメジガイ メンガイ テョウセンハマグガイ アラスジケヤガイ シフキッシガイ アラスジケヤガイ シラナギンガイ メンガイ アラスジケオイ ウラキッショガイ メンガイ アラスノメガイ アラスノメガイ アラヌノメガイ ア・明 不明・オーシジミ アノメガイ リュウキャコガイ メンガイ リュウキャコガイ メンガイ リュウキャコガイ メンガイ リュウキャコガイ メンガイ リュウキャコガイ メンガイ リュウキャコガイ メンガイ リュウキャコガイ メンガイ リュウキャコガイ メンガイ リュウキョンメガイ レメンガー ヒメジャコガイ シラナミノメガア ヒレジャコガイ シラナミノメガア ヒレジャコガイ	33 33 33 元 形	機 (iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	成 口 上 I	破 片 不明1 不明1 不明1 不明1 不明1 不明1 R1 R1

第 VI 章 那覇市ナーチュー毛古墓群出土の人骨

琉球大学医学部解剖学第1講座 譜久嶺忠彦・土肥直美・石田肇

1. はじめに

ナーチュー毛古墓群は那覇市の「天久解放区」内で発見された古墓群で、1993年に那覇市教育委員会によって発掘調査が行われた。今回、出土した近世人骨について報告する。

2. 出土人骨

ナーチュー毛古墓群から検出された人骨について、鑑定結果の要約を第43表に示す。全体的に保存 状態はあまり良くなく、破損や風化したものも含まれていたため、性判定の困難なものが多かった。

3. 人骨所見

以下に、人骨所見の概要を記す。年齢区分は第44表に従った。

3号墓室(成人男性3、成人女性1、乳児1)

残存部位は下顎骨が 2、上腕骨が右 2 左 2、尺骨が右 2 左 3、橈骨が右 1 左 2、大腿骨が右 4 左 3、脛骨が右 1 左 3 などが確認された。四肢骨の筋粗面の発達程度や骨幹の形態より、少なくとも成人男性 3 体、成人女性 1 体が葬られていると考えられる。また、ほぼ 1 体分の乳児の骨も確認された。

5 A 号墓室安置蔵骨器 No.2 (成人男性 2、成人女性 1)

大腿骨や距骨が3体分あることから、少なくとも3体の成人が葬られていると思われる。大腿骨の筋付着部分の発達や四肢骨骨端のサイズの違いなどから男性2体、女性1体が含まれている。

5 B 号墓室蔵骨器 No.3 (成人男性 2、成人女性 2)

葬られた骨の形態やサイズの違いから男性2体、女性2体が葬られていると推定される。男性の左乳様突起1、女性の左乳様突起1、妊娠痕のある寛骨2体分が確認できた。下顎骨の切歯や大臼歯の歯槽部分が閉鎖していることから、4体のうち2体は熟年に達していたと考えられる。

6 D号墓室安置蔵骨器 No.1 (熟年男性 1)

ほぼ1体分の成人全身骨が確認できた。乳様突起や寛骨の形態から男性、歯の咬耗度(Broca の1~2度)から熟年と思われる。眼窩には Cribra Orbitalia(主に幼少期の鉄欠乏性貧血が原因の珊瑚様の外観をした病変")、上顎左第1小臼歯の退化が認められた。上顎右切歯用、下顎用の入れ歯が含まれている。

6 D 号墓室安置蔵骨器 No.2 (成年男性 1)

ほぼ1体分の成人全身骨が確認された。四肢骨の筋付着部分や寛骨の形態などから男性、残存する下 顎骨の歯槽部分や歯の咬耗度(Brocaの1度)より成年と考えられる。

12・13 号墓間フク土 (成年男性 1)

上下顎骨片、左鎖骨片、左右橈骨片、右尺骨片、左寛骨片、左大腿骨片、左右脛骨片、左右腓骨片等が確認された。四肢骨の形態やサイズから男性と思われる。残存する下顎骨の歯槽部分がすべて解放していることや歯の咬耗度(Broca の1度)より成年と考えられる。

16 号墓室蔵骨器 No.2 周辺(成年男性 1、成人女性 1、性別不明成人 2)

第43表 ナーチュー毛古墓群出土人骨の構成

	号 墓	男性	女性	性別不明								
		为注	女任	成人	若年	小児	幼児	幼~乳児	乳~新生児	合計		
3	墓室	3	1					1		5		
5 A	墓室安置蔵骨器№2	2	1							3		
5 B	墓室蔵骨器№3	2	2							4		
6 D	墓室安置蔵骨器№1	1				-				1		
6 D	墓室安置蔵骨器№2	1								1		
12	墓間フク土	1								1		
13		1								1		
16	墓室蔵骨器№3	1	1	2				-		4		
18	墓室		2				_			2		
19	墓室	1	1							2		
19	墓室蔵骨器№2							<u>1</u>		1		
19	墓室蔵骨器№3		1							1		
24	墓室蔵骨器№10		1							1		
24	墓室蔵骨器№11		1							1		
24	墓室蔵骨器No.13	1	1							2		
24	墓室蔵骨器№16		1							1		
24	墓室蔵骨器№19	2	1							3		
24	墓室蔵骨器№20	1	1				1	1		4		
24	墓室(左側土砂崩落)	2	1				1	1		5		
29	墓室		1							1		
33	墓フク土	11_	2				1	1		5		
33	墓室	1								1		
33	墓室安置蔵骨器№3						1		1	2		
33	墓室安置蔵骨器№4							1		1		
36	墓室	3	2	1			1		1	8		
36	墓室蔵骨器№3	2	1		1		1			5		
41	墓室		1	_					1	2		
41	墓室(人骨)			1			_		1	2		
42	墓室		1			1	3	2	1	8		
48	墓室蔵骨器						1			1		
北6	墓室蔵骨器№1	1	1					1		3		
北7	墓室蔵骨器No.1	1	2				1			4		
JVC	墓室安置蔵骨器№1	2	2			1	1			6		
北8	墓室安置蔵骨器No.2	2	2		1	1	1			7		
北8	墓室安置蔵骨器№3		1							1		
北9	墓室蔵骨器(№1)	1	1				1			3		
上9	墓室蔵骨器(№5)		1							1		
北9	墓室蔵骨器(No.7)	2	1						1	4		
	計	34	35	4	2	3	14	9	6	107		

第 44 表 年齢区分

年齢区	分				
胎児~	新生児			1ヶ月	未満
	乳児	1ヶ月	~	1	才未満
	幼児	1	~	7	才未満
	小児	7	~	14	才未満
	若年	14	~	20	才未満
成人	成年	20	~	40	才未満
	熟年	40	~	60	才未満
	老年		~	60	才以上

残存する部位が少ないが男性は上下顎骨片、左橈骨片、左膝蓋骨、女性は左鎖骨片、左距骨等が確認された。歯の咬耗度(Broca の $1\sim 2$ 度)や歯槽部分の形態より、男性は成年に達していたと思われる。右上顎犬歯や右下顎第 1 大臼歯、左下顎第 2 大臼歯などの歯が 4 体分観察されたことから、成人 4 体が葬られていたと考えられる。

18 号墓室(成年女性 1、熟年女性 1)

ほぼ全身骨が残存する成人 2 体分が確認された。四肢骨が全体的に華奢なことや、乳様突起の発達程度などから 2 体とも女性と考えられる。同一個体のものと思われる左右脛骨、左右腓骨の骨幹に骨膜炎と思われる病変が認められた。歯槽部分の形態や歯の咬耗度から 1 人は成年(Broca 0 1 \sim 2 \mathbb{E}

19 号墓室(老年男性 1、成人女性 1)

残存する部位は、頭蓋骨片、上下顎骨片、左右鎖骨片、左右上腕骨片、左尺骨片、右寛骨片、左右大腿骨片、右脛骨片、左右膝蓋骨、左右距骨片などが確認された。骨の形態やサイズの違いにより男女各 1 体が葬られていると考えられる。男性と思われる上下顎骨は、ほとんどの歯が死亡前に脱落して歯槽部分の吸収も顕著であることから老年に達していたと考えられる。男性の眼窩には Cribra Orbitalia が認められた。

19 号墓室蔵骨器 No.2 (乳児 1)

ほぼ 1 体分の乳児骨が確認された。頭蓋骨には Porotic Hyperostosis (珊瑚様の外観を呈した病変で、特に眼窩で認められる病変は Cribra Orbitalia と呼ぶ")、眼窩には Cribra Orbitalia、左右橈骨、右尺骨、左右脛骨、左右腓骨に骨萎縮性の肥厚と思われる病変が認められた。

19 号墓室蔵骨器 No.3 (老年女性 1)

ほぼ1体分の成人全身骨が認められた。寛骨や四肢骨の形態により女性と思われる。歯槽部分の吸収が顕著で、ほとんどの歯が生前に脱落していることから老年に達していたと考えられる。眼窩には Cribra Orbitalia が確認された。

24 号墓室蔵骨器 No.10 (熟年女性 1)

残存部位は前頭骨片、右頬骨片、左右側頭骨片、上下顎骨片、左鎖骨片、左上腕骨片、左右橈骨片、左右尺骨片、左右宽骨片、左大腿骨片、左右脛骨片、左右腓骨片、左右膝蓋骨、左右距骨、右踵骨片等が確認できた。乳様突起や寛骨、四肢骨の形態やサイズから女性と推定され、歯の咬耗度(Broca の1~2度)より年齢は熟年と思われる。

24 号墓室蔵骨器 No.11 (成年女性 1)

保存状態が悪く残存する部位も少ないが前頭骨片、左右肩甲骨片、左鎖骨片、左右上腕骨片、左右橈骨片、左右寛骨片、左右大腿骨片、左右脛骨片、左右腓骨片など1体分の成人骨が確認できた。四肢骨の形態、寛骨に妊娠痕が認められることや、大坐骨切痕の形態により女性と思われる。歯の咬耗状態(Broca の1度)から見て成年と推定される。

24 号墓室蔵骨器 No.13 (熟年男性 1、熟年女性 1)

骨の形態やサイズの違いから男女各1体が葬られていたと思われる。男性は左右頬骨片、上下顎骨片、左右側頭骨片、右鎖骨片、左右上腕骨、左右橈骨、左右尺骨、左右寛骨片、左右大腿骨片、左右脛骨片、左右腓骨片、女性は上顎骨片、左右側頭骨片、左右鎖骨片、左上腕骨片、左右尺骨片、左寛骨片、右大腿骨などが確認できた。上顎骨の切歯部分などの歯槽部分が閉鎖していることから2体とも熟年に達し

ていたと思われる。

24 号墓室蔵骨器 No.16 (成人女性 1)

残存する部位が少なく保存状態もあまり良くないが、1 体分の成人骨が確認できた。左右上腕骨、左右大腿骨の骨端部分や距骨の大きさから女性と考えられる。

24 号墓室蔵骨器 No.19 (成人男性 2、成人女性 1)

成人の下顎骨片が3体分あることから、少なくとも3体(歯槽部分の形態から1体は熟年)が葬られていたと思われる。筋付着部分の発達程度や四肢骨の形態の違いから男性2体、女性1体が含まれている。女性と思われる前頭骨には前頭縫合が認められた。

24 号墓室蔵骨器 No.20 (成人男性 1、成人女性 1、幼児 1、乳~幼児 1)

保存不良で細片が多いが、下顎骨片、左右鎖骨片、左右上腕骨片、左右橈骨片、尺骨片右2左1、右 寛骨片、左右大腿骨片、左右脛骨片、左右腓骨片、左右膝蓋骨等の成人骨が確認できた。四肢骨の骨端 の大きさや形態から、男性が1体、女性が1体葬られていると考えられる。また幼児と思われる頭蓋骨 片、上下顎骨片、左上腕骨片、左桡骨片、左尺骨片、左右大腿骨片、左右脛骨片、乳~幼児と思われる 頭蓋骨片、上下顎骨片、左右上腕骨片、左右桡骨片、右尺骨片、左右大腿骨片、左右腸骨片などが確認 できた。

24 号墓室(左側土砂崩落)(成人男性 2、成人女性 1、幼児 1、乳~幼児 1)

残存する部位が少ないが、脛骨遠位骨端が3体分含まれていることから、少なくとも成人3体が葬られていたと考えられる。筋付着部分の発達程度や四肢骨骨端のサイズ、形態の違いから男性2体、女性1体が含まれていると推定される。そのほか、幼児の下顎骨片、右肩甲骨片、右鎖骨片、左右上腕骨片、左桡骨片、左右尺骨片、左腸骨片、右坐骨片、左右大腿骨片、左脛骨片、左腓骨片、乳~幼児の左右肩甲骨片、左右上腕骨片、右腸骨片、右坐骨片、右大腿骨片、右脛骨片、左腓骨片などが確認された。

29 号墓室(熟年女性 1)

残存部位は頭蓋骨片、上下顎骨片、右鎖骨片、左右上腕骨片、右大腿骨片などが確認された。頭蓋骨片はサイズが大きく、外後頭隆起も発達しているが、前頭骨や乳様突起の形態、大腿骨の筋付着部分もそれほど発達はしていないことから女性と思われる。歯の咬耗度(Broca の2度)より熟年と考えられる。

33 号墓フク土(成人男性 1、成人女性 2、幼児 1、乳児 1)

上腕骨片が左右各1 (女性)、尺骨片が左1、橈骨片が右1、大腿骨片が右2左2 (女性1、不明1)、脛骨片が右3左3 (男性1、女性2)、腓骨片が右1左2、寛骨片が左右各1 (女性1)、頭蓋骨片、下顎骨片が検出された。下顎骨の歯槽部分の吸収が顕著であることから、老年が1体含まれている。また幼児の右側頭骨片、左右腸骨片、左右坐骨片、左右大腿骨片、乳児の前頭骨片、右頬骨片、右肩甲骨片、左右鎖骨片、左右上腕骨片、右大腿骨片、左右脛骨片が確認された。以上から、少なくとも成人男性1体、成人女性2体、幼児1体、乳児1体が含まれていると考えられる。

33 号墓室(老年男性 1)

保存状態の良いほぼ全身の成人骨が確認された。乳様突起や四肢骨の形態より男性と思われる。上下 顎骨とも歯槽部分の吸収が顕著なことから、老年に達していたと推定される。鼻骨が高く、上下顎骨用 の入れ歯が含まれている。

33 号墓室安置蔵骨器 No.3 (幼児 1、胎児~新生児 1)

ほぼ全身の幼児骨が検出された。未萌出永久歯にはエナメル質減形成(疾患や栄養欠乏など乳幼時期 に経験した環境ストレスが原因³)が認められた。また胎児〜新生児のものと思われる肋骨2片と、焼 骨片が含まれている。

33 号墓室安置蔵骨器 No.4 (乳~幼児 1)

右上腕骨と右肩甲骨以外の全身の乳〜幼児骨が確認された。保存状態が良く、頭蓋骨はほぼ完全に残存している。

36 号墓室(成人男性 3、成人女性 2、性別不明成人 1、幼児 1、新生児 1)

残存部位は上腕骨片(左右各1)、橈骨片(右1)、尺骨片(右3左1)、大腿骨片(右2左1)、脛骨片(左右各1)、腓骨片(左右各1)、距骨片(右2左6)、頭蓋骨片、上顎骨片などが確認された。左の距骨の数から少なくとも6体の成人が葬られている。骨の形態やサイズの違いから男性が3体、女性が2体含まれていると推定される。他には未萌出の上顎第1大臼歯(幼児)、新生児のものと思われる大腿骨片が確認できた。火葬骨片が含まれている。

36 号墓室内蔵骨器 No.3 (成人男性 2、成人女性 1、若年 1、幼児 1)

残存する上腕骨片が4体分あることから、少なくとも成人4体が葬られていたと思われる。四肢骨や 寛骨などの骨の形態やサイズの違いから、男性2体、女性2体、また完全に骨化していない腰椎がある ことから、若年が1体含まれていると推定される。その他幼児の未萌出永久歯と踵骨が確認された。焼 骨、火葬骨が含まれている。

41 号墓室(老年女性 1、胎~新生児 1)

ほぼ全身の成人骨と胎〜新生児と推定される左腸骨が確認できた。 寛骨の大坐骨切痕の形態から女性 と考えられる成人は、上下顎骨歯槽部分の閉鎖状況から老年に達していたと思われる。 頭蓋骨片には Porotic Hyperostosis、 眼窩には Cribra Orbitalia、 犬歯にエナメル質減形成が認められた。 焼骨が少量含まれている。

41号墓室(人骨)(性別不明成人1、胎~新生児1)

少量の骨片と歯のみである。頭蓋骨片、下顎骨片、上顎右第3大臼歯、また胎~新生児のものと推定される頭蓋骨片が確認できた。

42 号墓室(老年女性 1、小児 1、幼児 3、乳児 2、胎~新生児 1)

ほぼ1個体分の成人の全身骨が確認された。残存する右上腕骨片や左右大腿骨など四肢骨片の形態や筋付着部分の発達程度から女性と思われる。下顎骨は死亡前に歯が脱落して歯槽部分の吸収も顕著なことから、老年に達していたと推定される。その他に小児の頭蓋骨片、下顎骨片、右肩甲骨片、右鎖骨片、左上腕骨片、左右尺骨片、左橈骨片、右腸骨片、左坐骨片、右恥骨片、右脛骨片等、幼児の頭蓋骨片、錐体片3、左肩甲骨片、右鎖骨片、右橈骨片、尺骨片(右1左3)、腸骨片(右2)、坐骨片(右1左3)、左右恥骨片、大腿骨片(右1左2)、腓骨片(右2左1)等、乳児の頭蓋骨片、下顎骨片、大腿骨片(右2左1)、右脛骨片、上胚骨片、左右腸骨片、左大腿骨片、右脛骨片、右脛骨片、右尺骨片、左右腸骨片、左大腿骨片、右脛骨片などが確認できた。以上から少なくとも老年女性1体、小児1体、幼児3体、乳児2体、胎~新生児1体が含まれていると考えられる。

48 号墓室蔵骨器(幼児1)

ほぼ全身の幼児骨が確認された。後頭部に Porotic Hyperostosis、ラムダ小骨が認められた。未萌出永久歯の歯冠形成程度から年齢は $1\sim 2$ 才と思われる。

北 6 号墓室蔵骨器 No.1 (成人男性 1、成人女性 1、乳児 1)

2個体分の成人全身骨が確認された。四肢骨の筋付着部分の発達程度や骨の形態、サイズの違いから 男性1体、女性1体が葬られていたと推定される。また乳児の上下顎骨片、左右鎖骨片、左上腕骨片、 左右橈骨片、左右尺骨片、左腸骨片、左右坐骨片、左右大腿骨片、左右脛骨片等が確認された。乳歯の 萌出や未萌出永久歯の歯冠形成程度から生後9ヶ月程度と思われる。

北7号墓室蔵骨器 No.1 (成人男性 1、成人女性 2、幼児 1)

下顎骨や四肢骨などが3体分あることから、少なくとも3体の成人が葬られていたと考えられる。寛骨や四肢骨の形態やサイズの違いから男性1体女性2体が含まれている。また未萌出の永久歯が含まれていることから、幼~小児が少なくとも1体は葬られていたと推定される。

北8号墓室安置蔵骨器 No.1(老年男性 1、成人男性 1、成人女性 2、小児 1、幼児 1)

前頭骨片3、上下顎骨片3、左右鎖骨片、上腕骨片(右3左4)、橈骨片(右2左2)、左右尺骨片、左 寛骨片、大腿骨片(右2左4)、脛骨片(右2左2)、膝蓋骨片(右3左4)などが確認できた。四肢骨の サイズや形態の違いより、男性2体(内1体は下顎骨歯槽部分の骨吸収が顕著なため老年)、女性2体が 含まれている。その他に幼~小児のものと思われる歯根未形成の右上顎第1大臼歯や右下顎第1大臼歯、 右側頭骨片、左上腕骨片、左右腸骨片、下顎骨片、左坐骨片、左右大腿骨片、左右脛骨片、幼児の未萌 出下顎第2小臼歯、第1大臼歯が確認された。また成人の遊離歯の中には過剰歯と思われるものが見ら れた。

北8号墓室安置蔵骨器 No.2(成人男性2、老年女性1、成人女性1、若年1、小児1、幼児1)

残存部位は頭蓋骨片、下顎骨片 2、上腕骨片(右 2 左 2)、橈骨片(右 1 左 2)、尺骨片(右 1 左 2)大腿骨片(右 4 左 2)、右脛骨片、膝蓋骨片(右 3 左 1)等である。四肢骨のサイズや形態の違いより、男性 2 体、女性 2 体(内 1 体は下顎骨歯槽部分の骨吸収が顕著なため老年)が含まれている。その他に若年と思われる左大腿骨片、右上顎第 1 大臼歯、幼~小児の上顎骨片、左側頭骨片、右上腕骨片、右腸骨片、右坐骨片、左大腿骨片、未萌出永久歯、幼児の右踵骨、未萌出永久歯等が確認できた。また成人のなかには、腰椎に変形性脊椎症が認められるものがあった。

骨の形態やサイズを比較して同一個体と思われるものが含まれていることから、おそらく北8号墓室 安置蔵骨器 No.1 とそれぞれ同一個体と思われる。

北 8 号墓室安置蔵骨器 No.3 (熟年女性 1)

多くは保存不良の細片だが、頭蓋骨片、上下顎骨片、左右肩甲骨片、右鎖骨片、左右上腕骨片、左右 橈骨片、左右尺骨片、寛骨片、左右大腿骨片、左右脛骨片、右膝蓋骨片などが確認された。四肢骨の形態やサイズから女性と考えられる。歯の咬耗度 (Broca の 1 ~ 2 度) から熟年に達していたと思われる。 北9号墓室蔵骨器 (No.1) (熟年男性 1、成年女性 1、幼児 1)

頭蓋骨片(女性)、上顎骨片(男性)、下顎骨片(女性)、肩甲骨片(右1左2)右鎖骨片(女性)、左右上腕骨片(女性1不明1)、左右寬骨片(女性)、右大腿骨片2(男女)、右脛骨片2(男女)、左右距骨(女性)などが確認できた。左寬骨には妊娠痕が認められた。男性は上顎骨歯槽部分の骨吸収の程度から熟年、女性は下顎骨歯槽部分の形態から成年と思われる。また幼児の未萌出上顎第1大臼歯、上顎第2乳臼歯が確認された。

北 9 号墓室蔵骨器 (No.5) (成人女性 1)

少量だが右肩甲骨片、左鎖骨片、左右上腕骨片、左右橈骨片、右尺骨片、左寬骨片、左右大腿骨片、

左脛骨片、右腓骨片などが確認できた。四肢骨の筋付着部分の発達程度やサイズから女性と思われる。 北9号墓室蔵骨器 (No.7) (成年男性 1、成人男性 1、成人女性 1、新生~乳児 1)

骨の形態やサイズの異なった上腕骨が3体分あることから、少なくとも3体の成人が葬られていたと推定される。四肢骨骨幹部分のサイズや筋付着部分の発達程度、寛骨の大坐骨切痕の形態の違いから、男性2体、女性1体が葬られていたと考えられる。男性の中で左鎖骨の胸骨端がまだ骨化していないものがあることから、成年が含まれていると思われる。また新生~乳児のものと思われる左大腿骨片、左脛骨片、肋骨片、錐体片が確認された。

4. 形質の特徴

人骨の保存状態があまり良くなく、破損や欠落していたため十分な計測値は得られなかったが、参考までに頭蓋骨と四肢骨の特徴を概観する。

一般の計測法は Knussmann (1988) に従ったが、大腿骨の骨体上部では最大値と最小値を計測し、脛骨の骨体中央の横径は Vallois の方法によった。顔面の平坦度計測は Yamaguchi (1973) の方法に従った。頭蓋骨形態小変異の判定基準は主に Dodo (1974) に従っている。

【頭蓋骨】

頭蓋主要計測値を第45~47表に示す。男女とも保存状態が悪く、顔面骨に関して計測が行えたのは 2例(男女各1体)だけであった。頭型は男女とも短頭傾向を示し、上顔高は男性がやや高く、女性が やや低い。十分な資料ではないが、ナーチュー毛古墓群人骨の特徴を概観するため、頭蓋計測値を他の 集団と比較した結果を示す(第92~95図)。比較に使用した集団は那覇市周辺の銘苅古墓群(グスク)3、 銘苅古墓群B・E地区(近世)⁴、入め御拝領墓(近世)⁵である。基準には顔面平坦度計測値がわかっ ている関東現代人⁶⁷を使用した。男性は銘苅古墓群B・E地区(近世)⁴ とほぼ似たような傾向を示 しており、1 例しか観察できなかった頬骨弓幅を除くと関東現代人 6 7 に近い。女性は頭蓋最大長、最 小前頭幅が他の集団と比較して高い値を示していて、各集団とも関東現代人のかより高い値をとっている が、頭蓋長幅示数では銘苅古墓群B・E地区(近世) か、入め御拝領墓(近世) とほぼ重なり、関東現 代人 のっと比較して短頭傾向がみられる。上顔高や鼻高、顔面平坦度など顔面骨に関したものは、男女 各集団ともに近い値をとっていて、関東現代人よりも低いが、1個体しか計測できなかった頬骨弓幅を 除くと関東現代人とほぼ近い位置にある。頭蓋形態小変異は観察できた個体数が少ないが、参考までに 男女を一括した出現頻度の比較を銘苅古墓群(グスク)3、入め御拝領墓5、沖縄本島近世(玉泉洞)8、 東日本現代人"で行った(第96図・第48表)。両側性の項目については、側を単位に算出している。 頬骨横縫合後裂残存の有無については2例しか観察できないなど、頻度が偏っている可能性もあること から詳細な分析は避けるが、各集団とも似たような傾向を示していると思われる。

【四肢骨】

上肢骨の計測値を第49~54表に、下肢骨の計測値を第55~58表に示す。全体的に華奢ではあるが、男性の筋付着部分の発達は比較的良い印象を受けた。計測値の平均はほぼ現代日本人の平均値に近い。畿内現代人^{99 100} を基準とした那覇市周辺集団^{39 49 50} との比較(第97~102図)で、男性の上肢骨は頑丈な傾向を示し、下肢骨は現代人の平均に近い。女性は上肢骨・下肢骨ともに華奢な傾向を示していた。しかし計測できた個体数が少なかったため、参考までにとどめておきたい。

頭蓋主要。	計測項目	男性					~ -	女性			!! - 0			0.5
		6	19	33	N	M	S.D	18①	18②	29	北9	n	M	S.D
ī	頭蓋最大長	170	180	183	3	177.7 99	2.12	169	169	198		3	178.7 88	16.74
5	頭蓋基底長	99	1.40		1	143.7	0.10	104	88	154		1 3	143.3	10.07
8	頭蓋最大幅	138	148	145	3		2.12	134	142	154			97.5	10.07
.9	最小前頭幅	87	89	95	3	90.3	4.24	100	94	101		2	123.5	
11	両耳幅	119	116	131	3	122.0	10.61	120	127		00	2		
12	- 174 174 1711	101	111	101	3	104.3	7.07		114		92	2	103.0	
17	パジオン・ブレグマ高	134			1	134			120			1	120	
40	顏長	93			1	93	0.00		92			1	92	
43	上顏幅	99	99	108	3	102.0	6.36		102			1	102	
44	両眼幅	92			1	92			94			1	94	
45	類骨弓幅	119			1	119			125			l •	125	
46	中顏幅	95			1	95			96			1	96	
48	上顏高	65			1	65			66			1	66	
51 r	眼窩幅(r)	42			1	42			39			1	39	
51 1	眼窩幅(1)	41			1	41			42			1	42	
52 r	眼窩高(r)								34			1	34	
52 1	眼窩高(1)	33			1	33			34			1	34	
54	鼻帽	25			1	25			25			1	25	
55	鼻 高	48			1	48			48			1	48	
65	下顎関節突起幅								127			1	127	
66	下顎角幅	94			1	94			99			1	99	
68	下顎骨長								60			1	60	
69	オトガイ高	33	27		2	29.8			30			1	30	
69(3) r	下顎体高(r)	13	14		2	13.4			11		13	2	11.9	
69(3) 1	下顎体高(1)	12	16		2	13.8			11		13	2	11.7	
70 r	下顎枝高(r)								60			1	60	
70 1	下顎枝高(1)								54			1	54	
71 r	下顎枝幅(r)								28			1	28	
71 1	下顎枝幅(1)								29			1	29	
8/1	頭蓋艮幅示数	81.2	82.2	79.2	3	80.9	1.53	79.3	84.0	77.8		3	80.4	3.23
17/1	頭蓋長高示数	78.8			1	78.8			71.0			1	71.0	
17/8	頭蓋幅高示数	97.1			l	97.1			84.5			1	84.5	
48/45	上顔示数K	54.6			1	54.6			52.8			1	52.8	
48/46	上顔示数V	68.4			1	68.1			68.8			1	68.8	
52/51	眼窩示数(r)								87.2			1	87.2	
	眼窩示数(1)	80.5			1	80.5			81			1	81.0	
54/55	鼻示数	52.1			1	52.1			52.1			1	52.1	
71/70	下顎枝示数(r)								46.7			1	46.7	
	下顎枝示数(1)								53.7			1	53.7	

第 46 表 顏面平坦度

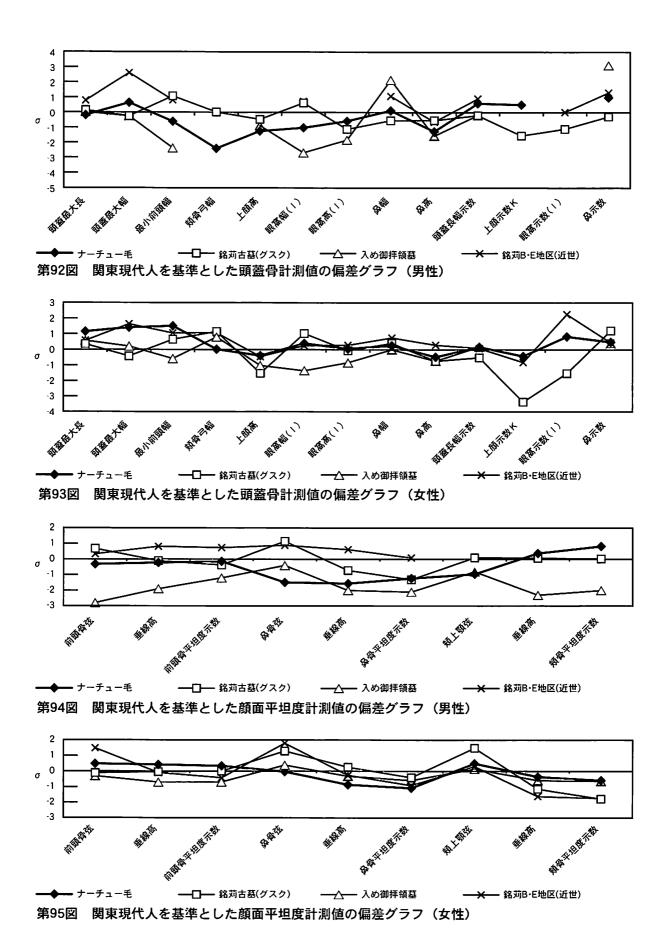
(mm)

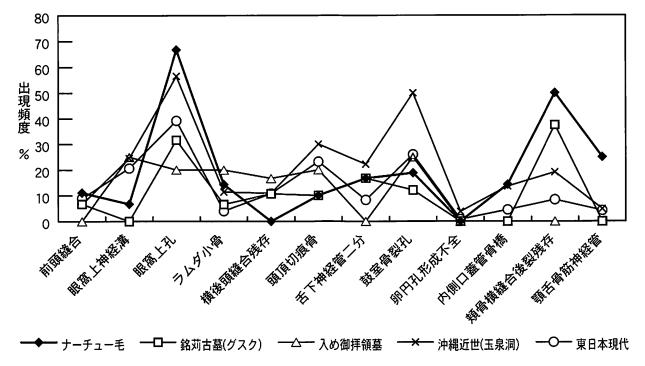
計測項目		男性				女性						
矿例项目		6	33	N	M	18②	29	41	北9	n	M	S.D
43(1)	前頭骨弦	93.6	99.3	2	96.4	93.7	98.4	90.9	94.1	4	94.3	3.11
43 c	垂線高	15.5	16.2	2	15.8	11.2	19.1	15.1	15.6	4	15.2	3.26
43 c :43(1)	平坦度示数	16.6	16.3	2	16.4	11.9	19.4	16.6	16.5	4	16.1	3.11
57	鼻骨弦	3.0	5.7	2	4.3	5.8	9.9	7.1	6.6	4	7.4	1.79
57 a	垂線高	0.3	2.1	2	1.2	1.1	3.1	1.2	8.0	4	1.5	1.05
57 a :57	平坦度示数	8.9	37.1	2	23.0	19.1	31.2	17.0	11.4	4	19.7	8.34
46 b	類上類弦	92.9		1	92.9	96.0				1	96.0	
46 c	垂線高	24.7		1	24.7	21.5				1	21.5	
46 c :46 b	平坦度示数	26.6		1	26.6	22.4				1	22.4	

第 47 表 頭蓋形態小変異

	男性					3	女性																			_
号墓	6	3	1	9	3	3	18	3(1)	18	(2)	24	4		29			41			北6		4	上9			
小変異項目	r	1	r	1	r	1	r	1	<u>r</u>	ı	r	1	r		ì	r		1	r		1	ŗ		l n		%_
前頭縫合	_	-		_	_	•	•	-	-	-	+	•		_			_						_		9	11.1
眼窩上神経溝	_	-	_	_	_	+	-		-	_			_		_	_		_				_		- 1	5	6.7
眼窩上孔	+	+	+	+	+	+	+		_	_			_		+	+		+				_		- 1	5 6	66.7
ラムダ小骨	-	-	-	_	_	-	-	+	-	-				_									_		7	14.3
横後頭縫合	_	_	_	-	_	_	-	-	_	-			_		_									1	2	0.0
頭頂切痕骨	_	-	_	_	_	-		_	-	_					+									1	0	10.0
舌下神経管二分	_	_			_				-	_											+				6	16.7
鼓室骨裂孔	+	+	_	_	_	-	+	_	-	_			_		_	_					-	-		- 1	6	18.8
卵円孔形成不全	_	-			_	_			_	-									_						7	0.0
内側口蓋管骨橋	_	_			-				_	+									_		-					14.3
類骨横縫合後裂残存	-									+																50.0
<u> 頸舌骨筋神経管</u>		_		+	_	_			-	_												+			8 2	<u> 25.0</u>

+:Present, -:absent





第96図 頭蓋形態小変異出現頻度の比較

第 48 表 主要な頭蓋形態小変異の出現頻度の比較

(両側性の計測項目頻度は側単位で算出)

小亦田香口	ナー	チュー毛	銘苅古墓(グスク) ³⁾	入め御	拝領墓 ⁵⁾	沖縄近世(E泉洞)*)	東日	本現代*)
小変異項目	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
前頭縫合	9	11.1	15	6.7	5	0.0	122	6.6	180	8.9
眼窩上神経溝	15	6.7	17	0.0	8	25.0	110	24.5	354	20.6
眼窩上孔	15	66.7	19	31.6	5	20.0	115	56.5	360	39.2
ラムダ小骨	7	14.3	15	6.6	5	20.0	105	11.4	174	4.0
横後頭縫合残存	12	0.0	28	10.7	6	16.7	101	10.9	352	10.8
頭頂切痕骨	10	10.0	20	10.0	5	20.0	90	30.0	344	23.2
舌下神経管二分	6	16.7	6	16.7	3	0.0	72	22.2	360	8.3
鼓室骨裂孔	16	18.8	33	12.1	8	25.0	100	50.0	358	26.0
卵円孔形成不全	7	0.0	15	0.0	3	0.0	80	3.8	360	8.0
内側口蓋管骨橋	7	14.3	9	0.0	4	0.0	88	13.6	354	4.5
頬骨横縫合後裂残存	2	50.0	8	37.5	4	0.0	47	19.1	334	8.4
顎舌骨筋神経管	8	25.0	23	0.0	6	0.0	21	4.8	354	4.2

第49表 上腕骨計測値 (男性)

計測項目		6	33	北7	北9	n	M	S.D
1 最大長	r		279			1	279	
	1		279			1	279	
2 全長	r		276			1	276	
4 下端幅	r		55			1	55	
	1			54		1	54	
5 中央最大径	r		24			1	24	
	1	22	25			2	23.5	
6 中央最小径	r		19			1	19	
	1	15	18			2	16.5	
7 骨体最小周	r		69		61	2	65.0	
	1		66		60	2	63.0	
7a 中央周	r		72		64	2	68.0	
	l	63	72		63	3	66.0	5.20
6/5 体断面示数	r		79.2			1	79.2	
	l	68.2	72.0			2	70.1	
7/1 長厚示数	r		24.7			1	24.7	
	1		23.7			1	23.7	

第50表 上腕骨計測値(女性)

(mm)

計測	項目		5	18①	18②	19	24	33	41	北6	北9	北9	n	M	S.D
1	最大長	r			258	-	_	•					1	258	
		1		253			284						2	268.5	
2	全長	r			252								1	252	
		1		248			280						2	264.0	
3	上幅	r		41	42								2	41.5	
		1		40									1	40	
4	下端幅	1		47						49			2	48.0	
5	中央最大径	r		18	16	21	21				20		5	19.2	2.17
		1	16	17	16	21	20		21			19	7	18.6	2.23
6	中央最小径	r		12	13	16	16				15		5	14.4	1.82
		l	13	12	13	16	16		14			14	7	14.0	1.53
7	骨体最小周	r		48	46	57	58	51			51		6	51.8	4.79
		1	46	44	47	58		50	54			52	7	50.1	4.91
7a	中央周	r		50	48	60	62				58		5	55.6	6.23
		l	47	48	48	60	59		62			57	7	54.4	6.50
8	頭周径	r		116	115								2	115.5	
		l		113	115								2	114.0	
9	頭横径	r		38	38								2	38.0	
		l	33	36	37		39						4	36.3	2.50
10	頭高径	r		35	35								2	35.0	
		l		35	35		40						3	36.7	2.89
6/5	体断面示数	r		66.7	81.3	76.2					75.0		5	75.1	528
		l	81.3	70.6		76.2	80.0		66.7			73.7	7	75.7	5.66
7/1	長厚示数	r			17.8								1	17.8	
		<u>l</u>		17.4									_1	17.4	

第51表 尺骨計測値(男性)

計測項目		3	6	12/13	33	36	北9	n	M	S.D
2 生理長	r		216					1	216	
	1		215					1	215	
3 最小周	r		39		45	40		3	41.3	3.21
	1		38				39	2	38.5	
11 体矢状径	r		12	14	14	14		4	13.5	1.00
,	1	15	12		13		13	4	13.3	1.26
12 体横径	r		18	17	17	18		4	17.5	0.58
, ., .,	1	14	16		17		16	4	15.8	1.26
3/2 長厚示数	r		16.1					1	16.1	
	1		17.7					1	17.7	
11/12 体断面示数	r		66.7	82.4	82.4	77.8		4	77.3	7.09
	1	107.1	75.0	_	76.5		81.3	4	85.0	14.88

第52表 尺骨計測值(女性)

(mm)

計測項目		18②	24	北9	n	M	S.D
2 生理長	r	191			1	191	
	1	188			1	188	
3 最小周	r	31		35	2	33	
	1	32	37	29	3	32.7	4.04
11 体矢状径	r	10		10	2	10.0	
,,,,,,	1	9		10	2	9.5	
12 体横径	r	14		15	2	14.5	
	1	13		15	2	14.0	
3/2 長厚示数	r	16.2			1	16.2	
-, - 20, 11, 20	1	17.0			1	17.0	
11/12 体断面示数	r	71.4		66.7	2	69.1	
	1	69.2		66.7	2	68.0	

第53表 橈骨計測値(男性)

(mm)

計測項目		5	12/13	16	n	<u>M</u>
4 体横径	r	16	16		2	16.0
	1	16	17		2	16.5
4(2) 頸横径	1		14	12	2	13.0
5 体矢状径	r	14	12		2	13.0
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1		12		1	12
5(2) 頸矢状径	r	15			1	15
	1		15	14	2	14.5
5/4 体断面示数	r	87.5	75.0		2	81.3
	1		70.6		1	70.6

第54表 橈骨計測値(女性)

(mm)

計測	項目		5	18①	18②	24	42	北6_	北9	n	M	S.D
1	最大長	r		185						1	185	
		1		183						1	183	
2	生理長	r		175						1	175	
		1		174						1	174	
3	最小周	r		30	35			34	36	4	33.8	2.63
		1		29	34		33	35	36	5	33.4	2.70
4	体横径	r		12	14			14	13	4	13.3	0.96
		1		11	14		13	14	13	5	13.0	1.22
4(2)	頸横径	r	10	10		12				3	10.7	1.15
		1		9				10	10	3	9.7	0.58
5	体矢状径	r		8	11			10	11	4	10.0	1.41
		1		8	12		9	10	10	5	9.8	1.48
5(2)	頸矢状径	r	11	11	12	15				4	12.3	1.89
		1		11	12			12	12	4	11.8	0.50
3/2	長厚示数	r		17.1						1	17	
		1		16.7						1	17	
5/4	体断面示数	r		66.7	78.6			71.4	84.6	4	75.3	7.89
		1		72.7	85.7		69.2	71.4	<u>76.9</u>	<u> </u>	75.2	6.52

第55表 大腿骨計測値(男性)

計測項目			3 ①	3(2)	6	13	33	36	159	.1년 9	n	M	S.D
1	最大長	ŗ							397		1	397	
9	全長	1			407					399	2	403.0	
2	主汉	r			400				392		1	392	
6	体中央矢状径		27		$\frac{400}{26}$		27		0.5	391	2	395.5	0.00
U	HET XXXIII	i	27	26	27 27	32	28	27	25	26	4	26.3	0.96
7	体中央横径	ř	25	20	25	.02	$\frac{28}{28}$	21	24	20	4	27.6 25.5	$\frac{2.07}{1.73}$
		i	$\frac{25}{25}$	24	25	24	28	26	24	24	7	25.3	1.73
8	体中央周径	r	84		83	٠.	88	20	80	2.,	4	83.8	3.30
- 4		1	82	80	84	91	89	82		79	Ź	83.9	4.53
9'	体上最大径	r	28				32		28		3	29.3	2.31
	11. 1 FR 1 400	1	28	29	28		34	31		28	6	29.7	2.42
10	体上最小径	ŗ	24				26		23		3	24.3	1.53
υ /o	長厚示数	1	24	23	24		25	23		24	6	23.8	0.75
6/2	汉序小奴	r			010				20.4	000	1	20	
6/7	体中央断面示数	1	108,0		21.0 104.0		96,4		1040	20.2	2	20.6	500
0,1	14-11-人时间17-00	i	108.0	108.3	108.0	133.3	100.0	103.8	104.2	108.3	4 7	103.2 110.0	5.03
10′/9′	体上断面示数	ŕ	85.7	100.0	100.0	1 ()(),()	81.3	103.6	82.1	100.5	3	83.0	10.65 2.65
		i	85.7	79.3	85.7		73.5	74.2	02.1	85.7	6	80.7	5.95
(6+7)/2	頑丈示数	r			011		. 0.0		0.01	50.1	ĭ	10.0	17.019
		_1			10.0					10.0	2	10.0	

第56表 大腿骨計測値(女性)

(mm)

計測項目			3	18(1)	18(2)	19	19	41	42	北9	北9	n	M	S.D
1	最大長	r		342							-144 **	1	342	
	A ##	l		341								1	341	
2	全長	r		337								1	337	
ß	体中央矢状径	ï	24	$\frac{338}{23}$	00		0.1			00		1	338	
U	种中大大大区	- 1	24	23 22	22 23	25	$\frac{21}{21}$			22		5	22,4 22.8	1.14
7	体中央横径	r	23	21	21	2.,	22			26		4 5	22.6	$\frac{1.71}{2.07}$
•	11 / 23/24/11	i		20	22	26	$\frac{32}{22}$			20		4	22.5	2.52
8	体中央周径	r	73	70	68	_,,	$\overline{69}$			80		5	72.0	4.85
		1			70	81	69					ä	73.3	6.66
9,	体上最大径	r	27	24	25					28		4	26.0	1.83
	ft- 4 = 1 + 4=4	1	26	24	24	29	28	29	26		28	8	26.8	2.05
10	体上最小径	ŗ	20	19	18				_	22		4	19.8	1.71
υ /n	長厚示数	1	19	19	20	22	18	22	21		20	8	20.1	1.46
		Г	1010	20.8								1	21	
6/7	体中央断面示数	ŗ	104.3	109.5	104.8		95.6			84.6		5	99.7	9.77
10'/0'	/4- L. Nac 254 189-	1	241	110.0	104.5	96.2	95.5					4	101.6	6.95
10/9	体上断面示数	r	74.1	79.2	72.0	750		==0	000	78.6	5 10	4	76.0	3.56
(6 ± 7) /9	頑丈示数	ı	73.1	79.2	83.3	75.9	64.3	75.9	80.8		71.9	8	75.5	20.97
(O+1)/2	與人小奴	ı,		1 0.0 1 0.0								1	10.0	
				1 ().()								1	1 0.0	

第57表 脛骨計測値 (男性)

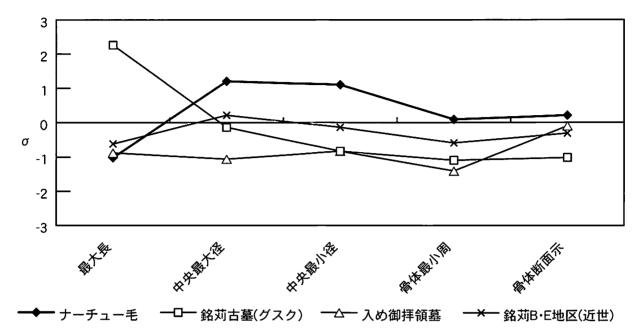
(mm)

計測項目			6	13	24	36	36	北9	JE 9	n	М	S.D
1	全長	r						321		1	321	
	最大長	1						328		1	328	
8	中央最大径	r						31		1	31	
8a	栄養孔位最大径	ľ	31	35	31	32		33		5	32.4	1.67
		1	31		33				33	3	32.3	1.15
	中央横径	r						22	_	1	22	
9'a	栄養孔位横径	r	23	25	26	24		24		5	24.4	1.14
		1	23		26			-	23	3	24.0	1.73
10	骨体周	r						84		ĩ	84	
1 Oa	栄養孔位周	r	86	95	88	87		91		5	89.4	3.65
		1	87		90				90	ä	89.0	1.73
10b	最小周	r		75	74	71		76	** **	4	74.0	2.16
		1		75	74		75			3	74.7	0.58
9/8	中央断面示数	r						71.0		ĩ	71.0	0.00
	栄養孔位断面示数	r	74.2	71.4	83.9	75.0		72.7		5	75.4	5.03
		ı	74.2		78.8				69.7	3	74.2	4.51
10b/1	長厚示数	r						23.7	., ., .	ĭ	23.7	1.171

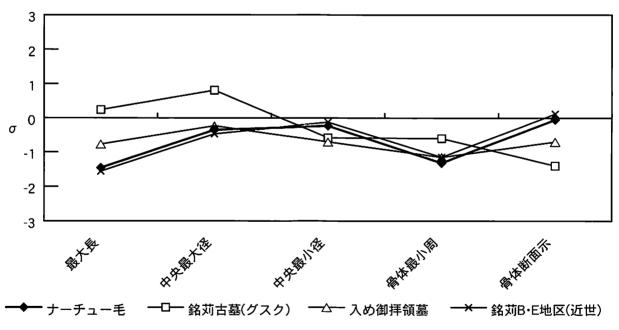
第58表 脛骨計測値(女性)

(mm)

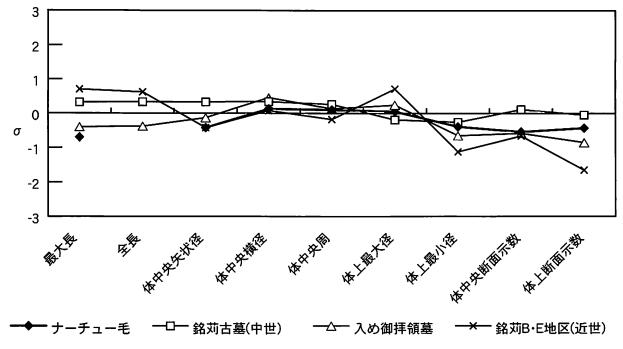
計測項目		18(1)	18(2)	19	. 24	41	北6	北9	n	M	S.D
8 中央最大径	r	24							1	24	
	1	22							1	22	
8a 栄養孔位最大径	r	25	25	28					3	26.0	1.73
	I	26	24			28		28	4	26.5	1.91
9'a 栄養孔位横径	r	18	18	21					3	19.0	1.73
	L	18	18			18		20	4	18.5	1.00
10 骨体周	r	62							1	62	
	l	60							1	60	
10a 栄養孔位周	r	69							1	69	
	l	70				75		76	3	73.7	3.21
10b 最小周	r	56	61						2	58.5	
	1	56	61		70		56	63	5	61.2	5.81
9a/8a 栄養孔位断面示数	r	72.0	72.0	75.0					3	73.0	1.73
	_1	69.2	75.0			64.3		71.4	3	70.0	5.44



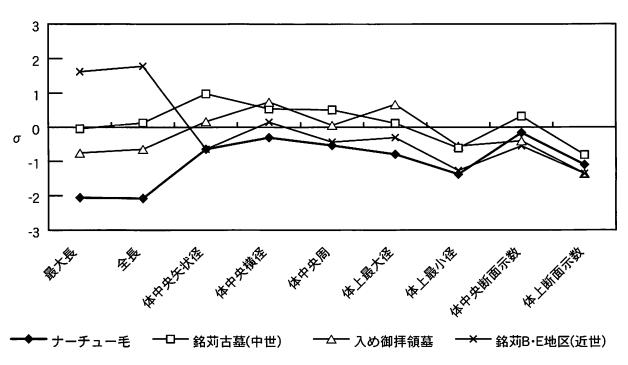
第97図 畿内現代人を基準とした上腕骨計測値の偏差グラフ (男性)



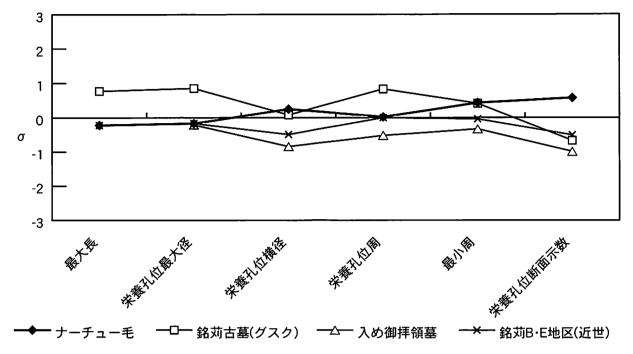
第98図 畿内現代人を基準とした上腕骨計測値の偏差グラフ (女性)



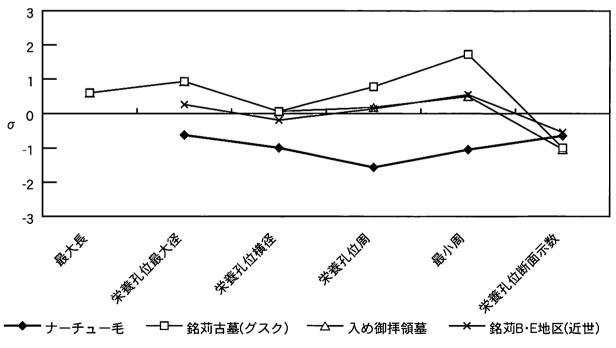
第99図 畿内現代人を基準とした大腿骨計測値の偏差グラフ (男性)



第100図 畿内現代人を基準とした大腿骨計測値の偏差グラフ(女性)



第101図 畿内現代人を基準とした脛骨計測値の偏差グラフ (男性)



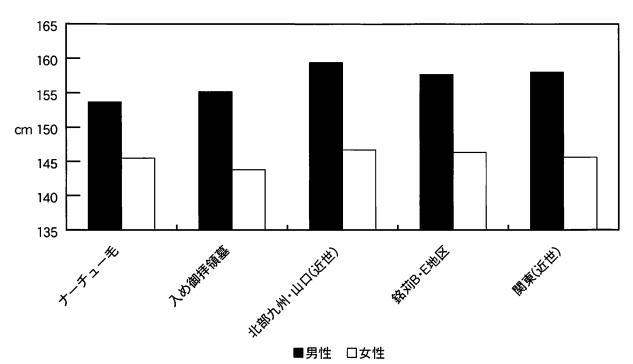
第102図 畿内現代人を基準とした脛骨計測値の偏差グラフ(女性)

5. 身長の推定

Pearson (1899) ¹¹⁾ の式を用いて求めた推定身長を第 59 表に示す。四肢骨の保存状態が悪く、また長骨端の破損や欠落も多かったため、推定できる個体は少なかったが、男性で 151.4cm、155.9cm、女性では 145.6cm、145.3cm であった。これらは銘苅B・E地区古墓群(近世) ⁴⁾、入め御拝領墓(近世) ⁵⁾、北部九州・山口(近代) ^{12) 13)}、関東(近代)人骨 ¹⁴⁾ の推定身長(第 103 図)と比較してやや低めである。

第59 表 推定身長 (Pearson の式¹¹⁾ より)

男性			
	33	右上腕骨最大長より推定	151.4
	北9	右大腿骨最大長より推定	155.9
女性			
	18①	右大腿骨最大長より推定	145.6
	18②	右上腕骨最大長より推定	145.3
			(cm)



第103図 推定身長の比較

6. その他の所見

今回報告した那覇市ナーチュー毛古墓群の中で、19 号墓室蔵骨器 No.2 から出土した乳児人骨には頭蓋骨や四肢骨に明らかな病変が認められた。残念ながら頭蓋骨は破損や欠落している部位があり保存状態はあまり良くなかったが、その他の骨に関してはほぼ完全に残存していたため、全体的な観察が行えた。ここでは肉眼的観察ではあるが参考資料として概観したい。

頭蓋骨は全体的に緻密質が菲薄で、特に左右頭頂骨の外面後頭縁付近には骨萎縮性の肥厚と群発性の瘢痕がみられた。乳歯は着色されたような茶褐色を呈していた。四肢骨は、全体的に骨幹部分が肥厚しているように思われ、特に脛骨と腓骨には骨膜炎による骨膜面の瀰慢性の骨増殖と思われる肥厚がみられた。肋骨の骨軟骨接合部分に骨軟骨炎によると思われる骨皮質の不整が認められた。乳児の骨に残る主な病変として結核性骨膜炎 ^{151 161}、急性化膿性骨髄炎 ^{151 171}、Letterer-Siwe 病 ^{151 171}、先天性梅毒 ^{160 171 181} 「91、鉄欠乏性貧血 ^{11 171} などが考えられるが、今回報告した乳児は観察結果からみて先天性梅毒の可能性が高いと思われる ^{150 160 171 180 191} が、Hutchinson 歯 ¹⁶⁰ や Fournier 歯 ¹⁶¹ などの先天性梅毒に特徴的な永久歯の形成不全 ¹⁶¹ が確認されないなど不明な点もあり、さらに検討を重ねたい。

7. まとめ

那覇市ナーチュー毛古墓群から近世人骨 107 体 (男性 34、女性 35、性別不明成人 4、若年 2、小児 3、幼児 14、幼~乳児 9、乳~新生児 6)が出土した。保存状態があまり良くなく、人骨の詳細な分析はできなかったが、概要をまとめると以下のようになる。

1) 頭萎骨

男女とも短頭傾向がみられ、顔面骨が残存していた男性はやや高顔で、女性はやや低顔であった。那 覇市周辺集団と比較した結果は、各集団とも大差がなく関東現代人の平均に近い特徴を持っているよう である。

2) 四肢骨

全体的に華奢であるが、畿内現代人の平均値とそれほど大きな違いはみられない。推定身長も沖縄や 九州、関東近世人骨と差はないようである。

3) 未成人骨

出土人骨の中で未成人骨の占める割合は33%であり、那覇市周辺の近世集団の未成人骨の割合と似た傾向を示していた。また、小児以下の子供の人骨だけが蔵骨器の中に埋葬されているのが4例確認された。

4) その他の所見

19 号墓室蔵骨器 No.2 の乳児人骨で頭蓋骨の全体的な緻密質の菲薄化や群発性の瘢痕、左右頭頂骨後頭縁付近の骨萎縮性の肥厚が観察された。全体的な観察から先天性梅毒に羅患していた可能性が高いと思われるが、Hutchinson 歯や Fournier 歯などの先天性梅毒に特徴的な永久歯の形成不全は確認されず、確定診断には至らなかった。

謝辞

ナーチュー毛古墓群出土人骨の調査の機会を与えていただいた那覇市教育委員会のみなさまに心から の謝意を表します。

引用文献

- 1) 福島一彦 1988: 西南日本弥生人の骨病変について 福岡医誌 79 (2) pp227 248.
- 2) 山本美代子 1988: 日本古人骨永久歯のエナメル質減形成 Journal of Anthropological Society of Nippon. 96 (4) pp417 433.
- 3) 分部哲秋, 佐伯和信, 弦本敏行, 長島聖司1999: 那覇市銘苅古墓群 B 地区 3 号及び 4 号墓出土の人骨, 銘苅古墓群 (Ⅱ) 那覇市文化財調査報告書第 40 集, 那覇市教育委員会 pp191 254.
- 4) 土肥直美,北条真子1998:那覇市銘苅古墓群南 (B.E) 地区出土の人骨,銘苅古墓群 (I) 那覇市 文化財調査報告書第39集,那覇市教育委員会pp235-251.
- 5) 浦添市教育委員会編1996:「伊祖入め御拝領墓」浦添市文化財調査報告書第24集,浦添市教育委員会。
- 6) 山口敏 1978:日本人の骨,人類学講座編纂委員会編「人類学講座6 日本人Ⅱ」,雄山閣出版,東京,pp143 174.
- 7) Dodo Y 1986: A Study of the facial flatness in several cranial series from East Asia and North America. *Journal of Anthropological Society of Nippon.* 94 (1): pp81 93.
- 8) Dodo Y, Doi N, Kondo O 1998: Ainu and Ryukyuan cranial nonmetric variation: Evidence which disputes the Ainu-Ryukyu common origin theory, *Anthropological Science* 106 (2) pp99 120.
- 9) 宮本博人 1925: 現代日本人の人類学的研究 第2部 上肢骨の研究, 人類学雑誌 40 (6, 7, 8).
- 10) 平井隆, 田幡丈夫 1928: 現代日本人の人類学的研究 第4部 下肢骨の研究, 人類学雑誌 43 (4 附, 5 附).
- 11) Pearson K 1899: Mathematical contribution to the theory of evolution V. On the reconstruction of the stature of prehistoric races. Philon. *Trans. R. Lon., Ser. A* 192: pp169 244.
- 12) 中橋孝博 1989: 2. 男女差、金関・佐原編「弥生文化の研究 I」、雄山閣出版、東京 pp52 64.
- 13) 中橋孝博 1987:福岡市天福寺出土の江戸時代人頭骨,人類誌,95(1):pp89 106.
- 14) 平本嘉助 1972:縄文時代から現代に至る関東地方人身長の時代的変化,人類学雑誌,80 (3) pp221 236.
- 15) 丸山孝士1996:運動器および軟部組織, 菊池浩吉・吉木敬編「新病理学各論」, 南山堂, 東京, pp657-717.
- 16) Hillson S, Grigson C, Bond S 1998: Dental defects of congenital syphilis. *American Journal of Physical Anthropology* 107: pp25 40.
- 17) 高久史磨 総監修 1997: STEDMAN'S Medical Dictionary 4th Edition, メジカルビュー社、東京,
- 18) 小片丘彦 1981:日本古人骨の疾患と損傷, 人類学講座編纂委員会編「人類学講座 5 日本人 I」、 雄山閣出版, 東京, pp189 - 228.
- 19) 鈴木隆雄 1998: 「骨から見た日本人」, 講談社選書メチエ, 東京, pp184 215.







5cm

第 104 図 6 D 号墓室安置蔵骨器 No.1 出土人骨 (熟年・男性)

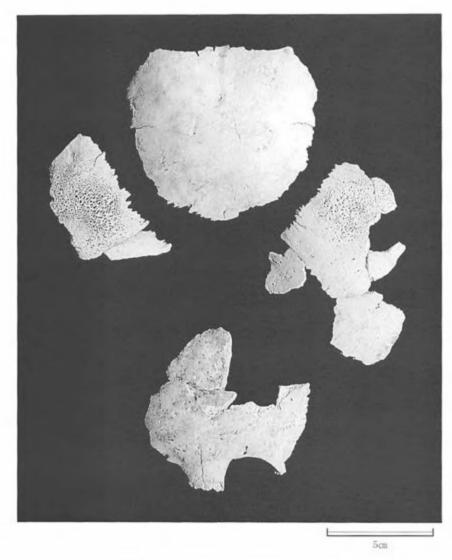


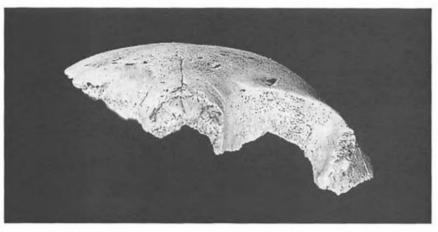




T.m.

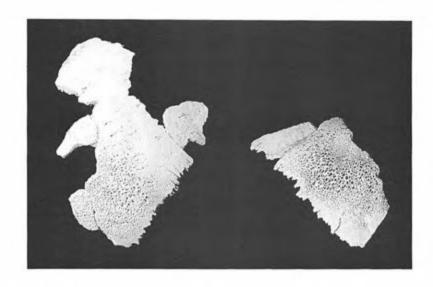
第105図 18号墓室出土人骨(成年・女性②)





第 106 図 19 号墓室蔵骨器 No.2 (乳児)

上段:頭蓋骨の全体像 下段: Cribra Orbitalia







第 107 図 上段:頭頂骨外面後頭縁付近にみられる Porotic Hyperostosis

中段: 肋骨の骨軟骨炎

下段:骨萎縮性の肥厚がみられる脛骨、腓骨

第川章 総 括

ナーチュー毛古墓群は「ナーチュー毛」と地元の人が呼んでいる小高い丘の傾斜部分に所狭しと造られている古墓群である。この丘には沖縄戦のときに日本軍の防空壕が網の目のように掘られ、そのために墓室がかなり破壊されていた。いわゆる墓の入口を利用して、墓室の奥から壕を掘り始め、多くの墓を壕でつなぎ大防空壕を造っていた。防空壕を造るときに人骨の入ったジーシは墓室内でまとめられたり、墓の外に出されたりしていた。

出土遺物で最も注目されるのは蔵骨器(方言でジーシといい「厨子」の字をあてている文献もある)である。蔵骨器(ジーシ)には専用蔵骨器と転用蔵骨器がある。専用蔵骨器には高価な値が付いたと考えられるのも多いが、中には胴部に亀裂の入っているものや変形しているものなど、まったくの不良品も使用されている。さらに転用蔵骨器が多いのも注目される。ジーシ(蔵骨器)にも墓と同じように財力の差を見ることができる。専用蔵骨器では喜名焼のボージャージーシ(無頸甕形蔵骨器)が多いのが注目される。ミガチに「護谷山按司」とか「座喜味按司」とか現在の読谷村と関係のある人々の墓があるために喜名(読谷村字喜名)焼が多いかと考えられる。

ジーシに墨書又は彫り込みされているミガチ(銘書)は大きな成果である。ジーシ(蔵骨器)の身や蓋には洗骨の時に氏名、死亡年月日、洗骨年月日、家族関係などが墨書で記されている。彫り込み文字の場合は洗骨前に注文して造らしている。イシジーシ(石厨子)もそうであるが、焼物のジーシの場合は焼く前に文字を彫り込んでいるので明らかに注文品である。

ミガチには王子、按司、親方、親雲上、筑登之、里之子など首里王府の位階が記されているのが多く、また、氏、名乗頭なども記されているのも多い。これらのことからナーチュー毛古墓群も銘苅古墓群南(は1・2) 地区と同様に首里系、那覇系士族の墓だったと考えられる。さらにミガチで注目されるのは死亡年月日や洗骨年月日である。

ジーシ(蔵骨器)は洗骨のときに入手する場合がほとんどである。よって、そのジーシの製作年がほぼ理解できる。ただ中には古いミガチを消して新しく使用したものや、古いジーシに新しい年号のミガチだけが残っているものなどがあり、ジーシの型式を見ないとミガチだけでは決められないのもある。ミガチ(銘書)によって蔵骨された人の構成も理解できる。一つのジーシ(蔵骨器)に一人の場合もあるが、夫婦、祖父母と孫、兄弟姉妹など複数の人が蔵骨されているのもあり、いろいろな蔵骨方法が取られている。

今回のミガチ(銘書)で最も注目されるのは、ミガチが家譜資料や位牌資料と一致したのがいくつも発見されたことである。例えば、本書 50 ページで述べたように 34 号墓は蘓氏の墓で、ここのミガチ(銘書)と屋部憲次郎氏の「奥島家家譜資料」が一致しており、39 号墓は向氏の墓で、ここのミガチ(銘書)と『士族門中家譜』や『氏集 首里・那覇』の家譜資料や金城善氏の仲里御殿「位牌資料」と一致している。さらに 40 号墓は欽氏の墓で、ここのミガチと『氏集 首里・那覇』と一致している。家譜資料や位牌資料がジーシ(蔵骨器)のミガチ(銘書)によってみごとに立証されたのである。しかも、家譜資料には無い洗骨の年月日が、ミガチによって新しく判明したのである。

副葬品としては酒器のカラカラ・徳利(瓶)・猪口(小杯)、花生用の花瓶、食器の碗・皿などが特に多い。ほかには香炉、キセル、銅鏡、銭貨などがある。着装品としてはカンザシ、指輪などが検出されている。

本遺跡の掘込墓や亀甲墓など墓の年代は北地区8号墓のイシジーシ(石製家形蔵骨器)の「大清康熙四年(1665)乙巳八月廿六日骨(洗)」や39号墓の喜名焼ボージャージーシ(無頸頸形蔵骨器)の「康熙五年(1666)(丙)午(十一)月十五日卒」などのミガチ(銘書)から上限は17世紀中葉で、下限は20世紀中葉(1950年代の米軍基地建設前)と考えられる。

註

- 1. 『銘苅古墓群 (I)』 (那顆新都心土地区画整理事業に伴う緊急発掘調査V) 那覇市教育委員会 1998
- 2. 『銘苅古墓群 (Ⅱ)』 (那覇新都心土地区画整理事業に伴う緊急発掘調査 Ⅵ) 那覇市教育委員会 1999
- 3. 屋部憲次郎氏所有の資料「大宗奥島家蘓姓家譜(正統)」より。
- 4. 比嘉朝進『士族門中家譜』(有)沖縄総合図書 1997
- 5. 『氏集 首里·那矶』 那覇市企画部文化振興課 1989 (第3版)
- 6. 金城善氏所有の資料「仲里御殿の位牌」より。

附 篇

銘苅古墓群南地区・B地区・第4号墓出土人骨の放射性炭素年代測定結果

銘苅古墓群南地区・B地区・第4号墓出土人骨の放射性炭素年代測定結果

銘苅古墓群南地区・B地区・第4号墓において検出された人骨の放射性炭素分析を行ったのでここで報告する。

年代測定結果は、以下のとおりである。

サンプル1:4号墓人骨No.13 骨細片 340±50 (BP)

サンプル2:4号墓人骨No.22 骨細片 390±50 (BP)

なお、分析は、カナダ・トロント大学で行われたもので、報告された原文(一部)を下記に掲載する。

註1 『ヒヤジョー毛遺跡』那糊市教育委員会 1994年3月

『銘苅古墓群(I)』那覇市教育委員会 1998年3月

IsoTrace Radiocarbon Laboratory

60 St. George Street Toronto (Ont) Canada M5S 1A7

Accelerator Mass Spectrometry Facility at the University of Toronto

Telephone: (416) 978-4628 Fax: (416) 978-4711

Email: roelf.beukens@utoronto.ca

Radiocarbon Analysis Report

July 4, 1999

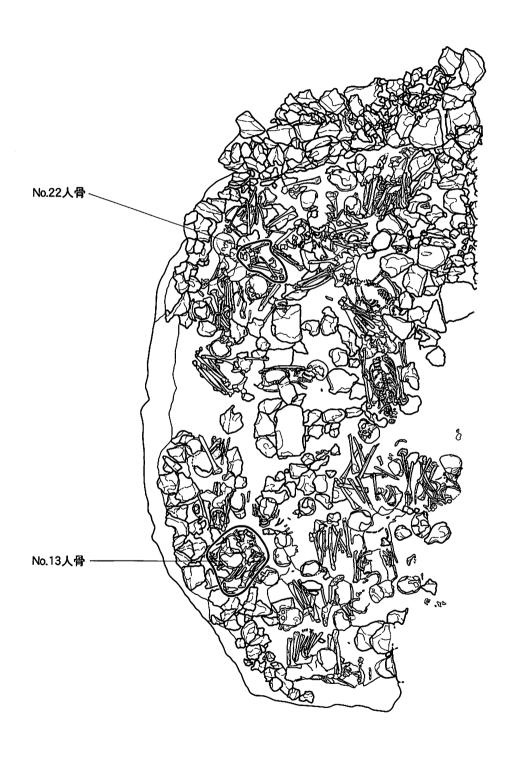
Submitter: M.Nakasone, Naha Board of Education, Naha City, Okinawa, Japan

These results on the purified collagen fractions are the average of 2 separate analyses (normal precision) and are corrected for natural and sputtering fractionation to a base of $\delta^{13}C=-25\,\%$. The sample ages are quoted as uncalibrated conventional radiocarbon dates in years before present (BP), using the Libby ^{14}C meanlife of 8033 years. The errors represent 68.3% confidence limits.

Sample		Weight	IsoTrace	Age
Identification	Description	used (mg)	Lab number	(years BP)
Mekaru 4 gobo No.13	human bone frags	4200	TO-7723	340 ± 50
Mekaru 4 gobo No.22	human bone frags	3300	TO-7724	390 ± 50

I would like to hear your comments on these results. If these results are used in a publication, I would appreciate it if you could send me a reprint.

Dr. R. P. Beukens

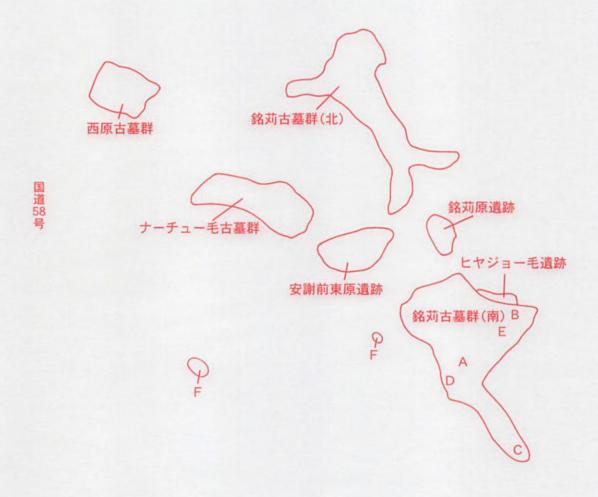




銘苅古墓群南地区・B地区第4号墓出土人骨

図 版

県道82号線

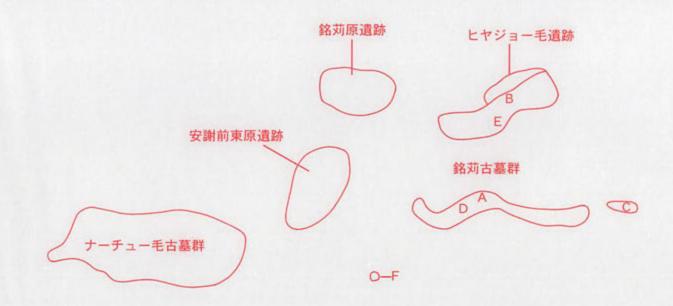


国道330



PL.1 遺跡一帯の空中写真1 (1993年撮影、1:10,000)

安謝川





PL.2 遺跡一帯の空中写真2 (昭和20年1月撮影)







PL.3 ナーチュー毛古墓群 上: 遠景 (北西から)

中: " (南西から)

下: " (南東から)







PL.4 ナーチュー毛古墓群 上:遠景(南から)

中: " (北東から)

下: " (東から)



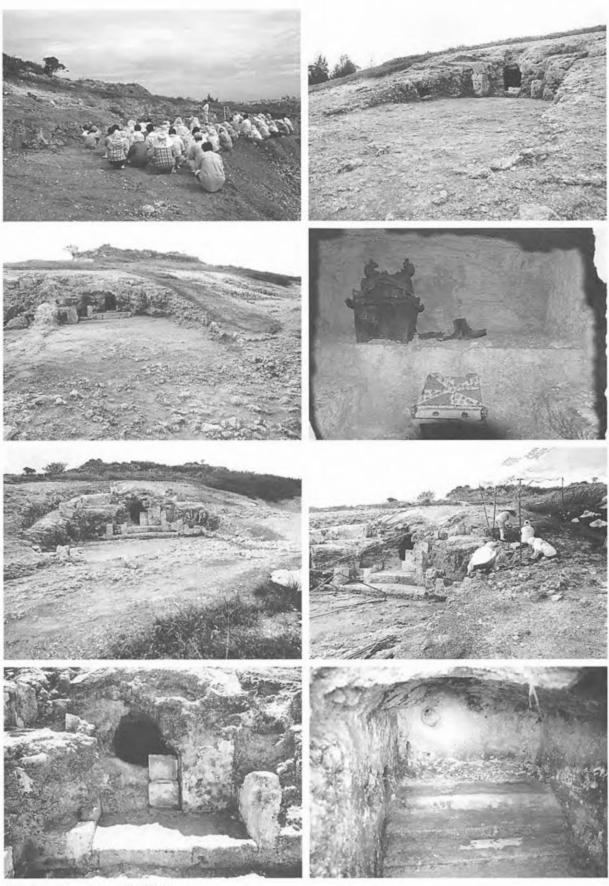




PL.5 ナーチュー毛古墓群 上:遠景(東から)

中:北地区遠景(東から)

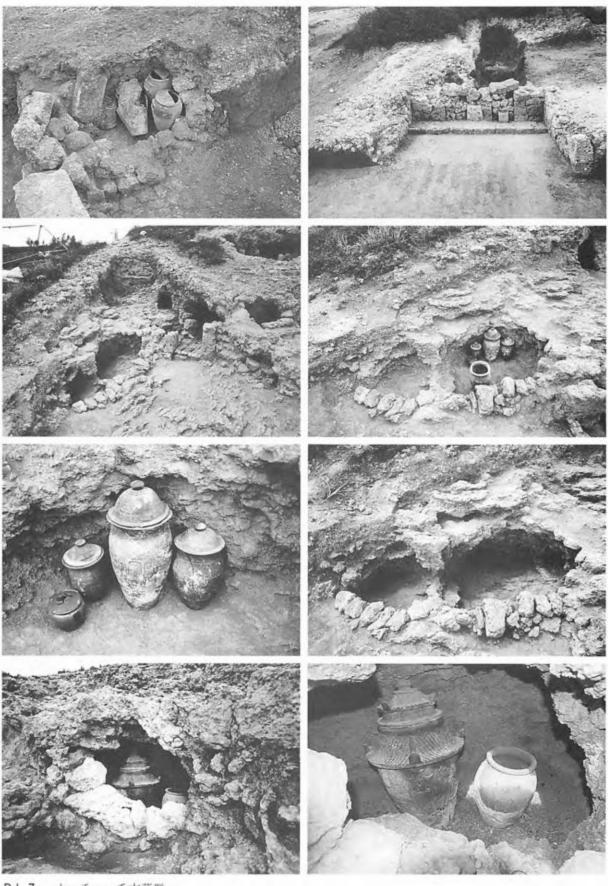
下: " (")



P L.6 ナーチュー毛古墓群

1 段左: 調査前の安全祈願 2 段左: 2 号墓 3 段左: 4 号墓完掘 4 段左: 4 号墓墓口

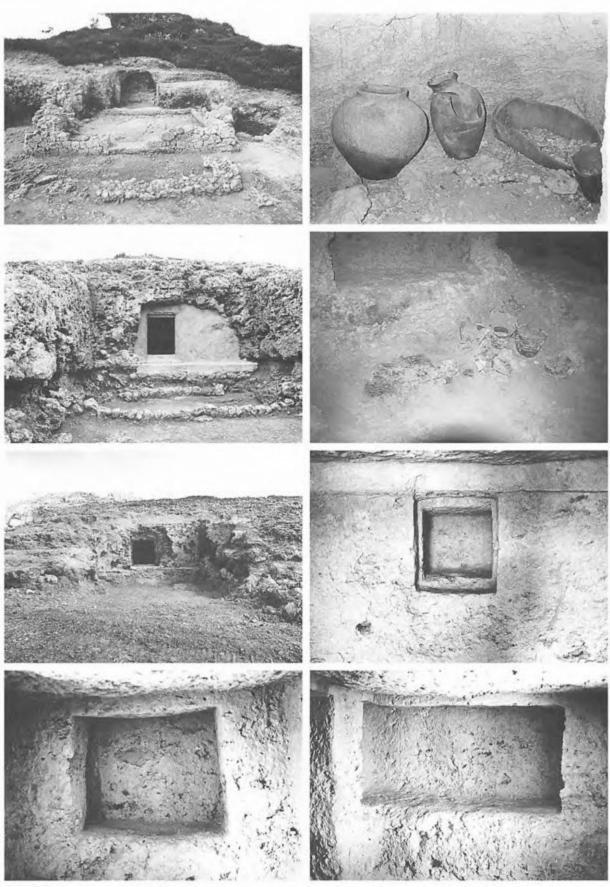
1 段右:3 号墓 2 段右:2 号墓室内 3 段右:4 号墓作業状況 4 段右:4 号墓室内調査中



ナーチュー毛古墓群

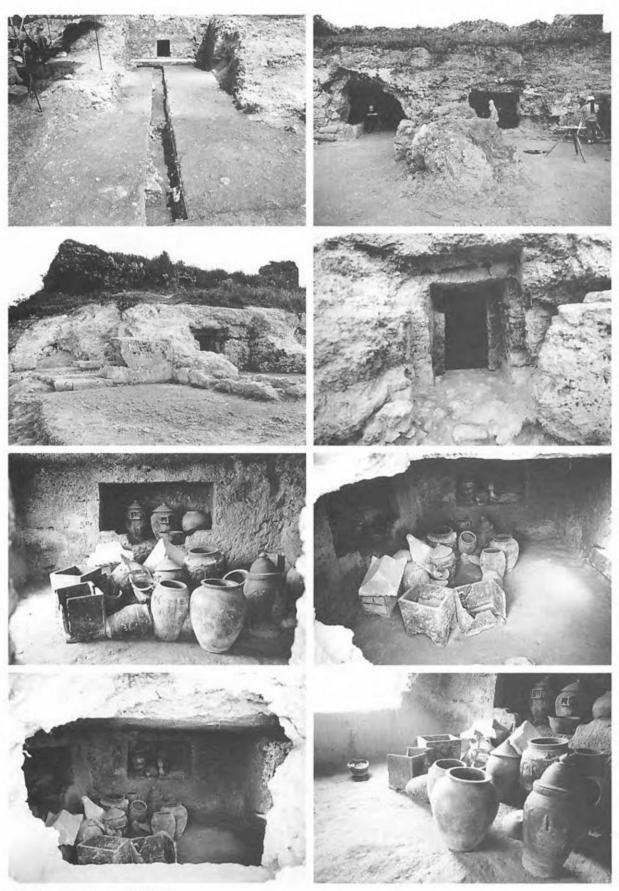
1 段左:5A号墓室内 2 段左:6(A~D)号墓 3 段左:6 D号墓室蔵骨器出土状況 4 段左:9 号墓調查前

1 段右:5(A・B)号墓 2 段右:6 D号墓室内 3 段右:6 D号墓完掘 4 段右:9 号墓室蔵骨器出土状況



PL.8 ナーチュー毛古墓群

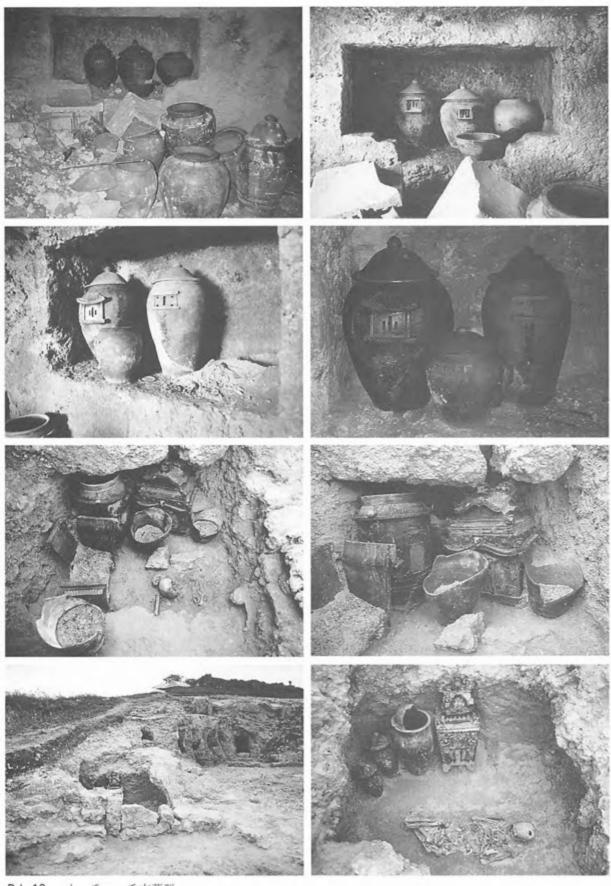
1 段左:11号墓完掘 2 段左:19号墓完掘 3 段左:20号墓完掘 4 段左:20号墓室内左タナ 2 段右:19号墓室内 3 段右:20号墓室内正面タナ 4 段右:20号墓室内右タナ



PL.9 ナーチュー毛古墓群

1 段左: 21号墓 2 段左: 31·24号墓 3 段左: 24号墓室内中央タナ 4 段左: 24号墓室内

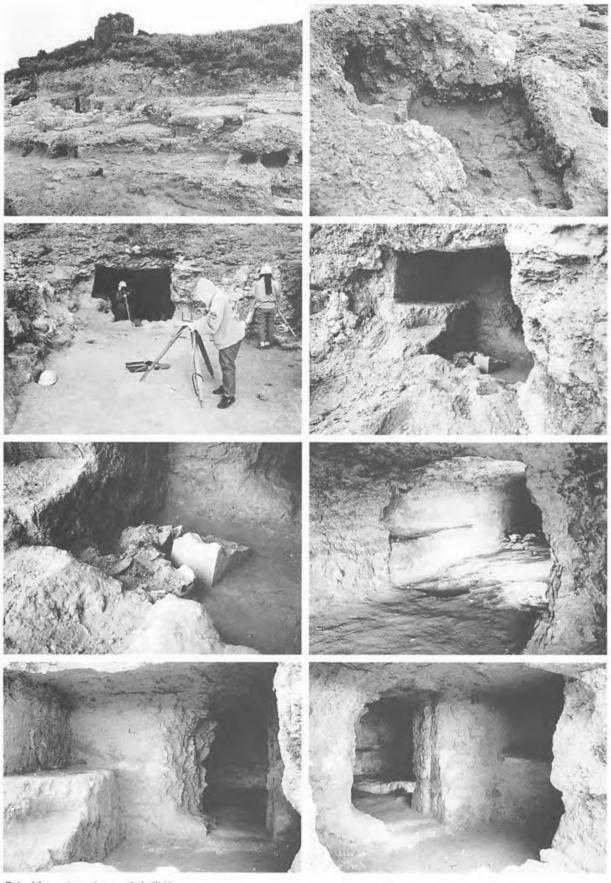
1 段右: 23·39号墓作業状況 2 段右: 24号墓口 3 段右: 24号墓室内 4 段右: 24号墓室内



P L.10 ナーチュー毛古墓群

1 段左: 24号驀室内中央タナ 2 段左: 24号驀室内右タナ 3 段左: 29号驀室内 4 段左: 33号墓

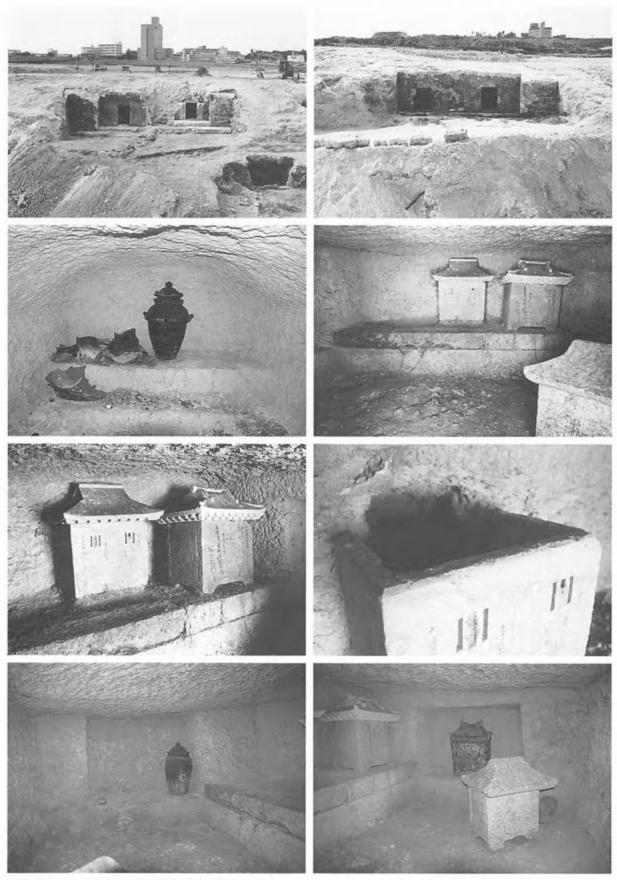
1 段右:24号驀室内中央タナ 2 段右:24号驀室内右タナ 3 段右:29号驀室内 4 段右:33号驀蔵骨器・人骨出土状況



P L.11 ナーチュー毛古墓群

1 段左: 遠景(左から 38·37·36·40·34号墓) 2 段左: 39号墓作業状況 3 段左: 39号墓(前室)石製家形蔵骨器出土状況 4 段左: 39号墓(前室)

1 段右:34号幕 2 段右:39号幕 3 段右:防空壕および39号幕(奥室)の状況 4 段右:39号墓(前室)および防空壕

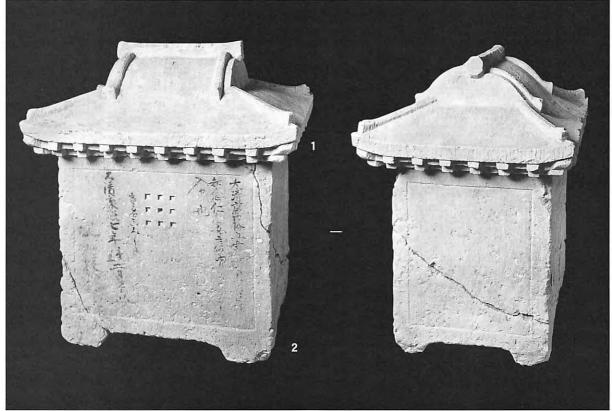


P L.12 ナーチュー毛古墓群(北地区)

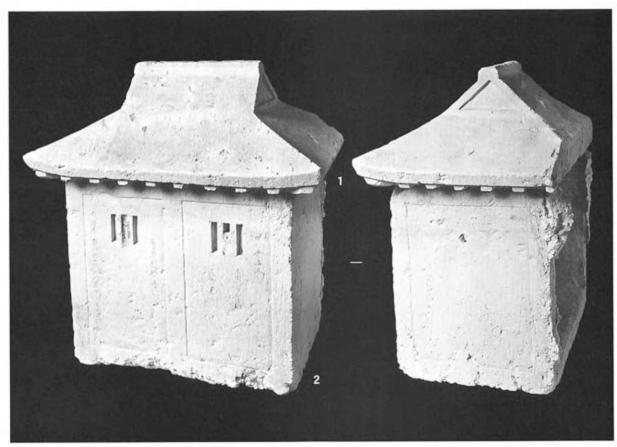
1 段左:上1·2 号墓(左から)右下9号墓 2 段左:7号墓室内 3 段左:8号墓室内正面タナ 4 段左:8号墓室内左タナ

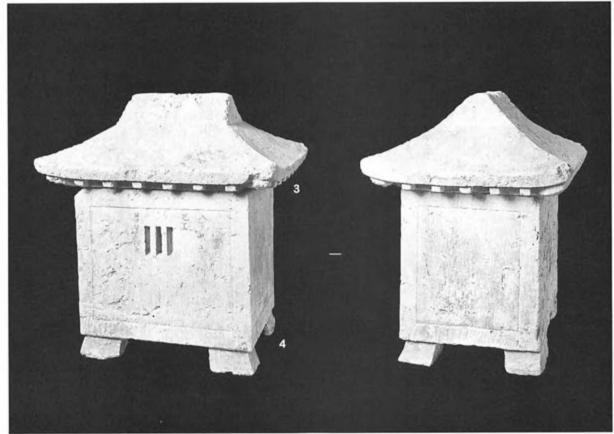
1 段右:6・7号墓(左から) 2 段右:8号墓室内 3 段右:8号墓室内 4 段右:8号墓室内



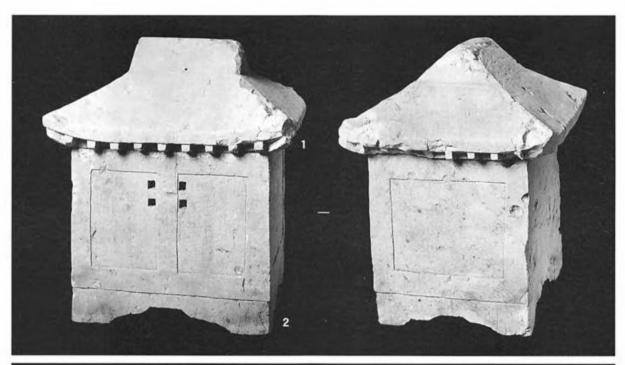


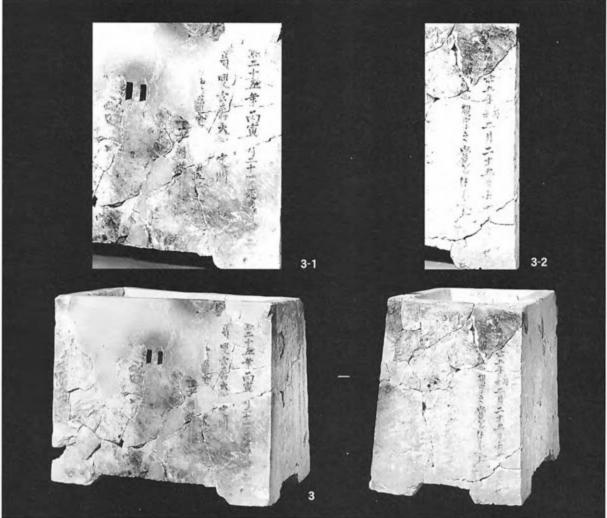
PL.13 (第32図) 石製家形蔵骨器





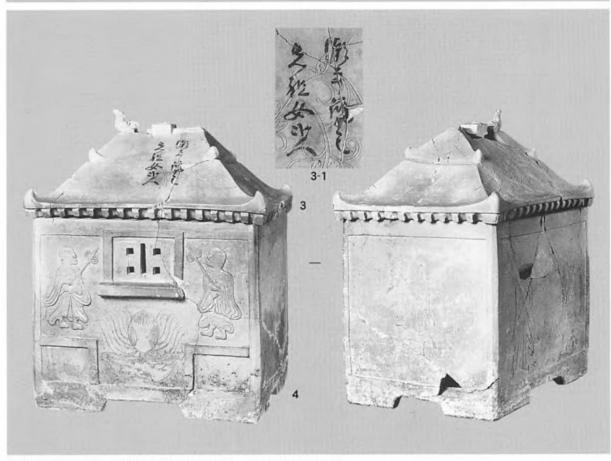
PL.14 (第33図) 石製家形蔵骨器



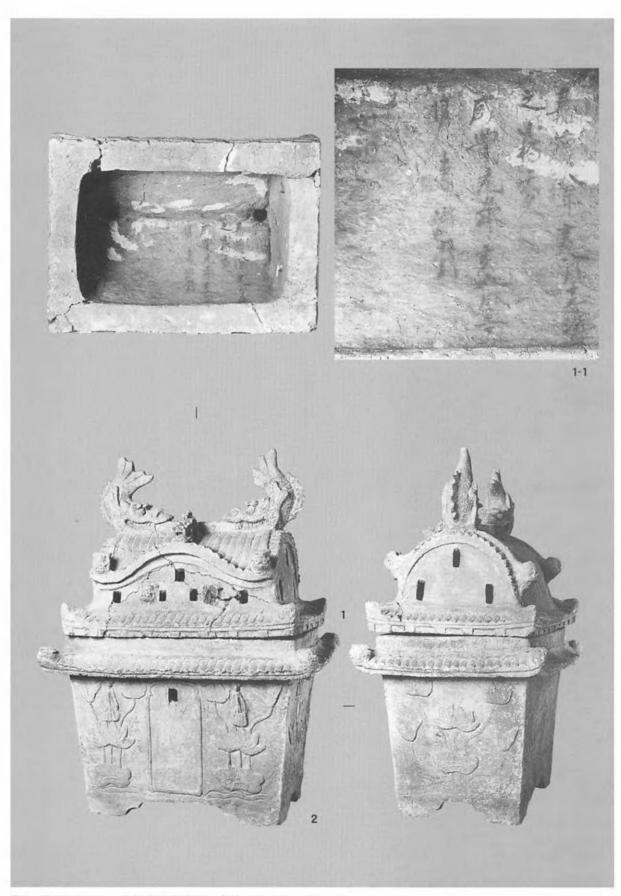


PL.15 (第34図) 石製家形蔵骨器





PL.16 (第35 図) 陶製家形蔵骨器:素焼 (方言でアカムン)



PL.17 (第36図) 陶製家形蔵骨器:素焼 (方言でアカムン)

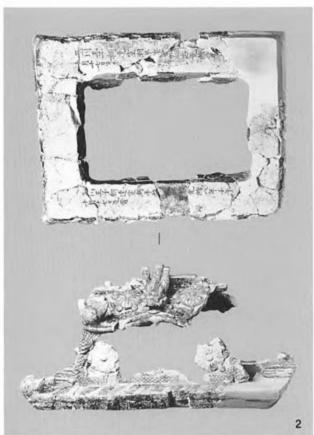


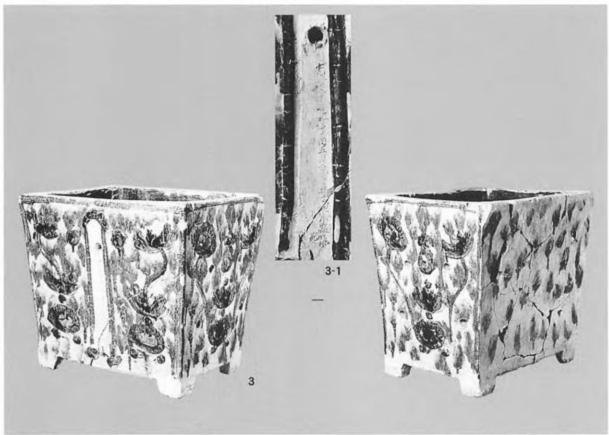
PL.18 (第37 図) 陶製家形蔵骨器:素焼 (方言でアカムン)



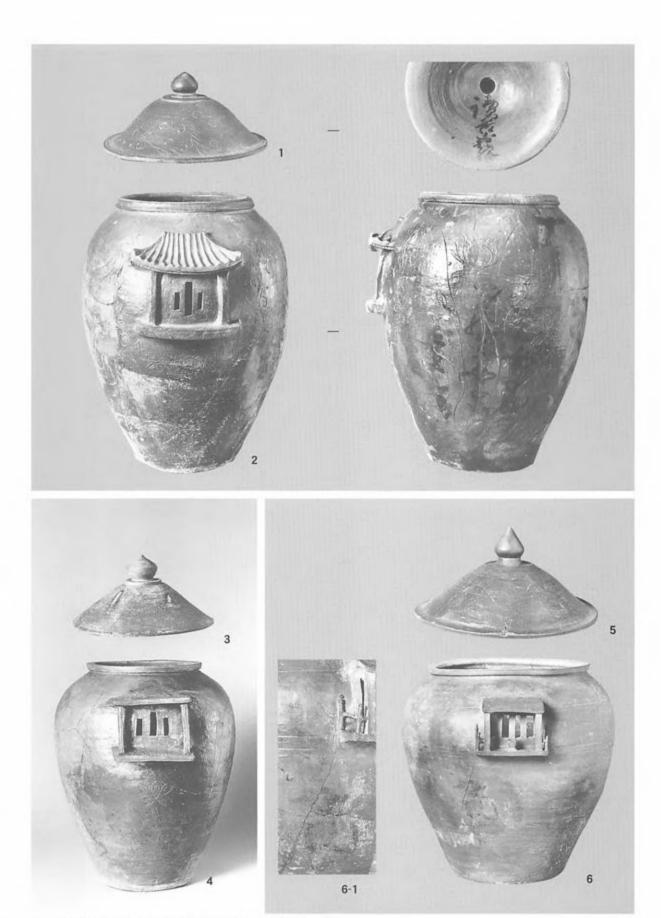
PL.19 (第38 図) 陶製家形蔵骨器:素焼 (彩色)



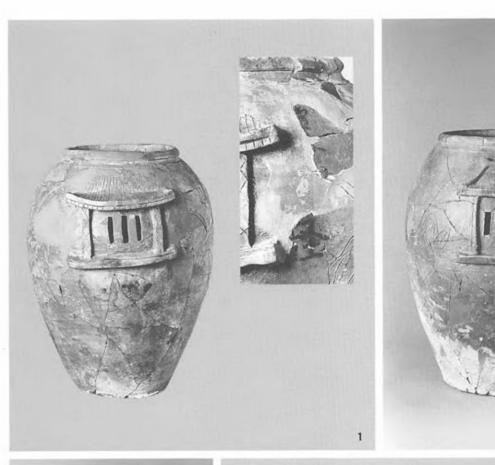


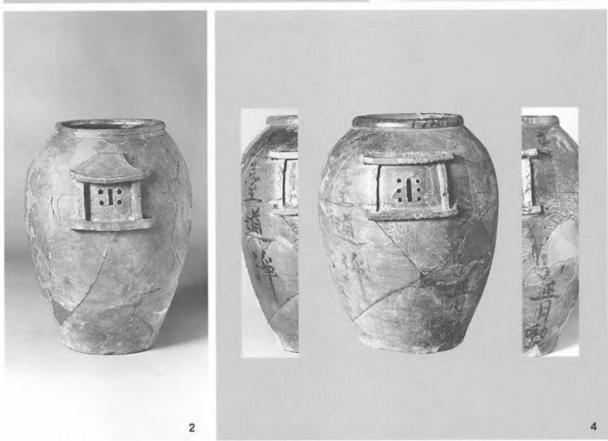


PL.20 (第39図) 陶製家形蔵骨器:施釉

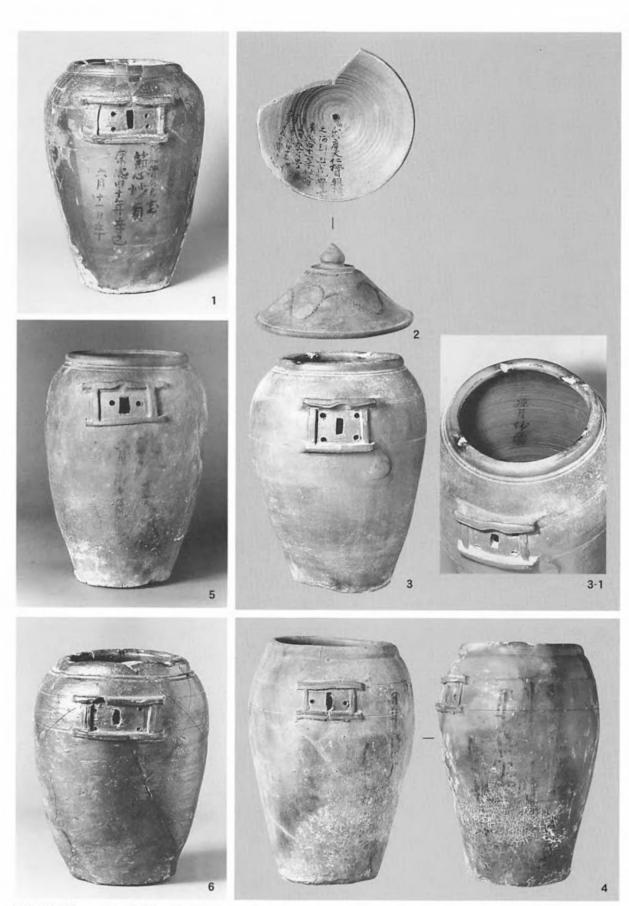


P L.21 (第 40 図) 陶製無頸喪形蔵骨器:中型 $(1 \sim 6)$ (ボージャー)

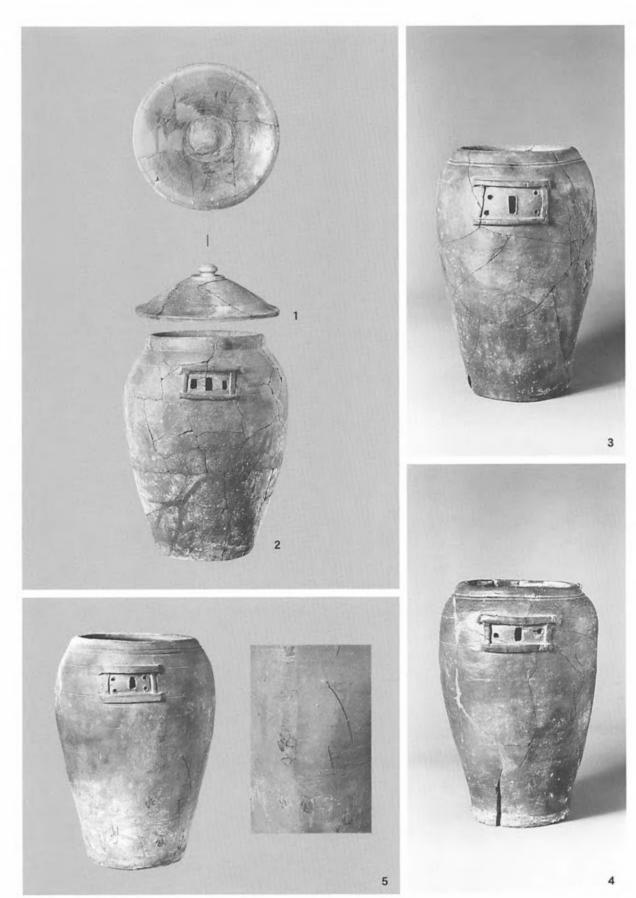




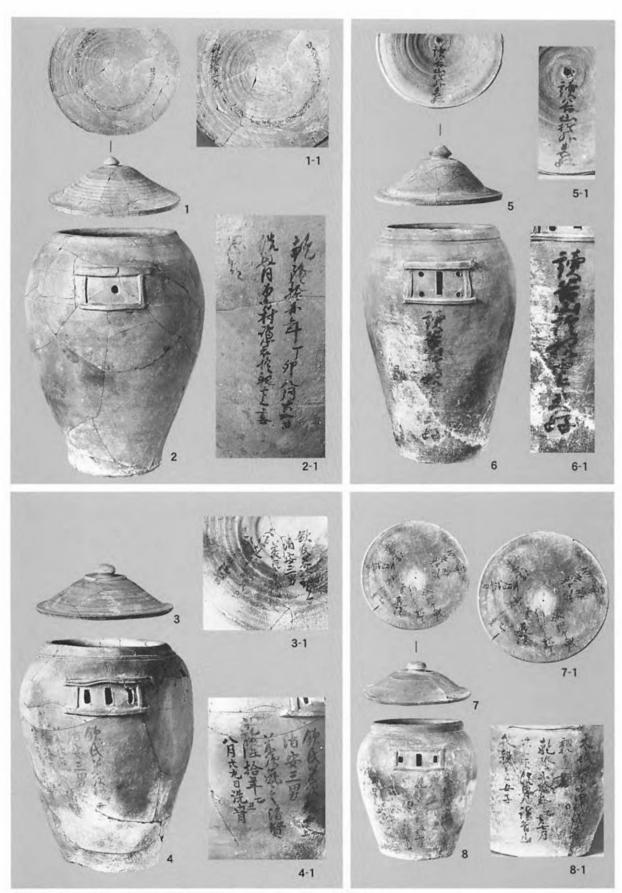
P L.22 (第 41 図) 陶製無頸喪形蔵骨器:中型 $(1 \sim 4)$ (ボージャー)



P L.23 (第 42 図) 陶製無頸銀形蔵骨器:中型 $(1 \sim 6)$ (ボージャー)



P L.24 (第43 図) 陶製無頸甕形蔵骨器:中型 (1 ~ 5) (ボージャー)



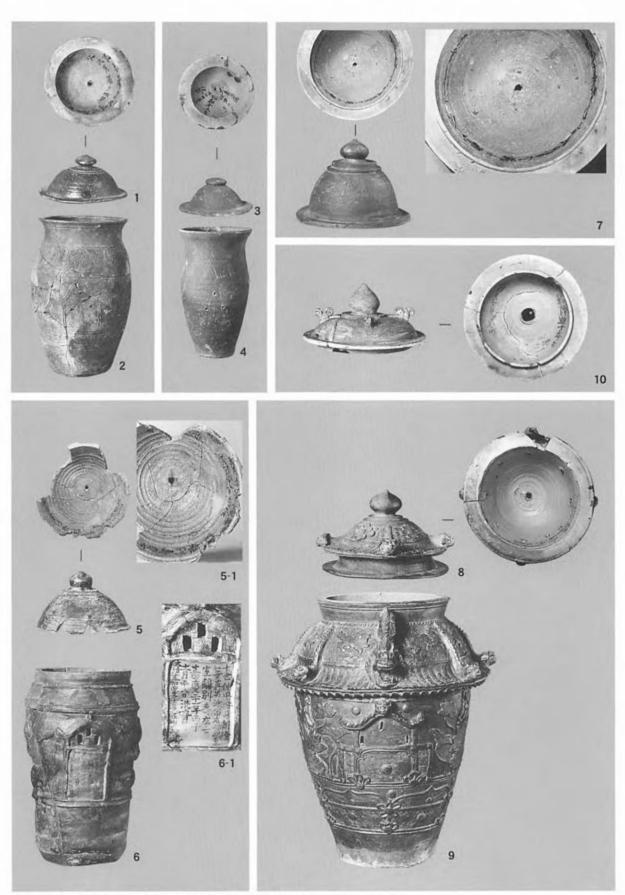
P L.25 (第 44 図) 陶製無頭喪形蔵骨器: 大型 $(1 \sim 6)$ ・小型 $(7 \cdot 8)$ (ボージャー)



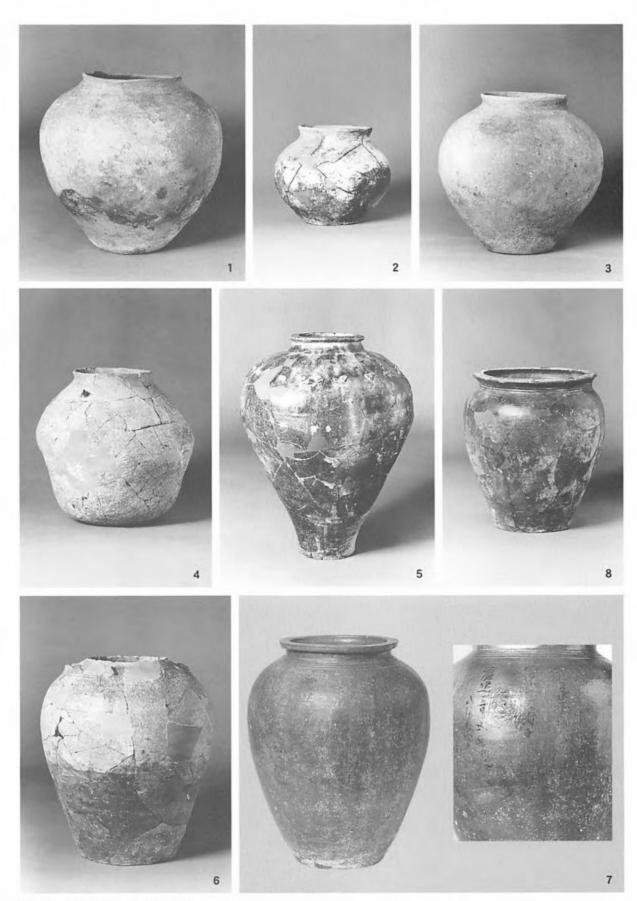
P L.26 (第 45 図) 陶製無頸褒形蔵骨器 (ボージャー)



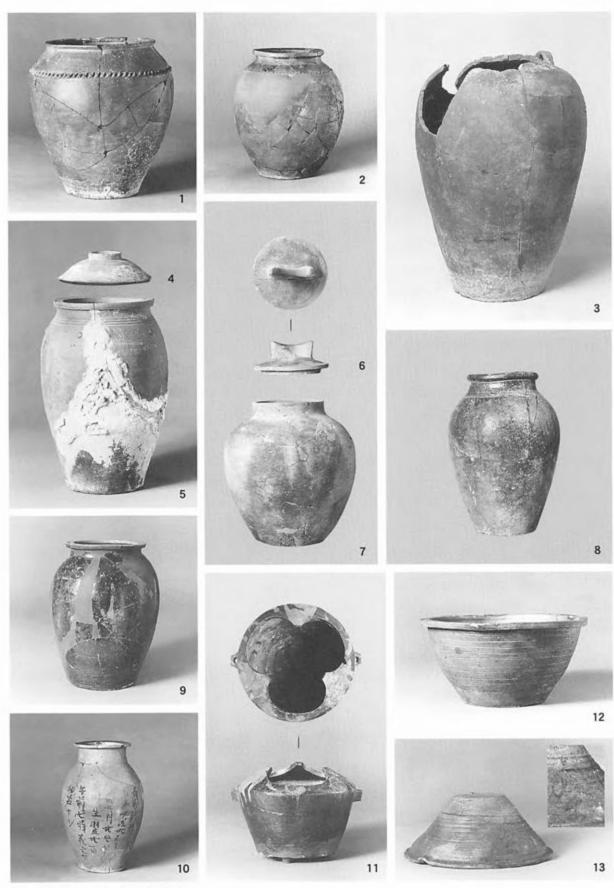
PL.27 (第 46 図) 陶製円筒形蔵骨器 (1 ~ 4) 陶製有頭甕形蔵骨器:中型 (5)・大型 (6)



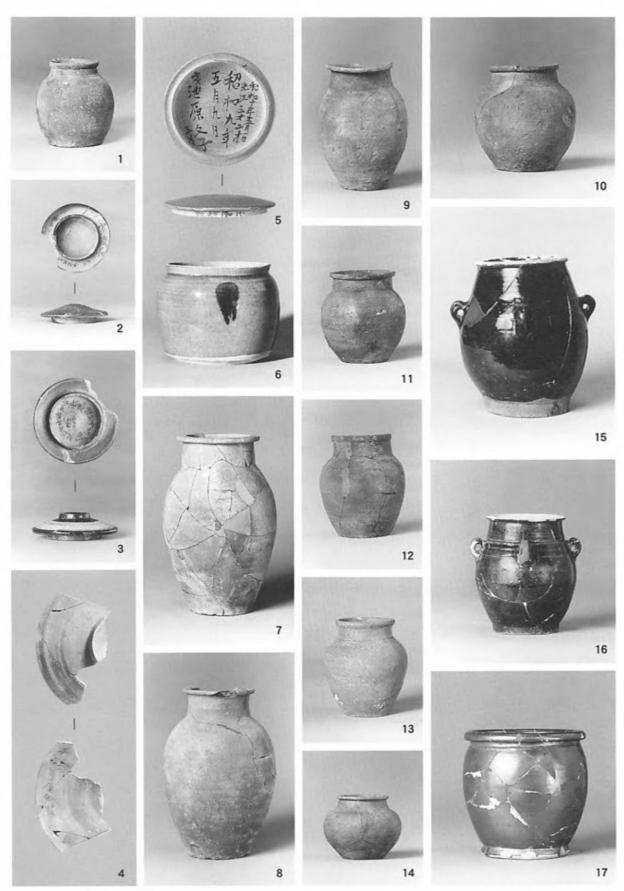
P L.28 (第 47 図) 陶製有頸甕形蔵骨器: 小型 $(1 \sim 4)$: 中型 $(5 \sim 7)$ 陶製軒付甕形蔵骨器: 大型 $(8 \sim 10)$



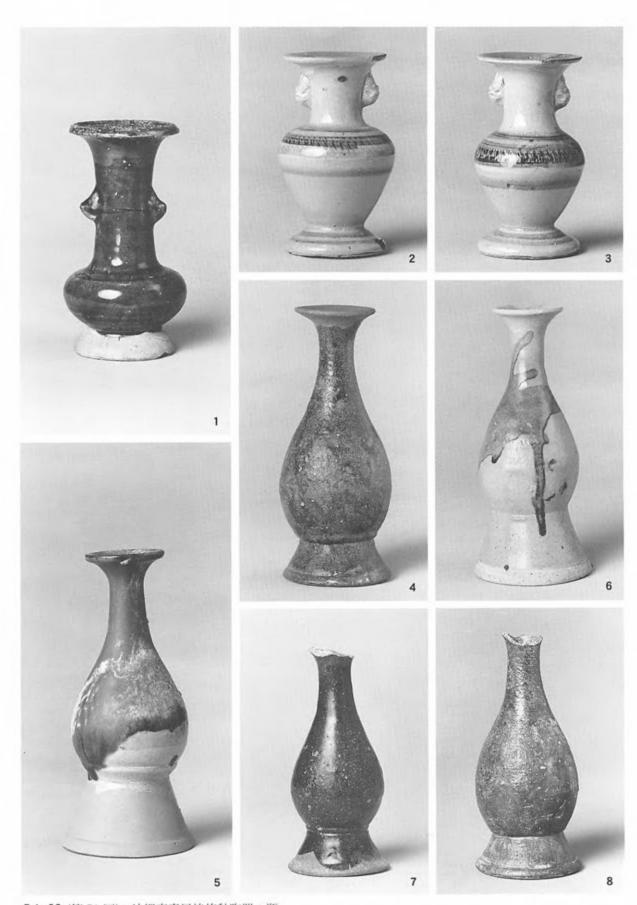
PL.29 (第48図) 転用蔵骨器



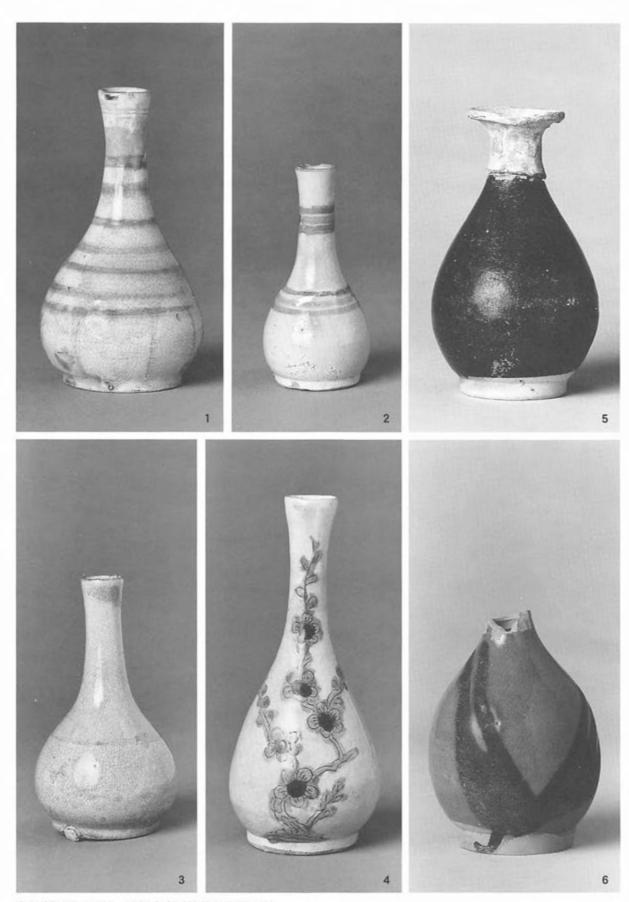
PL.30 (第49図) 転用蔵骨器



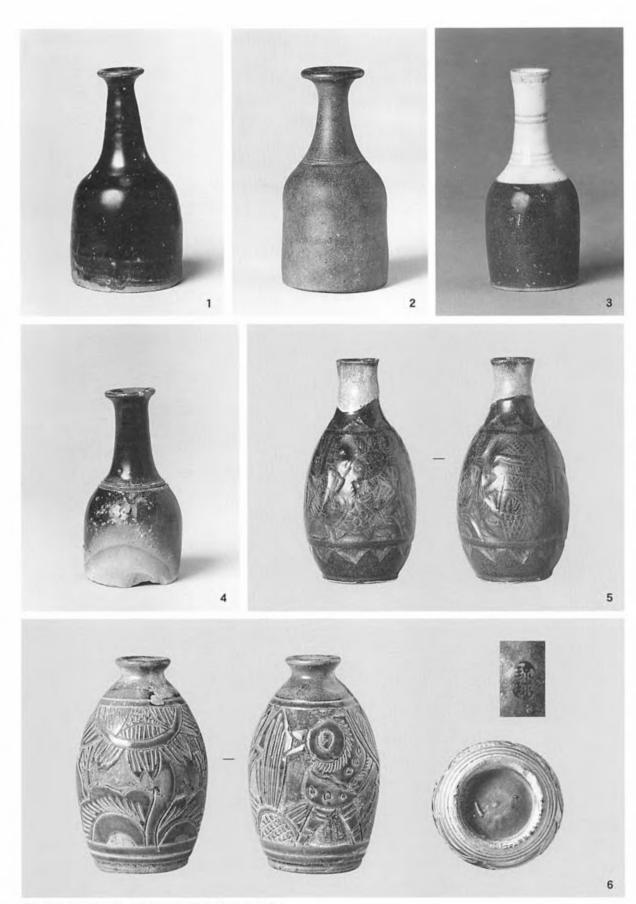
P L.31 (第50図) 転用蔵骨器



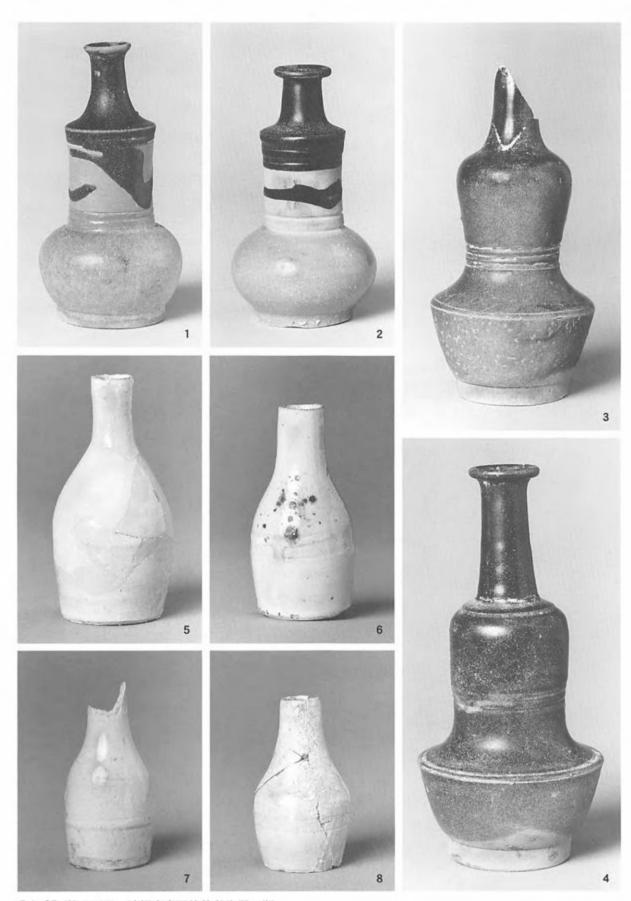
PL.32 (第51 図) 沖縄産壺屋焼施釉陶器: 瓶



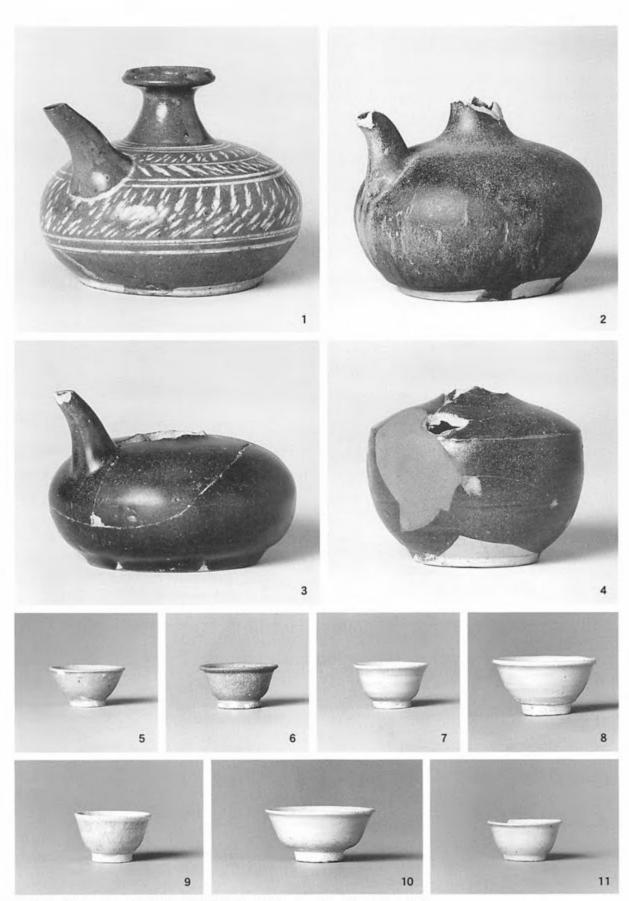
PL.33 (第52 図) 沖縄産壺屋焼施釉陶器:瓶



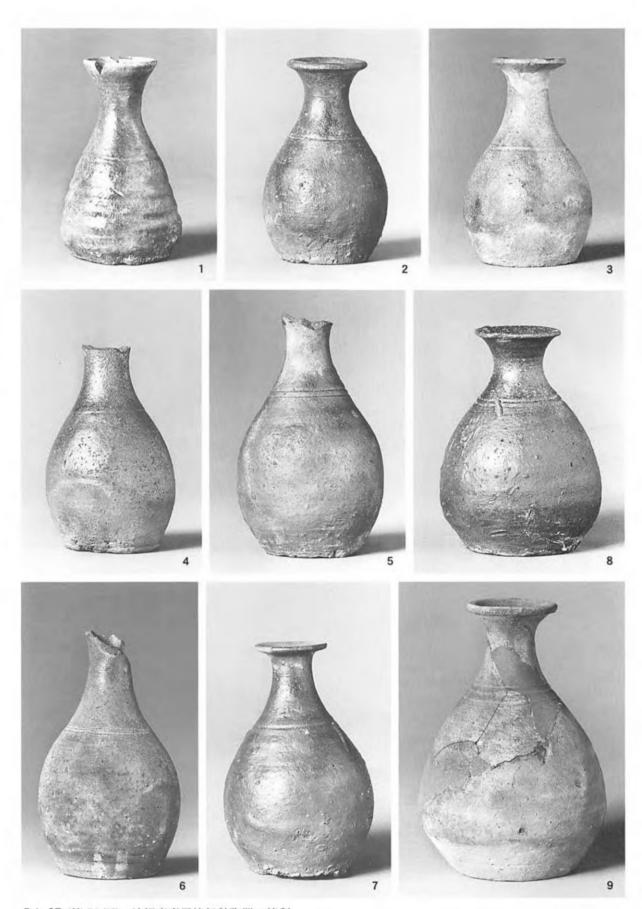
PL.34 (第53 図) 沖縄産壺屋焼施釉陶器:瓶



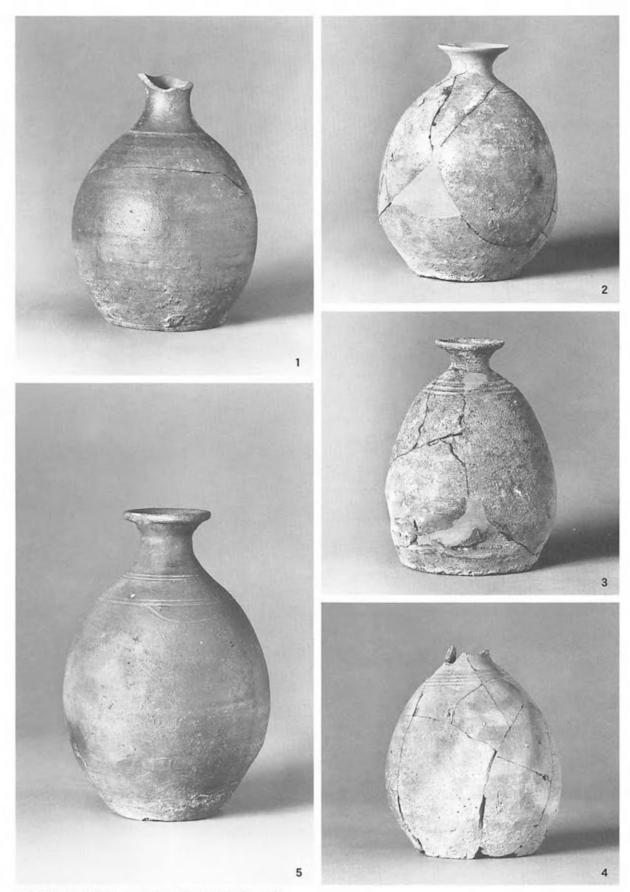
PL.35 (第54図) 沖縄産壺屋焼施釉陶器:瓶



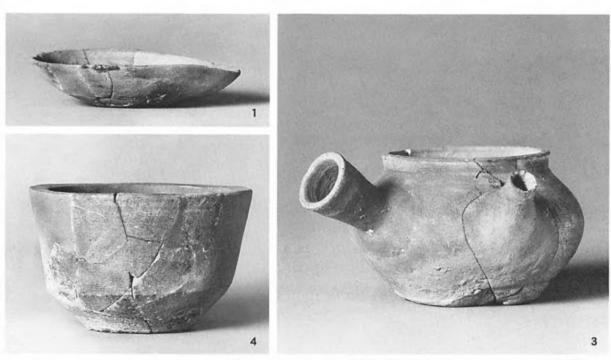
PL.36 (第55 図) 沖縄産壺屋焼施釉陶器:酒注 (1~4)、猪口 (5~11)



P L.37 (第 56 図) 沖縄産壺屋焼無釉陶器: 徳利

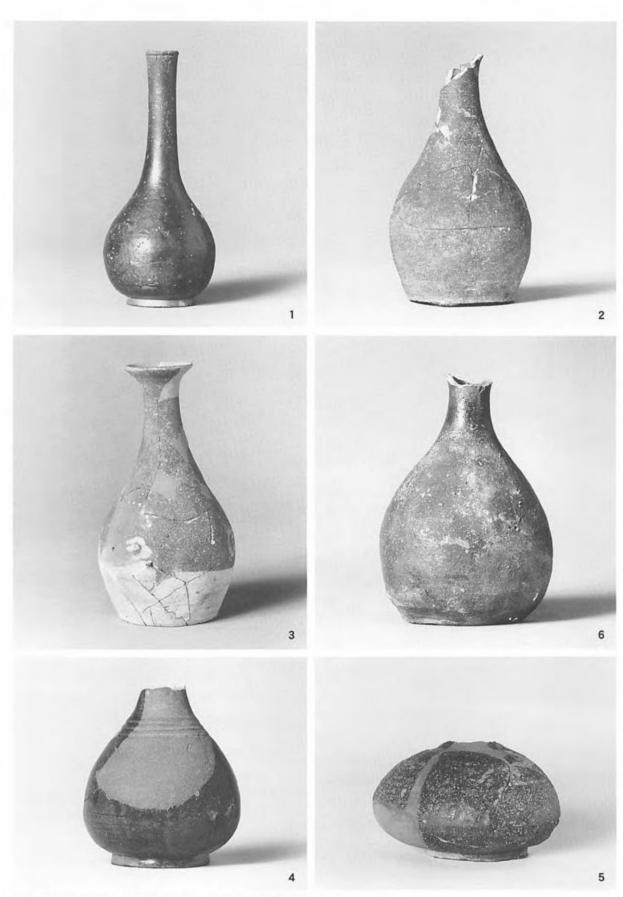


PL.38 (第57 図) 沖縄産壺屋焼無釉陶器:徳利

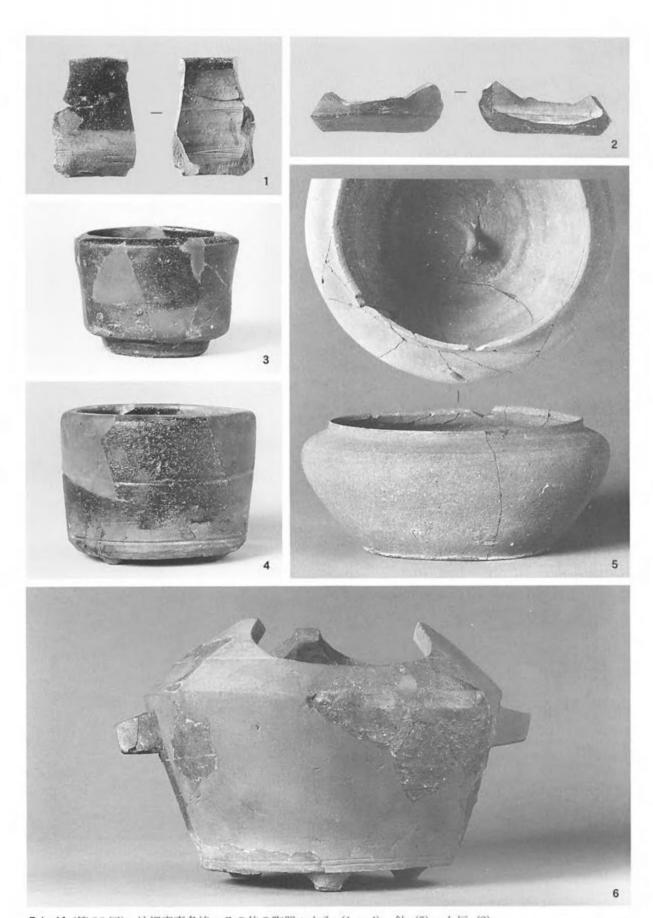




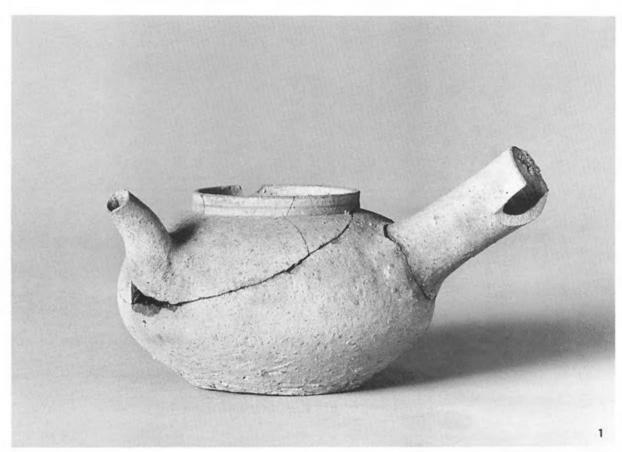
PL.39 (第58 図) 沖縄産壺屋焼無釉陶器:小皿(1)、急須(2·3)、火入(4)



PL.40 (第59 図) 沖縄産喜名焼・その他の陶器:瓶

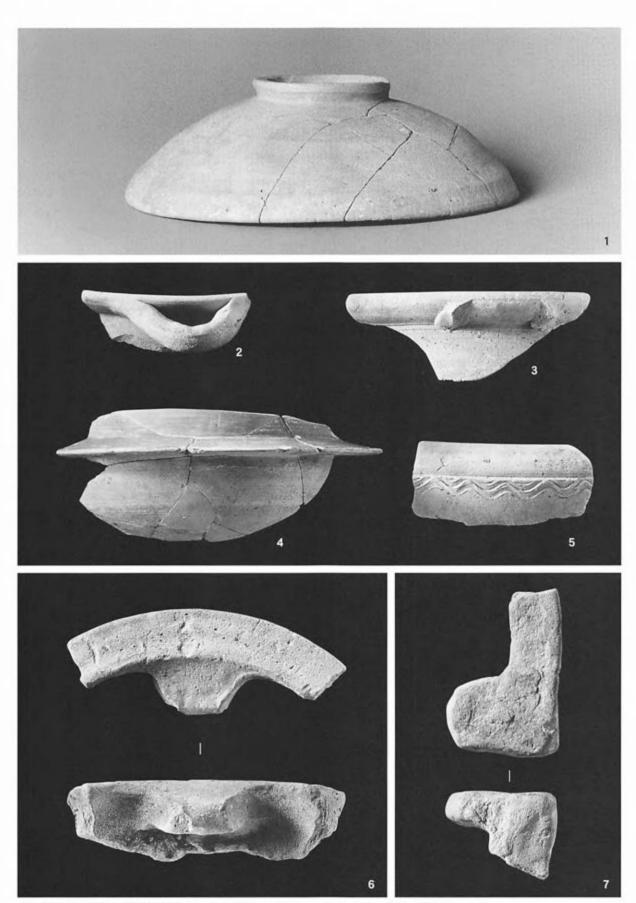


P L.41 (第60 図) 沖縄産喜名焼・その他の陶器:火入 (1~4)、鉢 (5)、火炉 (6)

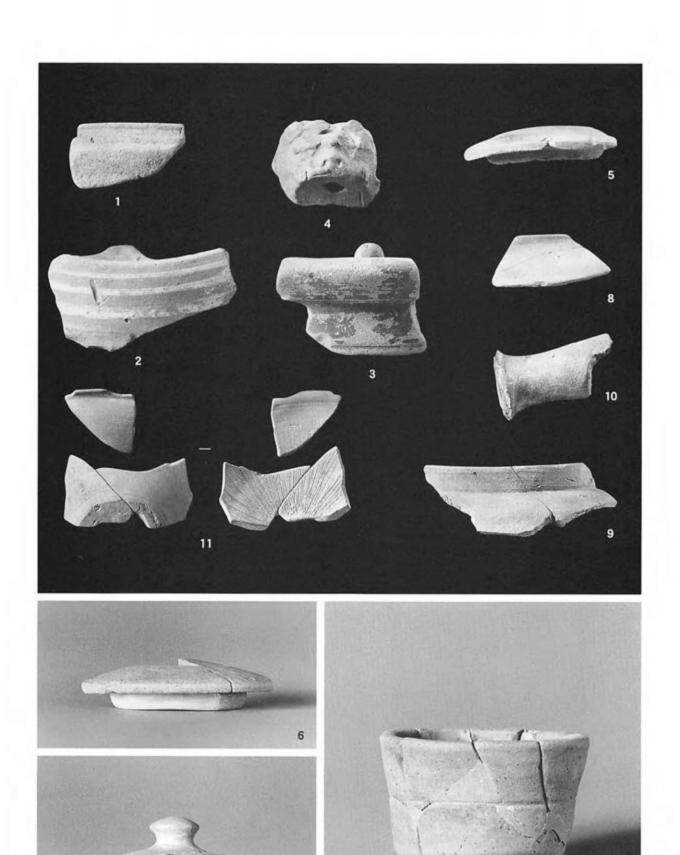




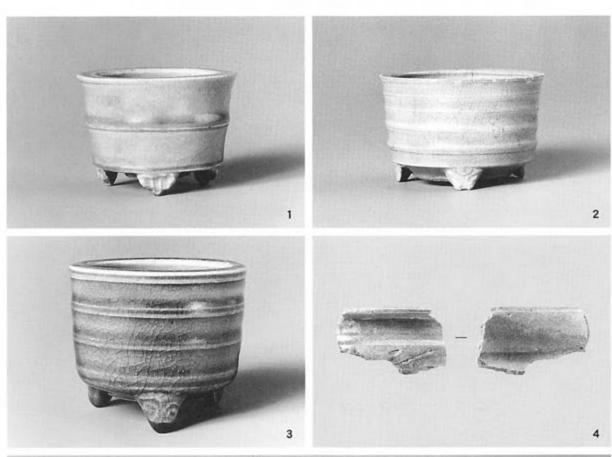
P L.42 (第61 図) 沖縄産喜名焼・その他の陶器:急須



PL.43 (第62 図) 陶質土器:鍋 (1~3)、羽釜 (4)、水鉢 (5)、火鉢 (6·7)

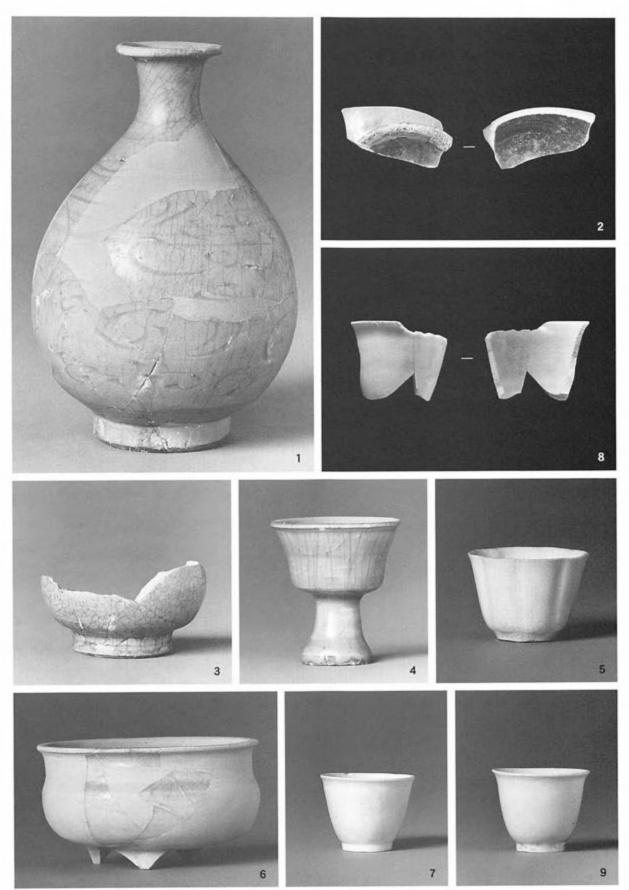


PL.44 (第63 図) 陶質土器: 炉 (1~4)、急須 (5~10)、ミニチュア製品 (擂鉢) (11)、火入 (12)

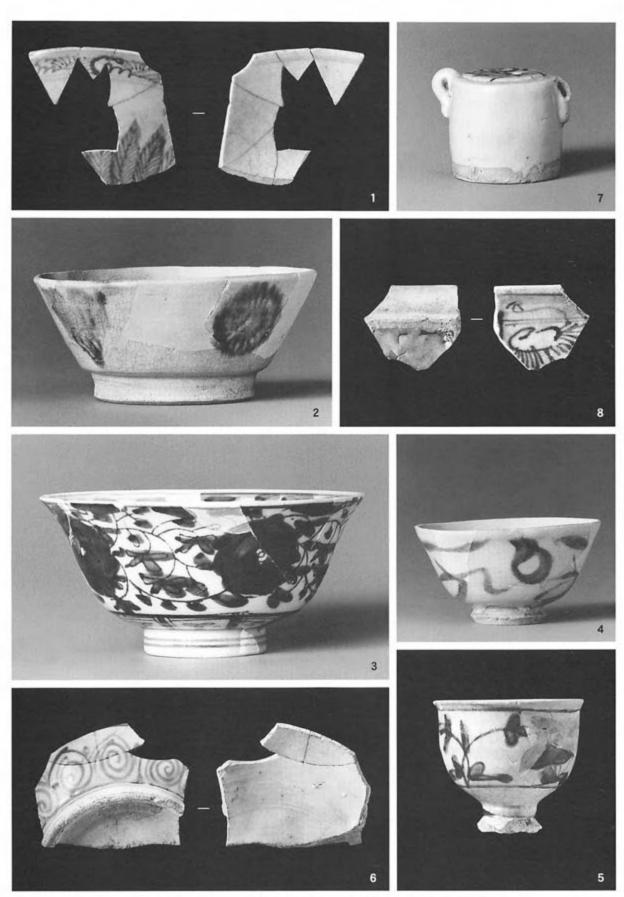




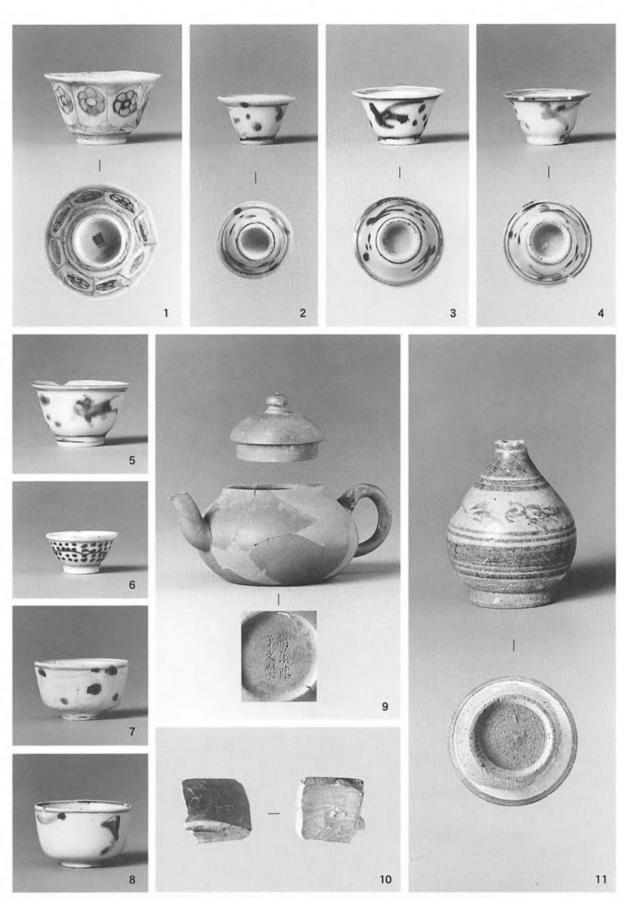
PL.45 (第64 図) 中国産陶磁器: 青磁 (香炉)



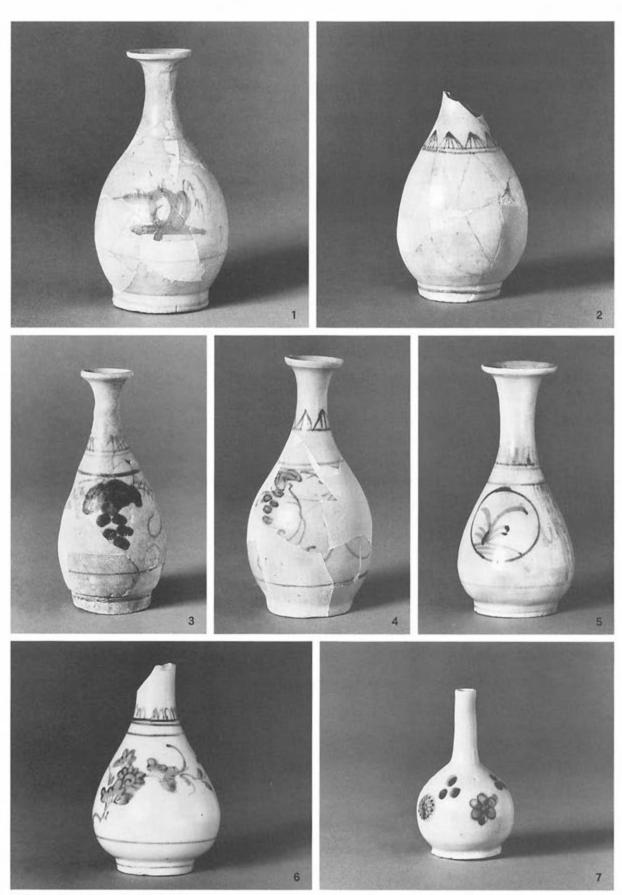
P L.46 (第65 図) 中国産陶磁器: 青磁(瓶1、袋物2·3、馬上杯4) 青白磁(杯5) 白磁(香炉6、杯7~9)



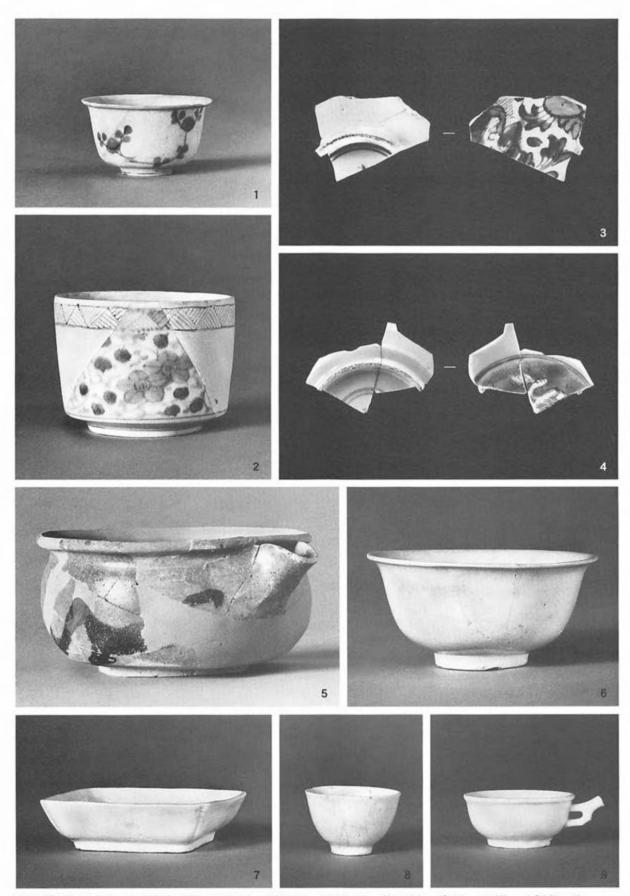
PL.47 (第66 図) 中国産陶磁器:青花 (碗 1 ~ 4、馬上杯 5、袋物 6、水滴 7、角皿 8)



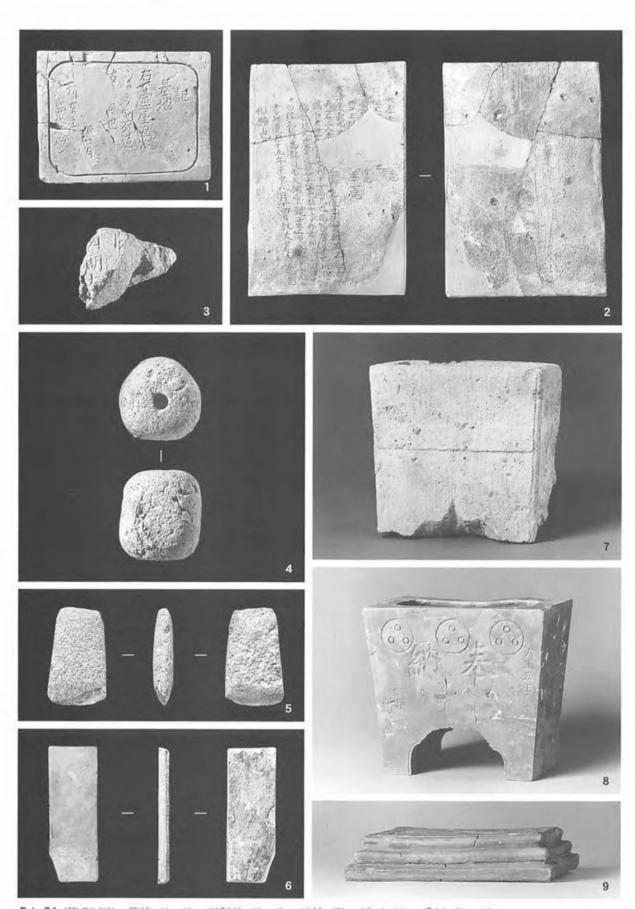
P L.48 (第 67 図) 中国産陶磁器: 青花 (杯 1 ~ 8)、朱泥 (急須 9)、瑠璃釉 (袋物 10) 夕イ産陶磁器: 鉄絵 (瓶 11)



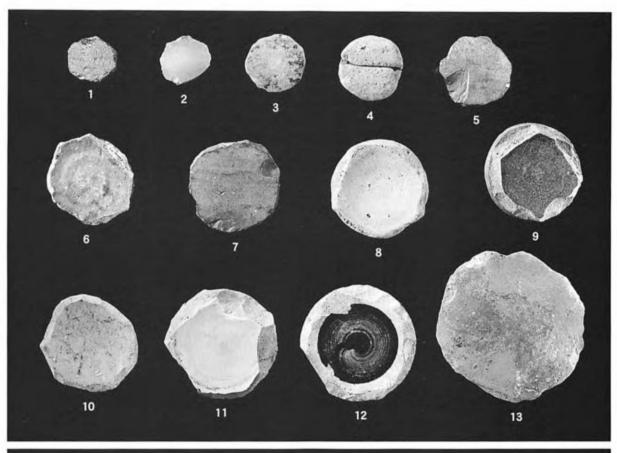
P L.49 (第68 図) 本土産陶磁器: 瓶

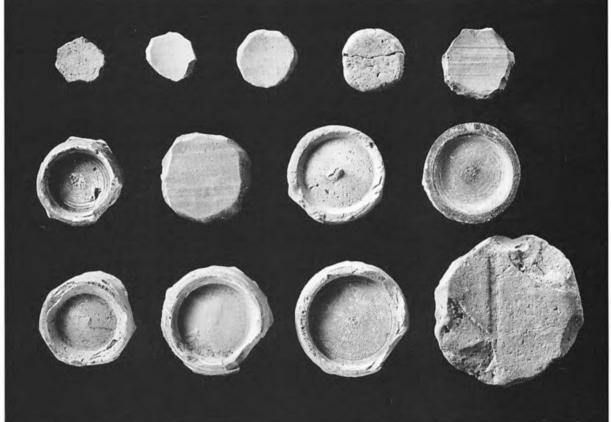


PL.50 (第69 図) 本土産陶磁器:小碗(1)、不明(2)、皿(3·4)、片口(5)、碗(6)、皿(7)、小杯(8·9)

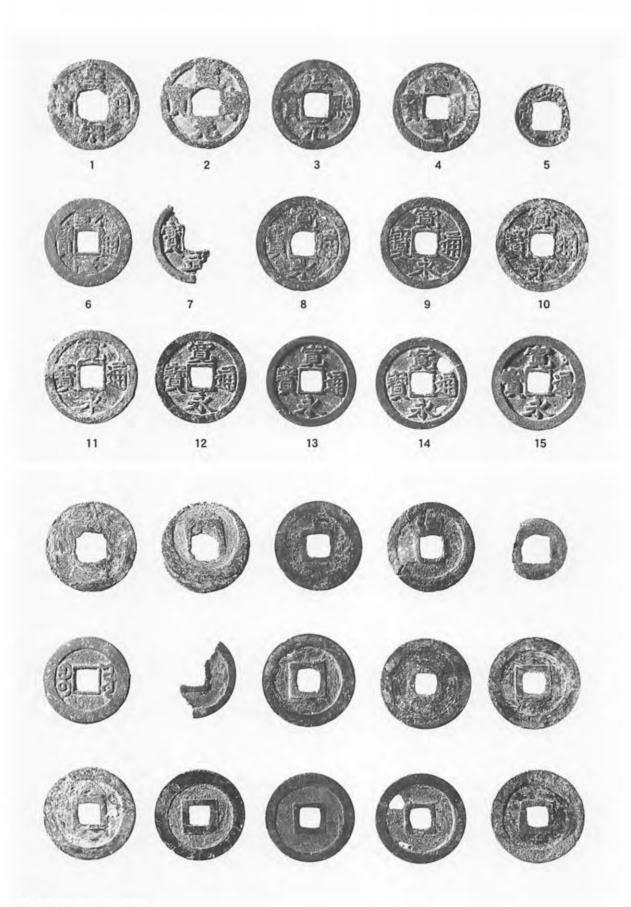


PL.51 (第70 図) 墓誌 (1·2)、石製品 (3·4)、石斧 (5)、砥石 (6)、香炉 (7~9)

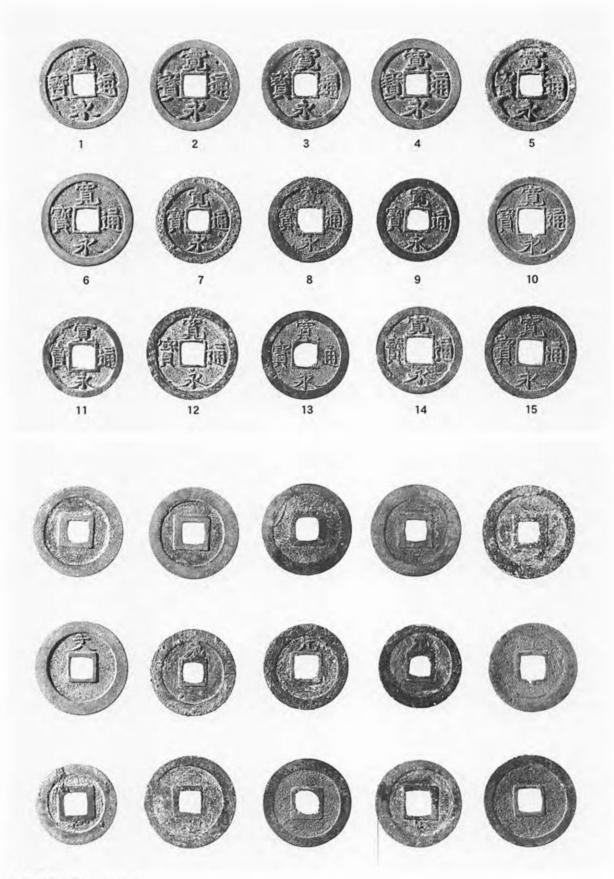




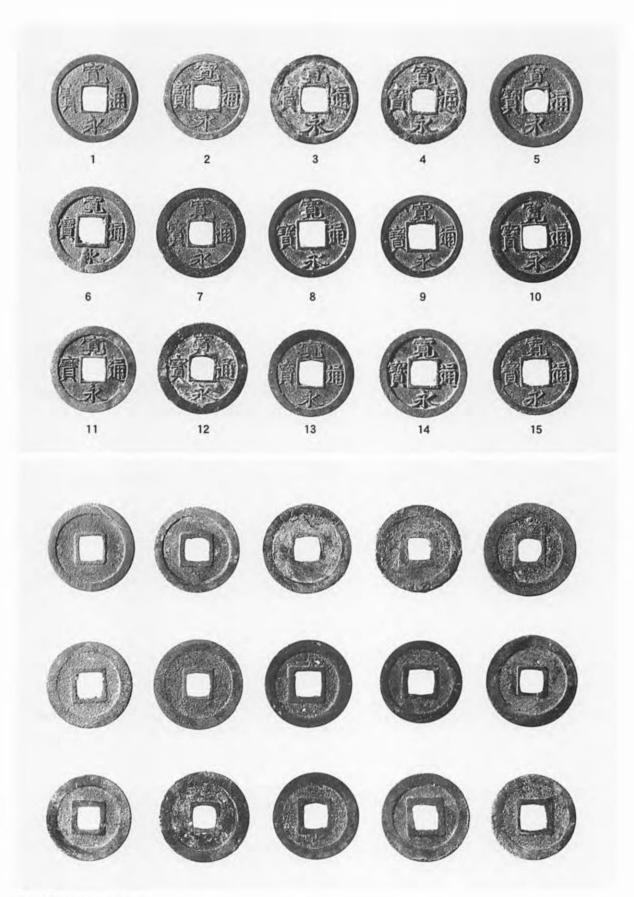
PL.52 (第72 図) 円盤状製品



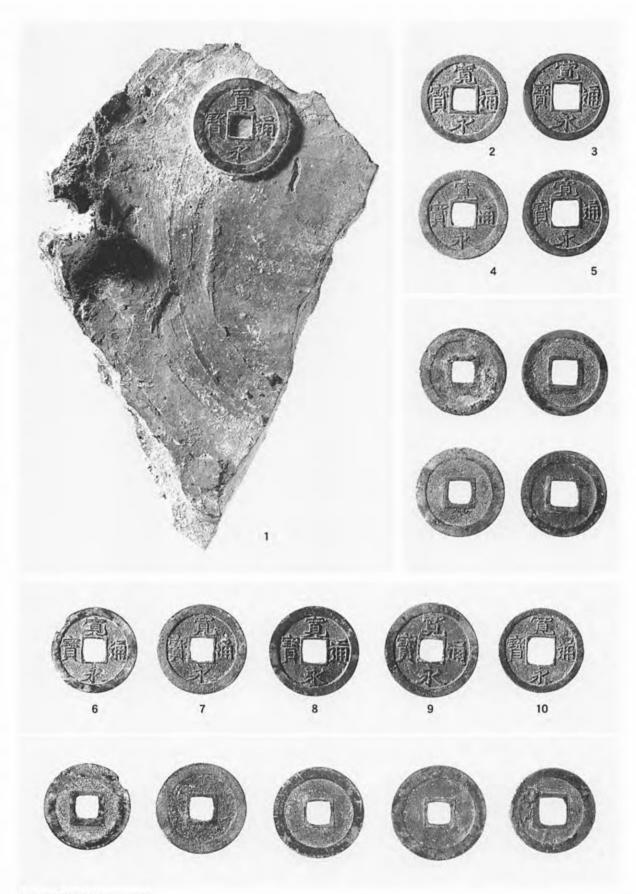
PL.53 (第74团) 銭貨



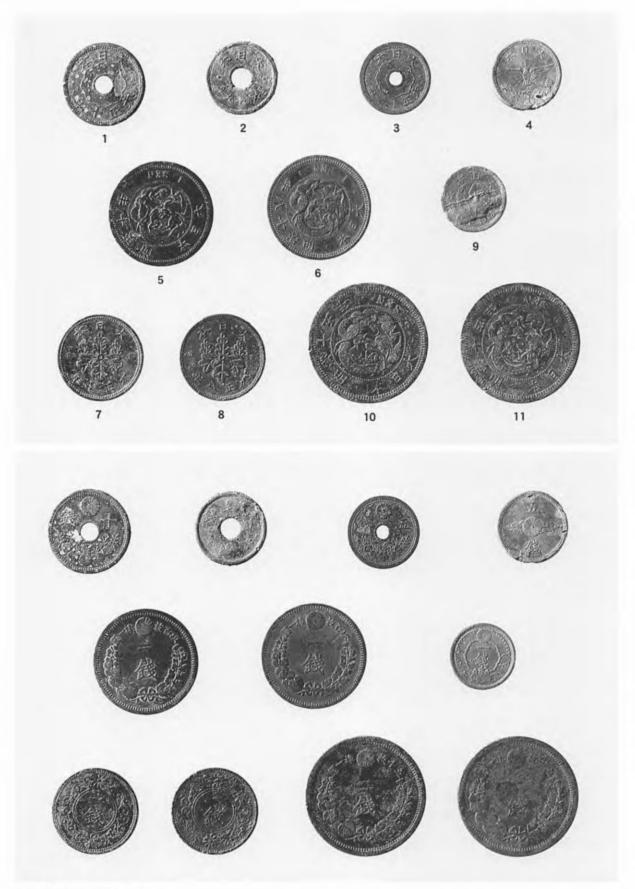
PL.54 (第75 図) 銭貨



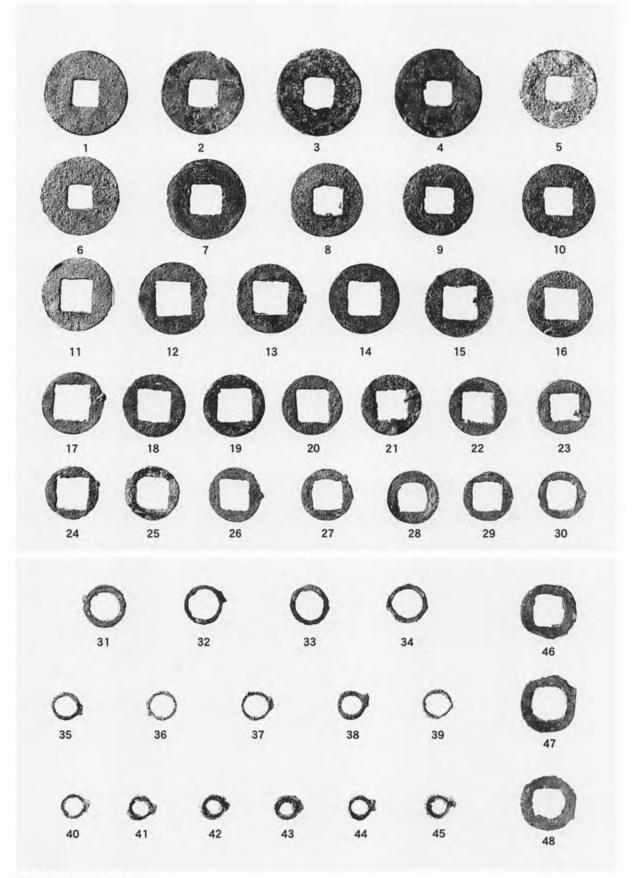
PL.55 (第76 図) 銭貨

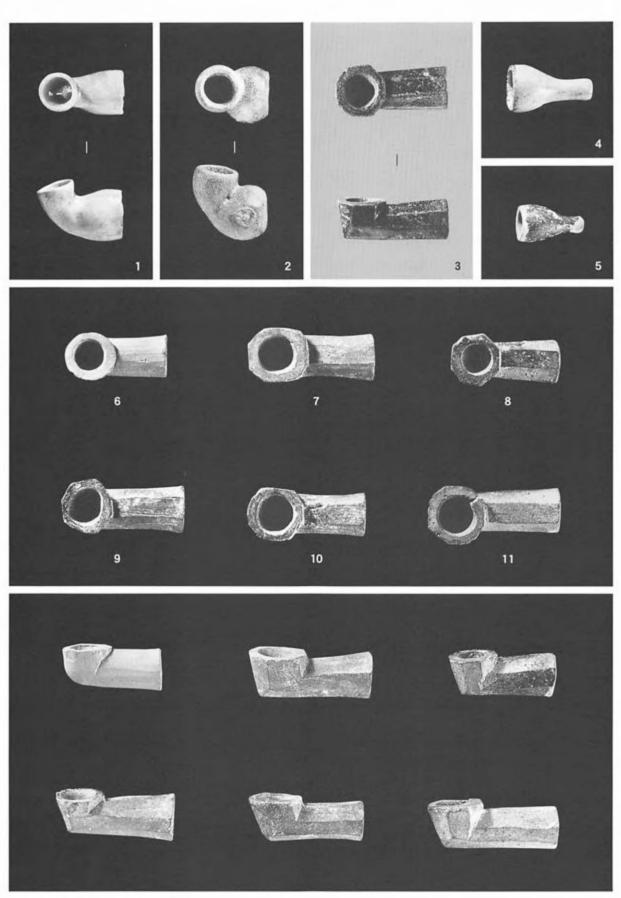


PL.56 (第77回) 銭貨

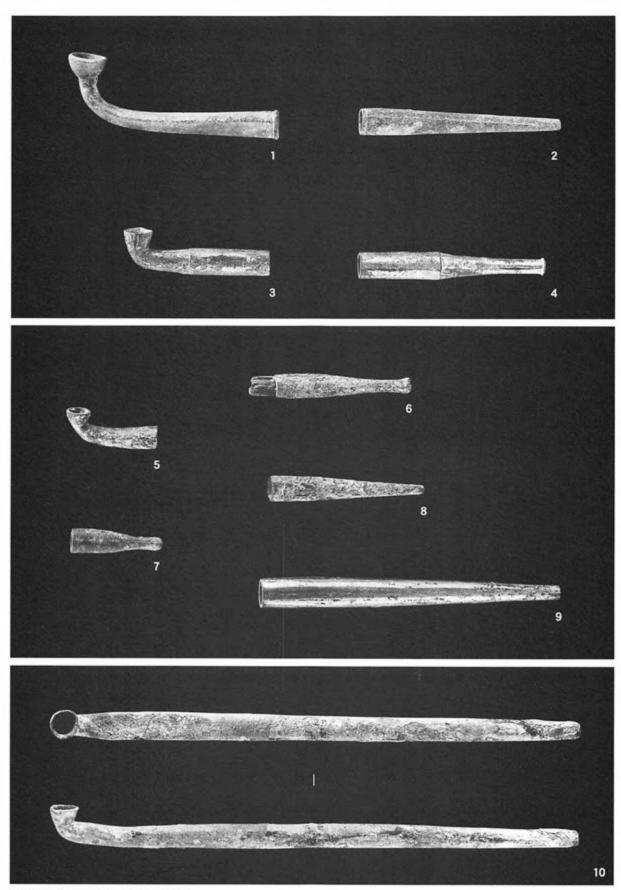


PL.57 (第78図) 銭貨

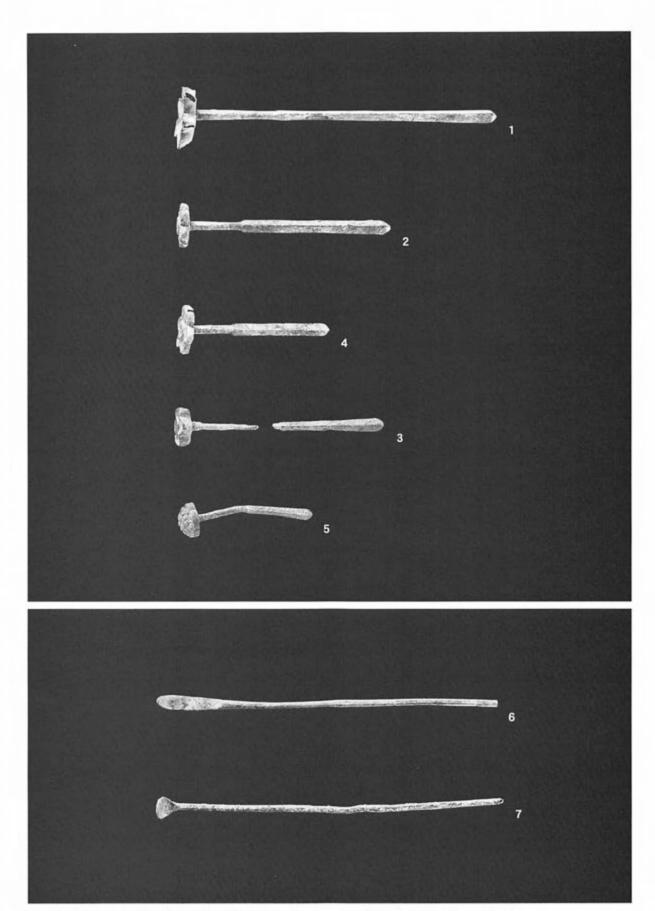


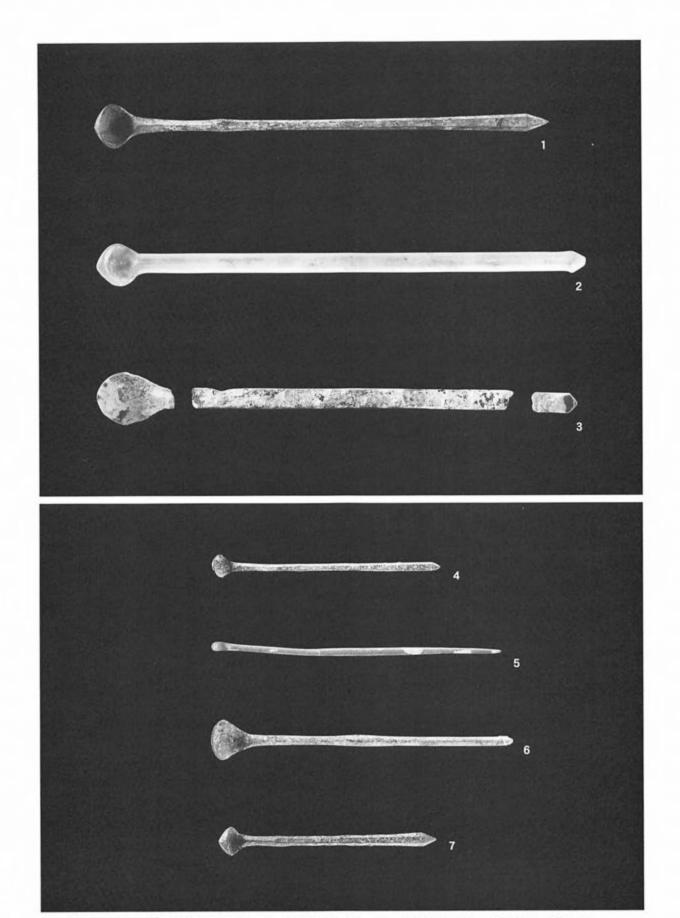


P L.59 (第 80 図) 煙管:沖縄産施釉陶器製 (1 ~ 5) 沖縄産無釉陶器製 (6 ~ 11)

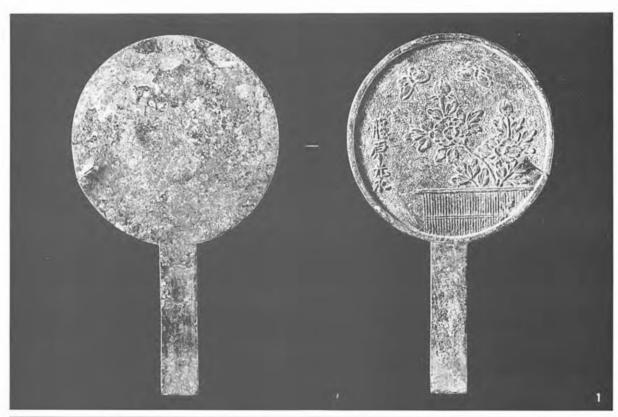


PL.60 (第81 図) 煙管:金属製



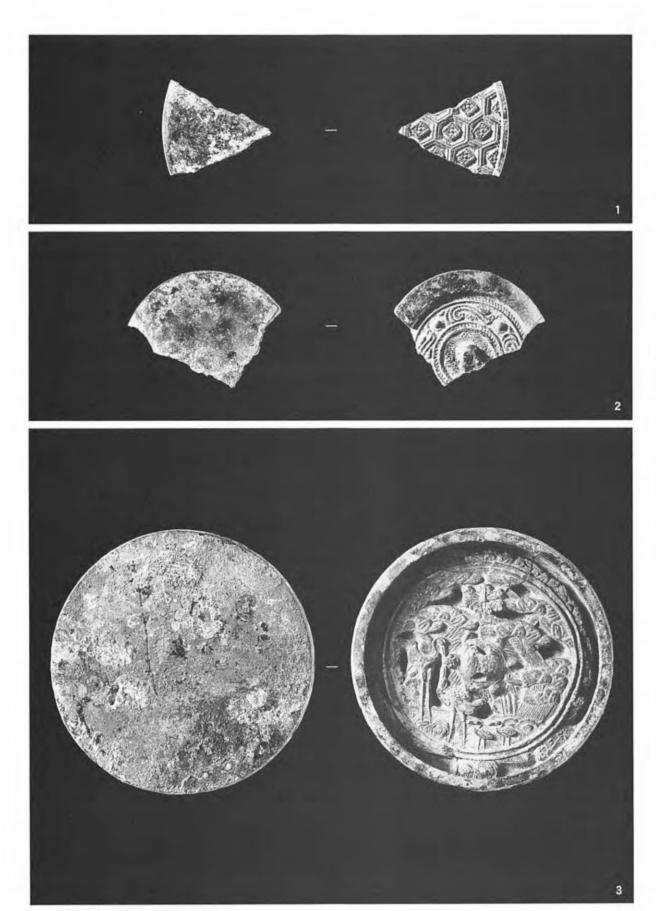


PL.62 (第83 図) 簪: 匙形 A 類 (6・7)・匙形 B 類 (1 ~ 3)・匙形 D 類 (4)・耳かき形 A 類 (5)

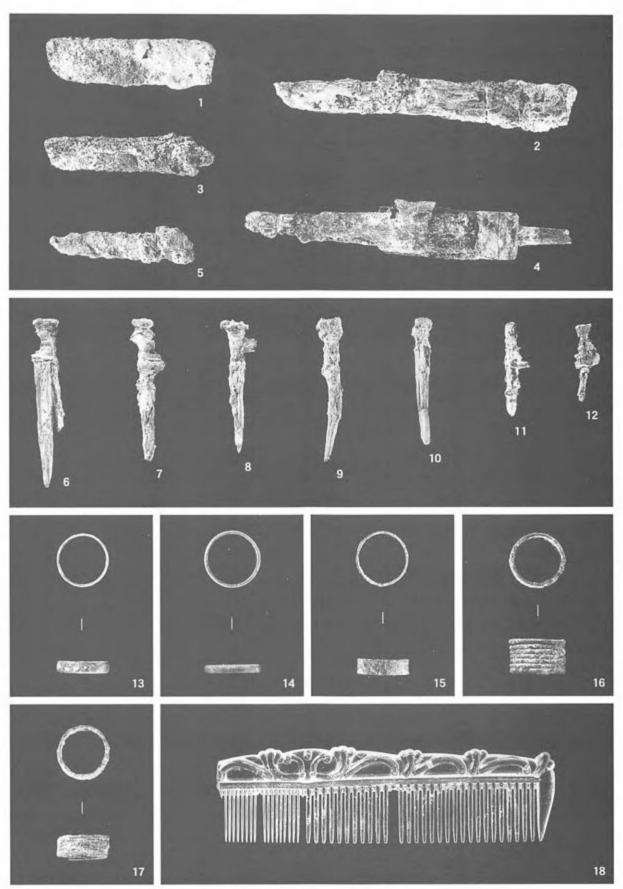




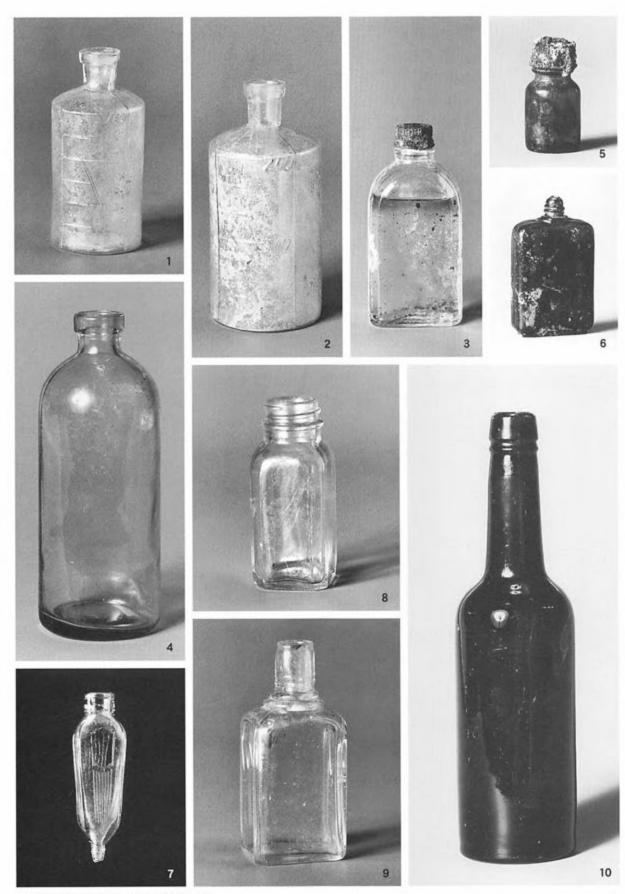
P L.63 (第84図) 金属製品:鏡



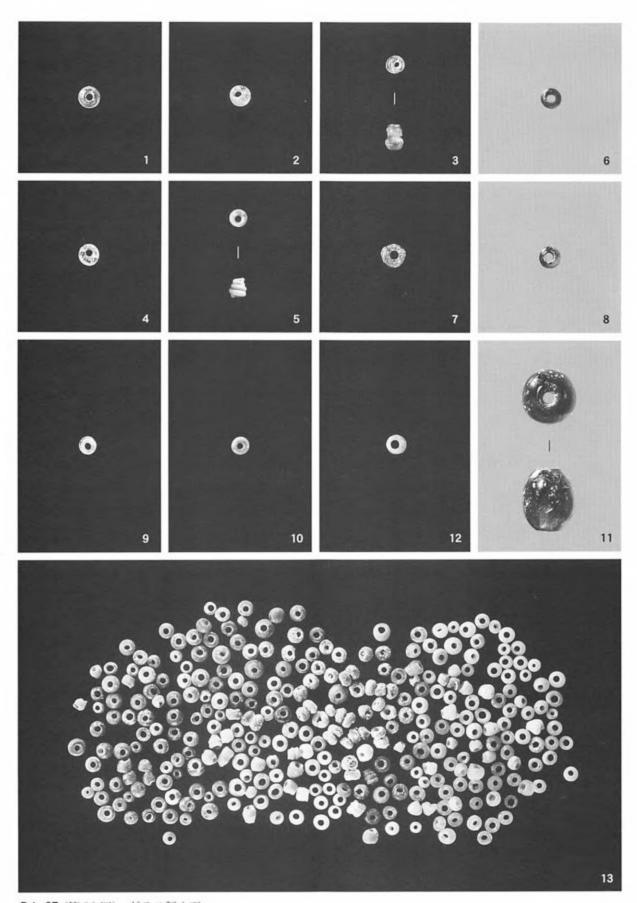
PL.64 (第85 図) 金属製品:鏡



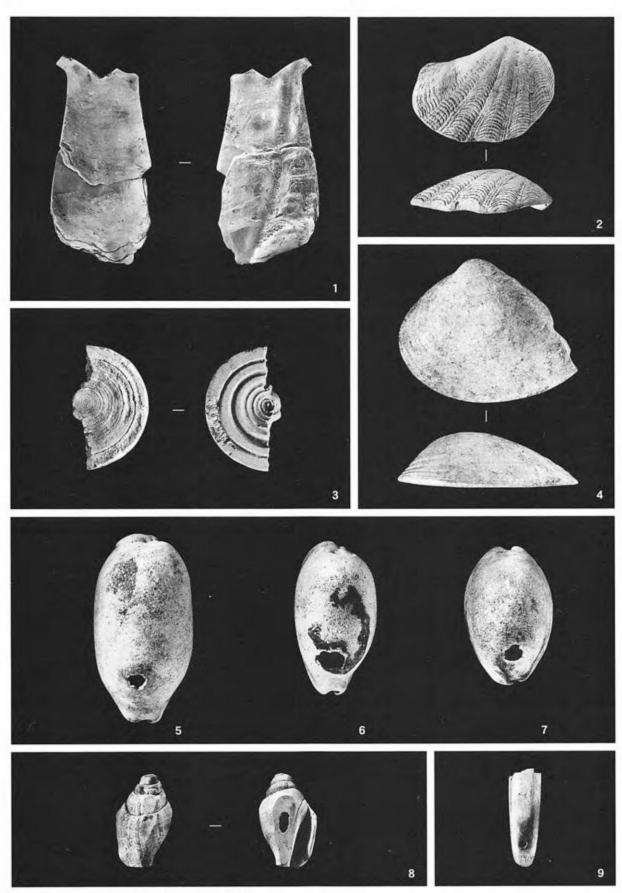
P L.65 (第 86 図) 金属製品:刀子 $(1 \sim 5)$ 、釘 $(6 \sim 12)$ 、指輪 $(13 \sim 17)$ プラスチック製品:櫛 (18)



PL.66 (第87図) ガラス製品:瓶



P L.67 (第 90 図) ガラス製小玉



PL.68 (第91 図) 貝製品 (1~8)、骨製品 (9)

那覇市文化財調査報告書第44集

ナーチュー毛古墓群

- 那覇新都心土地区画整理事業に伴う緊急発掘調査報告Ⅵ-

発 行 2000年3月15日

那覇市教育委員会

〒900-8553 沖縄県那覇市樋川2-8-8

編 集 那覇市教育委員会文化財課

TEL 098 - 853 - 5776

FAX 098 - 833 - 2202

印 刷 文進印刷株式会社

〒901-0305 沖縄県糸満市西崎町5丁目10-14

TEL 098 - 994 - 5777